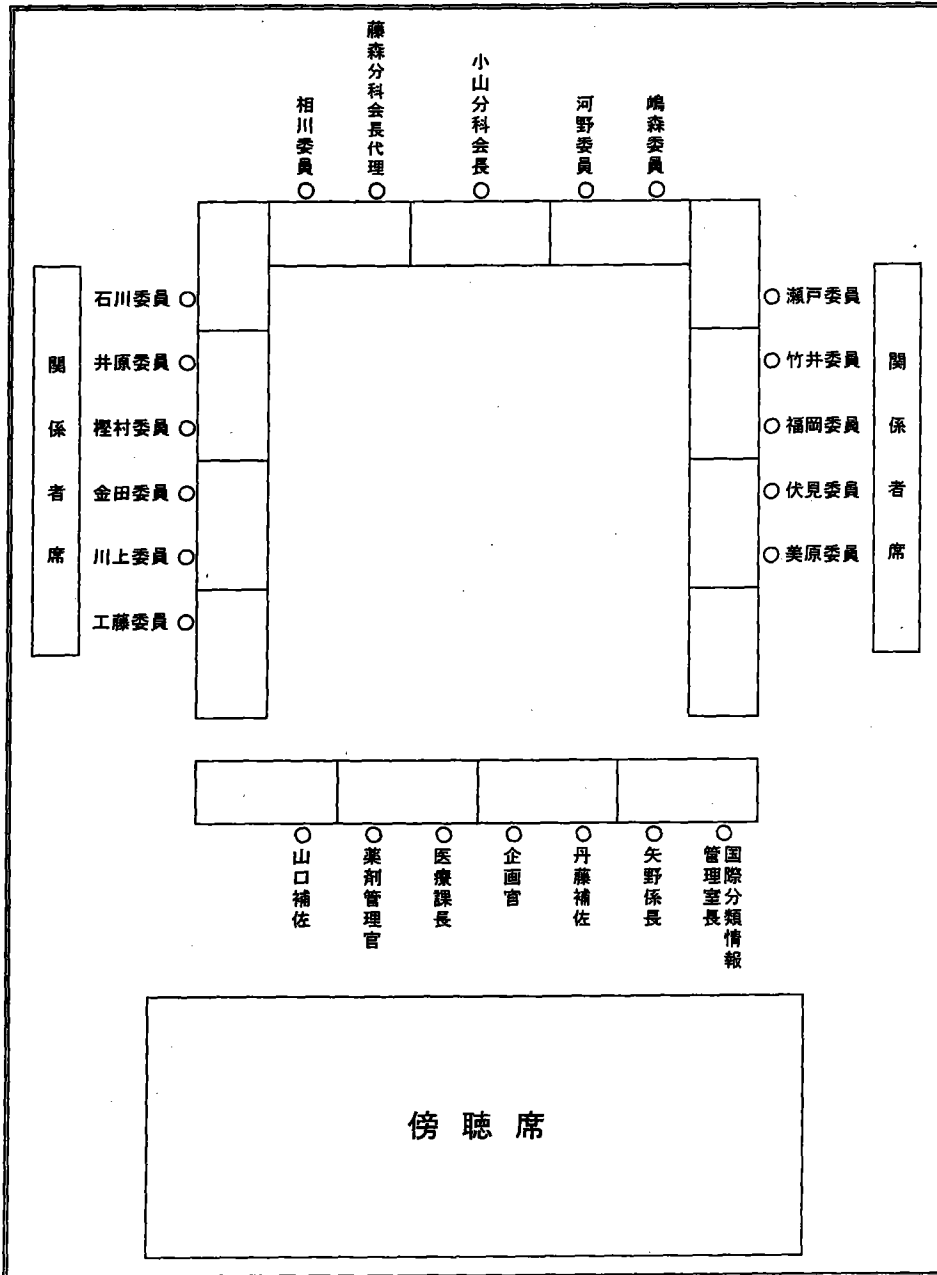


平成26年度第3回DPC評価分科会

日時:平成26年6月23日(月)14:00~16:00  
 会場:中央合同庁舎第5号館省議室(9階)



平成26年度第3回診療報酬調査専門組織・DPC評価分科会

日時:平成26年6月23日(月)14:00~16:00  
 場所:中央合同庁舎5号館 省議室(9F)

議事次第

1. 平成26年5月28日中医協基本問題小委・総会への報告結果について
2. 診断群分類点数表の見直しに係る検討課題等について
3. 医療機関群のあり方等について

## 診療報酬調査専門組織・DPC評価分科会委員一覧

<委員>

氏名	所属等
相川 直樹	慶應義塾大学名誉教授
池田 俊也	国際医療福祉大学薬学部薬学科教授
石川 広己	社会医療法人社団千葉県勤労者医療協会 理事長
井原 裕宣	社会保険診療報酬支払基金 医科専門役
緒方 裕光	国立保健医療科学院研究情報支援研究センター長
檉村 暢一	医療法人溪仁会 手稻溪仁会病院副院長
香月 進	福岡県保健医療介護部医監
金田 道弘	社会医療法人緑壮会理事長
川上 純一	浜松医科大学医学部附属病院教授・薬剤部長
工藤 翔二	公益財団法人結核予防会 複十字病院長
河野 陽一	独立行政法人労働者健康福祉機構 千葉労災病院長
◎ 小山 信彌	東邦大学医学部特任教授
嶋森 好子	公益社団法人東京都看護協会会長
瀬戸 泰之	東京大学大学院医学系研究科消化管外科学教授
竹井 和浩	保健医療福祉情報システム工業会 医事コンピュータ部会DPC委員長
福岡 敏雄	公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構倉敷中央病院 総合診療科主任部長
伏見 清秀	東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 環境社会医歯学講座 医療政策情報分野教授
○ 藤森 研司	東北大学大学院 医学系研究科・医学部 医療管理学分野 教授
美原 盤	公益財団法人脳血管研究所附属美原記念病院長
渡辺 明良	聖路加国際大学 法人事務局長

◎：分科会長

○：分科会長代理

## 中医協基本問題小委員会・総会への報告結果について

平成 26 年 5 月 28 日に開催された中医協基本問題小委員会・中医協総会において、DPC 評価分科会において整理された次回診療報酬改定に向けた DPC/PDPS に係る今後の検討課題・スケジュール等が報告され、了承された。

[基本問題小委員会・総会であげられた主な意見]

### 【医療機関群のあり方について】

- 患者がどの区分の医療機関にかかっているか理解しにくくなるので、Ⅲ群を細分化すべきではないのではないかと。もし細分化するのであれば、患者が納得できるような明確な基準を示すことが絶対的な条件ではないか。
- I 群の大学病院本院とそれ以外の病院は医学部の教育という観点から機能が本質的に異なっていることから、教育が前提となっていないⅡ群が「大学病院本院に準じる」病院であるという概念は見直すべきではないか。
- Ⅲ群の中にも規模が小さくても、専門性の高い高度な医療レベル、医療の質を持った医療機関があり、必ずしも診療の科目数が多ければレベルが高いというわけではないことを踏まえ、見直しをしていくべきではないか。
- Ⅱ群とⅢ群で入れ替わりがあると病院の運営に支障を来す恐れがあるのでⅡ群とⅢ群を分ける必要があるのか考えるべきではないか。機能評価係数で評価する方法もあるのではないかと。

### 【全般的な方針について】

- 小規模病院や単科専門病院等、多様な施設が DPC 制度に参加していることを踏まえ、医療提供体制全体の見直しの方針との整合性をとるということは非常に重要であり、第 7 次医療計画に間に合うように検討すべきではないか。
- 病床機能報告制度が始まり、2 次医療圏ごとに病床の必要量の目安をつくることとなっていることになっているので、DPC 制度のあり方も整合性を保つべきではないか。

### 【短期滞在手術等基本料 3 と DPC 包括支払制度の整合性について】

- 短期入院の患者については算定ルールが複雑となっており、データに基づきつつ、整合性について検討すべきではないか。

## DPC/PDPSに係る今後の検討方針・スケジュール等について

## (案)

平成 26 年改定での対応と附帯意見及び DPC 評価分科会でのこれまでの検討と整理（平成 26 年 4 月 18 日、平成 26 年 5 月 14 日）を踏まえ、次のような検討方針・スケジュール等に基づき、DPC 評価分科会及び中医協総会/基本問題小委員会において、DPC 制度に関する今後の検討を引き続き実施してはどうか。

## 1. 平成 26 年度診療報酬改定（答申）の附帯意見（DPC 制度関連部分の抜粋）

DPC 制度について、医療機関群、機能評価係数Ⅱの見直し等を含め、引き続き調査・検証し、その在り方を引き続き検討すること。

## 2. 検討課題の整理（案）

**(1) 「診断群分類点数表」に係る検討課題**

## ① 基本方針について

## (ア) ICD-10（2013 年度版）に係る対応について

- ・ 現行の DPC 制度は ICD-10（2003 年度版）を元に運用されているが、平成 26 年度中に ICD-10（2013 年度版）が告示される見込みとなっており、DPC 制度における対応について検討が必要。

## (イ) 重症度を考慮した評価手法（CCP マトリックス）について

- ・ 現在、厚生労働科学研究班（伏見班）で研究が行われている新たな評価手法（CCP マトリックス）について、どのように対応するか検討が必要。

## (ウ) 点数設定方式 D のあり方

- ・ 現在、点数設定方式 D は高額な薬剤や材料を使う診断群分類において適用されているが、診療の標準化が進んでいる診断群分類等、現行の他にも点数設定方式 D がふさわしい分類があるかについて検討が必要。

## (エ) 短期滞在手術等基本料 3 との整合性

- ・ 平成 26 年改定で大幅に拡大された 1 入院あたりの包括支払に近い「短期滞在手術等基本料 3」と DPC/PDPS による包括支払いとの整合性について検討することが必要

## ② DPC 検討ワーキンググループ（WG）における検討について

## [WG における検討課題]

- ・ MDC 毎に最新の診療実態を踏まえた適切な診断群分類の検討
- ・ 診断群分類の見直しに合わせた「DPC/PDPS 傷病名コーディングテキスト」

## の見直し（コーディングルールの整理）

### <今後の検討方針と考え方>

- 適切な診断群分類に関する検討作業を行う前に、診断群分類の基本骨格となる（ア）～（エ）等について標準化の観点も含め一定の方針を検討する。
- 「① 基本方針」について一定程度取りまとめた上で、その方針を踏まえ DPC 検討ワーキンググループ（WG）において「② DPC 検討 WG における検討」において検討を行う。

## （２） 「医療機関別係数」に係る検討課題

### ① 基本方針について

- 適切な医療機関群のあり方に関する検討
- 調整係数の置き換え完了に向けた枠組み
- 激変緩和措置のあり方  
平成 30 年（想定）の調整係数の廃止に向けて、平成 24 年医療機関群導入後の診療実態の変化等も踏まえつつ基本方針の検討が必要。

### ② 各係数の見直し

- 機能評価係数Ⅱの各 7 項目の見直し
  - ・ 後発医薬品指数の導入等平成 26 年改定の検証を踏まえつつ、見直しについて検討が必要。

### <今後の検討方針と考え方>

- 平成 26 年度中に「① 基本方針」について一定程度取りまとめた上で、機能評価係数Ⅱの各項目等について、平成 26 年度の調査結果等を踏まえつつ、医療圏別の評価のあり方や医療の標準化等の観点も含め検討を行う。

## （３） 「算定ルール」等に係る検討課題

### ① 検討すべき課題

- ・ 同一傷病による 7 日以内再入院（再転棟）ルール
  - ・ 持参薬の使用に関するルール（退院時処方を含む）
  - ・ DIC でコーディング際の症状詳記の添付
  - ・ 特定入院期間越えの化学療法に係る算定方法 等
- これらについては、平成 26 年改定の検証を踏まえ、見直しについて検討必要。

### <今後の検討方針と考え方>

- 算定ルール等については、平成 26 年度退院患者調査の調査結果を踏まえつつ、必要に応じてヒアリング調査等の特別調査を実施しつつ検証を行う。

#### (4) 「DPC 導入の影響評価に係る調査（退院患者調査）」に係る検討課題

- ① 平成 25 年度・26 年度退院患者調査の取りまとめ
- ② 調査項目について
  - ・ 調査項目の整理（簡素化）
  - ・ 新規の追加項目

##### <今後の検討方針と考え方>

- 退院患者調査の取りまとめにおいては、経時的に特徴的な変化が起きていないかをモニタリングすることを目的とし、DPC/ PDPS に係る基本的な情報について、直近5年分のデータを「定例報告」する。
- モニタリング項目と重点的また「定例報告」の結果等から、重点的に評価すべき事項が生じた場合は、DPC 評価分科会において仮説を明確化した上で追加集計を行う。
- 毎年実施している退院患者調査の結果報告、DPC 検討 WG からの提言、他の中医協関連組織の議論等を踏まえながら、負担軽減や簡素化の視点も含め、適切な調査設計に向けて検討を行う。

#### (5) その他、中長期的な検討課題

- ① 特定入院料の差額加算のあり方について
  - ・ 平成 22 年度診療報酬改定以降 DPC データ（EF ファイル）により特定入院料の包括部分のより詳細が把握可能となりつつあり、その結果を踏まえた課題の整理等が必要。
- ② DPC データの質の向上について
  - DPC データの質の向上に向けて、DPC データの記載内容にかかる確認の方法や評価方法等について、課題の整理等が必要。
  - 各病院が独自に指標を作成し公開することについて、DPC データの質の向上等の観点から、実現に向けた課題の整理や機能評価係数Ⅱとして評価すべきどうか等も含め、引き続き検討する必要がある。
- ③ 請求の仕組みについて
  - 請求の仕組みの簡素化やより適切なレセプト請求の実現等に向けて、下記の観点から具体的な対応案について課題の整理等が必要。
    - ・ 差額調整の仕組み
    - ・ 特定入院期間越えの出来高算定ルール
    - ・ 「コーディングデータ（包括範囲内の診療情報）」の取り扱い
    - ・ コストアウトライヤーの算定方法 等
- ④ その他（DPC 制度のあり方等）
  - 小規模病院や単科専門病院等、多様な施設が DPC 制度に参加していることを踏まえ、医療提供体制全体の見直しの方針との整合性も踏まえつつ、

DPC 制度の対象病院のあり方や対象範囲等について中長期的な課題の整理が必要。

<今後の検討方針と考え方>

- 検討すべき課題について論点の整理を行いつつ、必要に応じて特別調査等を実施しつつ検討を行う。

### 3. 今後のスケジュール（案）

検討課題		平成 26 年		平成 27 年				平成 28 年
		4月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月
(1)診断群分類に関する検討課題	①診断群分類の基本設計に関する基本方針	基本方針						
	②MDC 毎の診断群分類、コーディングテキストの見直し等	DPC 検討 WG 等						
(2)医療機関別係数に関する検討課題	③医療機関別係数の設定に関する基本方針 ・医療機関群のあり方 等	検証・評価・基本方針の策定						
	④各係数に関する具体的な検討 ・機能評価係数Ⅱ 等							
(3)算定ルール等に関する検討課題								
(4)退院患者調査にかか る検討課題	⑤定例報告	定例報告				定例報告		
	⑥調査項目のあり方に関する検討	必要に応じて適宜						
(5)その他中長期課題		個別課題に応じて適宜整理・検討						

次回診療報酬改定（想定）



## 診断群分類点数表の見直しに係る検討課題等について

DPC 検討ワーキンググループ（MDC 毎作業班、コーディングテキスト見直し作業班）における見直し作業の開始に向けて、予め診断群分類点数表の見直しに係る基本方針等について整理を行う。

### 1. 国際疾病分類の改正に係る対応について

- ・ 現行の DPC/PDPS は ICD-10（2003 年度版）を元に運用されている。
- ・ 2013 年 1 月 WHO 勧告に基づき、平成 26 年度中に ICD-10（2013 年度版）が告示される見込みとなっており、DPC/PDPS における対応について検討が必要。

#### ① ICD-10（2013 年版）の改正内容

⇒【D-2 参考①】を参照

#### ② 国際疾病分類が活用される場面

- 死因統計
- 疾病統計
- 医療機関における診療録管理
- 地域がん登録
- DPC/PDPS 等

#### ③ 課題・論点

- 下記の観点から、DPC 制度における対応についてどのように考えるか。

【2013 年版に変更する場合の課題等】

- A) ICD コーディングを行う者（医師、診療情報管理士等）への周知
- B) ICD 対応標準病名マスターの整備

【2003 年版を引き続き使用する場合に懸念されること】

- A) DPC/PDPS 以外で 2013 年版が使用されれば、現場では 2013 年版と 2003 年版の 2 種類の疾病分類によるコーディングが求められる可能性があること

### 2. 重症度を考慮した評価手法（CCP マトリックス）について

- ・ 診断群分類の精緻化に向けて、現在厚生労働科学研究班（伏見班）で研究が行われている新たな評価手法（CCP マトリックス）について、次回改定に向けてどのように対応するかについて検討が必要。

① CCP マトリックスが検討されている背景

- A) 医療機関毎のケースミックス（ばらつき）の補正は、これまで調整係数担ってきたと考えられるが、調整係数の廃止に向けて、診断群分類の精緻化によってケースミックスの違いを反映することが必要である。
- B) これまでのツリー図による体系では、変数を増加させると分岐が細分化して包括評価ができなく恐れがあり、新たな変数を導入することが難しくなり、重症度に応じた包括評価ができない場合があった。
- C) CCP マトリックスの手法を用いることにより、副傷病や重症度分類等の変数を導入することにより、重症度に応じてより診療実態に即した包括評価を行うことができると考えられる。

② 基本方針について（案）

- A) CCP マトリックスは、次回の診療報酬改定に向けて、これまでの重症度評価において課題があり特に症例数が多い診断群分類を対象として導入を検討する。
- B) 臨床的観点から違和感がないか等、臨床家の意見も踏まえつつ検討を行う。
- C) 次回改定で部分的導入を行った後、CCP マトリックス導入の影響や有用性等について検証を行いつつ、診断群分類点数表の作成にかかるその後の方針について検討する。

③ CCP マトリックスに関するこれまで研究成果等  
【D-2 参考②】を参照。

3. 点数設定方式 D と短期滞在手術等基本料 3 のあり方について

- ・ 現在、点数設定方式 D（1 入院あたり包括支払いに近い点数設定）は、高額な薬剤や材料を使う診断群分類において適用されているが、診療の標準化が進んでいる診断群分類等、現行の他にも点数設定方式 D を適用すべき分類があるかについて、今後検討が必要である。
- ・ 平成 26 年改定で大幅に拡大された 1 入院あたりの包括支払いに近い「短期滞在手術等基本料 3」の対象となる手術・検査等が大幅に拡大され、「短期滞在手術等基本料 3」の算定は DPC 包括算定に優先して算定することとされたが、DPC/PDPS による包括支払いとの整合性について、今後検討が必要である。

① 今後の対応（案）

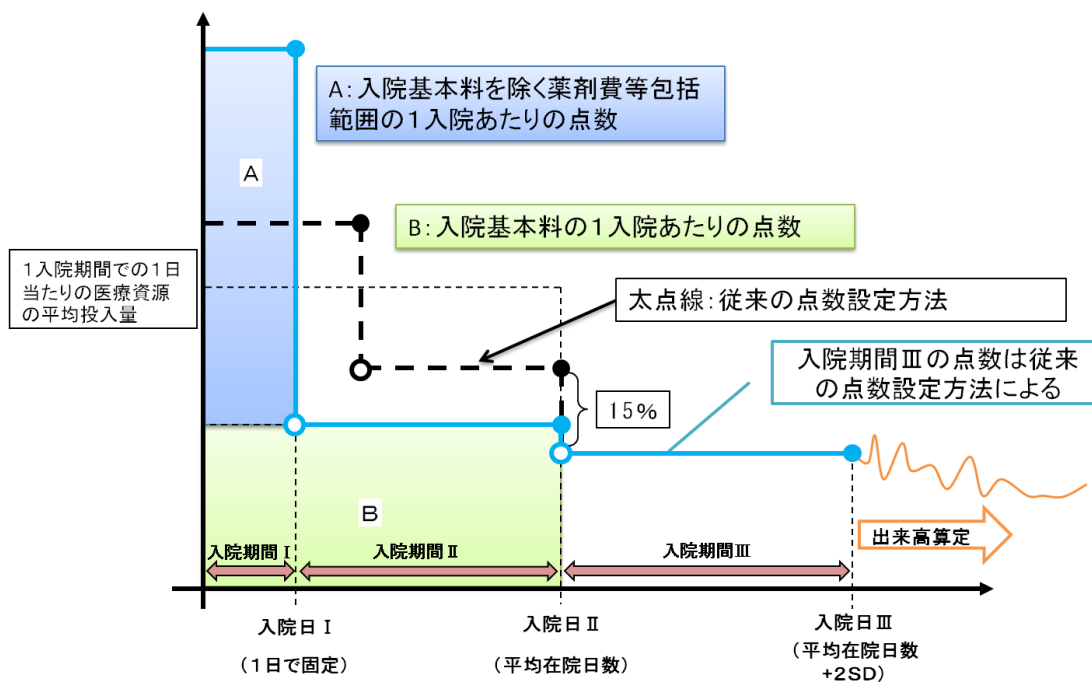
- A) 今後、平成 26 年改定後の退院患者調査の結果や、短期滞在手術等基本料 3 の見直しに関する中医協全体の議論等も踏まえつつ、DPC 評価分科会において下記

の観点から整理・検討を行い、必要に応じて中医協へ報告する。

- 短期滞在手術等基本料3・点数設定方式Dの対象とすべき手術・検査等
- DPC制度における短期滞在手術等基本料3を算定する患者データの取り扱い
  - ・ 退院患者調査の取りまとめ方法
  - ・ 機能評価係数Ⅱの計算方法（カバー率指数、複雑性指数等） 等

B) DPC 包括支払制度と短期滞在手術等基本料3との整合性を高めるため、今後、MDC 毎作業班において、必要に応じて短期滞在手術等基本料3とDPC14桁コードを1対1で対応させる観点等も含め診断群分類の見直しを行う。

[点数設定方式D]



[点数設定方式Dが適用された分類]

H26 診断群分類	診断群分類名称	処置2もしくは処置2定義名称
020200xx99x3xx	黄斑、後極変性	ペガプタニブナトリウム
020200xx99x4xx	黄斑、後極変性	ラニズマブ、アフリベルセプト
040040xx9907xx	肺の悪性腫瘍	ペメトレキセドナトリウム水和物
040040xx9908xx	肺の悪性腫瘍	ベバシズマブ
040050xx99x4xx	胸壁腫瘍、胸膜腫瘍	ペメトレキセドナトリウム水和物
050050xx99100x	狭心症、慢性虚血性心疾患	心臓カテーテル法による諸検査（一連の検査について）
060020xx99x40x	胃の悪性腫瘍	ドセタキセル水和物、パクリタキセル
060020xx99x5xx	胃の悪性腫瘍	トラスツズマブ
060030xx99x4xx	小腸の悪性腫瘍、腹膜の悪性腫瘍	カルボプラチン+パクリタキセル等

060035xx99x30x	結腸(虫垂を含む。)の悪性腫瘍	フルオロウラシル+レボホリナートカルシウム+イリノテカン
060035xx99x4xx	結腸(虫垂を含む。)の悪性腫瘍	フルオロウラシル+レボホリナートカルシウム+オキサリプラチンあり
060035xx99x50x	結腸(虫垂を含む。)の悪性腫瘍	レゴラフェニブ水和物、ベバシズマブ、セツキシマブ、パニツムマブ
060040xx99x40x	直腸肛門(直腸S状部から肛門)の悪性腫瘍	フルオロウラシル+レボホリナートカルシウム+イリノテカン
060040xx99x5xx	直腸肛門(直腸S状部から肛門)の悪性腫瘍	フルオロウラシル+レボホリナートカルシウム+オキサリプラチンあり
060040xx99x60x	直腸肛門(直腸S状部から肛門)の悪性腫瘍	レゴラフェニブ水和物、ベバシズマブ、セツキシマブ、パニツムマブ
070470xx99x5xx	関節リウマチ	アバタセプト、トシリズマブ
070470xx99x6xx	関節リウマチ	インフリキシマブ
070470xx99x7xx	関節リウマチ	インフリキシマブ(強直性脊椎炎の場合)
080140xxxxx2xx	炎症性角化症	インフリキシマブ
090010xx99x40x	乳房の悪性腫瘍	ドセタキセル水和物、パクリタキセル等
090010xx99x6xx	乳房の悪性腫瘍	ペルツズマブ、トラスツズマブ
090010xx99x7xx	乳房の悪性腫瘍	パクリタキセル(アルブミン懸濁型)
100250xx99100x	下垂体機能低下症	下垂体前葉負荷試験
110200xx99xxxx	前立腺肥大症等	-
120010xx99x50x	卵巣・子宮付属器の悪性腫瘍	カルボプラチン+パクリタキセル等
120010xx99x60x	卵巣・子宮付属器の悪性腫瘍	ドキシソルビシン塩酸塩リポソーム製剤
12002xxx99x40x	子宮頸・体部の悪性腫瘍	化学療法ありかつ放射線療法なし
130030xx99x7xx	非ホジキンリンパ腫	イブリツモマブチウキセタン塩化イットリウム等

[短期滞在手術等基本料3の算定対象となる手術・検査等]

K008	腋臭症手術 2 皮膚有毛部切除術
K093-2	関節鏡下手根管開放手術
K196-2	胸腔鏡下交感神経節切除術(両側)
K282	水晶体再建術 1 眼内レンズを挿入する場合口その他のもの
K282	水晶体再建術 2 眼内レンズを挿入しない場合
K474	乳腺腫瘍摘出術 1 長径 5cm 未満
K617	下肢静脈瘤手術 1 抜去切除術
K617	下肢静脈瘤手術 2 硬化療法
K617	下肢静脈瘤手術 3 高位結紮術
K633	ヘルニア手術 5 兎径ヘルニア(15歳未満)
K633	ヘルニア手術 5 兎径ヘルニア(15歳以上)

K634	腹腔鏡下単径ヘルニア手術
K721	内視鏡的結腸ポリープ・粘膜切除術 1 長径 2cm 未満
K721	内視鏡的結腸ポリープ・粘膜切除術 2 長径 2cm 以上
K743	痔核手術 2 硬化療法(四段階注射法)
K867	子宮頸部(腔部)切除術
K873	子宮鏡下子宮筋腫摘出術
D237	終夜睡眠ポリグラフィー 1 携帯用装置を使用した場合
D237	終夜睡眠ポリグラフィー 2 多点感圧センサーを有する睡眠評価装置を使用した場合
D237	終夜睡眠ポリグラフィー 3 1 及び 2 以外の場合
D291-2	小児アレルギー負荷検査
D413	前立腺針生検法

# ICD-10 の改正について

## 第1 概要

わが国で施行中の「疾病、傷害及び死因に関する分類」は、ICD-10(2003 年版)に準拠しているところ、WHO(世界保健機関)において、2003 年版以降に勧告された改正内容を国内に適用するため告示改正手続きが進められている。現在、厚生労働大臣から社会保障審議会へ諮問があり、ICD 部会で審議しており、告示内容は、ICD-10(2013 年版)に準拠したものとなる予定。

## 第2 ICD-10(2013 年版)の主な変更点

WHO 勧告に基づく改正	コードの削除	50
	コードの新設	185
	コード名の変更	121
その他(用語の適正化等)		545

### 1. WHO 勧告に基づく改正

#### (1) 新たな疾病概念の確立や疾病概念の変更に伴う項目の新設・組み換え・細分化

- ① 白血病、リンパ腫(C81-C96): 疾病概念を整理し、ホジキンリンパ腫、非ホジキンリンパ腫に大別し、更に濾胞性、非濾胞性、T/NK 細胞性等を区分するとともに、白血病についても細分化。
- ② ポリオ後症候群(G14): ポリオの続発・後遺症(B91)とは別概念と整理され、項目を新設したもの。
- ③ 視覚障害(H54): 国際眼科学会理事会決議や WHO 勧告に基づく重症度の分類に従い、細分項目を整理し直したもの。
- ④ ヒト・メタニューモウイルス: 従来 ICD 上は特定の分類が設けられていなかったが、「J12.3 ヒト・メタニューモウイルス肺炎」「J21.1 ヒト・メタニューモウイルスによる急性細気管支炎」を新設したもの。
- ⑤ 痔核: 循環器系(I84)から消化器系(K64)へ移動し、病期別分類を導入。
- ⑥ 腎不全(N17-N19): 急性腎不全と慢性腎臓病の概念整理を行い、後者について病期別分類を導入。
- ⑦ 薬剤耐性の病原体(U80-U85): 耐性を示す薬剤をベータラクタム系とその他の抗生物質、抗菌薬、抗腫瘍薬に整理し、より詳細に細分。

## (2) 医学の進歩や臨床での活用に対応した名称の変更、細分等

- ① 西ナイル熱→西ナイルウイルス感染症(A92.3)
- ② インスリン依存性糖尿病<IDDM>→1型<インスリン依存性>糖尿病<IDDM>(E10)
- ③ インスリン非依存性糖尿病<NIDDM>→2型<インスリン非依存性>糖尿病<NIIDM>(E11)
- ④ イートン・ランバート症候群→ランバート・イートン症候群(G73.1)
- ⑤ ディスペプシア→機能性ディスペプシア(K30)
- ⑥ 腹壁ヘルニア(K43):腹壁ヘルニアを癒痕ヘルニア、傍ストーマヘルニア、その他の腹壁ヘルニアに細分
- ⑦ 急性膵炎(K85):特発性、胆石性、アルコール性等、原因による細分を導入
- ⑧ 皮膚疾患(L89):病期別分類を導入し細分化
- ⑨ 産科的死亡(O60、O96、O97):周産期別、原因別の細分を導入
- ⑩ 地震による受傷(X34):地殻変動、津波など原因をより細分化

## (3) 統計上の必要性から新設等されたもの

- ① 敗血症性ショック(R57.2):原死因選択において敗血症(A41.9)と区別する必要からコードを新設したもの
- ② エマージェンシーコード(U06-U07)

## 2. 日本医学会が定める用語に基づく用語適正化等

- ① 「レンサ球菌」→「連鎖球菌」  
例:レンサ球菌性敗血症→連鎖球菌性敗血症(A40)
- ② カリニ肺炎を起こした HIV 病→ニューモシスチス・イロペチイ肺炎を起こした HIV 病(B20.6)
- ③ 「新生物」→「新生物<腫瘍>」  
例:口唇の悪性新生物→口唇の悪性新生物<腫瘍>(C00)
- ④ のう<囊>胞線維症<システィックファイブローシス>→のう<囊>胞線維症(E84等)
- ⑤ その他、「ウイルス」→「ウイルス性」(例:ウイルス性肝炎)、「たんぱく」→「タンパク」(例:リポタンパク欠乏症)、「靱」→「靱」(例:靱帯の障害) 他多数

※山括弧<>は、代替可能な用語を意味する。

統計法第28条第1項及び附則第3条の規定に基づく疾病、傷害及び死因に関する分類  
 疾病、傷害及び死因の統計分類 基本分類表・新旧対照表(案)

現行告示		答申案			
第 I 章 感染症及び寄生虫症		Chapter I Certain infectious and parasitic diseases (A00-B99)	第 I 章 感染症及び寄生虫症 (A00-B99)		Chapter I Certain infectious and parasitic diseases (A00-B99)
A04.7	クロストリジウム・ディフィシルによる全腸炎	Enterocolitis due to <i>Clostridium difficile</i>	A04.7	クロストリジウム・ディフィシルによる腸炎	Enterocolitis due to <i>Clostridium difficile</i>
A09	感染症と推定される下痢及び胃腸炎	Diarrhoea and gastroenteritis of presumed infectious origin	A09	その他の胃腸炎及び大腸炎、感染症及び詳細不明の原因によるもの	Other gastroenteritis and colitis of infectious and unspecified origin
	新規		A09.0	感染症が原因のその他及び詳細不明の胃腸炎及び大腸炎	Other and unspecified gastroenteritis and colitis of infectious origin
	新規		A09.9	詳細不明の原因による胃腸炎及び大腸炎	Gastroenteritis and colitis of unspecified origin
A25	鼠咬症	Rat-bite fevers	A25	鼠咬症	Rat-bite fevers
A25.0	鼠咬症スピリルム症くらせん菌症>	Spirillosis	A25.0	鼠咬症スピリルム症くらせん菌症>	Spirillosis
A25.1	モニリフォルム レンサ桿菌症	Streptobacillosis	A25.1	連鎖桿菌症	Streptobacillosis
A25.9	鼠咬症, 詳細不明	Rat-bite fever, unspecified	A25.9	鼠咬症, 詳細不明	Rat-bite fever, unspecified
A34	産科的破傷風	Obstetrical tetanus	A34	産科破傷風	Obstetrical tetanus
A39.1†	ウォーターハウス・フリーデリクセン< Waterhouse-Friderichsen>症候群(E35.1*)	Waterhouse-Friderichsen syndrome (E35.1*)	A39.1†	ウォーターハウス・フリーデリクセン< Waterhouse-Friderichsen>症候群(E35.1*)	Waterhouse-Friderichsen syndrome (E35.1*)
A40	レンサ球菌性敗血症	Streptococcal sepsis	A40	連鎖球菌性敗血症	Streptococcal sepsis
A40.0	A群レンサ球菌による敗血症	Sepsis due to streptococcus, group A	A40.0	A群連鎖球菌による敗血症	Sepsis due to streptococcus, group A
A40.1	B群レンサ球菌による敗血症	Sepsis due to streptococcus, group B	A40.1	B群連鎖球菌による敗血症	Sepsis due to streptococcus, group B



現行告示			答申案		
A40.2	D群レンサ球菌による敗血症	Sepsis due to streptococcus, group D	A40.2	D群連鎖球菌による敗血症	Sepsis due to streptococcus, group D
A40.3	肺炎レンサ球菌による敗血症	Sepsis due to <i>Streptococcus pneumoniae</i>	A40.3	肺炎連鎖球菌による敗血症	Sepsis due to <i>Streptococcus pneumoniae</i>
A40.8	その他のレンサ球菌性敗血症	Other streptococcal sepsis	A40.8	その他の連鎖球菌性敗血症	Other streptococcal sepsis
A40.9	レンサ球菌性敗血症, 詳細不明	Streptococcal sepsis, unspecified	A40.9	連鎖球菌性敗血症, 詳細不明	Streptococcal sepsis, unspecified
A49.0	ブドウ球菌感染症, 詳細不明	Staphylococcal infection, unspecified	A49.0	ブドウ球菌感染症, 部位不明	Staphylococcal infection, unspecified site
A49.1	レンサ球菌感染症, 詳細不明	Streptococcal infection, unspecified	A49.1	連鎖球菌感染症, 部位不明	Streptococcal infection, unspecified site
A49.2	インフルエンザ菌感染症, 詳細不明	<i>Haemophilus influenzae</i> infection, unspecified	A49.2	インフルエンザ菌感染症, 部位不明	<i>Haemophilus influenzae</i> infection, unspecified site
A49.3	マイコプラズマ感染症, 詳細不明	Mycoplasma infection, unspecified	A49.3	マイコプラズマ感染症, 部位不明	Mycoplasma infection, unspecified site
A58	そけい<鼠径>(部)肉芽腫	Granuloma inguinale	A58	そけい<鼠径>(部)肉芽腫	Granuloma inguinale
A69.1	その他のワンサン<Vincent>感染症	Other Vincent infections	A69.1	その他のヴァンサン<Vincent>感染症	Other Vincent infections
A79.0	ざんごう熱	Trench fever	A79.0	塹壕熱	Trench fever
A92.3	西ナイル熱	West Nile fever	A92.3	西ナイルウイルス感染症	West Nile virus infection
B00.7	播種性ヘルペスウイルス疾患	Disseminated herpesviral disease	B00.7	播種性ヘルペスウイルス性疾患	Disseminated herpesviral disease
	ウイルス肝炎(B15-B19)	Viral hepatitis (B15-B19)		ウイルス性肝炎(B15-B19)	Viral hepatitis (B15-B19)
B17	その他の急性ウイルス肝炎	Other acute viral hepatitis	B17	その他の急性ウイルス性肝炎	Other acute viral hepatitis
B17.8	その他の明示された急性ウイルス肝炎	Other specified acute viral hepatitis	B17.8	その他の明示された急性ウイルス性肝炎	Other specified acute viral hepatitis
	新規		B17.9	急性ウイルス性肝炎, 詳細不明	Acute viral hepatitis, unspecified

現行告示			答申案		
B18	慢性ウイルス肝炎	Chronic viral hepatitis	B18	慢性ウイルス性肝炎	Chronic viral hepatitis
B18.0	慢性B型ウイルス肝炎, デルタ因子(重複感染)を伴うもの	Chronic viral hepatitis B with delta-agent	B18.0	慢性B型ウイルス性肝炎, デルタ因子(重複感染)を伴うもの	Chronic viral hepatitis B with delta-agent
B18.1	慢性B型ウイルス肝炎, デルタ因子(重複感染)を伴わないもの	Chronic viral hepatitis B without delta-agent	B18.1	慢性B型ウイルス性肝炎, デルタ因子(重複感染)を伴わないもの	Chronic viral hepatitis B without delta-agent
B18.2	慢性C型ウイルス肝炎	Chronic viral hepatitis C	B18.2	慢性C型ウイルス性肝炎	Chronic viral hepatitis C
B18.8	その他の慢性ウイルス肝炎	Other chronic viral hepatitis	B18.8	その他の慢性ウイルス性肝炎	Other chronic viral hepatitis
B18.9	慢性ウイルス肝炎, 詳細不明	Chronic viral hepatitis, unspecified	B18.9	慢性ウイルス性肝炎, 詳細不明	Chronic viral hepatitis, unspecified
B19	詳細不明のウイルス肝炎	Unspecified viral hepatitis	B19	詳細不明のウイルス性肝炎	Unspecified viral hepatitis
B19.0	詳細不明のウイルス肝炎, 昏睡を伴うもの	Unspecified viral hepatitis with coma	B19.0	詳細不明のウイルス性肝炎, 肝性昏睡を伴うもの	Unspecified viral hepatitis with hepatic coma
B19.9	詳細不明のウイルス肝炎, 昏睡を伴わないもの	Unspecified viral hepatitis without coma	B19.9	詳細不明のウイルス性肝炎, 肝性昏睡を伴わないもの	Unspecified viral hepatitis without hepatic coma
B20.0	非結核性抗酸菌感染症を起こしたHIV病	HIV disease resulting in mycobacterial infection	B20.0	マイコバクテリウム感染症を起こしたHIV病	HIV disease resulting in mycobacterial infection
B20.6	カリニ肺炎を起こしたHIV病	HIV disease resulting in <i>Pneumocystis jirovecii</i> pneumonia	B20.6	ニューモシスチス・イロベチイ肺炎を起こしたHIV病	HIV disease resulting in <i>Pneumocystis jirovecii</i> pneumonia
B21	悪性新生物を起こしたヒト免疫不全ウイルス[HIV]病	Human immunodeficiency virus [HIV] disease resulting in malignant neoplasms	B21	悪性新生物<腫瘍>を起こしたヒト免疫不全ウイルス[HIV]病	Human immunodeficiency virus [HIV] disease resulting in malignant neoplasms
B21.3	リンパ組織, 造血組織及び関連組織のその他の悪性新生物を起こしたHIV病	HIV disease resulting in other malignant neoplasms of lymphoid, haematopoietic and related tissue	B21.3	リンパ組織, 造血組織及び関連組織のその他の悪性新生物<腫瘍>を起こしたHIV病	HIV disease resulting in other malignant neoplasms of lymphoid, haematopoietic and related tissue
B21.7	多発性の悪性新生物を起こしたHIV病	HIV disease resulting in multiple malignant neoplasms	B21.7	多発性の悪性新生物<腫瘍>を起こしたHIV病	HIV disease resulting in multiple malignant neoplasms
B21.8	その他の悪性新生物を起こしたHIV病	HIV disease resulting in other malignant neoplasms	B21.8	その他の悪性新生物<腫瘍>を起こしたHIV病	HIV disease resulting in other malignant neoplasms
B21.9	詳細不明の悪性新生物を起こしたHIV病	HIV disease resulting in unspecified malignant neoplasm	B21.9	詳細不明の悪性新生物<腫瘍>を起こしたHIV病	HIV disease resulting in unspecified malignant neoplasm
	その他のウイルス疾患(B25-B34)	Other viral diseases (B25-B34)		その他のウイルス性疾患(B25-B34)	Other viral diseases (B25-B34)

現行告示			答申案		
B33	その他のウイルス疾患, 他に分類されないもの	Other viral diseases, not elsewhere classified	B33	その他のウイルス性疾患, 他に分類されないもの	Other viral diseases, not elsewhere classified
B33.8	その他の明示されたウイルス疾患	Other specified viral diseases	B33.8	その他の明示されたウイルス性疾患	Other specified viral diseases
B34.0	アデノウイルス感染症, 詳細不明	Adenovirus infection, unspecified	B34.0	アデノウイルス感染症, 部位不明	Adenovirus infection, unspecified site
B34.1	エンテロウイルス感染症, 詳細不明	Enterovirus infection, unspecified	B34.1	エンテロウイルス感染症, 部位不明	Enterovirus infection, unspecified site
B34.2	コロナウイルス感染症, 詳細不明	Coronavirus infection, unspecified	B34.2	コロナウイルス感染症, 部位不明	Coronavirus infection, unspecified site
B34.3	パルボウイルス感染症, 詳細不明	Parvovirus infection, unspecified	B34.3	パルボウイルス感染症, 部位不明	Parvovirus infection, unspecified site
B34.4	パポーバウイルス感染症, 詳細不明	Papovavirus infection, unspecified	B34.4	パポバウイルス感染症, 部位不明	Papovavirus infection, unspecified site
B57	シャガス<Chagas>病	Chagas disease	B57	シャーガス<Chagas>病	Chagas disease
B57.0†	急性シャガス<Chagas>病, 心障害を伴うもの (I41.2*, I98.1*)	Acute Chagas disease with heart involvement (I41.2*, I98.1*)	B57.0†	急性シャーガス<Chagas>病, 心障害を伴うもの (I41.2*, I98.1*)	Acute Chagas disease with heart involvement (I41.2*, I98.1*)
B57.1	急性シャガス<Chagas>病, 心障害を伴わないもの	Acute Chagas disease without heart involvement	B57.1	急性シャーガス<Chagas>病, 心障害を伴わないもの	Acute Chagas disease without heart involvement
B57.2	シャガス<Chagas>病(慢性), 心障害を伴うもの	Chagas disease (chronic) with heart involvement	B57.2	シャーガス<Chagas>病(慢性), 心障害を伴うもの	Chagas disease (chronic) with heart involvement
B57.3	シャガス<Chagas>病(慢性), 消化器障害を伴うもの	Chagas disease (chronic) with digestive system involvement	B57.3	シャーガス<Chagas>病(慢性), 消化器障害を伴うもの	Chagas disease (chronic) with digestive system involvement
B57.4	シャガス<Chagas>病(慢性), 神経系障害を伴うもの	Chagas disease (chronic) with nervous system involvement	B57.4	シャーガス<Chagas>病(慢性), 神経系障害を伴うもの	Chagas disease (chronic) with nervous system involvement
B57.5	シャガス<Chagas>病(慢性), その他の臓器障害を伴うもの	Chagas disease (chronic) with other organ involvement	B57.5	シャーガス<Chagas>病(慢性), その他の臓器障害を伴うもの	Chagas disease (chronic) with other organ involvement
B94.2	ウイルス肝炎の続発・後遺症	Sequelae of viral hepatitis	B94.2	ウイルス性肝炎の続発・後遺症	Sequelae of viral hepatitis
B95	他章に分類される疾患の原因であるレンサ球菌及びブドウ球菌	Streptococcus and staphylococcus as the cause of diseases classified to other chapters	B95	他章に分類される疾患の原因である連鎖球菌及びブドウ球菌	Streptococcus and staphylococcus as the cause of diseases classified to other chapters
B95.0	他章に分類される疾患の原因であるA群レンサ球菌	Streptococcus, group A, as the cause of diseases classified to other chapters	B95.0	他章に分類される疾患の原因であるA群連鎖球菌	Streptococcus, group A, as the cause of diseases classified to other chapters

現行告示			答申案		
B95.1	他章に分類される疾患の原因であるB群レンサ球菌	Streptococcus, group B, as the cause of diseases classified to other chapters	B95.1	他章に分類される疾患の原因であるB群連鎖球菌	Streptococcus, group B, as the cause of diseases classified to other chapters
B95.2	他章に分類される疾患の原因であるD群レンサ球菌	Streptococcus, group D, as the cause of diseases classified to other chapters	B95.2	他章に分類される疾患の原因であるD群連鎖球菌	Streptococcus, group D, as the cause of diseases classified to other chapters
B95.3	他章に分類される疾患の原因である肺炎レンサ球菌	<i>Streptococcus pneumoniae</i> as the cause of diseases classified to other chapters	B95.3	他章に分類される疾患の原因である肺炎連鎖球菌	<i>Streptococcus pneumoniae</i> as the cause of diseases classified to other chapters
B95.4	他章に分類される疾患の原因であるその他のレンサ球菌	Other streptococcus as the cause of diseases classified to other chapters	B95.4	他章に分類される疾患の原因であるその他の連鎖球菌	Other streptococcus as the cause of diseases classified to other chapters
B95.5	他章に分類される疾患の原因である詳細不明のレンサ球菌	Unspecified streptococcus as the cause of diseases classified to other chapters	B95.5	他章に分類される疾患の原因である詳細不明の連鎖球菌	Unspecified streptococcus as the cause of diseases classified to other chapters
B96	他章に分類される疾患の原因であるその他の細菌性病原体	Other bacterial agents as the cause of diseases classified to other chapters	B96	他章に分類される疾患の原因であるその他の明示された細菌性病原体	Other specified bacterial agents as the cause of diseases classified to other chapters
B96.5	他章に分類される疾患の原因である緑膿菌<P.aeruginosa><P.mallei><P.pseudomallei>	<i>Pseudomonas (aeruginosa)(mallei)(pseudomallei)</i> as the cause of diseases classified to other chapters	B96.5	他章に分類される疾患の原因である緑膿菌<P.aeruginosa>	<i>Pseudomonas (aeruginosa)</i> as the cause of diseases classified to other chapters
	新規		B98	他章に分類される疾患の原因であるその他の明示された感染性病原体	Other specified infectious agents as the cause of diseases classified to other chapters
	新規		B98.0	他章に分類される疾患の原因であるヘリコバクター・ピロリ[H.pylori]	<i>Helicobacter pylori [H.pylori]</i> as the cause of diseases classified to other chapters
	新規		B98.1	他章に分類される疾患の原因であるビブリオ・バルニフィカス	<i>Vibrio vulnificus</i> as the cause of diseases classified to other chapters
<b>第II章 新生物</b>		<b>Chapter II Neoplasms (C00-D48)</b>	<b>第II章 新生物&lt;腫瘍&gt;(C00-D48)</b>		<b>Chapter II Neoplasms (C00-D48)</b>
	悪性新生物(C00-C97)	Malignant neoplasms (C00-C97)		悪性新生物<腫瘍>(C00-C97)	Malignant neoplasms (C00-C97)
	口唇、口腔及び咽頭の悪性新生物(C00-C14)	Malignant neoplasms of lip, oral cavity and pharynx (C00-C14)		口唇、口腔及び咽頭の悪性新生物<腫瘍>(C00-C14)	Malignant neoplasms of lip, oral cavity and pharynx (C00-C14)
C00	口唇の悪性新生物	Malignant neoplasm of lip	C00	口唇の悪性新生物<腫瘍>	Malignant neoplasm of lip
C01	舌根<基底>部の悪性新生物	Malignant neoplasm of base of tongue	C01	舌根<基底>部の悪性新生物<腫瘍>	Malignant neoplasm of base of tongue
C02	舌のその他及び部位不明の悪性新生物	Malignant neoplasm of other and unspecified parts of tongue	C02	舌のその他及び部位不明の悪性新生物<腫瘍>	Malignant neoplasm of other and unspecified parts of tongue

現行告示			答申案		
C03	歯肉の悪性新生物	Malignant neoplasm of gum	C03	歯肉の悪性新生物<腫瘍>	Malignant neoplasm of gum
C04	口(腔)底の悪性新生物	Malignant neoplasm of floor of mouth	C04	口(腔)底の悪性新生物<腫瘍>	Malignant neoplasm of floor of mouth
C05	口蓋の悪性新生物	Malignant neoplasm of palate	C05	口蓋の悪性新生物<腫瘍>	Malignant neoplasm of palate
C06	その他及び部位不明の口腔の悪性新生物	Malignant neoplasm of other and unspecified parts of mouth	C06	その他及び部位不明の口腔の悪性新生物<腫瘍>	Malignant neoplasm of other and unspecified parts of mouth
C07	耳下腺の悪性新生物	Malignant neoplasm of parotid gland	C07	耳下腺の悪性新生物<腫瘍>	Malignant neoplasm of parotid gland
C08	その他及び部位不明の大唾液腺の悪性新生物	Malignant neoplasm of other and unspecified major salivary glands	C08	その他及び部位不明の大唾液腺の悪性新生物<腫瘍>	Malignant neoplasm of other and unspecified major salivary glands
C09	扁桃の悪性新生物	Malignant neoplasm of tonsil	C09	扁桃の悪性新生物<腫瘍>	Malignant neoplasm of tonsil
C10	中咽頭の悪性新生物	Malignant neoplasm of oropharynx	C10	中咽頭の悪性新生物<腫瘍>	Malignant neoplasm of oropharynx
C11	鼻<上>咽頭の悪性新生物	Malignant neoplasm of nasopharynx	C11	鼻<上>咽頭の悪性新生物<腫瘍>	Malignant neoplasm of nasopharynx
C12	梨状陥凹<洞>の悪性新生物	Malignant neoplasm of piriform sinus	C12	梨状陥凹<洞>の悪性新生物<腫瘍>	Malignant neoplasm of piriform sinus
C13	下咽頭の悪性新生物	Malignant neoplasm of hypopharynx	C13	下咽頭の悪性新生物<腫瘍>	Malignant neoplasm of hypopharynx
C14	その他及び部位不明確の口唇, 口腔及び咽頭の悪性新生物	Malignant neoplasm of other and ill-defined sites in the lip, oral cavity and pharynx	C14	その他及び部位不明確の口唇, 口腔及び咽頭の悪性新生物<腫瘍>	Malignant neoplasm of other and ill-defined sites in the lip, oral cavity and pharynx
C14.2	ワルダイヤー<Waldeyer>環<輪>	Waldeyer ring	C14.2	ワルダイエル<Waldeyer>環<輪>	Waldeyer ring
	消化器の悪性新生物(C15-C26)	Malignant neoplasms of digestive organs (C15-C26)		消化器の悪性新生物<腫瘍>(C15-C26)	Malignant neoplasms of digestive organs (C15-C26)
C15	食道の悪性新生物	Malignant neoplasm of oesophagus	C15	食道の悪性新生物<腫瘍>	Malignant neoplasm of oesophagus
C16	胃の悪性新生物	Malignant neoplasm of stomach	C16	胃の悪性新生物<腫瘍>	Malignant neoplasm of stomach
C17	小腸の悪性新生物	Malignant neoplasm of small intestine	C17	小腸の悪性新生物<腫瘍>	Malignant neoplasm of small intestine

現行告示			答申案		
C18	結腸の悪性新生物	Malignant neoplasm of colon	C18	結腸の悪性新生物<腫瘍>	Malignant neoplasm of colon
C19	直腸S状結腸移行部の悪性新生物	Malignant neoplasm of rectosigmoid junction	C19	直腸S状結腸移行部の悪性新生物<腫瘍>	Malignant neoplasm of rectosigmoid junction
C20	直腸の悪性新生物	Malignant neoplasm of rectum	C20	直腸の悪性新生物<腫瘍>	Malignant neoplasm of rectum
C21	肛門及び肛門管の悪性新生物	Malignant neoplasm of anus and anal canal	C21	肛門及び肛門管の悪性新生物<腫瘍>	Malignant neoplasm of anus and anal canal
C22	肝及び肝内胆管の悪性新生物	Malignant neoplasm of liver and intrahepatic bile ducts	C22	肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>	Malignant neoplasm of liver and intrahepatic bile ducts
C220	肝癌	Liver cell carcinoma	C220	肝細胞癌	Liver cell carcinoma
C23	胆のう<囊>の悪性新生物	Malignant neoplasm of gallbladder	C23	胆のう<囊>の悪性新生物<腫瘍>	Malignant neoplasm of gallbladder
C24	その他及び部位不明の胆道の悪性新生物	Malignant neoplasm of other and unspecified parts of biliary tract	C24	その他及び部位不明の胆道の悪性新生物<腫瘍>	Malignant neoplasm of other and unspecified parts of biliary tract
C24.1	ファーター<Vater>乳頭膨大部	Ampulla of Vater	C24.1	ファーター<Vater>乳頭膨大部	Ampulla of Vater
C25	膵の悪性新生物	Malignant neoplasm of pancreas	C25	膵の悪性新生物<腫瘍>	Malignant neoplasm of pancreas
C26	その他及び部位不明の消化器の悪性新生物	Malignant neoplasm of other and ill-defined digestive organs	C26	その他及び部位不明の消化器の悪性新生物<腫瘍>	Malignant neoplasm of other and ill-defined digestive organs
	呼吸器及び胸腔内臓器の悪性新生物(C30-C39)	Malignant neoplasms of respiratory and intrathoracic organs (C30-C39)		呼吸器及び胸腔内臓器の悪性新生物<腫瘍>(C30-C39)	Malignant neoplasms of respiratory and intrathoracic organs (C30-C39)
C30	鼻腔及び中耳の悪性新生物	Malignant neoplasm of nasal cavity and middle ear	C30	鼻腔及び中耳の悪性新生物<腫瘍>	Malignant neoplasm of nasal cavity and middle ear
C31	副鼻腔の悪性新生物	Malignant neoplasm of accessory sinuses	C31	副鼻腔の悪性新生物<腫瘍>	Malignant neoplasm of accessory sinuses
C32	喉頭の悪性新生物	Malignant neoplasm of larynx	C32	喉頭の悪性新生物<腫瘍>	Malignant neoplasm of larynx
C33	気管の悪性新生物	Malignant neoplasm of trachea	C33	気管の悪性新生物<腫瘍>	Malignant neoplasm of trachea
C34	気管支及び肺の悪性新生物	Malignant neoplasm of bronchus and lung	C34	気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	Malignant neoplasm of bronchus and lung

現行告示			答申案		
C37	胸腺の悪性新生物	Malignant neoplasm of thymus	C37	胸腺の悪性新生物<腫瘍>	Malignant neoplasm of thymus
C38	心臓、縦隔及び胸膜の悪性新生物	Malignant neoplasm of heart, mediastinum and pleura	C38	心臓、縦隔及び胸膜の悪性新生物<腫瘍>	Malignant neoplasm of heart, mediastinum and pleura
C39	その他及び部位不明確の呼吸器系及び胸腔内臓器の悪性新生物	Malignant neoplasm of other and ill-defined sites in the respiratory system and intrathoracic organs	C39	その他及び部位不明確の呼吸器系及び胸腔内臓器の悪性新生物<腫瘍>	Malignant neoplasm of other and ill-defined sites in the respiratory system and intrathoracic organs
	骨及び関節軟骨の悪性新生物(C40-C41)	Malignant neoplasms of bone and articular cartilage (C40-C41)		骨及び関節軟骨の悪性新生物<腫瘍>(C40-C41)	Malignant neoplasms of bone and articular cartilage (C40-C41)
C40	(四)肢の骨及び関節軟骨の悪性新生物	Malignant neoplasm of bone and articular cartilage of limbs	C40	(四)肢の骨及び関節軟骨の悪性新生物<腫瘍>	Malignant neoplasm of bone and articular cartilage of limbs
C41	その他及び部位不明の骨及び関節軟骨の悪性新生物	Malignant neoplasm of bone and articular cartilage of other and unspecified sites	C41	その他及び部位不明の骨及び関節軟骨の悪性新生物<腫瘍>	Malignant neoplasm of bone and articular cartilage of other and unspecified sites
	皮膚の黒色腫及びその他の皮膚の悪性新生物(C43-C44)	Melanoma and other malignant neoplasms of skin (C43-C44)		皮膚の黒色腫及びその他の皮膚の悪性新生物<腫瘍>(C43-C44)	Melanoma and other malignant neoplasms of skin (C43-C44)
C43.1	眼瞼の悪性黒色腫、眼角を含む	Malignant melanoma of eyelid, including canthus	C43.1	眼瞼の悪性黒色腫、眼角を含む	Malignant melanoma of eyelid, including canthus
C44	皮膚のその他の悪性新生物	Other malignant neoplasms of skin	C44	皮膚のその他の悪性新生物<腫瘍>	Other malignant neoplasms of skin
C44.1	眼瞼の皮膚、眼角を含む	Skin of eyelid, including canthus	C44.1	眼瞼の皮膚、眼角を含む	Skin of eyelid, including canthus
C44.9	皮膚の悪性新生物、部位不明	Malignant neoplasm of skin, unspecified	C44.9	皮膚の悪性新生物<腫瘍>、部位不明	Malignant neoplasm of skin, unspecified
	中皮及び軟部組織の悪性新生物(C45-C49)	Malignant neoplasms of mesothelial and soft tissue(C45-C49)		中皮及び軟部組織の悪性新生物<腫瘍>(C45-C49)	Malignant neoplasms of mesothelial and soft tissue(C45-C49)
C47	末梢神経及び自律神経系の悪性新生物	Malignant neoplasm of peripheral nerves and autonomic nervous system	C47	末梢神経及び自律神経系の悪性新生物<腫瘍>	Malignant neoplasm of peripheral nerves and autonomic nervous system
C48	後腹膜及び腹膜の悪性新生物	Malignant neoplasm of retroperitoneum and peritoneum	C48	後腹膜及び腹膜の悪性新生物<腫瘍>	Malignant neoplasm of retroperitoneum and peritoneum
C49	その他の結合組織及び軟部組織の悪性新生物	Malignant neoplasm of other connective and soft tissue	C49	その他の結合組織及び軟部組織の悪性新生物<腫瘍>	Malignant neoplasm of other connective and soft tissue
	乳房の悪性新生物(C50)	Malignant neoplasm of breast (C50-C50)		乳房の悪性新生物<腫瘍>(C50)	Malignant neoplasm of breast (C50-C50)
C50	乳房の悪性新生物	Malignant neoplasm of breast	C50	乳房の悪性新生物<腫瘍>	Malignant neoplasm of breast

現行告示			答申案		
	女性生殖器の悪性新生物(C51-C58)	Malignant neoplasms of female genital organs (C51-C58)		女性生殖器の悪性新生物<腫瘍>(C51-C58)	Malignant neoplasms of female genital organs (C51-C58)
C51	外陰(部)の悪性新生物	Malignant neoplasm of vulva	C51	外陰(部)の悪性新生物<腫瘍>	Malignant neoplasm of vulva
C52	膣の悪性新生物	Malignant neoplasm of vagina	C52	膣の悪性新生物<腫瘍>	Malignant neoplasm of vagina
C53	子宮頸部の悪性新生物	Malignant neoplasm of cervix uteri	C53	子宮頸部の悪性新生物<腫瘍>	Malignant neoplasm of cervix uteri
C54	子宮体部の悪性新生物	Malignant neoplasm of corpus uteri	C54	子宮体部の悪性新生物<腫瘍>	Malignant neoplasm of corpus uteri
C55	子宮の悪性新生物, 部位不明	Malignant neoplasm of uterus, part unspecified	C55	子宮の悪性新生物<腫瘍>, 部位不明	Malignant neoplasm of uterus, part unspecified
C56	卵巣の悪性新生物	Malignant neoplasm of ovary	C56	卵巣の悪性新生物<腫瘍>	Malignant neoplasm of ovary
C57	その他及び部位不明の女性生殖器の悪性新生物	Malignant neoplasm of other and unspecified female genital organs	C57	その他及び部位不明の女性生殖器の悪性新生物<腫瘍>	Malignant neoplasm of other and unspecified female genital organs
C57.1	子宮広間膜<靱帯>	Broad ligament	C57.1	子宮広間膜<靱帯>	Broad ligament
C57.2	子宮円索<靱帯>	Round ligament	C57.2	子宮円索<靱帯>	Round ligament
C58	胎盤の悪性新生物	Malignant neoplasm of placenta	C58	胎盤の悪性新生物<腫瘍>	Malignant neoplasm of placenta
	男性生殖器の悪性新生物(C60-C63)	Malignant neoplasms of male genital organs (C60-C63)		男性生殖器の悪性新生物<腫瘍>(C60-C63)	Malignant neoplasms of male genital organs (C60-C63)
C60	陰茎の悪性新生物	Malignant neoplasm of penis	C60	陰茎の悪性新生物<腫瘍>	Malignant neoplasm of penis
C61	前立腺の悪性新生物	Malignant neoplasm of prostate	C61	前立腺の悪性新生物<腫瘍>	Malignant neoplasm of prostate
C62	精巣<睾丸>の悪性新生物	Malignant neoplasm of testis	C62	精巣<睾丸>の悪性新生物<腫瘍>	Malignant neoplasm of testis
C63	その他及び部位不明の男性生殖器の悪性新生物	Malignant neoplasm of other and unspecified male genital organs	C63	その他及び部位不明の男性生殖器の悪性新生物<腫瘍>	Malignant neoplasm of other and unspecified male genital organs
	腎尿路の悪性新生物(C64-C68)	Malignant neoplasms of urinary tract (C64-C68)		腎尿路の悪性新生物<腫瘍>(C64-C68)	Malignant neoplasms of urinary tract (C64-C68)



現行告示			答申案		
C64	腎盂を除く腎の悪性新生物	Malignant neoplasm of kidney, except renal pelvis	C64	腎盂を除く腎の悪性新生物<腫瘍>	Malignant neoplasm of kidney, except renal pelvis
C65	腎盂の悪性新生物	Malignant neoplasm of renal pelvis	C65	腎盂の悪性新生物<腫瘍>	Malignant neoplasm of renal pelvis
C66	尿管の悪性新生物	Malignant neoplasm of ureter	C66	尿管の悪性新生物<腫瘍>	Malignant neoplasm of ureter
C67	膀胱の悪性新生物	Malignant neoplasm of bladder	C67	膀胱の悪性新生物<腫瘍>	Malignant neoplasm of bladder
C68	その他及び部位不明の尿路の悪性新生物	Malignant neoplasm of other and unspecified urinary organs	C68	その他及び部位不明の尿路の悪性新生物<腫瘍>	Malignant neoplasm of other and unspecified urinary organs
	眼、脳及びその他の中枢神経系の部位の悪性新生物(C69-C72)	Malignant neoplasms of eye, brain and other parts of central nervous system (C69-C72)		眼、脳及びその他の中枢神経系の部位の悪性新生物<腫瘍>(C69-C72)	Malignant neoplasms of eye, brain and other parts of central nervous system (C69-C72)
C69	眼及び付属器の悪性新生物	Malignant neoplasm of eye and adnexa	C69	眼及び付属器の悪性新生物<腫瘍>	Malignant neoplasm of eye and adnexa
C70	髄膜の悪性新生物	Malignant neoplasm of meninges	C70	髄膜の悪性新生物<腫瘍>	Malignant neoplasm of meninges
C71	脳の悪性新生物	Malignant neoplasm of brain	C71	脳の悪性新生物<腫瘍>	Malignant neoplasm of brain
C72	脊髄、脳神経及びその他の中枢神経系の部位の悪性新生物	Malignant neoplasm of spinal cord, cranial nerves and other parts of central nervous system	C72	脊髄、脳神経及びその他の中枢神経系の部位の悪性新生物<腫瘍>	Malignant neoplasm of spinal cord, cranial nerves and other parts of central nervous system
	甲状腺及びその他の内分泌腺の悪性新生物(C73-C75)	Malignant neoplasms of thyroid and other endocrine glands (C73-C75)		甲状腺及びその他の内分泌腺の悪性新生物<腫瘍>(C73-C75)	Malignant neoplasms of thyroid and other endocrine glands (C73-C75)
C73	甲状腺の悪性新生物	Malignant neoplasm of thyroid gland	C73	甲状腺の悪性新生物<腫瘍>	Malignant neoplasm of thyroid gland
C74	副腎の悪性新生物	Malignant neoplasm of adrenal gland	C74	副腎の悪性新生物<腫瘍>	Malignant neoplasm of adrenal gland
C75	その他の内分泌腺及び関連組織の悪性新生物	Malignant neoplasm of other endocrine glands and related structures	C75	その他の内分泌腺及び関連組織の悪性新生物<腫瘍>	Malignant neoplasm of other endocrine glands and related structures
	部位不明確、続発部位及び部位不明の悪性新生物(C76-C80)	Malignant neoplasms of ill-defined, secondary and unspecified sites (C76-C80)		部位不明確、続発部位及び部位不明の悪性新生物<腫瘍>(C76-C80)	Malignant neoplasms of ill-defined, secondary and unspecified sites (C76-C80)
C76	その他及び部位不明確の悪性新生物	Malignant neoplasm of other and ill-defined sites	C76	その他及び部位不明確の悪性新生物<腫瘍>	Malignant neoplasm of other and ill-defined sites
C77	リンパ節の続発性及び部位不明の悪性新生物	Secondary and unspecified malignant neoplasm of lymph nodes	C77	リンパ節の続発性及び部位不明の悪性新生物<腫瘍>	Secondary and unspecified malignant neoplasm of lymph nodes

現行告示			答申案		
C77.4	そけい<鼠径>及び下肢リンパ節	Inguinal and lower limb lymph nodes	C77.4	そけい<鼠径>及び下肢リンパ節	Inguinal and lower limb lymph nodes
C78	呼吸器及び消化器の続発性悪性新生物	Secondary malignant neoplasm of respiratory and digestive organs	C78	呼吸器及び消化器の続発性悪性新生物<腫瘍>	Secondary malignant neoplasm of respiratory and digestive organs
C78.0	肺の続発性悪性新生物	Secondary malignant neoplasm of lung	C78.0	肺の続発性悪性新生物<腫瘍>	Secondary malignant neoplasm of lung
C78.1	縦隔の続発性悪性新生物	Secondary malignant neoplasm of mediastinum	C78.1	縦隔の続発性悪性新生物<腫瘍>	Secondary malignant neoplasm of mediastinum
C78.2	胸膜の続発性悪性新生物	Secondary malignant neoplasm of pleura	C78.2	胸膜の続発性悪性新生物<腫瘍>	Secondary malignant neoplasm of pleura
C78.3	中耳並びにその他及び部位不明の呼吸器の続発性悪性新生物	Secondary malignant neoplasm of other and unspecified respiratory organs	C78.3	中耳並びにその他及び部位不明の呼吸器の続発性悪性新生物<腫瘍>	Secondary malignant neoplasm of other and unspecified respiratory organs
C78.4	小腸の続発性悪性新生物	Secondary malignant neoplasm of small intestine	C78.4	小腸の続発性悪性新生物<腫瘍>	Secondary malignant neoplasm of small intestine
C78.5	大腸及び直腸の続発性悪性新生物	Secondary malignant neoplasm of large intestine and rectum	C78.5	大腸及び直腸の続発性悪性新生物<腫瘍>	Secondary malignant neoplasm of large intestine and rectum
C78.6	後腹膜及び腹膜の続発性悪性新生物	Secondary malignant neoplasm of retroperitoneum and peritoneum	C78.6	後腹膜及び腹膜の続発性悪性新生物<腫瘍>	Secondary malignant neoplasm of retroperitoneum and peritoneum
C78.7	肝の続発性悪性新生物	Secondary malignant neoplasm of liver	C78.7	肝及び肝内胆管の続発性悪性新生物<腫瘍>	Secondary malignant neoplasm of liver and intrahepatic bile duct
C78.8	その他及び部位不明の消化器の続発性悪性新生物	Secondary malignant neoplasm of other and unspecified digestive organs	C78.8	その他及び部位不明の消化器の続発性悪性新生物<腫瘍>	Secondary malignant neoplasm of other and unspecified digestive organs
C79	その他の部位の続発性悪性新生物	Secondary malignant neoplasm of other	C79	その他の部位及び部位不明の続発性悪性新生物<腫瘍>	Secondary malignant neoplasm of other and unspecified sites
C79.0	腎及び腎盂の続発性悪性新生物	Secondary malignant neoplasm of kidney and renal pelvis	C79.0	腎及び腎盂の続発性悪性新生物<腫瘍>	Secondary malignant neoplasm of kidney and renal pelvis
C79.1	膀胱並びにその他及び部位不明の尿路の続発性悪性新生物	Secondary malignant neoplasm of bladder and other and unspecified urinary organs	C79.1	膀胱並びにその他及び部位不明の尿路の続発性悪性新生物<腫瘍>	Secondary malignant neoplasm of bladder and other and unspecified urinary organs
C79.2	皮膚の続発性悪性新生物	Secondary malignant neoplasm of skin	C79.2	皮膚の続発性悪性新生物<腫瘍>	Secondary malignant neoplasm of skin
C79.3	脳及び脳髄膜の続発性悪性新生物	Secondary malignant neoplasm of brain and cerebral meninges	C79.3	脳及び脳髄膜の続発性悪性新生物<腫瘍>	Secondary malignant neoplasm of brain and cerebral meninges
C79.4	眼並びにその他及び部位不明の中樞神経系の続発性悪性新生物	Secondary malignant neoplasm of other and unspecified parts of nervous system	C79.4	その他及び部位不明の中樞神経系の続発性悪性新生物<腫瘍>	Secondary malignant neoplasm of other and unspecified parts of nervous system

現行告示			答申案		
C79.5	骨及び骨髄の続発性悪性新生物	Secondary malignant neoplasm of bone and bone marrow	C79.5	骨及び骨髄の続発性悪性新生物<腫瘍>	Secondary malignant neoplasm of bone and bone marrow
C79.6	卵巣の続発性悪性新生物	Secondary malignant neoplasm of ovary	C79.6	卵巣の続発性悪性新生物<腫瘍>	Secondary malignant neoplasm of ovary
C79.7	副腎の続発性悪性新生物	Secondary malignant neoplasm of adrenal gland	C79.7	副腎の続発性悪性新生物<腫瘍>	Secondary malignant neoplasm of adrenal gland
C79.8	その他の明示された部位の続発性悪性新生物	Secondary malignant neoplasm of other specified sites	C79.8	その他の明示された部位の続発性悪性新生物<腫瘍>	Secondary malignant neoplasm of other specified sites
	新規		C79.9	続発性悪性新生物<腫瘍>, 部位不明	Secondary malignant neoplasm, unspecified site
C80	部位の明示されない悪性新生物	Malignant neoplasm without specification of site	C80	悪性新生物<腫瘍>, 部位が明示されていないもの	Malignant neoplasm, without specification of site
	新規		C80.0	悪性新生物<腫瘍>, 原発部位不明と記載されたもの	Malignant neoplasm, primary site unknown, so stated
	新規		C80.9	悪性新生物<腫瘍>, 原発部位詳細不明	Malignant neoplasm, primary site unspecified
	リンパ組織, 造血組織及び関連組織の悪性新生物(C81-C96)	Malignant neoplasms, stated or presumed to be primary, of lymphoid, haematopoietic and related tissue (C81-C96)		リンパ組織, 造血組織及び関連組織の悪性新生物<腫瘍>(C81-C96)	Malignant neoplasms, stated or presumed to be primary, of lymphoid, haematopoietic and related tissue (C81-C96)
C81	ホジキン<Hodgkin>病	Hodgkin's disease	C81	ホジキン<Hodgkin>リンパ腫	Hodgkin lymphoma
C81.0	リンパ球優勢型	Lymphocytic predominance	C81.0	結節性リンパ球優勢型ホジキン<Hodgkin>リンパ腫	Nodular lymphocyte predominant Hodgkin lymphoma
C81.1	結節硬化型	Nodular sclerosis	C81.1	結節硬化型(古典的)ホジキン<Hodgkin>リンパ腫	Nodular sclerosis (classical) Hodgkin lymphoma
C81.2	混合細胞型	Mixed cellularity	C81.2	混合細胞型(古典的)ホジキン<Hodgkin>リンパ腫	Mixed cellularity (classical) Hodgkin lymphoma
C81.3	リンパ球減少型	Lymphocytic depletion	C81.3	リンパ球減少型(古典的)ホジキン<Hodgkin>リンパ腫	Lymphocyte depleted (classical) Hodgkin lymphoma
	新規		C81.4	リンパ球豊富型(古典的)ホジキン<Hodgkin>リンパ腫	Lymphocyte-rich (classical) Hodgkin lymphoma
C81.7	その他のホジキン<Hodgkin>病	Other Hodgkin's disease	C81.7	その他の(古典的)ホジキン<Hodgkin>リンパ腫	Other (classical) Hodgkin lymphoma
C81.9	ホジキン<Hodgkin>病, 詳細不明	Hodgkin's disease, unspecified	C81.9	ホジキン<Hodgkin>リンパ腫, 詳細不明	Hodgkin lymphoma, unspecified

現行告示			答申案		
C82	ろく瀘>胞性[結節性]非ホジキン<non-Hodgkin>リンパ腫	Follicular [nodular] non-Hodgkin's lymphoma	C82	ろく瀘>胞性リンパ腫	Follicular lymphoma
C82.0	中細胞型, ろく瀘>胞性	Small cleaved cell, follicular	C82.0	ろく瀘>胞性リンパ腫グレードⅠ	Follicular lymphoma grade I
C82.1	中細胞及び大細胞混合型, ろく瀘>胞性	Mixed small cleaved and large cell, follicular	C82.1	ろく瀘>胞性リンパ腫グレードⅡ	Follicular lymphoma grade II
C82.2	大細胞型, ろく瀘>胞性	Large cell, follicular	C82.2	ろく瀘>胞性リンパ腫グレードⅢ, 詳細不明	Follicular lymphoma grade III, unspecified
	新規		C82.3	ろく瀘>胞性リンパ腫グレードⅢa	Follicular lymphoma grade IIIa
	新規		C82.4	ろく瀘>胞性リンパ腫グレードⅢb	Follicular lymphoma grade IIIb
	新規		C82.5	びまん性ろく瀘>胞中心リンパ腫	Diffuse follicle centre lymphoma
	新規		C82.6	皮膚ろく瀘>胞中心リンパ腫	Cutaneous follicle centre lymphoma
C82.7	ろく瀘>胞性非ホジキン<non-Hodgkin>リンパ腫のその他の型	Other types of follicular non-Hodgkin's lymphoma	C82.7	ろく瀘>胞性リンパ腫のその他の型	Other types of follicular lymphoma
C82.9	ろく瀘>胞性非ホジキン<non-Hodgkin>リンパ腫, 詳細不明	Follicular non-Hodgkin's lymphoma, unspecified	C82.9	ろく瀘>胞性リンパ腫, 詳細不明	Follicular lymphoma, unspecified
C83	びまん性非ホジキン<non-Hodgkin>リンパ腫	Diffuse non-Hodgkin's lymphoma	C83	非ろく瀘>胞性リンパ腫	Non-follicular lymphoma
C83.0	小細胞型(びまん性)	Small cell (diffuse)	C83.0	小細胞型B細胞性リンパ腫	Small cell B-cell lymphoma
C83.1	小切れ込み核細胞型(びまん性)	Small cleaved cell (diffuse)	C83.1	マンテル細胞リンパ腫	Mantle cell lymphoma
C83.2	小細胞及び大細胞混合型(びまん性)	Mixed small and large cell (diffuse)		削除	
C83.3	大細胞型(びまん性)	Large cell (diffuse)	C83.3	びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫	Diffuse large B-cell lymphoma
C83.4	免疫芽球型(びまん性)	Immunoblastic (diffuse)		削除	
C83.5	リンパ芽球型(びまん性)	Lymphoblastic (diffuse)	C83.5	リンパ芽球性(びまん性)リンパ腫	Lymphoblastic (diffuse) lymphoma

現行告示			答申案		
C83.6	未分化型(びまん性)	Undifferentiated (diffuse)		削除	
C83.7	バーキット<Burkitt>腫瘍	Burkitt's tumour	C83.7	バーキット<Burkitt>リンパ腫	Burkitt lymphoma
C83.8	びまん性非ホジキン<non-Hodgkin>リンパ腫のその他の型	Other types of diffuse non-Hodgkin's lymphoma	C83.8	その他の非ろく濾>胞性リンパ腫	Other non-follicular lymphoma
C83.9	びまん性非ホジキン<non-Hodgkin>リンパ腫, 詳細不明	Diffuse non-Hodgkin's lymphoma, unspecified	C83.9	非ろく濾>胞性(びまん性)リンパ腫, 詳細不明	Non-follicular (diffuse) lymphoma, unspecified
C84	末梢性及び皮膚T細胞リンパ腫	Peripheral and cutaneous T-cell lymphomas	C84	成熟T/NK細胞リンパ腫	Mature T/NK-cell lymphomas
C84.2	Tゾーン<T-zone>リンパ腫	T-zone lymphoma		削除	
C84.3	リンパ類上皮性リンパ腫	Lymphoepithelioid lymphoma		削除	
C84.4	末梢性T細胞リンパ腫	Peripheral T-cell lymphoma	C84.4	末梢性T細胞リンパ腫, 他に分類されないもの	Peripheral T-cell lymphoma, not elsewhere classified
C84.5	その他及び詳細不明のT細胞リンパ腫	Other and unspecified T-cell lymphomas	C84.5	その他の成熟T/NK細胞リンパ腫	Other mature T/NK-cell lymphomas
	新規		C84.6	未分化大細胞型リンパ腫, ALK陽性	Anaplastic large cell lymphoma, ALK-positive
	新規		C84.7	未分化大細胞型リンパ腫, ALK陰性	Anaplastic large cell lymphoma, ALK-negative
	新規		C84.8	皮膚T細胞リンパ腫, 詳細不明	Cutaneous T-cell lymphoma, unspecified
	新規		C84.9	成熟T/NK細胞リンパ腫, 詳細不明	Mature T/NK-cell lymphoma, unspecified
C85.0	リンパ肉腫	Lymphosarcoma		削除	
C85.1	B細胞リンパ腫, 詳細不明	B-cell lymphoma, unspecified	C85.1	B細胞性リンパ腫, 詳細不明	B-cell lymphoma, unspecified
	新規		C85.2	縦隔(胸腺)大細胞型B細胞性リンパ腫	Mediastinal (thymic) large B-cell lymphoma
C85.9	非ホジキン<non-Hodgkin>リンパ腫, 型不明	Non-Hodgkin's lymphoma, unspecified type	C85.9	非ホジキン<non-Hodgkin>リンパ腫, 詳細不明	Non-Hodgkin lymphoma, unspecified

現行告示			答申案		
	新規		C86	T/NK細胞リンパ腫のその他の明示された型	Other specified types of T/NK-cell lymphoma
	新規		C86.0	節外性NK/T細胞リンパ腫, 鼻型	Extranodal NK/T-cell lymphoma, nasal type
	新規		C86.1	肝脾T細胞リンパ腫	Hepatosplenic T-cell lymphoma
	新規		C86.2	腸症<腸管>型T細胞リンパ腫	Enteropathy-type (intestinal) T-cell lymphoma
	新規		C86.3	皮下脂肪織炎様T細胞リンパ腫	Subcutaneous panniculitis-like T-cell lymphoma
	新規		C86.4	芽球性NK細胞リンパ腫	Blastic NK-cell lymphoma
	新規		C86.5	血管免疫芽球性T細胞リンパ腫	Angioimmunoblastic T-cell lymphoma
	新規		C86.6	原発性皮膚CD30陽性T細胞増殖	Primary cutaneous CD30-positive T-cell proliferations
C88.0	ワルデンストレーム<Waldenström>マクログロブリン血症	Waldenström's macroglobulinaemia	C88.0	ワルデンシュトレーム<Waldenström>マクログロブリン血症	Waldenström's macroglobulinaemia
C88.1	アルファH<重>鎖病	Alpha heavy chain disease		削除	
C88.2	ガンマH<重>鎖病	Gamma heavy chain disease	C88.2	その他のH<重>鎖病	Other heavy chain disease
	新規		C88.4	節外性粘膜関連リンパ組織辺縁帯B細胞性リンパ腫[MALTリンパ腫]	Extranodal marginal zone B-cell lymphoma of mucosa-associated lymphoid tissue [MALT-lymphoma]
C90	多発性骨髄腫及び悪性形質細胞性新生物	Multiple myeloma and malignant plasma cell neoplasms	C90	多発性骨髄腫及び悪性形質細胞性新生物<腫瘍>	Multiple myeloma and malignant plasma cell neoplasms
C90.1	形質細胞白血病	Plasma cell leukaemia	C90.1	形質細胞性白血病	Plasma cell leukaemia
C90.2	形質細胞腫, 髄外性	Plasmacytoma, extramedullary	C90.2	髄外(性)形質細胞腫	Extramedullary plasmacytoma
	新規		C90.3	孤立性形質細胞腫	Solitary plasmacytoma
C91.0	急性リンパ芽球性白血病	Acute lymphoblastic leukaemia	C91.0	急性リンパ芽球性白血病[ALL]	Acute lymphoblastic leukaemia [All]

現行告示			答申案		
C91.1	慢性リンパ球性白血病	Chronic lymphocytic leukaemia	C91.1	B細胞性慢性リンパ球性白血病	Chronic lymphocytic leukaemia of B-cell type
<u>C91.2</u>	<u>亜急性リンパ球性白血病</u>	Subacute lymphocytic leukaemia		削除	
C91.3	前リンパ球性白血病	Prolymphocytic leukaemia	C91.3	B細胞性前リンパ性白血病	Prolymphocytic leukaemia of B-cell type
C91.5	成人型T細胞白血病	Adult T-cell leukaemia	C91.5	成人T細胞リンパ腫/白血病[HTLV-1関連]	Adult T-cell lymphoma/leukaemia [HTLV-1-associated]
	新規		<u>C91.6</u>	<u>T細胞性前リンパ性白血病</u>	Prolymphocytic leukaemia of T-cell type
	新規		<u>C91.8</u>	<u>成熟B細胞性白血病バーキット&lt;Burkitt&gt;型</u>	Mature B-cell leukaemia Burkitt-type
C92.0	急性骨髄性白血病	Acute myeloid leukaemia	C92.0	急性骨髄芽球性白血病[AML]	Acute myeloblastic leukaemia [AML]
C92.1	慢性骨髄性白血病	Chronic myeloid leukaemia	C92.1	慢性骨髄性白血病[CML], BCR/ABL陽性	Chronic myeloid leukaemia [CML], BCR/ABL-positive
C92.2	<u>亜急性骨髄性白血病</u>	Subacute myeloid leukaemia	C92.2	<u>非定型慢性骨髄性白血病, BCR/ABL陰性</u>	Atypical chronic myeloid leukaemia, BCR/ABL-negative
C92.4	急性前骨髄球性白血病	Acute promyelocytic leukaemia	C92.4	急性前骨髄球性白血病[PML]	Acute promyelocytic leukaemia [PML]
	新規		<u>C92.6</u>	<u>11q23異常を伴う急性骨髄性白血病</u>	Acute myeloid leukaemia with 11q23-abnormality
	新規		<u>C92.8</u>	<u>多系統異形成を伴う急性骨髄性白血病</u>	Acute myeloid leukaemia with multilineage dysplasia
C93.0	急性単球性白血病	Acute monocytic leukaemia	C93.0	急性単芽球性/単球性白血病	Acute monoblastic/monocytic leukaemia
C93.1	慢性単球性白血病	Chronic monocytic leukaemia	C93.1	慢性骨髄単球性白血病	Chronic myelomonocytic leukaemia
<u>C93.2</u>	<u>亜急性単球性白血病</u>	Subacute monocytic leukaemia		削除	
	新規		<u>C93.3</u>	<u>若年性骨髄単球性白血病</u>	Juvenile myelomonocytic leukaemia
C94.0	急性赤血病及び赤白血病	Acute erythraemia and erythroleukaemia	C94.0	急性赤白血病	Acute erythroid leukaemia

現行告示			答申案		
C94.1	慢性赤血病	Chronic erythraemia		削除	
C94.4	急性汎骨髄症	Acute panmyelosis	C94.4	骨髄線維症を伴う急性汎骨髄症	Acute panmyelosis with myelofibrosis
C94.5	急性骨髄線維症	Acute myelofibrosis		削除	
	新規		C94.6	骨髄異形成及び骨髄増殖性疾患、他に分類されないもの	Myelodysplastic and myeloproliferative disease, not elsewhere classified
C95.2	細胞型不明の亜急性白血病	Subacute leukaemia of unspecified cell type		削除	
C96	リンパ組織、造血組織および関連組織のその他および詳細不明の悪性新生物	Other and unspecified malignant neoplasms of lymphoid, haematopoietic and related tissue	C96	リンパ組織、造血組織及び関連組織のその他及び詳細不明の悪性新生物<腫瘍>	Other and unspecified malignant neoplasms of lymphoid, haematopoietic and related tissue
C96.0	レットラー・ジーベ<Letterer-Siwe>病	Letterer-Siwe disease	C96.0	多病巣性及び多臓器型(播種性)ランゲルハンス<Langerhans>細胞組織球症[レットレル・ジーベ<Letterer-Siwe>病]	Multifocal and multisystemic (disseminated) Langerhans-cell histiocytosis [Letterer-Siwe disease]
C96.1	悪性組織球症<malignant histiocytosis>	Malignant histiocytosis		削除	
C96.3	真性組織球性リンパ腫	True histiocytic lymphoma		削除	
	新規		C96.4	樹状細胞(補助細胞)肉腫	Sarcoma of dendritic cells (accessory cells)
	新規		C96.5	多病巣性及び単一臓器型ランゲルハンス<Langerhans>細胞組織球症	Multifocal and unisystemic Langerhans-cell histiocytosis
	新規		C96.6	単発性ランゲルハンス<Langerhans>細胞組織球症	Unifocal Langerhans-cell histiocytosis
C96.7	リンパ組織、造血組織および関連組織のその他の明示された悪性新生物	Other specified malignant neoplasms of lymphoid, haematopoietic and related tissue	C96.7	リンパ組織、造血組織及び関連組織のその他の明示された悪性新生物<腫瘍>	Other specified malignant neoplasms of lymphoid, haematopoietic and related tissue
	新規		C96.8	組織球性肉腫	Histiocytic sarcoma
C96.9	リンパ組織、造血組織および関連組織の悪性新生物、詳細不明	Malignant neoplasm of lymphoid, haematopoietic and related tissue, unspecified	C96.9	リンパ組織、造血組織及び関連組織の悪性新生物<腫瘍>、詳細不明	Malignant neoplasm of lymphoid, haematopoietic and related tissue, unspecified
	独立した(原発性)多部位の悪性新生物(C97)	Malignant neoplasms of independent (primary) multiple sites (C97)		独立した(原発性)多部位の悪性新生物<腫瘍>(C97)	Malignant neoplasms of independent (primary) multiple sites (C97)
C97	独立した(原発性)多部位の悪性新生物	Malignant neoplasms of independent (primary) multiple sites	C97	独立した(原発性)多部位の悪性新生物<腫瘍>	Malignant neoplasms of independent (primary) multiple sites



現行告示			答申案		
	上皮内新生物(D00-D09)	In situ neoplasms (D00-D09)		上皮内新生物<腫瘍>(D00-D09)	In situ neoplasms (D00-D09)
D03.1	眼瞼の上皮内黒色腫, 眼角を含む	Melanoma in situ of eyelid, including canthus	D03.1	眼瞼の上皮内黒色腫, 眼角を含む	Melanoma in situ of eyelid, including canthus
D04.1	眼瞼の皮膚, 眼角を含む	Skin of eyelid, including canthus	D04.1	眼瞼の皮膚, 眼角を含む	Skin of eyelid, including canthus
	良性新生物(D10-D36)	Benign neoplasms (D10-D36)		良性新生物<腫瘍>(D10-D36)	Benign neoplasms (D10-D36)
D10	口腔及び咽頭の良性新生物	Benign neoplasm of mouth and pharynx	D10	口腔及び咽頭の良性新生物<腫瘍>	Benign neoplasm of mouth and pharynx
D11	大唾液腺の良性新生物	Benign neoplasm of major salivary glands	D11	大唾液腺の良性新生物<腫瘍>	Benign neoplasm of major salivary glands
D12	結腸, 直腸, 肛門及び肛門管の良性新生物	Benign neoplasm of colon, rectum, anus and anal canal	D12	結腸, 直腸, 肛門及び肛門管の良性新生物<腫瘍>	Benign neoplasm of colon, rectum, anus and anal canal
D13	消化器系のその他及び部位不明の良性新生物	Benign neoplasm of other and ill-defined parts of digestive system	D13	消化器系のその他及び部位不明の良性新生物<腫瘍>	Benign neoplasm of other and ill-defined parts of digestive system
D14	中耳及び呼吸器系の良性新生物	Benign neoplasm of middle ear and respiratory system	D14	中耳及び呼吸器系の良性新生物<腫瘍>	Benign neoplasm of middle ear and respiratory system
D15	その他及び部位不明の胸腔内臓器の良性新生物	Benign neoplasm of other and unspecified intrathoracic organs	D15	その他及び部位不明の胸腔内臓器の良性新生物<腫瘍>	Benign neoplasm of other and unspecified intrathoracic organs
D16	骨及び関節軟骨の良性新生物	Benign neoplasm of bone and articular cartilage	D16	骨及び関節軟骨の良性新生物<腫瘍>	Benign neoplasm of bone and articular cartilage
D17	良性脂肪細胞性新生物(脂肪腫を含む)	Benign lipomatous neoplasm	D17	良性脂肪細胞性新生物<腫瘍>(脂肪腫を含む)	Benign lipomatous neoplasm
D17.9	良性脂肪腫性新生物, 部位不明	Benign lipomatous neoplasm, unspecified	D17.9	良性脂肪腫性新生物<腫瘍>, 部位不明	Benign lipomatous neoplasm, unspecified
D19	中皮組織の良性新生物	Benign neoplasm of mesothelial tissue	D19	中皮組織の良性新生物<腫瘍>	Benign neoplasm of mesothelial tissue
D20	後腹膜及び腹膜の軟部組織の良性新生物	Benign neoplasm of soft tissue of retroperitoneum and peritoneum	D20	後腹膜及び腹膜の軟部組織の良性新生物<腫瘍>	Benign neoplasm of soft tissue of retroperitoneum and peritoneum
D21	結合組織及びその他の軟部組織のその他の良性新生物	Other benign neoplasms of connective and other soft tissue	D21	結合組織及びその他の軟部組織のその他の良性新生物<腫瘍>	Other benign neoplasms of connective and other soft tissue
D22.1	眼瞼のメラニン細胞性母斑, 眼角を含む	Melanocytic naevi of eyelid, including canthus	D22.1	眼瞼のメラニン細胞性母斑, 眼角を含む	Melanocytic naevi of eyelid, including canthus

現行告示			答申案		
D23	皮膚のその他の良性新生物	Other benign neoplasms of skin	D23	皮膚のその他の良性新生物<腫瘍>	Other benign neoplasms of skin
D23.1	眼瞼の皮膚, 眼角を含む	Skin of eyelid, including canthus	D23.1	眼瞼の皮膚, 眼角を含む	Skin of eyelid, including canthus
D24	乳房の良性新生物	Benign neoplasm of breast	D24	乳房の良性新生物<腫瘍>	Benign neoplasm of breast
D26	子宮のその他の良性新生物	Other benign neoplasms of uterus	D26	子宮のその他の良性新生物<腫瘍>	Other benign neoplasms of uterus
D27	卵巣の良性新生物	Benign neoplasm of ovary	D27	卵巣の良性新生物<腫瘍>	Benign neoplasm of ovary
D28	その他及び部位不明の女性生殖器の良性新生物	Benign neoplasm of other and unspecified female genital organs	D28	その他及び部位不明の女性生殖器の良性新生物<腫瘍>	Benign neoplasm of other and unspecified female genital organs
D28.2	卵管及び子宮靱帯<広間膜, 円索>	Uterine tubes and ligaments	D28.2	卵管及び子宮靱帯<広間膜, 円索>	Uterine tubes and ligaments
D29	男性生殖器の良性新生物	Benign neoplasm of male genital organs	D29	男性生殖器の良性新生物<腫瘍>	Benign neoplasm of male genital organs
D30	腎尿路の良性新生物	Benign neoplasm of urinary organs	D30	腎尿路の良性新生物<腫瘍>	Benign neoplasm of urinary organs
D31	眼及び付属器の良性新生物	Benign neoplasm of eye and adnexa	D31	眼及び付属器の良性新生物<腫瘍>	Benign neoplasm of eye and adnexa
D32	髄膜の良性新生物	Benign neoplasm of meninges	D32	髄膜の良性新生物<腫瘍>	Benign neoplasm of meninges
D33	脳及び中枢神経系のその他の部位の良性新生物	Benign neoplasm of brain and other parts of central nervous system	D33	脳及び中枢神経系のその他の部位の良性新生物<腫瘍>	Benign neoplasm of brain and other parts of central nervous system
D34	甲状腺の良性新生物	Benign neoplasm of thyroid gland	D34	甲状腺の良性新生物<腫瘍>	Benign neoplasm of thyroid gland
D35	その他及び部位不明の内分泌腺の良性新生物	Benign neoplasm of other and unspecified endocrine glands	D35	その他及び部位不明の内分泌腺の良性新生物<腫瘍>	Benign neoplasm of other and unspecified endocrine glands
D36	その他の部位及び部位不明の良性新生物	Benign neoplasm of other and unspecified sites	D36	その他の部位及び部位不明の良性新生物<腫瘍>	Benign neoplasm of other and unspecified sites
D36.9	部位不明の良性新生物	Benign neoplasm of unspecified site	D36.9	部位不明の良性新生物<腫瘍>	Benign neoplasm of unspecified site
	性状不詳又は不明の新生物(D37-D48)	Neoplasms of uncertain or unknown behaviour (D37-D48)		性状不詳又は不明の新生物<腫瘍>(D37-D48)	Neoplasms of uncertain or unknown behaviour (D37-D48)

現行告示			答申案		
D37	口腔及び消化器の性状不詳又は不明の <u>新生物</u>	Neoplasm of uncertain or unknown behaviour of oral cavity and digestive organs	D37	口腔及び消化器の性状不詳又は不明の <u>新生物&lt;腫瘍&gt;</u>	Neoplasm of uncertain or unknown behaviour of oral cavity and digestive organs
D38	中耳, 呼吸器及び胸腔内臓器の性状不詳又は不明の <u>新生物</u>	Neoplasm of uncertain or unknown behaviour of middle ear and respiratory and intrathoracic organs	D38	中耳, 呼吸器及び胸腔内臓器の性状不詳又は不明の <u>新生物&lt;腫瘍&gt;</u>	Neoplasm of uncertain or unknown behaviour of middle ear and respiratory and intrathoracic organs
D39	女性生殖器の性状不詳又は不明の <u>新生物</u>	Neoplasm of uncertain or unknown behaviour of female genital organs	D39	女性生殖器の性状不詳又は不明の <u>新生物&lt;腫瘍&gt;</u>	Neoplasm of uncertain or unknown behaviour of female genital organs
D40	男性生殖器の性状不詳又は不明の <u>新生物</u>	Neoplasm of uncertain or unknown behaviour of male genital organs	D40	男性生殖器の性状不詳又は不明の <u>新生物&lt;腫瘍&gt;</u>	Neoplasm of uncertain or unknown behaviour of male genital organs
D41	腎尿路の性状不詳又は不明の <u>新生物</u>	Neoplasm of uncertain or unknown behaviour of urinary organs	D41	腎尿路の性状不詳又は不明の <u>新生物&lt;腫瘍&gt;</u>	Neoplasm of uncertain or unknown behaviour of urinary organs
D42	髄膜の性状不詳又は不明の <u>新生物</u>	Neoplasm of uncertain or unknown behaviour of meninges	D42	髄膜の性状不詳又は不明の <u>新生物&lt;腫瘍&gt;</u>	Neoplasm of uncertain or unknown behaviour of meninges
D43	脳及び中枢神経系の性状不詳又は不明の <u>新生物</u>	Neoplasm of uncertain or unknown behaviour of brain and central nervous system	D43	脳及び中枢神経系の性状不詳又は不明の <u>新生物&lt;腫瘍&gt;</u>	Neoplasm of uncertain or unknown behaviour of brain and central nervous system
D44	内分泌腺の性状不詳又は不明の <u>新生物</u>	Neoplasm of uncertain or unknown behaviour of endocrine glands	D44	内分泌腺の性状不詳又は不明の <u>新生物&lt;腫瘍&gt;</u>	Neoplasm of uncertain or unknown behaviour of endocrine glands
D46.0	<u>鉄芽球を伴わない不応性貧血と記載されたもの</u>	Refractory anaemia without sideroblasts, so stated	D46.0	<u>環状鉄芽球を伴わない不応性貧血と記載されたもの</u>	Refractory anaemia without ringed sideroblasts, so stated
D46.1	<u>鉄芽球を伴う不応性貧血</u>	Refractory anaemia with sideroblasts	D46.1	<u>環状鉄芽球を伴う不応性貧血</u>	Refractory anaemia with ringed sideroblasts
D46.3	<u>白血病移行期にある芽球過剰性不応性貧血</u>	Refractory anaemia with excess of blasts with transformation		削除	
	新規		D46.5	<u>多系統異形成を伴う不応性血球減少</u>	Refractory anaemia with multi-lineage dysplasia
	新規		D46.6	<u>単独del(5q)染色体異常を伴う骨髄異形成症候群</u>	Myelodysplastic syndrome with isolated del(5q) chromosomal abnormality
D47	リンパ組織, 造血組織及び関連組織の性状不詳又は不明の <u>その他の新生物</u>	Other neoplasms of uncertain or unknown behaviour of lymphoid, haematopoietic and related tissue	D47	リンパ組織, 造血組織及び関連組織の性状不詳又は不明の <u>その他の新生物&lt;腫瘍&gt;</u>	Other neoplasms of uncertain or unknown behaviour of lymphoid, haematopoietic and related tissue
D47.2	<u>単クローン性異常免疫グロブリン血症&lt;monoclonal gammopathy&gt;</u>	Monoclonal gammopathy	D47.2	<u>意義不明の単クローングロブリン血症(MGUS)</u>	Monoclonal gammopathy of undetermined significance (MGUS)
	新規		D47.4	<u>骨髄線維症</u>	Osteomyelofibrosis

現行告示			答申案		
	新規		D47.5	慢性好酸球性白血病[好酸球増加症候群]	Chronic eosinophilic leukaemia [hypereosinophilic syndrome]
D47.7	リンパ組織, 造血組織及び関連組織の性状不詳又は不明のその他の明示された新生物	Other specified neoplasms of uncertain or unknown behaviour of lymphoid, haematopoietic and related tissue	D47.7	リンパ組織, 造血組織及び関連組織の性状不詳又は不明のその他の明示された新生物<腫瘍>	Other specified neoplasms of uncertain or unknown behaviour of lymphoid, haematopoietic and related tissue
D47.9	リンパ組織, 造血組織及び関連組織の性状不詳又は不明の新生物, 詳細不明	Neoplasm of uncertain or unknown behaviour of lymphoid, haematopoietic and related tissue, unspecified	D47.9	リンパ組織, 造血組織及び関連組織の性状不詳又は不明の新生物<腫瘍>, 詳細不明	Neoplasm of uncertain or unknown behaviour of lymphoid, haematopoietic and related tissue, unspecified
D48	その他及び部位不明の性状不詳又は不明の新生物	Neoplasm of uncertain or unknown behaviour of other and unspecified sites	D48	その他及び部位不明の性状不詳又は不明の新生物<腫瘍>	Neoplasm of uncertain or unknown behaviour of other and unspecified sites
D48.9	性状不詳又は不明の新生物, 部位不明	Neoplasm of uncertain or unknown behaviour, unspecified	D48.9	性状不詳又は不明の新生物<腫瘍>, 部位不明	Neoplasm of uncertain or unknown behaviour, unspecified
<b>第三章 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害</b>		<b>Chapter III Diseases of the blood and blood-forming organs and certain disorders involving the immune mechanism (D50-D89)</b>	<b>第三章 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害(D50-D89)</b>		<b>Chapter III Diseases of the blood and blood-forming organs and certain disorders involving the immune mechanism (D50-D89)</b>
D51.1	ビタミンB12欠乏性貧血, たんぱく<蛋白>尿を伴う選択的ビタミンB12吸収不良によるもの	Vitamin B12 deficiency anaemia due to selective vitamin B12 malabsorption with proteinuria	D51.1	ビタミンB12欠乏性貧血, タンパク<蛋白>尿を伴う選択的ビタミンB12吸収不良によるもの	Vitamin B12 deficiency anaemia due to selective vitamin B12 malabsorption with proteinuria
D53.0	たんぱく<蛋白>欠乏性貧血	Protein deficiency anaemia	D53.0	タンパク<蛋白>欠乏性貧血	Protein deficiency anaemia
D59.5	発作性夜間ヘモグロビン<血色素>尿症[マルキアファヴァ・ミケリ<Marchiafava-Micheli>症候群]	Paroxysmal nocturnal haemoglobinuria [Marchiafava-Micheli]	D59.5	発作性夜間ヘモグロビン<血色素>尿症[マルキアファヴァ・ミケリ<Marchiafava-Micheli>症候群]	Paroxysmal nocturnal haemoglobinuria [Marchiafava-Micheli]
D63.0*	新生物性疾患における貧血(C00-D48†)	Anaemia in neoplastic disease (C00-D48†)	D63.0*	新生物<腫瘍>性疾患における貧血(C00-D48†)	Anaemia in neoplastic disease (C00-D48†)
	新規		D68.5	原発性血栓形成傾向	Primary Thrombophilia
	新規		D68.6	その他の血栓形成傾向	Other Thrombophilia
D75.2	本態性血小板増加症	Essential thrombocytosis		削除	
D76	リンパ細網組織及び細網組織球系の疾患	Certain diseases involving lymphoreticular tissue and reticulohistiocytic system	D76	リンパ細網組織及び細網組織球組織のその他の明示された疾患	Other specified diseases with participation of lymphoreticular and reticulohistiocytic tissue
D76.0	ランゲルハンス<Langerhans>細胞組織球症, 他に分類されないもの	Langerhans' cell histiocytosis, not elsewhere classified		削除	
	新規		D89.3	免疫再構築症候群	Immune reconstitution syndrome

現行告示			答申案		
第IV章 内分泌, 栄養及び代謝疾患		Chapter IV Endocrine, nutritional and metabolic diseases (E00-E90)	第IV章 内分泌, 栄養及び代謝疾患 (E00-E90)		Chapter IV Endocrine, nutritional and metabolic diseases (E00-E90)
E10	<u>インスリン依存性糖尿病&lt;IDDM&gt;</u>	Insulin-dependent diabetes mellitus	E10	<u>1型&lt;インスリン依存性&gt;糖尿病&lt;IDDM&gt;</u>	Type 1 diabetes mellitus
E11	<u>インスリン非依存性糖尿病&lt;NIDDM&gt;</u>	Non-insulin-dependent diabetes mellitus	E11	<u>2型&lt;インスリン非依存性&gt;糖尿病&lt;NIDDM&gt;</u>	Type 2 diabetes mellitus
E43	詳細不明の重度たんぱく<蛋白>エネルギー性栄養失調(症)	Unspecified severe protein-energy malnutrition	E43	詳細不明の重度タンパク<蛋白>エネルギー性栄養失調(症)	Unspecified severe protein-energy malnutrition
E44	中等度及び軽度のたんぱく<蛋白>エネルギー性栄養失調(症)	Protein-energy malnutrition of moderate and mild degree	E44	中等度及び軽度のタンパク<蛋白>エネルギー性栄養失調(症)	Protein-energy malnutrition of moderate and mild degree
E44.0	中等度たんぱく<蛋白>エネルギー性栄養失調(症)	Moderate protein-energy malnutrition	E44.0	中等度タンパク<蛋白>エネルギー性栄養失調(症)	Moderate protein-energy malnutrition
E44.1	軽度たんぱく<蛋白>エネルギー性栄養失調(症)	Mild protein-energy malnutrition	E44.1	軽度タンパク<蛋白>エネルギー性栄養失調(症)	Mild protein-energy malnutrition
E45	たんぱく<蛋白>エネルギー性栄養失調(症)に続発する発育遅延	Retarded development following protein-energy malnutrition	E45	タンパク<蛋白>エネルギー性栄養失調(症)に続発する発育遅延	Retarded development following protein-energy malnutrition
E46	詳細不明のたんぱく<蛋白>エネルギー性栄養失調(症)	Unspecified protein-energy malnutrition	E46	詳細不明のタンパク<蛋白>エネルギー性栄養失調(症)	Unspecified protein-energy malnutrition
E61	その他の栄養素欠乏症	Deficiency of other nutrient elements	E61	その他の栄養元素欠乏症	Deficiency of other nutrient elements
E61.7	重複(性)栄養素欠乏症	Deficiency of multiple nutrient elements	E61.7	重複(性)栄養元素欠乏症	Deficiency of multiple nutrient elements
E61.8	その他の明示された栄養素欠乏症	Deficiency of other specified nutrient elements	E61.8	その他の明示された栄養元素欠乏症	Deficiency of other specified nutrient elements
E61.9	栄養素欠乏症, 詳細不明	Deficiency of nutrient element, unspecified	E61.9	栄養元素欠乏症, 詳細不明	Deficiency of nutrient element, unspecified
E64.0	たんぱく<蛋白>エネルギー性栄養失調(症)の続発・後遺症	Sequelae of protein-energy malnutrition	E64.0	タンパク<蛋白>エネルギー性栄養失調(症)の続発・後遺症	Sequelae of protein-energy malnutrition
E77	糖たんぱく<蛋白>代謝障害	Disorders of glycoprotein metabolism	E77	糖タンパク<蛋白>代謝障害	Disorders of glycoprotein metabolism
E77.1	糖たんぱく<蛋白>分解における欠陥	Defects in glycoprotein degradation	E77.1	糖タンパク<蛋白>分解における欠陥	Defects in glycoprotein degradation
E77.8	その他の糖たんぱく<蛋白>代謝障害	Other disorders of glycoprotein metabolism	E77.8	その他の糖タンパク<蛋白>代謝障害	Other disorders of glycoprotein metabolism

現行告示			答申案		
E77.9	糖たんぱく<蛋白>代謝障害, 詳細不明	Disorder of glycoprotein metabolism, unspecified	E77.9	糖タンパク<蛋白>代謝障害, 詳細不明	Disorder of glycoprotein metabolism, unspecified
E78	リポたんぱく<蛋白>代謝障害及びその他の脂(質)血症	Disorders of lipoprotein metabolism and other lipidaemias	E78	リポタンパク<蛋白>代謝障害及びその他の脂(質)血症	Disorders of lipoprotein metabolism and other lipidaemias
E78.6	リポたんぱく<蛋白>欠乏症	Lipoprotein deficiency	E78.6	リポタンパク<蛋白>欠乏症	Lipoprotein deficiency
E78.8	その他のリポたんぱく<蛋白>代謝障害	Other disorders of lipoprotein metabolism	E78.8	その他のリポタンパク<蛋白>代謝障害	Other disorders of lipoprotein metabolism
E78.9	リポたんぱく<蛋白>代謝障害, 詳細不明	Disorder of lipoprotein metabolism, unspecified	E78.9	リポタンパク<蛋白>代謝障害, 詳細不明	Disorder of lipoprotein metabolism, unspecified
E80.5	クリグラー・ナジャー<Crigler-Najjar>症候群	Crigler-Najjar syndrome	E80.5	クリグラー・ナジャー<Crigler-Najjar>症候群	Crigler-Najjar syndrome
E83.3	リン代謝障害	Disorders of phosphorus metabolism	E83.3	リン代謝障害及びホスファターゼ障害	Disorders of phosphorus metabolism and phosphatases
E84	のう<囊>胞性線維症<システィックファイブローシス>	Cystic fibrosis	E84	のう<囊>胞線維症	Cystic fibrosis
E84.0	肺の症状発現を伴うのう<囊>胞性線維症<システィックファイブローシス>	Cystic fibrosis with pulmonary manifestations	E84.0	肺の症状発現を伴うのう<囊>胞線維症	Cystic fibrosis with pulmonary manifestations
E84.1	腸の症状発現を伴うのう<囊>胞性線維症<システィックファイブローシス>	Cystic fibrosis with intestinal manifestations	E84.1	腸の症状発現を伴うのう<囊>胞線維症	Cystic fibrosis with intestinal manifestations
E84.8	その他の症状発現を伴うのう<囊>胞性線維症<システィックファイブローシス>	Cystic fibrosis with other manifestations	E84.8	その他の腸の症状発現を伴うのう<囊>胞線維症	Cystic fibrosis with other manifestations
E84.9	のう<囊>胞性線維症<システィックファイブローシス>, 詳細不明	Cystic fibrosis, unspecified	E84.9	のう<囊>胞線維症, 詳細不明	Cystic fibrosis, unspecified
E88.0	血漿たんぱく<蛋白>代謝障害, 他に分類されないもの	Disorders of plasma-protein metabolism, not elsewhere classified	E88.0	血漿タンパク<蛋白>代謝障害, 他に分類されないもの	Disorders of plasma-protein metabolism, not elsewhere classified
	新規		E88.3	腫瘍溶解症候群	Tumour lysis syndrome
<b>第V章 精神及び行動の障害</b>		<b>Chapter V Mental and behavioural disorders (F00-F99)</b>	<b>第V章 精神及び行動の障害 (F00-F99)</b>		<b>Chapter V Mental and behavioural disorders (F00-F99)</b>
F44.5	解離性けいれん<痙攣>	Dissociative convulsions	F44.5	解離性けいれん<痙攣>	Dissociative convulsions
F50.5	その他の心理的障害に関連した嘔吐	Vomiting associated with other psychological disturbances	F50.5	その他の心理的障害に関連した嘔吐	Vomiting associated with other psychological disturbances

現行告示			答申案		
F52.5	非器質性脛けい<瘻>	Nonorganic vaginismus	F52.5	非器質性脛けい<瘻>	Nonorganic vaginismus
第Ⅵ章 神経系の疾患		Chapter VI Diseases of the nervous system (G00-G99)	第Ⅵ章 神経系の疾患 (G00-G99)		Chapter VI Diseases of the nervous system (G00-G99)
G00.2	レンサ球菌性髄膜炎	Streptococcal meningitis	G00.2	連鎖球菌性髄膜炎	Streptococcal meningitis
G02.0*	他に分類されるウイルス疾患における髄膜炎	Meningitis in viral diseases classified elsewhere	G02.0*	他に分類されるウイルス性疾患における髄膜炎	Meningitis in viral diseases classified elsewhere
G04.1	熱帯性けい<瘻>性対麻痺	Tropical spastic paraplegia	G04.1	熱帯性けい<瘻>性対麻痺	Tropical spastic paraplegia
G05.1*	他に分類されるウイルス疾患における脳炎、脊髄炎及び脳脊髄炎	Encephalitis, myelitis and encephalomyelitis in viral diseases classified elsewhere	G05.1*	他に分類されるウイルス性疾患における脳炎、脊髄炎及び脳脊髄炎	Encephalitis, myelitis and encephalomyelitis in viral diseases classified elsewhere
	主に中枢神経系を障害する系統萎縮症 (G10-G13)	Systemic atrophies primarily affecting the central nervous system (G10-G13)		主に中枢神経系を障害する系統萎縮症 (G10-G14)	Systemic atrophies primarily affecting the central nervous system (G10-G14)
G11.4	遺伝性けい<瘻>性対麻痺	Hereditary spastic paraplegia	G11.4	遺伝性けい<瘻>性対麻痺	Hereditary spastic paraplegia
G13.0*	新生物関連ニューロミオパチ<シ>ー及びニューロパチ<シ>ー	Paraneoplastic neuromyopathy and neuropathy	G13.0*	新生物<腫瘍>関連ニューロミオパチ<シ>ー及びニューロパチ<シ>ー	Paraneoplastic neuromyopathy and neuropathy
G13.1*	新生物性疾患における主に中枢神経系を障害するその他の系統萎縮症	Other systemic atrophy primarily affecting central nervous system in neoplastic disease	G13.1*	新生物<腫瘍>性疾患における主に中枢神経系を障害するその他の系統萎縮症	Other systemic atrophy primarily affecting central nervous system in neoplastic disease
	新規		G14	ポリオ後症候群	Postpolio syndrome
	新規		G21.4	血管性パーキンソン<Parkinson>症候群	Vascular parkinsonism
G23.0	ハラーフォルデン・シュパッツ<Hallervorden-Spatz>病	Hallervorden-Spatz disease	G23.0	ハラーホルデン・スパッツ<Hallervorden-Spatz>病	Hallervorden-Spatz disease
G23.1	進行性核上性(眼筋)麻痺 [スチール・リチャードソン・オルゼウスキー<Steele-Richardson-Olszewski>病]	Progressive supranuclear ophthalmoplegia [Steele-Richardson-Olszewski]	G23.1	進行性核上性眼筋麻痺 [スティール・リチャードソン・オルゼウスキー<Steele-Richardson-Olszewski>病]	Progressive supranuclear ophthalmoplegia [Steele-Richardson-Olszewski]
G24	ジストニー	Dystonia	G24	ジストニア	Dystonia
G24.0	薬物誘発性ジストニー	Drug-induced dystonia	G24.0	薬物誘発性ジストニア	Drug-induced dystonia
G24.1	特発性家族性ジストニー	Idiopathic familial dystonia	G24.1	特発性家族性ジストニア	Idiopathic familial dystonia

現行告示			答申案		
G24.2	特発性非家族性ジストニー	Idiopathic nonfamilial dystonia	G24.2	特発性非家族性ジストニア	Idiopathic nonfamilial dystonia
G24.3	けい<痙>性斜頸	Spasmodic torticollis	G24.3	けい<痙>性斜頸	Spasmodic torticollis
G24.4	特発性口顔面ジストニー	Idiopathic orofacial dystonia	G24.4	特発性口顔面ジストニア	Idiopathic orofacial dystonia
G24.5	眼瞼けいれん<痙攣>	Blepharospasm	G24.5	眼瞼けいれん<痙攣>	Blepharospasm
G24.8	その他のジストニー	Other dystonia	G24.8	その他のジストニア	Other dystonia
G24.9	ジストニー, 詳細不明	Dystonia, unspecified	G24.9	ジストニア, 詳細不明	Dystonia, unspecified
G51.3	間代性片側顔面れん<痙>縮	Clonic hemifacial spasm	G51.3	間代性片側顔面けいれん<痙攣>	Clonic hemifacial spasm
G53.3*	新生物性疾患における多発性脳神経麻痺(C00-D48†)	Multiple cranial nerve palsies in neoplastic disease (C00-D48†)	G53.3*	新生物<腫瘍>性疾患における多発性脳神経麻痺(C00-D48†)	Multiple cranial nerve palsies in neoplastic disease (C00-D48†)
G55.0*	新生物性疾患における神経根及び神経そう<叢>の圧迫(C00-D48†)	Nerve root and plexus compressions in neoplastic disease (C00-D48†)	G55.0*	新生物<腫瘍>性疾患における神経根及び神経そう<叢>の圧迫(C00-D48†)	Nerve root and plexus compressions in neoplastic disease (C00-D48†)
G63.1*	新生物性疾患における多発(性)ニューロパチ<シ>(C00-D48†)	Polyneuropathy in neoplastic disease (C00-D48†)	G63.1*	新生物<腫瘍>性疾患における多発(性)ニューロパチ<シ>(C00-D48†)	Polyneuropathy in neoplastic disease (C00-D48†)
G73.1*	イートン・ランバート<Eaton-Lambert>症候群(C80†)	Eaton-Lambert syndrome (C80†)	G73.1*	ランバート・イートン<Lambert-Eaton>症候群(C00-D48†)	Lambert-Eaton syndrome (C00-D48†)
G73.2*	新生物性疾患におけるその他の筋無力(症)症候群(C00-D48†)	Other myasthenic syndromes in neoplastic disease (C00-D48†)	G73.2*	新生物<腫瘍>性疾患におけるその他の筋無力(症)症候群(C00-D48†)	Other myasthenic syndromes in neoplastic disease (C00-D48†)
G80.0	けい<痙>性四肢麻痺型脳性麻痺	Spastic quadriplegic cerebral palsy	G80.0	けい<痙>性四肢麻痺型脳性麻痺	Spastic quadriplegic cerebral palsy
G80.1	けい<痙>性両(側)麻痺型脳性麻痺	Spastic diplegic cerebral palsy	G80.1	けい<痙>性両(側)麻痺型脳性麻痺	Spastic diplegic cerebral palsy
G80.2	けい<痙>性片麻痺型脳性麻痺	Spastic hemiplegic cerebral palsy	G80.2	けい<痙>性片麻痺型脳性麻痺	Spastic hemiplegic cerebral palsy
G80.3	ジスキネジー性脳性麻痺	Dyskinetic cerebral palsy	G80.3	ジスキネジア性脳性麻痺	Dyskinetic cerebral palsy
G81.1	けい<痙>性片麻痺	Spastic hemiplegia	G81.1	けい<痙>性片麻痺	Spastic hemiplegia



現行告示			答申案		
G82.1	けい<瘻>性対麻痺	Spastic paraplegia	G82.1	けい<瘻>性対麻痺	Spastic paraplegia
G82.4	けい<瘻>性四肢麻痺	Spastic tetraplegia	G82.4	けい<瘻>性四肢麻痺	Spastic tetraplegia
G94.1*	新生物性疾患における水頭症(C00-D48†)	Hydrocephalus in neoplastic disease (C00-D48†)	G94.1*	新生物<腫瘍>性疾患における水頭症(C00-D48†)	Hydrocephalus in neoplastic disease (C00-D48†)
<b>第七章 眼及び付属器の疾患</b>		<b>Chapter VII Diseases of the eye and adnexa (H00-H59)</b>	<b>第七章 眼及び付属器の疾患(H00-H59)</b>		<b>Chapter VII Diseases of the eye and adnexa (H00-H59)</b>
	眼瞼, 涙器及び眼窩の障害(H00-H06)	Disorders of eyelid, lacrimal system and orbit (H00-H06)		眼瞼, 涙器及び眼窩の障害(H00-H06)	Disorders of eyelid, lacrimal system and orbit (H00-H06)
H00.0	麦粒腫及びその他の眼瞼深部の炎症	Hordeolum and other deep inflammation of eyelid	H00.0	麦粒腫及びその他の眼瞼深部の炎症	Hordeolum and other deep inflammation of eyelid
H01	眼瞼のその他の炎症	Other inflammation of eyelid	H01	眼瞼のその他の炎症	Other inflammation of eyelid
H01.0	眼瞼炎	Blepharitis	H01.0	眼瞼炎	Blepharitis
H01.1	眼瞼の非感染性皮膚症	Noninfectious dermatoses of eyelid	H01.1	眼瞼の非感染性皮膚症	Noninfectious dermatoses of eyelid
H01.8	眼瞼のその他の明示された炎症	Other specified inflammation of eyelid	H01.8	眼瞼のその他の明示された炎症	Other specified inflammation of eyelid
H01.9	眼瞼の炎症, 詳細不明	Inflammation of eyelid, unspecified	H01.9	眼瞼の炎症, 詳細不明	Inflammation of eyelid, unspecified
H02	眼瞼のその他の障害	Other disorders of eyelid	H02	眼瞼のその他の障害	Other disorders of eyelid
H02.0	眼瞼内反(症)及び(眼瞼)睫毛乱生(症)	Entropion and trichiasis of eyelid	H02.0	眼瞼内反(症)及び(眼瞼)睫毛乱生(症)	Entropion and trichiasis of eyelid
H02.1	眼瞼外反(症)	Ectropion of eyelid	H02.1	眼瞼外反(症)	Ectropion of eyelid
H02.3	眼瞼皮膚し<弛>緩症	Blepharochalasis	H02.3	眼瞼皮膚し<弛>緩症	Blepharochalasis
H02.4	眼瞼下垂	Ptosis of eyelid	H02.4	眼瞼下垂	Ptosis of eyelid
H02.5	眼瞼機能のその他の障害	Other disorders affecting eyelid function	H02.5	眼瞼機能のその他の障害	Other disorders affecting eyelid function

現行告示			答申案		
H02.6	眼瞼偏平黄色腫<黄色板症>	Xanthelasma of eyelid	H02.6	眼瞼偏平黄色腫<黄色板症>	Xanthelasma of eyelid
H02.7	眼瞼及び眼周囲のその他の変性障害	Other degenerative disorders of eyelid and periocular area	H02.7	眼瞼及び眼周囲のその他の変性障害	Other degenerative disorders of eyelid and periocular area
H02.8	眼瞼のその他の明示された障害	Other specified disorders of eyelid	H02.8	眼瞼のその他の明示された障害	Other specified disorders of eyelid
H02.9	眼瞼の障害, 詳細不明	Disorder of eyelid, unspecified	H02.9	眼瞼の障害, 詳細不明	Disorder of eyelid, unspecified
H03*	他に分類される疾患における眼瞼の障害	Disorders of eyelid in diseases classified elsewhere	H03*	他に分類される疾患における眼瞼の障害	Disorders of eyelid in diseases classified elsewhere
H03.0*	他に分類される疾患における眼瞼の寄生虫症	Parasitic infestation of eyelid in diseases classified elsewhere	H03.0*	他に分類される疾患における眼瞼の寄生虫症	Parasitic infestation of eyelid in diseases classified elsewhere
H03.1*	他に分類されるその他の感染症における眼瞼の障害	Involvement of eyelid in other infectious diseases classified elsewhere	H03.1*	他に分類されるその他の感染症における眼瞼の障害	Involvement of eyelid in other infectious diseases classified elsewhere
H03.8*	他に分類されるその他の疾患における眼瞼の障害	Involvement of eyelid in other diseases classified elsewhere	H03.8*	他に分類されるその他の疾患における眼瞼の障害	Involvement of eyelid in other diseases classified elsewhere
H10.5	眼瞼結膜炎	Blepharoconjunctivitis	H10.5	眼瞼結膜炎	Blepharoconjunctivitis
H25.2	老人性白内障, モルガニ<Morgagni>型	Senile cataract, morgagnian type	H25.2	老人性白内障, モルガニ<Morgagni>型	Senile cataract, morgagnian type
H35.0	背景網膜症及び網膜血管変化	Background retinopathy and retinal vascular changes	H35.0	単純性網膜症及び網膜血管変化	Background retinopathy and retinal vascular changes
H35.2	その他の増殖性網膜症	Other proliferative retinopathy	H35.2	その他の増殖網膜症	Other proliferative retinopathy
H54	盲<失明>及び低視力	Blindness and low vision	H54	両眼性及び単眼性視覚障害(盲を含む)	Visual impairment including blindness (binocular or monocular)
H54.0	盲<失明>, 両眼	Blindness, both eyes	H54.0	両眼性盲	Blindness, binocular
H54.1	盲<失明>, 片眼, 他眼の低視力	Blindness, one eye, low vision other eye	H54.1	両眼性重度視覚障害	Severe visual impairment, binocular
H54.2	両眼の低視力	Low vision, both eyes	H54.2	両眼性中度視覚障害	Moderate visual impairment, binocular
H54.3	詳細不明の視力障害, 両眼	Unqualified visual loss, both eyes	H54.3	両眼性軽度視覚障害又は視覚障害なし	Mild or no visual impairment, binocular

現行告示			答申案		
H54.4	盲<失明>, 片眼	Blindness, one eye	H54.4	単眼性盲	Blindness, monocular
H54.5	低視力, 片眼	Low vision, one eye	H54.5	単眼性重度視覚障害	Severe visual impairment, monocular
H54.6	詳細不明の視力障害, 片眼	Unqualified visual loss, one eye	H54.6	単眼性中度視覚障害	Moderate visual impairment, monocular
H54.7	詳細不明の視力障害	Unspecified visual loss		削除	
	新規		H54.9	詳細不明の視覚障害(両眼性)	Unspecified visual impairment (binocular)
H59.0	白内障手術に続発する硝子体症候群	Vitreous syndrome following cataract surgery	H59.0	白内障手術に続発する角膜症(無水晶体性水泡性角膜症)	Keratopathy (bullous aphakic) following cataract surgery
<b>第Ⅷ章 耳及び乳様突起の疾患</b>		<b>Chapter VIII Diseases of the ear and mastoid process (H60-H95)</b>	<b>第Ⅷ章 耳及び乳様突起の疾患(H60-H95)</b>		<b>Chapter VIII Diseases of the ear and mastoid process (H60-H95)</b>
H62.1*	他に分類されるウイルス疾患における外耳炎	Otitis externa in viral diseases classified elsewhere	H62.1*	他に分類されるウイルス性疾患における外耳炎	Otitis externa in viral diseases classified elsewhere
H67.1*	他に分類されるウイルス疾患における中耳炎	Otitis media in viral diseases classified elsewhere	H67.1*	他に分類されるウイルス性疾患における中耳炎	Otitis media in viral diseases classified elsewhere
<b>第Ⅸ章 循環器系の疾患</b>		<b>Chapter IX Diseases of the circulatory system (I00-I99)</b>	<b>第Ⅸ章 循環器系の疾患(I00-I99)</b>		<b>Chapter IX Diseases of the circulatory system (I00-I99)</b>
I20.1	記録されたれん<壑>縮を伴う狭心症	Angina pectoris with documented spasm	I20.1	記録されたれん<壘>縮を伴う狭心症	Angina pectoris with documented spasm
I24.1	ドレスラー<Dressler>症候群	Dressler syndrome	I24.1	ドレスラー<Dressler>症候群	Dressler syndrome
I41.1*	他に分類されるウイルス疾患における心筋炎	Myocarditis in viral diseases classified elsewhere	I41.1*	他に分類されるウイルス性疾患における心筋炎	Myocarditis in viral diseases classified elsewhere
	新規		I48.0	発作性心房細動	Paroxysmal atrial fibrillation
	新規		I48.1	持続性心房細動	Persistent atrial fibrillation
	新規		I48.2	慢性心房細動	Chronic atrial fibrillation
	新規		I48.3	定型心房粗動	Typical atrial flutter

現行告示			答申案		
	新規		I48.4	非定型心房粗動	Atypical atrial flutter
	新規		I48.9	心房細動及び心房粗動、詳細不明	Atrial fibrillation and atrial flutter, unspecified
I63.0	脳実質外動脈の血栓症による脳梗塞	Cerebral infarction due to thrombosis of precerebral arteries	I63.0	脳実質外動脈(脳底動脈、頸動脈、椎骨動脈)の血栓症による脳梗塞	Cerebral infarction due to thrombosis of precerebral arteries
I63.1	脳実質外動脈の塞栓症による脳梗塞	Cerebral infarction due to embolism of precerebral arteries	I63.1	脳実質外動脈(脳底動脈、頸動脈、椎骨動脈)の塞栓症による脳梗塞	Cerebral infarction due to embolism of precerebral arteries
I63.2	脳実質外動脈の詳細不明の閉塞又は狭窄による脳梗塞	Cerebral infarction due to unspecified occlusion or stenosis of precerebral arteries	I63.2	脳実質外動脈(脳底動脈、頸動脈、椎骨動脈)の詳細不明の閉塞又は狭窄による脳梗塞	Cerebral infarction due to unspecified occlusion or stenosis of precerebral arteries
I65	脳実質外動脈の閉塞及び狭窄、脳梗塞に至らなかったもの	Occlusion and stenosis of precerebral arteries, not resulting in cerebral infarction	I65	脳実質外動脈(脳底動脈、頸動脈、椎骨動脈)の閉塞及び狭窄、脳梗塞に至らなかったもの	Occlusion and stenosis of precerebral arteries, not resulting in cerebral infarction
I65.3	多発性及び両側性の脳実質外動脈の閉塞及び狭窄	Occlusion and stenosis of multiple and bilateral precerebral arteries	I65.3	多発性及び両側性の脳実質外動脈(脳底動脈、頸動脈、椎骨動脈)の閉塞及び狭窄	Occlusion and stenosis of multiple and bilateral precerebral arteries
I65.8	その他の脳実質外動脈の閉塞及び狭窄	Occlusion and stenosis of other precerebral artery	I65.8	その他の脳実質外動脈(脳底動脈、頸動脈、椎骨動脈)の閉塞及び狭窄	Occlusion and stenosis of other precerebral artery
I65.9	詳細不明の脳実質外動脈の閉塞及び狭窄	Occlusion and stenosis of unspecified precerebral artery	I65.9	詳細不明の脳実質外動脈(脳底動脈、頸動脈、椎骨動脈)の閉塞及び狭窄	Occlusion and stenosis of unspecified precerebral artery
I72	その他の動脈瘤	Other aneurysm	I72	その他の動脈瘤及び解離	Other aneurysm and dissection
I72.0	頸動脈瘤	Aneurysm of carotid artery	I72.0	頸動脈瘤及び解離	Aneurysm and dissection of carotid artery
I72.1	上肢の動脈瘤	Aneurysm of artery of upper extremity	I72.1	上肢の動脈瘤及び解離	Aneurysm and dissection of artery of upper extremity
I72.2	腎動脈瘤	Aneurysm of renal artery	I72.2	腎動脈瘤及び解離	Aneurysm and dissection of renal artery
I72.3	腸骨動脈瘤	Aneurysm of iliac artery	I72.3	腸骨動脈瘤及び解離	Aneurysm and dissection of iliac artery
I72.4	下肢の動脈瘤	Aneurysm of artery of lower extremity	I72.4	下肢の動脈瘤及び解離	Aneurysm and dissection of artery of lower extremity
	新規		I72.5	その他の脳実質外動脈(脳底動脈、頸動脈、椎骨動脈を含む)の動脈瘤及び解離	Aneurysm and dissection of other precerebral arteries
	新規		I72.6	椎骨動脈の動脈瘤及び解離	Aneurysm and dissection of vertebral artery

現行告示			答申案		
172.8	その他の明示された動脈の動脈瘤	Aneurysm of other specified arteries	172.8	その他の明示された動脈の動脈瘤及び解離	Aneurysm and dissection of other specified arteries
172.9	部位不明の動脈瘤	Aneurysm of unspecified site	172.9	部位不明の動脈瘤及び解離	Aneurysm and dissection of unspecified site
178.1	母斑, 非新生物性	Naevus, non-neoplastic	178.1	母斑, 非新生物<腫瘍>性	Naevus, non-neoplastic
184	痔核	Haemorrhoids		削除	
184.0	血栓性内痔核	Internal thrombosed haemorrhoids		削除	
184.1	その他の合併症を伴う内痔核	Internal haemorrhoids with other complications		削除	
184.2	合併症を伴わない内痔核	Internal haemorrhoids without complication		削除	
184.3	血栓性外痔核	External thrombosed haemorrhoids		削除	
184.4	その他の合併症を伴う外痔核	External haemorrhoids with other complications		削除	
184.5	合併症を伴わない外痔核	External haemorrhoids without complication		削除	
184.6	残遺痔核皮膚弁	Residual haemorrhoidal skin tags		削除	
184.7	詳細不明の血栓性痔核	Unspecified thrombosed haemorrhoids		削除	
184.8	その他の合併症を伴う詳細不明の痔核	Unspecified haemorrhoids with other complications		削除	
184.9	合併症を伴わない痔核, 詳細不明	Unspecified haemorrhoids without complication		削除	
187.0	静脈炎後症候群	Postphlebotic syndrome	187.0	血栓後症候群	Postthrombotic syndrome
198.2*	他に分類される疾患における食道静脈瘤	Oesophageal varices in diseases classified elsewhere	198.2*	他に分類される疾患における出血を伴わない食道静脈瘤	Oesophageal varices without bleeding in diseases classified elsewhere
	新規		198.3*	他に分類される疾患における出血を伴う食道静脈瘤	Oesophageal varices with bleeding in diseases classified elsewhere

現行告示			答申案		
第X章 呼吸器系の疾患		Chapter X Diseases of the respiratory system (J00-J99)	第X章 呼吸器系の疾患 (J00-J99)		Chapter X Diseases of the respiratory system (J00-J99)
J02.0	レンサ球菌による咽頭炎	Streptococcal pharyngitis	J02.0	連鎖球菌による咽頭炎	Streptococcal pharyngitis
J03.0	レンサ球菌による扁桃炎	Streptococcal tonsillitis	J03.0	連鎖球菌による扁桃炎	Streptococcal tonsillitis
	新規		J09	特定のインフルエンザウイルスが分離されたインフルエンザ	Influenza due to certain identified influenza virus
J10	インフルエンザウイルスが分離されたインフルエンザ	Influenza due to identified influenza virus	J10	その他のインフルエンザウイルスが分離されたインフルエンザ	Influenza due to other identified influenza virus
J10.0	肺炎を伴うインフルエンザ, インフルエンザウイルスが分離されたもの	Influenza with pneumonia, influenza virus identified	J10.0	肺炎を伴うインフルエンザ, <u>その他のインフルエンザウイルスが分離されたもの</u>	Influenza with pneumonia, other influenza virus identified
J10.1	その他の呼吸器症状を伴うインフルエンザ, インフルエンザウイルスが分離されたもの	Influenza with other respiratory manifestations, influenza virus identified	J10.1	その他の呼吸器症状を伴うインフルエンザ, <u>その他のインフルエンザウイルスが分離されたもの</u>	Influenza with other respiratory manifestations, other influenza virus identified
J10.8	その他の症状を伴うインフルエンザ, インフルエンザウイルスが分離されたもの	Influenza with other manifestations, influenza virus identified	J10.8	その他の症状を伴うインフルエンザ, <u>その他のインフルエンザウイルスが分離されたもの</u>	Influenza with other manifestations, other influenza virus identified
	新規		J12.3	ヒト・メタニューモウイルス肺炎	Human metapneumovirus pneumonia
J13	肺炎レンサ球菌による肺炎	Pneumonia due to <i>Streptococcus pneumoniae</i>	J13	肺炎連鎖球菌による肺炎	Pneumonia due to <i>Streptococcus pneumoniae</i>
J15.3	B群レンサ球菌による肺炎	Pneumonia due to streptococcus, group B	J15.3	B群連鎖球菌による肺炎	Pneumonia due to streptococcus, group B
J15.4	その他のレンサ球菌による肺炎	Pneumonia due to other streptococci	J15.4	その他の連鎖球菌による肺炎	Pneumonia due to other streptococci
J20.2	レンサ球菌による急性気管支炎	Acute bronchitis due to streptococcus	J20.2	連鎖球菌による急性気管支炎	Acute bronchitis due to streptococcus
	新規		J21.1	ヒト・メタニューモウイルスによる急性細気管支炎	Acute bronchiolitis due to human metapneumovirus
J38.5	喉頭けいれん<痙攣>	Laryngeal spasm	J38.5	喉頭けいれん<痙攣>	Laryngeal spasm
J68.1	化学物質, ガス, フェーム及び蒸気による急性肺水腫	Acute pulmonary oedema due to chemicals, gases, fumes and vapours	J68.1	化学物質, ガス, フェーム及び蒸気による肺水腫	Pulmonary oedema due to chemicals, gases, fumes and vapours
第XI章 消化器系の疾患		Chapter XI Diseases of the digestive system (K00-K93)	第XI章 消化器系の疾患 (K00-K93)		Chapter XI Diseases of the digestive system (K00-K93)

現行告示			答申案		
	新規		K02.5	露髄のあるう<齲>蝕	Caries with pulp exposure
	新規		K12.3	口腔粘膜炎(潰瘍性)	Oral mucositis (ulcerative)
K22.4	食道ジスキネジー	Dyskinesia of oesophagus	K22.4	食道ジスキネジア	Dyskinesia of oesophagus
	新規		K22.7	バレット食道	Barrett's esophagus
K23.1*	シャガス<Chagas>病における巨大食道(B57.3†)	Megaoesophagus in Chagas disease (B57.3†)	K23.1*	シャーガス<Chagas>病における巨大食道(B57.3†)	Megaoesophagus in Chagas disease (B57.3†)
K30	ディスペプシア(症)	Dyspepsia	K30	機能性ディスペプシア	Functional dyspepsia
K31.3	幽門けいれん<痙攣>,他に分類されないもの	Pylorospasm, not elsewhere classified	K31.3	幽門けいれん<痙攣>,他に分類されないもの	Pylorospasm, not elsewhere classified
K35.0	汎発性腹膜炎を伴う急性虫垂炎	Acute appendicitis with generalized peritonitis		削除	
K35.1	腹腔内膿瘍を伴う急性虫垂炎	Acute appendicitis with peritoneal abscess		削除	
	新規		K35.2	汎発性腹膜炎を伴う急性虫垂炎	Acute appendicitis with generalized peritonitis
	新規		K35.3	限局性腹膜炎を伴う急性虫垂炎	Acute appendicitis with localized peritonitis
	新規		K35.8	急性虫垂炎,その他及び詳細不明	Acute appendicitis, other and unspecified
K35.9	急性虫垂炎,詳細不明	Acute appendicitis, unspecified		削除	
K40	そけい<鼠径>ヘルニア	Inguinal hernia	K40	そけい<鼠径>ヘルニア	Inguinal hernia
K40.0	両側性そけい<鼠径>ヘルニア,閉塞を伴い,え<壊>疽を伴わないもの	Bilateral inguinal hernia, with obstruction, without gangrene	K40.0	両側性そけい<鼠径>ヘルニア,閉塞を伴い,え<壊>疽を伴わないもの	Bilateral inguinal hernia, with obstruction, without gangrene
K40.1	両側性そけい<鼠径>ヘルニア,え<壊>疽を伴うもの	Bilateral inguinal hernia, with gangrene	K40.1	両側性そけい<鼠径>ヘルニア,え<壊>疽を伴うもの	Bilateral inguinal hernia, with gangrene
K40.2	両側性そけい<鼠径>ヘルニア,閉塞又はえ<壊>疽を伴わないもの	Bilateral inguinal hernia, without obstruction or gangrene	K40.2	両側性そけい<鼠径>ヘルニア,閉塞及びえ<壊>疽を伴わないもの	Bilateral inguinal hernia, without obstruction or gangrene

現行告示			答申案		
K40.3	一側性又は患側不明のそけい<鼠径>ヘルニア, 閉塞を伴い, え<壊>瘻を伴わないもの	Unilateral or unspecified inguinal hernia, with obstruction, without gangrene	K40.3	一側性又は患側不明のそけい<鼠径>ヘルニア, 閉塞を伴い, え<壊>瘻を伴わないもの	Unilateral or unspecified inguinal hernia, with obstruction, without gangrene
K40.4	一側性又は患側不明のそけい<鼠径>ヘルニア, え<壊>瘻を伴うもの	Unilateral or unspecified inguinal hernia, with gangrene	K40.4	一側性又は患側不明のそけい<鼠径>ヘルニア, え<壊>瘻を伴うもの	Unilateral or unspecified inguinal hernia, with gangrene
K40.9	一側性又は患側不明のそけい<鼠径>ヘルニア, 閉塞又はえ<壊>瘻を伴わないもの	Unilateral or unspecified inguinal hernia, without obstruction or gangrene	K40.9	一側性又は患側不明のそけい<鼠径>ヘルニア, 閉塞及びえ<壊>瘻を伴わないもの	Unilateral or unspecified inguinal hernia, without obstruction or gangrene
K41.2	両側性大腿<股>ヘルニア, 閉塞又はえ<壊>瘻を伴わないもの	Bilateral femoral hernia, without obstruction or gangrene	K41.2	両側性大腿<股>ヘルニア, 閉塞又はえ<壊>瘻を伴わないもの	Bilateral femoral hernia, without obstruction or gangrene
K41.9	一側性又は患側不明の大腿<股>ヘルニア, 閉塞又はえ<壊>瘻を伴わないもの	Unilateral or unspecified femoral hernia, without obstruction or gangrene	K41.9	一側性又は患側不明の大腿<股>ヘルニア, 閉塞及びえ<壊>瘻を伴わないもの	Unilateral or unspecified femoral hernia, without obstruction or gangrene
K42	臍ヘルニア	Umbilical hernia	K42	臍ヘルニア	Umbilical hernia
K42.0	臍ヘルニア, 閉塞を伴い, え<壊>瘻を伴わないもの	Umbilical hernia with obstruction, without gangrene	K42.0	臍ヘルニア, 閉塞を伴い, え<壊>瘻を伴わないもの	Umbilical hernia with obstruction, without gangrene
K42.1	臍ヘルニア, え<壊>瘻を伴うもの	Umbilical hernia with gangrene	K42.1	臍ヘルニア, え<壊>瘻を伴うもの	Umbilical hernia with gangrene
K42.9	臍ヘルニア, 閉塞又はえ<壊>瘻を伴わないもの	Umbilical hernia without obstruction or gangrene	K42.9	臍ヘルニア, 閉塞及びえ<壊>瘻を伴わないもの	Umbilical hernia without obstruction or gangrene
K43.0	腹壁ヘルニア, 閉塞を伴い, え<壊>瘻を伴わないもの	Ventral hernia with obstruction, without gangrene	K43.0	癒痕ヘルニア, 閉塞を伴い, え<壊>瘻を伴わないもの	Incisional hernia with obstruction, without gangrene
K43.1	腹壁ヘルニア, え<壊>瘻を伴うもの	Ventral hernia with gangrene	K43.1	癒痕ヘルニア, え<壊>瘻を伴うもの	Incisional hernia with gangrene
	新規		K43.2	癒痕ヘルニア, 閉塞及びえ<壊>瘻を伴わないもの	Incisional hernia without obstruction or gangrene
	新規		K43.3	傍ストーマヘルニア, 閉塞を伴い, え<壊>瘻を伴わないもの	Parastomal hernia with obstruction, without gangrene
	新規		K43.4	傍ストーマヘルニア, え<壊>瘻を伴うもの	Parastomal hernia with gangrene
	新規		K43.5	傍ストーマヘルニア, 閉塞及びえ<壊>瘻を伴わないもの	Parastomal hernia without obstruction or gangrene
	新規		K43.6	その他及び詳細不明の腹壁ヘルニア, 閉塞を伴い, え<壊>瘻を伴わないもの	Other and unspecified ventral hernia with obstruction, without gangrene
	新規		K43.7	その他及び詳細不明の腹壁ヘルニア, え<壊>瘻を伴うもの	Other and unspecified ventral hernia with gangrene



現行告示			答申案		
K43.9	腹壁ヘルニア, 閉塞又はえく壊>疝を伴わないもの	Ventral hernia without obstruction or gangrene	K43.9	その他及び詳細不明の腹壁ヘルニア, 閉塞及びえく壊>疝を伴わないもの	Other and unspecified ventral hernia without obstruction or gangrene
K44.9	横隔膜ヘルニア, 閉塞又はえく壊>疝を伴わないもの	Diaphragmatic hernia without obstruction or gangrene	K44.9	横隔膜ヘルニア, 閉塞及びえく壊>疝を伴わないもの	Diaphragmatic hernia without obstruction or gangrene
K45.8	その他の明示された腹部ヘルニア, 閉塞又はえく壊>疝を伴わないもの	Other specified abdominal hernia without obstruction or gangrene	K45.8	その他の明示された腹部ヘルニア, 閉塞及びえく壊>疝を伴わないもの	Other specified abdominal hernia without obstruction or gangrene
K46.9	詳細不明の腹部ヘルニア, 閉塞又はえく壊>疝を伴わないもの	Unspecified abdominal hernia without obstruction or gangrene	K46.9	詳細不明の腹部ヘルニア, 閉塞及びえく壊>疝を伴わないもの	Unspecified abdominal hernia without obstruction or gangrene
K51.0	潰瘍性(慢性)全腸炎	Ulcerative (chronic) enterocolitis	K51.0	潰瘍性(慢性)全大腸炎	Ulcerative (chronic) pancolitis
K51.1	潰瘍性(慢性)回腸大腸炎	Ulcerative (chronic) ileocolitis		削除	
K51.4	大腸仮性ポリポージス	Pseudopolyposis of colon	K51.4	炎症性ポリープ	Inflammatory polyps
K51.5	粘膜(性)直腸結腸炎	Mucosal proctocolitis	K51.5	左側結腸炎	Left sided colitis
	新規		K52.3	分類不能大腸炎	Indeterminate colitis
	腸のその他の疾患(K55-K63)	Other diseases of intestines (K55-K63)		腸のその他の疾患(K55-K64)	Other diseases of intestines (K55-K64)
K56.4	その他の腸かん<嵌>頓	Other impaction of intestine	K56.4	その他の腸管かん<嵌>頓	Other impaction of intestine
K57.9	腸の憩室性疾患, 部位不明, 穿孔及び膿瘍を伴うもの	Diverticular disease of intestine, part unspecified, without perforation or abscess	K57.9	腸の憩室性疾患, 部位不明, 穿孔又は膿瘍を伴うもの	Diverticular disease of intestine, part unspecified, without perforation or abscess
K59.4	肛門けいれん<痙攣>	Anal spasm	K59.4	肛門けいれん<痙攣>	Anal spasm
	新規		K64	痔核及び肛門周囲静脈血栓症	Haemorrhoids and perianal venous thrombosis
	新規		K64.0	第1度痔核	First degree haemorrhoids
	新規		K64.1	第2度痔核	Second degree haemorrhoids
	新規		K64.2	第3度痔核	Third degree haemorrhoids

現行告示			答申案		
	新規		K64.3	第4度痔核	Fourth degree haemorrhoids
	新規		K64.4	痔核性遺残皮膚突起	Residual haemorrhoidal skin tags
	新規		K64.5	肛門周囲静脈血栓症	Perianal venous thrombosis
	新規		K64.8	その他の明示された痔核	Other specified haemorrhoids
	新規		K64.9	痔核, 詳細不明	Haemorrhoids, unspecified
K80.5	胆管炎又は胆のう<嚢>炎を伴わない胆管結石	Calculus of bile duct without cholangitis or cholecystitis	K80.5	胆管炎及び胆のう<嚢>炎を伴わない胆管結石	Calculus of bile duct without cholangitis or cholecystitis
K83.4	オディ<Oddi>括約筋れん<壘>縮	Spasm of sphincter of Oddi	K83.4	オディ<Oddi>括約筋れん<壘>縮	Spasm of sphincter of Oddi
	新規		K85.0	特発性急性膵炎	Idiopathic acute pancreatitis
	新規		K85.1	胆石性急性膵炎	Biliary acute pancreatitis
	新規		K85.2	アルコール性急性膵炎	Alcohol-induced acute pancreatitis
	新規		K85.3	薬物性急性膵炎	Drug-induced acute pancreatitis
	新規		K85.8	その他の急性膵炎	Other acute pancreatitis
	新規		K85.9	急性膵炎, 詳細不明	Acute pancreatitis, unspecified
K91.0	胃腸手術に続発する嘔吐	Vomiting following gastrointestinal surgery	K91.0	胃腸手術に続発する嘔吐	Vomiting following gastrointestinal surgery
K93.1*	シャガス<Chagas>病における巨大結腸(B57.3†)	Megacolon in Chagas disease (B57.3†)	K93.1*	シャガス<Chagas>病における巨大結腸(B57.3†)	Megacolon in Chagas disease (B57.3†)
<b>第XII章 皮膚及び皮下組織の疾患</b>		<b>Chapter XII Diseases of the skin and subcutaneous tissue (L00-L99)</b>	<b>第XII章 皮膚及び皮下組織の疾患 (L00-L99)</b>		<b>Chapter XII Diseases of the skin and subcutaneous tissue (L00-L99)</b>
L29	そう<瘙>痒症	Pruritus	L29	そう<搔>痒症	Pruritus

現行告示			答申案		
L29.0	肛門そう<瘡>痒症	Pruritus ani	L29.0	肛門そう<搔>痒症	Pruritus ani
L29.2	陰門そう<瘡>痒症	Pruritus vulvae	L29.2	陰門そう<搔>痒症	Pruritus vulvae
L29.3	肛門性器そう<瘡>痒症, 詳細不明	Anogenital pruritus, unspecified	L29.3	肛門性器そう<搔>痒症, 詳細不明	Anogenital pruritus, unspecified
L29.8	その他のそう<瘡>痒症	Other pruritus	L29.8	その他のそう<搔>痒症	Other pruritus
L29.9	そう<瘡>痒症, 詳細不明	Pruritus, unspecified	L29.9	そう<搔>痒症, 詳細不明	Pruritus, unspecified
L41.2	リンパ腫様丘疹症	Lymphomatoid papulosis		削除	
L44.4	小児丘疹性先<肢>端皮膚炎[ジアンノッティ・クロスティ<Giannotti-Crosti>病]	Infantile papular acrodermatitis [Giannotti-Crosti]	L44.4	小児丘疹性先<肢>端皮膚炎[ジアンノッティ・クロスティ<Giannotti-Crosti>病]	Infantile papular acrodermatitis [Giannotti-Crosti]
L70	痤瘡<アクネ>	Acne	L70	ざ瘡<アクネ>	Acne
L70.0	尋常性痤瘡<アクネ>	Acne vulgaris	L70.0	尋常性ざ瘡<アクネ>	Acne vulgaris
L70.1	集簇性痤瘡<アクネ>	Acne conglobata	L70.1	集簇性ざ瘡<アクネ>	Acne conglobata
L70.2	痘瘡性痤瘡<アクネ>	Acne varioliformis	L70.2	痘瘡性ざ瘡<アクネ>	Acne varioliformis
L70.3	熱帯性痤瘡<アクネ>	Acne tropica	L70.3	熱帯性ざ瘡<アクネ>	Acne tropica
L70.4	小児痤瘡<アクネ>	Infantile acne	L70.4	小児ざ瘡<アクネ>	Infantile acne
L70.5	若年性女子表皮剥離性痤瘡<アクネ>	Acné excoりée des jeunes filles	L70.5	若年性女子表皮剥離性ざ瘡<アクネ>	Acné excoりée des jeunes filles
L70.8	その他の痤瘡<アクネ>	Other acne	L70.8	その他のざ瘡<アクネ>	Other acne
L70.9	痤瘡<アクネ>, 詳細不明	Acne, unspecified	L70.9	ざ瘡<アクネ>, 詳細不明	Acne, unspecified
L73.0	ケロイド痤瘡<アクネ>	Acne keloid	L73.0	ケロイドざ瘡<アクネ>	Acne keloid

現行告示			答申案		
L84	うおのめ<鶏眼>及びべんち<胼胝>	Corns and callosities	L84	うおのめ<鶏眼>及びべんち<胼胝>	Corns and callosities
L89	じょく<褥>瘡性潰瘍	Decubitus ulcer	L89	じょく<褥>瘡性潰瘍及び圧迫領域	Decubitus ulcer and pressure area
	新規		L89.0	ステージⅠじょく<褥>瘡性潰瘍及び圧迫領域	Stage I decubitus ulcer and pressure area
	新規		L89.1	ステージⅡじょく<褥>瘡性潰瘍	Stage II decubitus ulcer
	新規		L89.2	ステージⅢじょく<褥>瘡性潰瘍	Stage III decubitus ulcer
	新規		L89.3	ステージⅣじょく<褥>瘡性潰瘍	Stage IV decubitus ulcer
	新規		L89.9	じょく<褥>瘡性潰瘍及び圧迫領域, 詳細不明	Decubitus ulcer and pressure area, unspecified
L91.0	ケロイド瘢痕	Keloid scar	L91.0	肥厚性瘢痕	Hypertrophic scar
L98.2	(急性)熱性好中球性皮膚症[スウィート<Sweet>症候群]	Febrile neutrophilic dermatosis [Sweet]	L98.2	(急性)熱性好中球性皮膚症[スウィート<Sweet>症候群]	Febrile neutrophilic dermatosis [Sweet]
<b>第ⅩⅢ章 筋骨格系及び結合組織の疾患</b>		<b>Chapter XIII Diseases of the musculoskeletal system and connective tissue (M00-M99)</b>	<b>第ⅩⅢ章 筋骨格系及び結合組織の疾患 (M00-M99)</b>		<b>Chapter XIII Diseases of the musculoskeletal system and connective tissue (M00-M99)</b>
M00.2	その他のレンサ球菌性(多発性)関節炎	Other streptococcal arthritis and polyarthritis	M00.2	その他の連鎖球菌性(多発性)関節炎	Other streptococcal arthritis and polyarthritis
M01.5*	他に分類されるその他のウイルス疾患における関節炎	Arthritis in other viral diseases classified elsewhere	M01.5*	他に分類されるその他のウイルス性疾患における関節炎	Arthritis in other viral diseases classified elsewhere
M05.0	フェルティエ<Felty>症候群	Felty syndrome	M05.0	フェルティエ<Felty>症候群	Felty syndrome
M23	膝内障 下記の障害部位を示す補助細分類は, M23-の該当する4桁細分類項目とともに任意に使用する:		M23	膝内障 下記の障害部位を示す補助細分類は, M23-の該当する4桁細分類項目とともに任意に使用する:	
1	前十字靭帯又は内側半月前角	Anterior cruciate ligament or Anterior horn of medial meniscus	1	前十字靭帯又は内側半月前角	Anterior cruciate ligament or Anterior horn of medial meniscus
2	後十字靭帯又は内側半月後角	Posterior cruciate ligament or Posterior horn of medial meniscus	2	後十字靭帯又は内側半月後角	Posterior cruciate ligament or Posterior horn of medial meniscus

現行告示			答申案		
3	内側側副靱帯又はその他及び詳細不明の内側半月	Medial collateral ligament or Other and unspecified medial meniscus	3	内側側副靱帯又はその他及び詳細不明の内側半月	Medial collateral ligament or Other and unspecified medial meniscus
4	外側側副靱帯又は外側半月前角	Lateral collateral ligament or Anterior horn of lateral meniscus	4	外側側副靱帯又は外側半月前角	Lateral collateral ligament or Anterior horn of lateral meniscus
7	関節包靱帯	Capsular ligament	7	関節包靱帯	Capsular ligament
9	詳細不明の靱帯又は詳細不明の半月	Unspecified ligament or Unspecified meniscus	9	詳細不明の靱帯又は詳細不明の半月	Unspecified ligament or Unspecified meniscus
M23.6	膝の靱帯のその他の特発性離断	Other spontaneous disruption of ligament(s) of knee	M23.6	膝の靱帯のその他の特発性離断	Other spontaneous disruption of ligament(s) of knee
M24.2	靱帯の障害	Disorder of ligament	M24.2	靱帯の障害	Disorder of ligament
M31.3	ウェゲ<ジ>ナー<Wegener>肉芽腫症	Wegener granulomatosis	M31.3	ウェゲ<ジ>ナー<Wegener>肉芽腫	Wegener granulomatosis
	新規		M31.7	顕微鏡的多発(性)血管炎	Microscopic polyangiitis
M36.0*	新生物性疾患における皮膚(多発)筋炎(C00-D48†)	Dermato(poly)myositis in neoplastic disease (C00-D48†)	M36.0*	新生物<腫瘍>性疾患における皮膚(多発)筋炎(C00-D48†)	Dermato(poly)myositis in neoplastic disease (C00-D48†)
M36.1*	新生物性疾患における関節症(C00-D48†)	Arthropathy in neoplastic disease (C00-D48†)	M36.1*	新生物<腫瘍>性疾患における関節症(C00-D48†)	Arthropathy in neoplastic disease (C00-D48†)
M46.0	脊椎の腱(靱帯)付着部症	Spinal enthesopathy	M46.0	脊椎の腱(靱帯)付着部症	Spinal enthesopathy
M65.4	橈骨茎状突起腱鞘炎[ドゥケルバン<de Quervain>病]	Radial styloid tenosynovitis [de Quervain]	M65.4	橈骨茎状突起腱鞘炎[ドゥケルバン<de Quervain>病]	Radial styloid tenosynovitis [de Quervain]
M76	下肢の腱(靱帯)付着部症, 足を除く	Enthesopathies of lower limb, excluding foot	M76	下肢の腱(靱帯)付着部症, 足を除く	Enthesopathies of lower limb, excluding foot
M76.3	腸脛靱帯症候群	Iliotibial band syndrome	M76.3	腸脛靱帯症候群	Iliotibial band syndrome
M76.8	下肢のその他の腱(靱帯)付着部症, 足を除く	Other enthesopathies of lower limb, excluding foot	M76.8	下肢のその他の腱(靱帯)付着部症, 足を除く	Other enthesopathies of lower limb, excluding foot
M76.9	下肢の腱(靱帯)付着部症, 詳細不明	Enthesopathy of lower limb, unspecified	M76.9	下肢の腱(靱帯)付着部症, 詳細不明	Enthesopathy of lower limb, unspecified
M77	その他の腱(靱帯)付着部症	Other enthesopathies	M77	その他の腱(靱帯)付着部症	Other enthesopathies

現行告示			答申案		
M77.5	足のその他の腱(靱帯)付着部症	Other enthesopathy of foot	M77.5	足のその他の腱(靱帯)付着部症	Other enthesopathy of foot
M77.8	その他の腱(靱帯)付着部症, 他に分類されないもの	Other enthesopathies, not elsewhere classified	M77.8	その他の腱(靱帯)付着部症, 他に分類されないもの	Other enthesopathies, not elsewhere classified
M77.9	腱(靱帯)付着部症, 詳細不明	Enthesopathy, unspecified	M77.9	腱(靱帯)付着部症, 詳細不明	Enthesopathy, unspecified
	新規		<u>M79.7</u>	線維筋痛症	Fibromyalgia
M83.0	産じょく<褥>性骨軟化症	Puerperal osteomalacia	M83.0	産じょく<褥>期骨軟化症	Puerperal osteomalacia
M90.6*	新生物性疾患における変形性骨炎(C00-D48†)	Osteitis deformans in neoplastic disease (C00-D48†)	M90.6*	新生物<腫瘍>性疾患における変形性骨炎(C00-D48†)	Osteitis deformans in neoplastic disease (C00-D48†)
M90.7*	新生物性疾患における骨折(C00-D48†)	Fracture of bone in neoplastic disease (C00-D48†)	M90.7*	新生物<腫瘍>性疾患における骨折(C00-D48†)	Fracture of bone in neoplastic disease (C00-D48†)
<b>第XIV章 腎尿路生殖器系の疾患</b>		<b>Chapter XIV Diseases of the genitourinary system (N00-N99)</b>	<b>第XIV章 腎尿路生殖器系の疾患 (N00-N99)</b>		<b>Chapter XIV Diseases of the genitourinary system (N00-N99)</b>
N06	明示された形態学的病変を伴う単独たんぱく<蛋白>尿	Isolated proteinuria with specified morphological lesion	N06	明示された形態学的病変を伴う単独タンパク<蛋白>尿	Isolated proteinuria with specified morphological lesion
N08.1*	新生物性疾患における糸球体障害	Glomerular disorders in neoplastic diseases	N08.1*	新生物<腫瘍>性疾患における糸球体障害	Glomerular disorders in neoplastic diseases
N16.1*	新生物性疾患における腎尿細管間質性障害	Renal tubulo-interstitial disorders in neoplastic diseases	N16.1*	新生物<腫瘍>性疾患における腎尿細管間質性障害	Renal tubulo-interstitial disorders in neoplastic diseases
N18	慢性腎不全	Chronic renal failure	N18	慢性腎臓病	Chronic kidney disease
<u>N18.0</u>	末期腎疾患	End-stage renal disease		削除	
	新規		<u>N18.1</u>	慢性腎臓病, ステージ1	Chronic kidney disease, stage 1
	新規		<u>N18.2</u>	慢性腎臓病, ステージ2	Chronic kidney disease, stage 2
	新規		<u>N18.3</u>	慢性腎臓病, ステージ3	Chronic kidney disease, stage 3
	新規		<u>N18.4</u>	慢性腎臓病, ステージ4	Chronic kidney disease, stage 4

現行告示			答申案		
	新規		N18.5	慢性腎臓病, ステージ5	Chronic kidney disease, stage 5
N18.8	その他の慢性腎不全	Other chronic renal failure		削除	
N18.9	慢性腎不全, 詳細不明	Chronic renal failure, unspecified	N18.9	慢性腎臓病, 詳細不明	Chronic kidney disease, unspecified
N39.1	持続性たんぱく<蛋白>尿, 詳細不明	Persistent proteinuria, unspecified	N39.1	持続性タンパク<蛋白>尿, 詳細不明	Persistent proteinuria, unspecified
N39.2	起立性たんぱく<蛋白>尿, 詳細不明	Orthostatic proteinuria, unspecified	N39.2	起立性タンパク<蛋白>尿, 詳細不明	Orthostatic proteinuria, unspecified
	新規		N42.3	前立腺の異形成	Dysplasia of prostate
N94.2	膣けい<瘻>	Vaginismus	N94.2	膣けい<瘻>	Vaginismus
<b>第XV章 妊娠, 分娩及び産じょく&lt;褥&gt;</b>		<b>Chapter XV Pregnancy, childbirth and the puerperium (O00-O99)</b>	<b>第XV章 妊娠, 分娩及び産じょく&lt;褥&gt; (O00-O99)</b>		<b>Chapter XV Pregnancy, childbirth and the puerperium (O00-O99)</b>
	妊娠, 分娩及び産じょく<褥>における浮腫, たんぱく<蛋白>尿及び高血圧性障害 (O10-O16)	Oedema, proteinuria and hypertensive disorders in pregnancy, childbirth and the puerperium (O10-O16)		妊娠, 分娩及び産じょく<褥>における浮腫, タンパク<蛋白>尿及び高血圧性障害 (O10-O16)	Oedema, proteinuria and hypertensive disorders in pregnancy, childbirth and the puerperium (O10-O16)
O11	増悪したたんぱく<蛋白>尿を伴う既存の高血圧性障害	Pre-existing hypertensive disorder with superimposed proteinuria	O11	慢性高血圧(症)に加重した子かん<癩>前症	Pre-eclampsia superimposed on chronic hypertension
O12	高血圧(症)を伴わない妊娠浮腫及び妊娠たんぱく<蛋白>尿	Gestational [pregnancy-induced] oedema and proteinuria without hypertension	O12	高血圧(症)を伴わない妊娠浮腫及び妊娠タンパク<蛋白>尿	Gestational [pregnancy-induced] oedema and proteinuria without hypertension
O12.1	妊娠たんぱく<蛋白>尿	Gestational proteinuria	O12.1	妊娠タンパク<蛋白>尿	Gestational proteinuria
O12.2	たんぱく<蛋白>尿を伴う妊娠浮腫	Gestational oedema with proteinuria	O12.2	タンパク<蛋白>尿を伴う妊娠浮腫	Gestational oedema with proteinuria
O13	明らかなたんぱく<蛋白>尿を伴わない妊娠高血圧(症)	Gestational [pregnancy-induced] hypertension without significant proteinuria	O13	妊娠高血圧(症)	Gestational [pregnancy-induced] hypertension
O14	明らかなたんぱく<蛋白>尿を伴う妊娠高血圧(症)	Gestational [pregnancy-induced] hypertension with significant proteinuria	O14	子かん<癩>前症	Pre-eclampsia
O14.0	中等症子かん<癩>前症	Moderate pre-eclampsia	O14.0	軽症から中等症の子かん<癩>前症	Mild to moderate pre-eclampsia
	新規		O14.2	HELLP症候群	HELLP syndrome

現行告示			答申案		
O21	過度の妊娠嘔吐	Excessive vomiting in pregnancy	O21	過度の妊娠嘔吐	Excessive vomiting in pregnancy
O21.2	後期妊娠嘔吐	Late vomiting of pregnancy	O21.2	後期妊娠嘔吐	Late vomiting of pregnancy
O21.8	妊娠に合併するその他の嘔吐	Other vomiting complicating pregnancy	O21.8	妊娠に合併するその他の嘔吐	Other vomiting complicating pregnancy
O21.9	妊娠嘔吐, 詳細不明	Vomiting of pregnancy, unspecified	O21.9	妊娠嘔吐, 詳細不明	Vomiting of pregnancy, unspecified
O22	妊娠中の静脈合併症	Venous complications in pregnancy	O22	妊娠中の静脈合併症及び痔核	Venous complications and haemorrhoids in pregnancy
O24.0	既存のインスリン依存性糖尿病	Pre-existing diabetes mellitus, insulin-dependent	O24.0	既存の1型糖尿病	Pre-existing type 1 diabetes mellitus
O24.1	既存のインスリン非依存性糖尿病	Pre-existing diabetes mellitus, non-insulin-dependent	O24.1	既存の2型糖尿病	Pre-existing type 2 diabetes mellitus
O34.1	子宮体腫瘍のための母体ケア	Maternal care for tumour of corpus uteri	O34.1	子宮体腫瘍<瘤>のための母体ケア	Maternal care for tumour of corpus uteri
O35.3	母体のウイルス疾患による胎児傷害(の疑い)のための母体ケア	Maternal care for (suspected) damage to fetus from viral disease in mother	O35.3	母体のウイルス性疾患による胎児傷害(の疑い)のための母体ケア	Maternal care for (suspected) damage to fetus from viral disease in mother
	新規		O43.2	病的な癒着胎盤	Morbidly adherent placenta
O60	早産	Preterm delivery	O60	切迫早産及び早産	Preterm labour and delivery
	新規		O60.0	切迫早産	Preterm labour without delivery
	新規		O60.1	早産	Preterm spontaneous labour with preterm delivery
	新規		O60.2	切迫早産後の正期産	Preterm spontaneous labour with term delivery
	新規		O60.3	陣痛発来前の早産	Preterm delivery without spontaneous labour
O62.0	原発性陣痛微弱	Primary inadequate contractions	O62.0	原発性微弱陣痛	Primary inadequate contractions
O62.1	続発性陣痛微弱	Secondary uterine inertia	O62.1	続発性微弱陣痛	Secondary uterine inertia



現行告示			答申案		
O62.2	その他の陣痛微弱	Other uterine inertia	O62.2	その他の微弱陣痛	Other uterine inertia
O69	臍帯合併症を合併する分娩	Labour and delivery complicated by umbilical cord complications	O69	臍帯合併症を合併する分娩	Labour and delivery complicated by umbilical cord complications
O69.0	臍帯の脱垂を合併する分娩	Labour and delivery complicated by prolapse of cord	O69.0	臍帯の脱垂を合併する分娩	Labour and delivery complicated by prolapse of cord
O69.1	圧迫を伴う臍帯頸部巻絡を合併する分娩	Labour and delivery complicated by cord around neck, with compression	O69.1	圧迫を伴う臍帯頸部巻絡を合併する分娩	Labour and delivery complicated by cord around neck, with compression
O69.2	その他の臍帯巻絡を合併する分娩	Labour and delivery complicated by other cord entanglement, with compression	O69.2	その他の臍帯巻絡を合併する分娩、臍帯圧迫を伴うもの	Labour and delivery complicated by other cord entanglement, with compression
O69.3	過短臍帯を合併する分娩	Labour and delivery complicated by short cord	O69.3	過短臍帯を合併する分娩	Labour and delivery complicated by short cord
O69.5	臍帯血管損傷を合併する分娩	Labour and delivery complicated by vascular lesion of cord	O69.5	臍帯血管損傷を合併する分娩	Labour and delivery complicated by vascular lesion of cord
O69.8	その他の臍帯合併症を合併する分娩	Labour and delivery complicated by other cord complications	O69.8	その他の臍帯合併症を合併する分娩	Labour and delivery complicated by other cord complications
O69.9	臍帯合併症を合併する分娩、詳細不明	Labour and delivery complicated by cord complication, unspecified	O69.9	臍帯合併症を合併する分娩、詳細不明	Labour and delivery complicated by cord complication, unspecified
O71.4	産科的高位膣(壁)裂傷<laceration>のみ	Obstetric high vaginal laceration alone	O71.4	産科的高位膣(壁)裂傷<laceration>	Obstetric high vaginal laceration
O71.6	骨盤関節及び靭帯の産科的傷害	Obstetric damage to pelvic joints and ligaments	O71.6	骨盤関節及び靭帯の産科的傷害	Obstetric damage to pelvic joints and ligaments
O73	遺残胎盤及び遺残卵膜、出血を伴わないもの	Retained placenta and membranes, without haemorrhage	O73	胎盤残留及び卵膜残留、出血を伴わないもの	Retained placenta and membranes, without haemorrhage
O73.0	遺残胎盤、出血を伴わないもの	Retained placenta without haemorrhage	O73.0	出血を伴わない胎盤残留	Retained placenta without haemorrhage
O73.1	胎盤及び卵膜の一部遺残、出血を伴わないもの	Retained portions of placenta and membranes, without haemorrhage	O73.1	胎盤及び卵膜の一部残留、出血を伴わないもの	Retained portions of placenta and membranes, without haemorrhage
O87	産じょく<褥>における静脈合併症	Venous complications in the puerperium	O87	産じょく<褥>における静脈合併症及び痔核	Venous complications and haemorrhoids in the puerperium
	新規		O96.0	直接産科的原因による死亡	Death from direct obstetric cause
	新規		O96.1	間接産科的原因による死亡	Death from indirect obstetric causes

現行告示			答申案		
	新規		O96.9	詳細不明の産科的原因による死亡	Death from unspecified obstetric cause
O97	直接産科的原因の続発・後遺症による死亡	Death from sequelae of direct obstetric causes	O97	産科的原因の続発・後遺症による死亡	Death from sequelae of obstetric causes
	新規		O97.0	直接産科的原因の続発・後遺症による死亡	Death from sequelae of direct obstetric cause
	新規		O97.1	間接産科的原因の続発・後遺症による死亡	Death from sequelae of indirect obstetric cause
	新規		O97.9	産科的原因の続発・後遺症による死亡, 詳細不明	Death from sequelae of obstetric cause, unspecified
O98.4	妊娠, 分娩及び産じょく<褥>に合併するウイルス肝炎	Viral hepatitis complicating pregnancy, childbirth and the puerperium	O98.4	妊娠, 分娩及び産じょく<褥>に合併するウイルス性肝炎	Viral hepatitis complicating pregnancy, childbirth and the puerperium
O98.5	妊娠, 分娩及び産じょく<褥>に合併するその他のウイルス疾患	Other viral diseases complicating pregnancy, childbirth and the puerperium	O98.5	妊娠, 分娩及び産じょく<褥>に合併するその他のウイルス性疾患	Other viral diseases complicating pregnancy, childbirth and the puerperium
	新規		O98.7	妊娠, 分娩及び産じょく<褥>に合併するヒト免疫不全ウイルス[HIV]病	Human immunodeficiency virus [HIV] disease complicating pregnancy, childbirth and the puerperium
<b>第XVI章 周産期に発生した病態</b>		<b>Chapter XVI Certain conditions originating in the perinatal period (P00-P96)</b>	<b>第XVI章 周産期に発生した病態(P00-P96)</b>		<b>Chapter XVI Certain conditions originating in the perinatal period (P00-P96)</b>
P02	胎盤, 臍帯及び卵膜の合併症により影響を受けた胎児及び新生児	Fetus and newborn affected by complications of placenta, cord and membranes	P02	胎盤, 臍帯及び卵膜の合併症により影響を受けた胎児及び新生児	Fetus and newborn affected by complications of placenta, cord and membranes
P02.4	臍帯脱出により影響を受けた胎児及び新生児	Fetus and newborn affected by prolapsed cord	P02.4	臍帯脱出により影響を受けた胎児及び新生児	Fetus and newborn affected by prolapsed cord
P02.5	臍帯のその他の圧迫により影響を受けた胎児及び新生児	Fetus and newborn affected by other compression of umbilical cord	P02.5	臍帯のその他の圧迫により影響を受けた胎児及び新生児	Fetus and newborn affected by other compression of umbilical cord
P02.6	臍帯のその他及び詳細不明の病態により影響を受けた胎児及び新生児	Fetus and newborn affected by other and unspecified conditions of umbilical cord	P02.6	臍帯のその他及び詳細不明の病態により影響を受けた胎児及び新生児	Fetus and newborn affected by other and unspecified conditions of umbilical cord
P23.3	B群レンサ球菌による先天性肺炎	Congenital pneumonia due to streptococcus, group B	P23.3	B群連鎖球菌による先天性肺炎	Congenital pneumonia due to streptococcus, group B
P35	先天性ウイルス疾患	Congenital viral diseases	P35	先天性ウイルス性疾患	Congenital viral diseases
P35.3	先天性ウイルス肝炎	Congenital viral hepatitis	P35.3	先天性ウイルス性肝炎	Congenital viral hepatitis
P35.8	その他の先天性ウイルス疾患	Other congenital viral diseases	P35.8	その他の先天性ウイルス性疾患	Other congenital viral diseases

現行告示			答申案		
P35.9	先天性ウイルス疾患, 詳細不明	Congenital viral disease, unspecified	P35.9	先天性ウイルス性疾患, 詳細不明	Congenital viral disease, unspecified
P36.0	B群レンサ球菌による新生児の敗血症	Sepsis of newborn due to streptococcus, group B	P36.0	B群連鎖球菌による新生児の敗血症	Sepsis of newborn due to streptococcus, group B
P36.1	その他及び詳細不明のレンサ球菌による新生児の敗血症	Sepsis of newborn due to other and unspecified streptococci	P36.1	その他及び詳細不明の連鎖球菌による新生児の敗血症	Sepsis of newborn due to other and unspecified streptococci
P38	軽度出血を伴う又は伴わない新生児の臍炎	Omphalitis of newborn with or without mild haemorrhage	P38	軽度出血を伴う又は伴わない新生児の臍炎	Omphalitis of newborn with or without mild haemorrhage
P50.1	臍蓋破裂からの胎児失血	Fetal blood loss from ruptured cord	P50.1	臍蓋破裂からの胎児失血	Fetal blood loss from ruptured cord
P50.5	双胎の対児の臍蓋断端からの胎児失血	Fetal blood loss from cut end of co-twin's cord	P50.5	双胎の対児の臍蓋断端からの胎児失血	Fetal blood loss from cut end of co-twin's cord
P51	新生児の臍出血	Umbilical haemorrhage of newborn	P51	新生児の臍出血	Umbilical haemorrhage of newborn
P51.0	新生児の大量臍出血	Massive umbilical haemorrhage of newborn	P51.0	新生児の大量臍出血	Massive umbilical haemorrhage of newborn
P51.8	新生児のその他の臍出血	Other umbilical haemorrhages of newborn	P51.8	新生児のその他の臍出血	Other umbilical haemorrhages of newborn
P51.9	新生児の臍出血, 詳細不明	Umbilical haemorrhage of newborn, unspecified	P51.9	新生児の臍出血, 詳細不明	Umbilical haemorrhage of newborn, unspecified
P70.0	妊娠性糖尿病母体の児症候群	Syndrome of infant of mother with gestational diabetes	P70.0	妊娠性糖尿病母体の児の症候群	Syndrome of infant of mother with gestational diabetes
P70.1	糖尿病母体の児症候群	Syndrome of infant of a diabetic mother	P70.1	糖尿病母体から出産した児の症候群	Syndrome of infant of a diabetic mother
P75*	胎便<メコニウム>イレウス(E84.1†)	Meconium ileus (E84.1†)	P75*	のう<囊>胞線維症における胎便<メコニウム>イレウス(E84.1†)	Meconium ileus in cystic fibrosis (E84.1†)
P83.6	新生児の臍ポリープ	Umbilical polyp of newborn	P83.6	新生児の臍ポリープ	Umbilical polyp of newborn
P90	新生児のけいれん<痙攣>	Convulsions of newborn	P90	新生児のけいれん<痙攣>	Convulsions of newborn
P92.0	新生児嘔吐	Vomiting in newborn	P92.0	新生児嘔吐	Vomiting in newborn
P96.4	妊娠中絶, 胎児及び新生児	Termination of pregnancy, fetus and newborn	P96.4	妊娠中絶, 胎児及び新生児に影響を与える場合	Termination of pregnancy, affecting fetus and newborn

現行告示			答申案		
第XVII章 先天奇形, 変形及び染色体異常		Chapter XVII Congenital malformations, deformations and chromosomal abnormalities (Q00-Q99)	第XVII章 先天奇形, 変形及び染色体異常 (Q00-Q99)		Chapter XVII Congenital malformations, deformations and chromosomal abnormalities (Q00-Q99)
Q10	眼瞼, 涙器及び眼窩の先天奇形	Congenital malformations of eyelid, lacrimal apparatus and orbit	Q10	眼瞼, 涙器及び眼窩の先天奇形	Congenital malformations of eyelid, lacrimal apparatus and orbit
Q10.0	先天(性)眼瞼下垂	Congenital ptosis	Q10.0	先天(性)眼瞼下垂	Congenital ptosis
Q10.1	先天(性)眼瞼外反(症)	Congenital ectropion	Q10.1	先天(性)眼瞼外反(症)	Congenital ectropion
Q10.2	先天(性)眼瞼内反(症)	Congenital entropion	Q10.2	先天(性)眼瞼内反(症)	Congenital entropion
Q10.3	眼瞼のその他の先天奇形	Other congenital malformations of eyelid	Q10.3	眼瞼のその他の先天奇形	Other congenital malformations of eyelid
Q18.1	先天性耳ろうく瘻>孔と先天性のうく囊>胞	Preauricular sinus and cyst	Q18.1	前耳介洞及びのうく囊>胞	Preauricular sinus and cyst
Q27.0	臍動脈の先天性欠損及び低形成<形成不全>	Congenital absence and hypoplasia of umbilical artery	Q27.0	臍動脈の先天性欠損及び低形成<形成不全>	Congenital absence and hypoplasia of umbilical artery
Q76.1	クリッペル・ファイル<Klippel-Feil>症候群	Klippel-Feil syndrome	Q76.1	クリッペル・フェール<Klippel-Feil>症候群	Klippel-Feil syndrome
Q79.2	臍帯ヘルニア	Exomphalos	Q79.2	臍帯ヘルニア	Exomphalos
Q79.6	エーラース・ダンロス<Ehlers-Danlos>症候群	Ehlers-Danlos syndrome	Q79.6	エーラス・ダンロス<Ehlers-Danlos>症候群	Ehlers-Danlos syndrome
第XVIII章 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの		Chapter XVIII Symptoms, signs and abnormal clinical and laboratory findings, not elsewhere classified (R00-R99)	第XVIII章 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの (R00-R99)		Chapter XVIII Symptoms, signs and abnormal clinical and laboratory findings, not elsewhere classified (R00-R99)
R11	悪心及び嘔吐	Nausea and vomiting	R11	悪心及び嘔吐	Nausea and vomiting
R25.2	(有痛性)けいれん<痙攣>	Cramp and spasm	R25.2	(有痛性)けいれん<痙攣>	Cramp and spasm
R25.3	線維束性れん<痙>縮	Fasciculation	R25.3	線維束性れん<攣>縮	Fasciculation
	新規		R26.3	不動状態	Immobility

現行告示			答申案		
	新規		<u>R29.6</u>	<u>転倒傾向, 他に分類されないもの</u>	Tendency to fall, not elsewhere classified
R50	不明熱	Fever of unknown origin	R50	<u>その他の原因による熱及び不明熱</u>	Fever of other and unknown origin
<u>R50.0</u>	<u>悪寒くさむけを伴う発熱</u>	Fever with chills		削除	
<u>R50.1</u>	<u>持続熱</u>	Persistent fever		削除	
	新規		<u>R50.2</u>	<u>薬剤性の発熱</u>	Drug-induced fever
	新規		<u>R50.8</u>	<u>その他の明示された発熱</u>	Other specified fever
R56	けいれん<痙攣>, 他に分類されないもの	Convulsions, not elsewhere classified	R56	けいれん<痙攣>, 他に分類されないもの	Convulsions, not elsewhere classified
R56.0	熱性けいれん<痙攣>	Febrile convulsions	R56.0	熱性けいれん<痙攣>	Febrile convulsions
R56.8	その他及び詳細不明のけいれん<痙攣>	Other and unspecified convulsions	R56.8	その他及び詳細不明のけいれん<痙攣>	Other and unspecified convulsions
	新規		<u>R57.2</u>	<u>敗血症性ショック</u>	Septic shock
	新規		<u>R63.6</u>	<u>セルフネグレクトによる食物及び水分の摂取不足</u>	Insufficient intake of food and water due to self neglect
	新規		<u>R65</u>	<u>全身性炎症反応症候群[SIRS]</u>	Systemic Inflammatory Response Syndrome [SIRS]
	新規		<u>R65.0</u>	<u>感染症が原因の全身性炎症反応症候群, 臓器不全を伴わないもの</u>	Systemic Inflammatory Response Syndrome of infectious origin without organ failure
	新規		<u>R65.1</u>	<u>感染症が原因の全身性炎症反応症候群, 臓器不全を伴うもの</u>	Systemic Inflammatory Response Syndrome of infectious origin with organ failure
	新規		<u>R65.2</u>	<u>感染症が原因でない全身性炎症反応症候群, 臓器不全を伴わないもの</u>	Systemic Inflammatory Response Syndrome of non-infectious origin without organ failure
	新規		<u>R65.3</u>	<u>感染症が原因でない全身性炎症反応症候群, 臓器不全を伴うもの</u>	Systemic Inflammatory Response Syndrome of non-infectious origin with organ failure
	新規		<u>R65.9</u>	<u>全身性炎症反応症候群, 詳細不明</u>	Systemic Inflammatory Response Syndrome, unspecified

現行告示			答申案		
R77	血漿たんぱく<蛋白>のその他の異常	Other abnormalities of plasma proteins	R77	血漿タンパク<蛋白>のその他の異常	Other abnormalities of plasma proteins
R77.8	血漿たんぱく<蛋白>のその他の明示された異常	Other specified abnormalities of plasma proteins	R77.8	血漿タンパク<蛋白>のその他の明示された異常	Other specified abnormalities of plasma proteins
R77.9	血漿たんぱく<蛋白>の異常, 詳細不明	Abnormality of plasma protein, unspecified	R77.9	血漿タンパク<蛋白>の異常, 詳細不明	Abnormality of plasma protein, unspecified
R80	単独たんぱく<蛋白>尿	Isolated proteinuria	R80	単独タンパク<蛋白>尿	Isolated proteinuria
R81	糖尿	Glycosuria	R81	尿糖	Glycosuria
	その他の体液, 検体<材料>及び組織の検査の異常所見, 診断名の記載がないもの(R83-R89) 下記の4桁細分類項目は項目R83-R89に使用する:			その他の体液, 検体<材料>及び組織の検査の異常所見, 診断名の記載がないもの(R83-R89) 下記の4桁細分類項目は項目R83-R89に使用する:	
0	酵素の異常値	Abnormal level of enzymes	0	酵素の異常値	Abnormal level of enzymes
R94.1	末梢神経系及び特殊感覚の機能検査における異常所見	Abnormal results of function studies of peripheral nervous system and special senses	R94.1	末梢神経系及び特殊感覚の機能検査における異常所見	Abnormal results of function studies of peripheral nervous system and special senses
	新規		R95.0	乳幼児突然死症候群, 剖検の記載があるもの	Sudden infant death syndrome with mention of autopsy
	新規		R95.9	乳幼児突然死症候群, 剖検の記載がないもの	Sudden infant death syndrome without mention of autopsy
	<b>第XIX章 損傷, 中毒及びその他の外因の影響</b>	<b>Chapter XIX Injury, poisoning and certain other consequences of external causes (S00-T98)</b>		<b>第XIX章 損傷, 中毒及びその他の外因の影響(S00-T98)</b>	<b>Chapter XIX Injury, poisoning and certain other consequences of external causes (S00-T98)</b>
S00.1	眼瞼及び眼球周囲部の挫傷	Contusion of eyelid and periocular area	S00.1	眼瞼及び眼球周囲部の挫傷	Contusion of eyelid and periocular area
S00.2	眼瞼及び眼球周囲部のその他の表在損傷	Other superficial injuries of eyelid and periocular area	S00.2	眼瞼及び眼球周囲部のその他の表在損傷	Other superficial injuries of eyelid and periocular area
S01.1	眼瞼及び眼球周囲部の開放創	Open wound of eyelid and periocular area	S01.1	眼瞼及び眼球周囲部の開放創	Open wound of eyelid and periocular area
S03	頭部の関節及び靭帯の脱臼, 捻挫及びストレイン	Dislocation, sprain and strain of joints and ligaments of head	S03	頭部の関節及び靭帯の脱臼, 捻挫及びストレイン	Dislocation, sprain and strain of joints and ligaments of head
S03.5	頭部のその他及び部位不明の関節及び靭帯の捻挫及びストレイン	Sprain and strain of joints and ligaments of other and unspecified parts of head	S03.5	頭部のその他及び部位不明の関節及び靭帯の捻挫及びストレイン	Sprain and strain of joints and ligaments of other and unspecified parts of head

現行告示			答申案		
S05.3	眼球の裂傷<laceration>, 眼球内組織の脱出又は喪失を伴わないもの	Ocular laceration without prolapse or loss of intraocular tissue	S05.3	眼球の裂傷<laceration>, 眼球内組織の脱出及び喪失を伴わないもの	Ocular laceration without prolapse or loss of intraocular tissue
S13	頸部の関節及び靭帯の脱臼, 捻挫及びストレイン	Dislocation, sprain and strain of joints and ligaments at neck level	S13	頸部の関節及び靭帯の脱臼, 捻挫及びストレイン	Dislocation, sprain and strain of joints and ligaments at neck level
S13.6	頸部のその他及び部位不明の関節及び靭帯の捻挫及びストレイン	Sprain and strain of joints and ligaments of other and unspecified parts of neck	S13.6	頸部のその他及び部位不明の関節及び靭帯の捻挫及びストレイン	Sprain and strain of joints and ligaments of other and unspecified parts of neck
S14.4	頸部の末梢神経損傷	Injury of peripheral nerveS of neck	S14.4	頸部の末梢神経損傷	Injury of peripheral nerveS of neck
S23	胸部<郭>の関節及び靭帯の脱臼, 捻挫及びストレイン	Dislocation, sprain and strain of joints and ligaments of thorax	S23	胸部<郭>の関節及び靭帯の脱臼, 捻挫及びストレイン	Dislocation, sprain and strain of joints and ligaments of thorax
S33	腰椎及び骨盤の関節及び靭帯の脱臼, 捻挫及びストレイン	Dislocation, sprain and strain of joints and ligaments of lumbar spine and pelvis	S33	腰椎及び骨盤の関節及び靭帯の脱臼, 捻挫及びストレイン	Dislocation, sprain and strain of joints and ligaments of lumbar spine and pelvis
S43	肩甲<上肢>帯の関節及び靭帯の脱臼, 捻挫及びストレイン	Dislocation, sprain and strain of joints and ligaments of shoulder girdle	S43	肩甲<上肢>帯の関節及び靭帯の脱臼, 捻挫及びストレイン	Dislocation, sprain and strain of joints and ligaments of shoulder girdle
S46.0	肩(回旋筋)腱板の腱損傷	Injury of tendon of the rotator cuff of shoulder	S46.0	肩(回旋筋)腱板の筋及び腱の損傷	Injury of muscle(s) and tendon(s) of the rotator cuff of shoulder
S53	肘の関節及び靭帯の脱臼, 捻挫及びストレイン	Dislocation, sprain and strain of joints and ligaments of elbow	S53	肘の関節及び靭帯の脱臼, 捻挫及びストレイン	Dislocation, sprain and strain of joints and ligaments of elbow
S53.2	外側側副靭帯の外傷性断裂	Traumatic rupture of radial collateral ligament	S53.2	外側側副靭帯の外傷性断裂	Traumatic rupture of radial collateral ligament
S53.3	内側側副靭帯の外傷性断裂	Traumatic rupture of ulnar collateral ligament	S53.3	内側側副靭帯の外傷性断裂	Traumatic rupture of ulnar collateral ligament
S63	手首及び手の関節及び靭帯の脱臼, 捻挫及びストレイン	Dislocation, sprain and strain of joints and ligaments at wrist and hand level	S63	手首及び手の関節及び靭帯の脱臼, 捻挫及びストレイン	Dislocation, sprain and strain of joints and ligaments at wrist and hand level
S63.3	手首及び手根の靭帯の外傷性断裂	Traumatic rupture of ligament of wrist and carpus	S63.3	手首及び手根の靭帯の外傷性断裂	Traumatic rupture of ligament of wrist and carpus
S63.4	中手指節関節及び指節間関節の靭帯の外傷性断裂	Traumatic rupture of ligament of finger at metacarpophalangeal and interphalangeal joint(s)	S63.4	中手指節関節及び指節間関節の靭帯の外傷性断裂	Traumatic rupture of ligament of finger at metacarpophalangeal and interphalangeal joint(s)
S73	股関節部の関節及び靭帯の脱臼, 捻挫及びストレイン	Dislocation, sprain and strain of joint and ligaments of hip	S73	股関節部の関節及び靭帯の脱臼, 捻挫及びストレイン	Dislocation, sprain and strain of joint and ligaments of hip
S83	膝の関節及び靭帯の脱臼, 捻挫及びストレイン	Dislocation, sprain and strain of joints and ligaments of knee	S83	膝の関節及び靭帯の脱臼, 捻挫及びストレイン	Dislocation, sprain and strain of joints and ligaments of knee
S83.4	膝の(内側)(外側)側副靭帯の捻挫及びストレイン	Sprain and strain involving (fibular)(tibial) collateral ligament of knee	S83.4	膝の(内側)(外側)側副靭帯の捻挫及びストレイン	Sprain and strain involving (fibular)(tibial) collateral ligament of knee

現行告示			答申案		
S83.5	膝の(前)(後)十字靭帯の捻挫及びストレイン	Sprain and strain involving (anterior)(posterior) cruciate ligament of knee	S83.5	膝の(前)(後)十字靭帯の捻挫及びストレイン	Sprain and strain involving (anterior)(posterior) cruciate ligament of knee
S93	足首及び足の関節及び靭帯の脱臼, 捻挫及びストレイン	Dislocation, sprain and strain of joints and ligaments at ankle and foot level	S93	足首及び足の関節及び靭帯の脱臼, 捻挫及びストレイン	Dislocation, sprain and strain of joints and ligaments at ankle and foot level
S93.2	足首及び足の靭帯の断裂	Rupture of ligaments at ankle and foot level	S93.2	足首及び足の靭帯の断裂	Rupture of ligaments at ankle and foot level
T09.2	体幹の詳細不明の関節及び靭帯の脱臼, 捻挫及びストレイン	Dislocation, sprain and strain of unspecified joint and ligament of trunk	T09.2	体幹の詳細不明の関節及び靭帯の脱臼, 捻挫及びストレイン	Dislocation, sprain and strain of unspecified joint and ligament of trunk
T11.2	上肢の詳細不明の関節及び靭帯の脱臼, 捻挫及びストレイン, 部位不明	Dislocation, sprain and strain of unspecified joint and ligament of upper limb, level unspecified	T11.2	上肢の詳細不明の関節及び靭帯の脱臼, 捻挫及びストレイン, 部位不明	Dislocation, sprain and strain of unspecified joint and ligament of upper limb, level unspecified
T13.2	下肢の詳細不明の関節及び靭帯の脱臼, 捻挫及びストレイン, 部位不明	Dislocation, sprain and strain of unspecified joint and ligament of lower limb, level unspecified	T13.2	下肢の詳細不明の関節及び靭帯の脱臼, 捻挫及びストレイン, 部位不明	Dislocation, sprain and strain of unspecified joint and ligament of lower limb, level unspecified
T26.0	眼瞼及び眼球周囲の熱傷	Burn of eyelid and periorbital area	T26.0	眼瞼及び眼球周囲の熱傷	Burn of eyelid and periorbital area
T26.5	眼瞼及び眼球周囲の腐食	Corrosion of eyelid and periorbital area	T26.5	眼瞼及び眼球周囲の腐食	Corrosion of eyelid and periorbital area
T38.7	男性ホルモン類及びたんぱく<蛋白>同化作用薬	Androgens and anabolic congeners	T38.7	男性ホルモン類及びたんぱく<蛋白>同化作用薬	Androgens and anabolic congeners
T44.3	その他の副交感神経遮断薬[抗コリン及び抗ムスカリン作動薬]及び鎮けい<瘧>薬, 他に分類されないもの	Other parasympatholytics [anticholinergics and antimuscarinics] and spasmolytics, not elsewhere classified	T44.3	その他の副交感神経遮断薬[抗コリン及び抗ムスカリン作動薬]及び鎮けい<瘧>薬, 他に分類されないもの	Other parasympatholytics [anticholinergics and antimuscarinics] and spasmolytics, not elsewhere classified
T59.1	二酸化硫黄	Sulfur dioxide	T59.1	二酸化イオウ	Sulfur dioxide
T60.4	殺鼠剤	Rodenticides	T60.4	殺鼠剤	Rodenticides
T67.2	熱(性)けいれん<瘧瘧>	Heat cramp	T67.2	熱(性)けいれん<瘧瘧>	Heat cramp
T82.8	心臓及び血管のプロステーシス, 挿入物及び移植片のその他の合併症	Other complications of cardiac and vascular prosthetic devices, implants and grafts	T82.8	心臓及び血管のプロステーシス, 挿入物及び移植片のその他の明示された合併症	Other specified complications of cardiac and vascular prosthetic devices, implants and grafts
<b>第XX章 傷病及び死亡の外因</b>		<b>Chapter XX External causes of morbidity and mortality (V01-Y98)</b>	<b>第XX章 傷病及び死亡の外因 (V00-Y98)</b>		<b>Chapter XX External causes of morbidity and mortality (V01-Y98)</b>
	転倒・転落 (W00-W19)	Falls (W00-W19)		転倒・転落・墜落 (W00-W19)	Falls (W00-W19)



現行告示			答申案		
	新規		W46	皮下注射針との接触	Contact with hypodermic needle
	新規		X34.0	地震による地殻変動の受傷者	Victim of cataclysmic earth movements caused by earthquake
	新規		X34.1	津波による受傷者	Victim of tsunami
	新規		X34.8	地震によるその他の明示された影響の受傷者	Victim of other specified effects of earthquake
	新規		X34.9	地震による詳細不明の影響の受傷者	Victim of unspecified effect of earthquake
	新規		X59.0	詳細不明の骨折	Exposure to unspecified factor causing fracture
	新規		X59.9	その他及び詳細不明の損傷	Exposure to unspecified factor causing other and unspecified injury
Y07	その他の虐待症候群	Other maltreatment syndromes	Y07	その他の虐待	Other maltreatment
Y42.7	男性ホルモン類及びたんぱく<蛋白>同化作用薬	Androgens and anabolic congeners	Y42.7	男性ホルモン類及びたんぱく<蛋白>同化作用薬	Androgens and anabolic congeners
Y46.8	鎮けい<痙>薬	Antispasticity drugs	Y46.8	鎮けい<痙>薬	Antispasticity drugs
Y51.3	その他の副交感神経遮断薬[抗コリン及び抗ムスカリン作動薬]及び鎮けい<痙>薬, 他に分類されないもの	Other parasympatholytics [anticholinergics and antimuscarinics] and spasmolytics, not elsewhere classified	Y51.3	その他の副交感神経遮断薬[抗コリン及び抗ムスカリン作動薬]及び鎮けい<痙>薬, 他に分類されないもの	Other parasympatholytics [anticholinergics and antimuscarinics] and spasmolytics, not elsewhere classified
<b>第XXI章 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用</b>		<b>Chapter XXI Factors influencing health status and contact with health services (Z00-Z99)</b>	<b>第XXI章 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用 (Z00-Z99)</b>		<b>Chapter XXI Factors influencing health status and contact with health services (Z00-Z99)</b>
Z03.1	悪性新生物の疑いに対する観察	Observation for suspected malignant neoplasm	Z03.1	悪性新生物<腫瘍>の疑いに対する観察	Observation for suspected malignant neoplasm
Z08	悪性新生物治療後の経過観察<フォローアップ>検査	Follow-up examination after treatment for malignant neoplasms	Z08	悪性新生物<腫瘍>治療後の経過観察<フォローアップ>検査	Follow-up examination after treatment for malignant neoplasms
Z08.0	悪性新生物の術後の経過観察<フォローアップ>検査	Follow-up examination after surgery for malignant neoplasm	Z08.0	悪性新生物<腫瘍>の術後の経過観察<フォローアップ>検査	Follow-up examination after surgery for malignant neoplasm
Z08.1	悪性新生物の放射線治療後の経過観察<フォローアップ>検査	Follow-up examination after radiotherapy for malignant neoplasm	Z08.1	悪性新生物<腫瘍>の放射線治療後の経過観察<フォローアップ>検査	Follow-up examination after radiotherapy for malignant neoplasm
Z08.2	悪性新生物の化学療法後の経過観察<フォローアップ>検査	Follow-up examination after chemotherapy for malignant neoplasm	Z08.2	悪性新生物<腫瘍>の化学療法後の経過観察<フォローアップ>検査	Follow-up examination after chemotherapy for malignant neoplasm

現行告示			答申案		
Z08.7	悪性新生物の複合治療後の経過観察<フォローアップ>検査	Follow-up examination after combined treatment for malignant neoplasm	Z08.7	悪性新生物<腫瘍>の複合治療後の経過観察<フォローアップ>検査	Follow-up examination after combined treatment for malignant neoplasm
Z08.8	悪性新生物のその他の治療後の経過観察<フォローアップ>検査	Follow-up examination after other treatment for malignant neoplasm	Z08.8	悪性新生物<腫瘍>のその他の治療後の経過観察<フォローアップ>検査	Follow-up examination after other treatment for malignant neoplasm
Z08.9	悪性新生物の詳細不明の治療後の経過観察<フォローアップ>検査	Follow-up examination after unspecified treatment for malignant neoplasm	Z08.9	悪性新生物<腫瘍>の詳細不明の治療後の経過観察<フォローアップ>検査	Follow-up examination after unspecified treatment for malignant neoplasm
Z09	悪性新生物以外の病態の治療後の経過観察<フォローアップ>検査	Follow-up examination after treatment for conditions other than malignant neoplasms	Z09	悪性新生物<腫瘍>以外の病態の治療後の経過観察<フォローアップ>検査	Follow-up examination after treatment for conditions other than malignant neoplasms
Z11.5	その他のウイルス疾患の特殊スクリーニング検査	Special screening examination for other viral diseases	Z11.5	その他のウイルス性疾患の特殊スクリーニング検査	Special screening examination for other viral diseases
Z12	新生物の特殊スクリーニング検査	Special screening examination for neoplasms	Z12	新生物<腫瘍>の特殊スクリーニング検査	Special screening examination for neoplasms
Z12.0	胃の新生物の特殊スクリーニング検査	Special screening examination for neoplasm of stomach	Z12.0	胃の新生物<腫瘍>の特殊スクリーニング検査	Special screening examination for neoplasm of stomach
Z12.1	腸管の新生物の特殊スクリーニング検査	Special screening examination for neoplasm of intestinal tract	Z12.1	腸管の新生物<腫瘍>の特殊スクリーニング検査	Special screening examination for neoplasm of intestinal tract
Z12.2	呼吸器の新生物の特殊スクリーニング検査	Special screening examination for neoplasm of respiratory organs	Z12.2	呼吸器の新生物<腫瘍>の特殊スクリーニング検査	Special screening examination for neoplasm of respiratory organs
Z12.3	乳房の新生物の特殊スクリーニング検査	Special screening examination for neoplasm of breast	Z12.3	乳房の新生物<腫瘍>の特殊スクリーニング検査	Special screening examination for neoplasm of breast
Z12.4	子宮頸(部)の新生物の特殊スクリーニング検査	Special screening examination for neoplasm of cervix	Z12.4	子宮頸(部)の新生物<腫瘍>の特殊スクリーニング検査	Special screening examination for neoplasm of cervix
Z12.5	前立腺の新生物の特殊スクリーニング検査	Special screening examination for neoplasm of prostate	Z12.5	前立腺の新生物<腫瘍>の特殊スクリーニング検査	Special screening examination for neoplasm of prostate
Z12.6	膀胱の新生物の特殊スクリーニング検査	Special screening examination for neoplasm of bladder	Z12.6	膀胱の新生物<腫瘍>の特殊スクリーニング検査	Special screening examination for neoplasm of bladder
Z12.8	その他の部位の新生物の特殊スクリーニング検査	Special screening examination for neoplasms of other sites	Z12.8	その他の部位の新生物<腫瘍>の特殊スクリーニング検査	Special screening examination for neoplasms of other sites
Z12.9	新生物の特殊スクリーニング検査, 詳細不明	Special screening examination for neoplasm, unspecified	Z12.9	新生物<腫瘍>の特殊スクリーニング検査, 詳細不明	Special screening examination for neoplasm, unspecified
Z20.5	ウイルス肝炎の感染源との接触及び病原体への曝露	Contact with and exposure to viral hepatitis	Z20.5	ウイルス性肝炎の感染源との接触及び病原体への曝露	Contact with and exposure to viral hepatitis
Z22.5	ウイルス肝炎のキャリア<病原体保有者>	Carrier of viral hepatitis	Z22.5	ウイルス性肝炎のキャリア<病原体保有者>	Carrier of viral hepatitis

現行告示			答申案		
Z24	単独のウイルス疾患に対する予防接種の必要性	Need for immunization against certain single viral diseases	Z24	単独のウイルス性疾患に対する予防接種の必要性	Need for immunization against certain single viral diseases
Z24.6	ウイルス肝炎に対する予防接種の必要性	Need for immunization against viral hepatitis	Z24.6	ウイルス性肝炎に対する予防接種の必要性	Need for immunization against viral hepatitis
Z25	その他の単独のウイルス疾患に対する予防接種の必要性	Need for immunization against other single viral diseases	Z25	その他の単独のウイルス性疾患に対する予防接種の必要性	Need for immunization against other single viral diseases
Z25.8	その他の明示された単独のウイルス疾患に対する予防接種の必要性	Need for immunization against other specified single viral diseases	Z25.8	その他の明示された単独のウイルス性疾患に対する予防接種の必要性	Need for immunization against other specified single viral diseases
Z40.0	悪性新生物に関連する危険因子のための予防的手術	Prophylactic surgery for risk-factors related to malignant neoplasms	Z40.0	悪性新生物<腫瘍>に関連する危険因子のための予防的手術	Prophylactic surgery for risk-factors related to malignant neoplasms
Z45.0	心臓ペースメーカーの調整および管理	Adjustment and management of cardiac pacemaker	Z45.0	心臓デバイスの調整及び管理	Adjustment and management of cardiac devices
Z51.1	新生物の化学療法施行中	Chemotherapy session for neoplasm	Z51.1	新生物<腫瘍>の化学療法施行中	Chemotherapy session for neoplasm
Z51.3	輸血_診断名の記載がないもの	Blood transfusion without reported diagnosis	Z51.3	輸血(診断名の記載がないもの)	Blood transfusion (without reported diagnosis)
	新規		Z58.7	タバコの煙への暴露	Exposure to tobacco smoke
Z74.0	移動困難	Reduced mobility	Z74.0	移動困難による援助の必要性	Need for assistance due to reduced mobility
Z80	悪性新生物の家族歴	Family history of malignant neoplasm of digestive organs	Z80	悪性新生物<腫瘍>の家族歴	Family history of malignant neoplasm of digestive organs
Z80.0	消化器の悪性新生物の家族歴	Family history of malignant neoplasm of digestive organs	Z80.0	消化器の悪性新生物<腫瘍>の家族歴	Family history of malignant neoplasm of digestive organs
Z80.1	気管, 気管支及び肺の悪性新生物の家族歴	Family history of malignant neoplasm of trachea, bronchus and lung	Z80.1	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>の家族歴	Family history of malignant neoplasm of trachea, bronchus and lung
Z80.2	その他の呼吸器及び胸腔内臓器の悪性新生物の家族歴	Family history of malignant neoplasm of other respiratory and intrathoracic organs	Z80.2	その他の呼吸器及び胸腔内臓器の悪性新生物<腫瘍>の家族歴	Family history of malignant neoplasm of other respiratory and intrathoracic organs
Z80.3	乳房の悪性新生物の家族歴	Family history of malignant neoplasm of breast	Z80.3	乳房の悪性新生物<腫瘍>の家族歴	Family history of malignant neoplasm of breast
Z80.4	生殖器の悪性新生物の家族歴	Family history of malignant neoplasm of genital organs	Z80.4	生殖器の悪性新生物<腫瘍>の家族歴	Family history of malignant neoplasm of genital organs
Z80.5	腎尿路の悪性新生物の家族歴	Family history of malignant neoplasm of urinary tract	Z80.5	腎尿路の悪性新生物<腫瘍>の家族歴	Family history of malignant neoplasm of urinary tract

現行告示			答申案		
Z80.7	リンパ組織、造血組織及び関連組織のその他の悪性新生物の家族歴	Family history of other malignant neoplasms of lymphoid, haematopoietic and related tissues	Z80.7	リンパ組織、造血組織及び関連組織のその他の悪性新生物<腫瘍>の家族歴	Family history of other malignant neoplasms of lymphoid, haematopoietic and related tissues
Z80.8	その他の臓器又は器官系の悪性新生物の家族歴	Family history of malignant neoplasm of other organs or systems	Z80.8	その他の臓器又は器官系の悪性新生物<腫瘍>の家族歴	Family history of malignant neoplasm of other organs or systems
Z80.9	悪性新生物の家族歴、詳細不明	Family history of malignant neoplasm, unspecified	Z80.9	悪性新生物<腫瘍>の家族歴、詳細不明	Family history of malignant neoplasm, unspecified
Z85	悪性新生物の既往歴	Personal history of malignant neoplasm	Z85	悪性新生物<腫瘍>の既往歴	Personal history of malignant neoplasm
Z85.0	消化器の悪性新生物の既往歴	Personal history of malignant neoplasm of digestive organs	Z85.0	消化器の悪性新生物<腫瘍>の既往歴	Personal history of malignant neoplasm of digestive organs
Z85.1	気管、気管支及び肺の悪性新生物の既往歴	Personal history of malignant neoplasm of trachea, bronchus and lung	Z85.1	気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>の既往歴	Personal history of malignant neoplasm of trachea, bronchus and lung
Z85.2	その他の呼吸器及び胸腔内臓器の悪性新生物の既往歴	Personal history of malignant neoplasm of other respiratory and intrathoracic organs	Z85.2	その他の呼吸器及び胸腔内臓器の悪性新生物<腫瘍>の既往歴	Personal history of malignant neoplasm of other respiratory and intrathoracic organs
Z85.3	乳房の悪性新生物の既往歴	Personal history of malignant neoplasm of breast	Z85.3	乳房の悪性新生物<腫瘍>の既往歴	Personal history of malignant neoplasm of breast
Z85.4	生殖器の悪性新生物の既往歴	Personal history of malignant neoplasm of genital organs	Z85.4	生殖器の悪性新生物<腫瘍>の既往歴	Personal history of malignant neoplasm of genital organs
Z85.5	腎尿路の悪性新生物の既往歴	Personal history of malignant neoplasm of urinary tract	Z85.5	腎尿路の悪性新生物<腫瘍>の既往歴	Personal history of malignant neoplasm of urinary tract
Z85.7	リンパ組織、造血組織及び関連組織のその他の悪性新生物の既往歴	Personal history of other malignant neoplasms of lymphoid, haematopoietic and related tissues	Z85.7	リンパ組織、造血組織及び関連組織のその他の悪性新生物<腫瘍>の既往歴	Personal history of other malignant neoplasms of lymphoid, haematopoietic and related tissues
Z85.8	その他の臓器及び器官系の悪性新生物の既往歴	Personal history of malignant neoplasms of other organs and systems	Z85.8	その他の臓器及び器官系の悪性新生物<腫瘍>の既往歴	Personal history of malignant neoplasms of other organs and systems
Z85.9	悪性新生物の既往歴、詳細不明	Personal history of malignant neoplasm, unspecified	Z85.9	悪性新生物<腫瘍>の既往歴、詳細不明	Personal history of malignant neoplasm, unspecified
Z86.0	その他の新生物の既往歴	Personal history of other neoplasms	Z86.0	その他の新生物<腫瘍>の既往歴	Personal history of other neoplasms
	新規		Z92.6	新生物<腫瘍>性疾患に対する化学療法<既往歴>	Personal history of chemotherapy for neoplastic disease
Z95.0	心臓ペースメーカーの存在	Presence of cardiac pacemaker	Z95.0	心臓の電氣的デバイスの存在	Presence of electronic cardiac devices
	新規		Z99.4	人工心臓依存	Dependence on artificial heart

現行告示		答申案		
第XXII章 特殊目的用コード		Chapter XXII Codes for special purposes (U00-U89)	第XXII章 特殊目的用コード(U00-U89)	Chapter XXII Codes for special purposes (U00-U89)
新規			U06 エマージェンシーコードU06	Emergency use of U06
新規			U06.0 エマージェンシーコードU06.0	Emergency use of U06.0
新規			U06.1 エマージェンシーコードU06.1	Emergency use of U06.1
新規			U06.2 エマージェンシーコードU06.2	Emergency use of U06.2
新規			U06.3 エマージェンシーコードU06.3	Emergency use of U06.3
新規			U06.4 エマージェンシーコードU06.4	Emergency use of U06.4
新規			U06.5 エマージェンシーコードU06.5	Emergency use of U06.5
新規			U06.6 エマージェンシーコードU06.6	Emergency use of U06.6
新規			U06.7 エマージェンシーコードU06.7	Emergency use of U06.7
新規			U06.8 エマージェンシーコードU06.8	Emergency use of U06.8
新規			U06.9 エマージェンシーコードU06.9	Emergency use of U06.9
新規			U07 エマージェンシーコードU07	Emergency use of U07
新規			U07.0 エマージェンシーコードU07.0	Emergency use of U07.0
新規			U07.1 エマージェンシーコードU07.1	Emergency use of U07.1
新規			U07.2 エマージェンシーコードU07.2	Emergency use of U07.2
新規			U07.3 エマージェンシーコードU07.3	Emergency use of U07.3

現行告示			答申案		
	新規		<u>U07.4</u>	<u>エマージェンシーコードU07.4</u>	Emergency use of U07.4
	新規		<u>U07.5</u>	<u>エマージェンシーコードU07.5</u>	Emergency use of U07.5
	新規		<u>U07.6</u>	<u>エマージェンシーコードU07.6</u>	Emergency use of U07.6
	新規		<u>U07.7</u>	<u>エマージェンシーコードU07.7</u>	Emergency use of U07.7
	新規		<u>U07.8</u>	<u>エマージェンシーコードU07.8</u>	Emergency use of U07.8
	新規		<u>U07.9</u>	<u>エマージェンシーコードU07.9</u>	Emergency use of U07.9
	<u>抗生物質に耐性の細菌性病原体(U80-U89)</u>	Bacterial agents resistant to antibiotics (U80-U89)		削除	
<u>U80</u>	<u>ペニシリン及び関連抗生物質耐性病原体</u>	Agent resistant to penicillin and related antibiotics		削除	
<u>U80.0</u>	<u>ペニシリン耐性病原体</u>	Penicillin resistant agent		削除	
<u>U80.1</u>	<u>メチシリン耐性病原体</u>	Methicillin resistant agent		削除	
<u>U80.8</u>	<u>その他のペニシリン系抗生物質耐性病原体</u>	Agent resistant to other penicillin-related antibiotic		削除	
<u>U81</u>	<u>バンコマイシン及び関連抗生物質耐性病原体</u>	Agent resistant to vancomycin and related antibiotics		削除	
<u>U81.0</u>	<u>バンコマイシン耐性病原体</u>	Vancomycin resistant agent		削除	
<u>U81.8</u>	<u>その他のバンコマイシン関連抗生物質耐性病原体</u>	Agent resistant to other vancomycin-related antibiotic		削除	
	新規		<u>U82</u>	<u>ベータラクタム抗生物質への耐性</u>	Resistance to betalactam antibiotics
	新規		<u>U82.0</u>	<u>ペニシリンへの耐性</u>	Resistance to penicillin
	新規		<u>U82.1</u>	<u>メチシリンへの耐性</u>	Resistance to methicillin

現行告示			答申案		
	新規		U82.2	<u>基質特異性拡張型ベータラクタマーゼ(ESBL)耐性</u>	Extended spectrum betalactamase (ESBL) resistance
	新規		U82.8	<u>その他のベータラクタム耐性</u>	Resistance to other betalactam antibiotics
	新規		U82.9	<u>ベータラクタム耐性, 詳細不明</u>	Resistance to betalactam antibiotics, unspecified
	新規		U83	<u>その他の抗生物質への耐性</u>	Resistance to other antibiotics
	新規		U83.0	<u>バンコマイシンへの耐性</u>	Resistance to vancomycin
	新規		U83.1	<u>抗生物質に関連するその他のバンコマイシンへの耐性</u>	Resistance to other vancomycin related antibiotics
	新規		U83.2	<u>キノロンへの耐性</u>	Resistance to quinolones
	新規		U83.7	<u>多剤抗生物質への耐性</u>	Resistance to multiple antibiotics
	新規		U83.8	<u>特定の単剤抗生物質への耐性</u>	Resistance to other single specified antibiotic
	新規		U83.9	<u>詳細不明の抗生物質への耐性</u>	Resistance to unspecified antibiotic
	新規		U84	<u>その他の抗菌薬への耐性</u>	Resistance to other antimicrobial drugs
	新規		U84.0	<u>抗菌薬への耐性</u>	Resistance to antiparasitic drug(s)
	新規		U84.1	<u>抗真菌薬への耐性</u>	Resistance to antifungal drug(s)
	新規		U84.2	<u>抗ウイルス薬への耐性</u>	Resistance to antiviral drug(s)
	新規		U84.3	<u>抗結核薬への耐性</u>	Resistance to tuberculostatic drug(s)
	新規		U84.7	<u>多剤抗菌薬への耐性</u>	Resistance to multiple antimicrobial drugs
	新規		U84.8	<u>その他の特定された抗菌薬への耐性</u>	Resistance to other specified antimicrobial drug

現行告示			答申案		
	新規		<u>U84.9</u>	<u>詳細不明の抗菌薬への耐性</u>	Resistance to unspecified antimicrobial drugs
	新規		<u>U85</u>	<u>その他の抗悪性腫瘍薬への耐性</u>	Resistance to antineoplastic drugs
<u>U88</u>	<u>抗生物質多剤耐性病原体</u>	Agent resistant to multiple antibiotics		削除	
<u>U89</u>	<u>その他の抗生物質及び詳細不明の抗生物質耐性病原体</u>	Agent resistant to other and unspecified antibiotics		削除	
<u>U89.8</u>	<u>その他の明示された単一抗生物質耐性病原体</u>	Agent resistant to other single specified antibiotic		削除	
<u>U89.9</u>	<u>詳細不明の抗生物質耐性病原体</u>	Agent resistant to unspecified antibiotic		削除	



## 疾病、傷害及び死因統計分類提要 内容例示・新旧対照表 (案)

No.	現行	提要案	WHO 勧告 (原文)
1	第 I 章-感染症及び寄生虫症 細菌性病原体が耐性を持った抗生物質を分類する必要がある場合には追加コード (U80.- - U89.-) を使用する。	第 I 章 感染症及び寄生虫症 (A00 - B99) 抗菌薬への耐性を分類する必要がある場合には追加コード (U82-U84) を使用する。	<b>Chapter I - Certain infectious and parasitic diseases (A00-B99)</b> Use additional code(U82-U85-U84), if desired, to identify resistance to antimicrobials and antineoplastic drugs
2	第 I 章 感染症および寄生虫症  包含：伝染または伝播すると一般的に認識される疾患 除外：局所感染—身体系統に関連する章を参照 インフルエンザおよびその他の急性呼吸器感染症 (J00—J22) 妊娠，分娩および産じょく<褥>に合併した感染症および寄生虫症 [産科的破傷風およびヒト免疫不全ウイルス [H I V] 病を除く] (O98. —) 周産期に特有の感染症および寄生虫症 [新生児破傷風，先天梅毒，周産期淋菌感染症および周産期ヒト免疫不全ウイルス [H I V] 病を除く] (P 35—P 39) 感染症のキャリア<病原体保有者>またはキャリア<病原体保有者>の疑いのある者 (Z 22. —)	第 I 章 感染症及び寄生虫症 (A00-B99)  包含：伝染または伝播すると一般的に認識される疾患 除外：局所感染—身体系統に関連する章を参照 インフルエンザ及びその他の急性呼吸器感染症 (J00—J22) 妊娠，分娩及び産じょく<褥>に合併した感染症及び寄生虫症 [産科的破傷風を除く] (O98.-) 周産期に特有の感染症及び寄生虫症 [新生児破傷風，先天梅毒，周産期淋菌感染症及び周産期ヒト免疫不全ウイルス [H I V] 病を除く] (P35—P39)  感染症のキャリア<病原体保有者>又はキャリア<病原体保有者>の疑いのある者 (Z22.-)	<b>Certain infectious and parasitic diseases (A00-B99)</b>  <i>Includes:</i> diseases generally recognized as communicable or transmissible <i>Excludes:</i> carrier or suspected carrier of infectious disease (Z22.-) certain localized infections – see body system-related chapters infectious and parasitic diseases complicating pregnancy, childbirth and the puerperium [except obstetrical tetanus] and human immunodeficiency virus [HIV] disease (O98.-) infectious and parasitic diseases specific to the perinatal period [except tetanus neonatorum, congenital syphilis, perinatal gonococcal infection and perinatal human immunodeficiency virus [HIV] disease] (P35-P39) influenza and other acute respiratory infections (J00-J22)
3	感染症および寄生虫症 … 本章は次の中間分類項目を含む：  B95—B97 細菌，ウイルスおよびその他の病原体 B99 その他の感染症	感染症及び寄生虫症 (A00-B99)  本章は次の中間分類項目を含む：  B95—B98 細菌，ウイルス及びその他の病原体 B99 その他の感染症	<b>Certain infectious and parasitic diseases (A00-B99)</b>  …  <b>This chapter contains the following blocks:</b>  …  B95-B978 Bacterial, viral and other infectious agents  B99 Other infectious disease
4	A05 その他の細菌性食中毒,他に分類されないもの 除外：大腸菌 感染症 (A04.0-A04.4)	A05 その他の細菌性食中毒,他に分類されないもの 除外：クロストリジウム・ディフィシルによる食中毒及び感染症 (A04.7) 大腸菌 感染症 (A04.0 - A04.4)	<b>A05 Other bacterial foodborne intoxications, not elsewhere classified</b> <i>Excludes:</i> <u>Clostridium difficile</u> foodborne intoxication and infection (A04.7) <i>Escherichia coli</i> infection (A04.0-A04.4)
5	A08 ウイルス性およびその他の明示された腸管感染症 除外：胃腸障害を伴うインフルエンザ (J10.8 - J11.8)	A08 ウイルス性及びその他の明示された腸管感染症 除外：胃腸障害を伴うインフルエンザ (J09, J10.8 - J11.8)	<b>A08 Viral and other specified intestinal infections</b> <i>Excludes:</i> influenza with involvement of gastrointestinal tract (J09, J10.8, J11.8)
6	A09 感染症と推定される下痢および胃腸炎  ★注：各国の状況によって，他に何ら特記されない A09 の内容が非感染性と判断される場合は，K 52.9 へ分類する。（★日本では使用しない）	A09 その他の胃腸炎及び大腸炎，感染症及び詳細不明の原因によるもの	<b>A09 Other diarrhoea and gastroenteritis of presumed infectious and colitis of infectious and unspecified origin</b>  <i>Note:</i> In countries where any term listed in A09 without further specification can be assumed to be of non-infectious origin, the condition should be classified to K52.9

No.	現行	提要案	WHO 勧告 (原文)
	<p>腸カタル 胃腸炎 腸炎 } NOS, 出血性および敗血症性 大腸炎 下痢: ・ NOS ・ 赤痢様 ・ 流行性 感染性下痢性疾患 NOS</p> <p>除外: 細菌, 原虫, ウイルスおよびその他の明示された病原体によるもの (A00—A08) 非感染性下痢 (K52.9) ・ 新生児 (P78.3)</p>	<p>除外: 細菌, 原虫, ウイルス及びその他の明示された病原体によるもの (A00—A08) 非感染性 (非感染性参照) 下痢 (K52.9) 非感染性 (非感染性参照) 下痢: ・ 新生児 (P78.3)</p> <p><b>A09.0 感染症が原因のその他及び詳細不明の胃腸炎及び大腸炎</b> 腸カタル 下痢: - 急性血性 - 急性出血性 - 急性水様性 - 赤痢様 - 流行性 感染性又は敗血症性 - 大腸炎 - 腸炎 } NOS 出血性 - 胃腸炎 感染性下痢 NOS</p> <p><b>A09.9 詳細不明の原因による胃腸炎及び大腸炎</b></p>	<p>Catarrh, enteric or intestinal Colitis _____   NOS Enteritis _____ } haemorrhagic Gastroenteritis _____   septic Diarrhoea: — NOS — dysenteric — epidemic — Infectious diarrhoeal disease NOS</p> <p><i>Excludes:</i> due to bacterial, protozoal, viral and other specified infectious agents (A00-A08) Noninfective (see noninfectious) diarrhoea (K52.9) Noninfective (see noninfectious) diarrhoea - neonatal (P78.3)</p> <p><b>A09.0 Other and unspecified gastroenteritis and colitis of infectious origin</b></p> <p>Catarrh, enteric or intestinal Diarrhoea: - acute bloody - acute hemorrhagic - acute watery - dysenteric - epidemic Infectious or septic: - colitis _____   - enteritis _____ } NOS haemorrhagic - gastroenteritis _____   Infectious diarrhoea NOS</p> <p><b>A09.9 Gastroenteritis and colitis of unspecified origin</b></p>
7	<p>結核 (A15—A19) 包含: 結核菌およびウシ型結核菌による感染症 除外: 結核の続発・後遺症 (B90.—) 結核を伴うじん&lt;塵&gt;肺 (症) (J65) 珪肺結核 (J65) 先天性結核 (P37.0)</p>	<p>結核 (A15—A19) 包含: 結核菌及びウシ型結核菌による感染症 除外: 先天性結核 (P37.0) 結核を起こした HIV 病 (B20.0) 結核を伴うじん&lt;塵&gt;肺 (症) (J65) 結核の続発・後遺症 (B90.—) 珪肺結核 (J65)</p>	<p><b>Tuberculosis (A15-A19)</b> <i>Includes:</i> infections due to <i>Mycobacterium tuberculosis</i> and <i>Mycobacterium bovis</i> <i>Excludes:</i> congenital tuberculosis (P37.0) human immunodeficiency [HIV] disease resulting in tuberculosis (B20.0) pneumoconiosis associated with tuberculosis (J65) sequelae of tuberculosis (B90.—) silicotuberculosis (J65)</p>
8	<p>A24 鼻疽および類鼻疽 A24.0 鼻疽 鼻疽菌による感染症 マレウス</p>	<p>A24 鼻疽及び類鼻疽 A24.0 鼻疽 鼻疽菌 &lt;Pseudomonas mallei&gt; &lt;Burkholderia mallei&gt; による感 染症 マレウス</p>	<p><b>A24 Glanders and melioidosis</b> A24.0 Glanders Infection due to <i>Pseudomonas mallei</i> Infection due to <i>Burkholderia mallei</i> Malleus</p>
9	<p>A24.2 亜急性および慢性類鼻疽</p>	<p>A24.2 亜急性及び慢性類鼻疽</p>	<p>A24.2 Subacute and chronic melioidosis</p>

No.	現行	提案	WHO勧告 (原文)
	A24.3 その他の類鼻疽 A24.4 類鼻疽, 詳細不明 類鼻疽菌による感染症 NOS ホイットモア<Whitmore>病	A24.3 その他の類鼻疽 A24.4 類鼻疽, 詳細不明 類鼻疽菌 <Pseudomonas pseudomallei> <Burkholderia pseudomallei> による感染症 NOS ホイットモア<Whitmore>病	A24.3 Other melioidosis A24.4 Melioidosis, unspecified Infection due to <i>Pseudomonas pseudomallei</i> NOS <i>Infection due to Burkholderia pseudomallei</i> NOS Whitmore's disease
10	A40 レンサ球菌性敗血症 除外: 分娩中 (O75.3)  A41 その他の敗血症 除外: 菌血症 NOS (A49.9) 分娩中 (O75.3)  A41.9 敗血症, 詳細不明 敗血症性ショック	A40 連鎖球菌性敗血症 敗血症性ショックに分類する必要がある場合には追加コード (R57.2), を使用する。 除外: 分娩中 (O75.3)  A41 その他の敗血症 敗血症性ショックに分類する必要がある場合には追加コード (R57.2), を使用する。 除外: 菌血症 NOS (A49.9) 分娩中 (O75.3)  A41.9 敗血症, 詳細不明 敗血症	<b>A40 Streptococcal sepsis</b> <u>Use additional code (R57.2) if desired, to identify septic shock</u> <b>Excludes:</b> during labour (O75.3)  <b>A41 Other sepsis</b> <u>Use additional code (R57.2) if desired, to identify septic shock</u> <b>Excludes:</b> bacteraemia NOS (A49.9) during labour (O75.3)  <b>A41.9 Sepsis, unspecified</b> Septicaemia <u>Use additional code (R57.2) if desired, to identify septic shock</u>
11	A41.9 敗血症, 詳細不明 敗血症性ショック	A41.9 敗血症, 詳細不明 敗血症 敗血症性ショックの分類が必要な場合は, 追加コード (R57.2) を使用する。	<b>A41.9 Sepsis, unspecified</b>  Septic shock Septicaemia <u>Use additional code (R57.2) if desired, to identify septic shock</u>
12	A49 部位不明の細菌感染症 除外: 髄膜炎菌感染症 NOS (A39.9) スピロヘータ感染症 NOS (A69.9) クラミジア感染症 NOS (A74.9) リケッチア感染症 NOS (A79.9) 他章に分類される疾患の原因としての細菌性病原体 (B95-B96)  A49.0 ブドウ球菌感染症, 詳細不明 A49.1 レンサ球菌感染症, 詳細不明 A49.2 インフルエンザ菌感染症, 詳細不明 A49.3 マイコプラズマ感染症, 詳細不明 A49.8 部位不明のその他の細菌感染症 A49.9 細菌感染症, 詳細不明 菌血症 NOS	A49 部位不明の細菌感染症 除外: 他章に分類される疾患の原因としての細菌性病原体 (B95-B96) ラミジア感染症 NOS (A74.9) 髄膜炎菌感染症 NOS (A39.9) リケッチア感染症 NOS (A79.9) ピロヘータ感染症 NOS (A69.9)  A49.0 ブドウ球菌感染症, 部位不明 A49.1 連鎖球菌感染症, 部位不明 A49.2 インフルエンザ菌感染症, 部位不明 A49.3 マイコプラズマ感染症, 部位不明 A49.8 部位不明のその他の細菌感染症 A49.9 細菌感染症, 詳細不明 菌血症 NOS	<b>A49 Bacterial infection of unspecified site</b> <i>Excludes:</i> bacterial agents as the cause of diseases classified to other chapters (B95-B96) chlamydial infection NOS (A74.9) meningococcal infection NOS (A39.9) ricketsial infection NOS (A79.9) spirochaetal infection NOS (A69.9)  <b>A49.0 Staphylococcal infection, unspecified site</b> <b>A49.1 Streptococcal infection, unspecified site</b> <b>A49.2 Haemophilus influenzae infection, unspecified site</b> <b>A49.3 Mycoplasma infection, unspecified site</b> <b>A49.8 Other bacterial infections of unspecified site</b> <b>A49.9 Bacterial infection, unspecified</b> Bacteraemia NOS
13	A92.3 西ナイル熱	A92.3 西ナイルウイルス感染症 西ナイル熱	<b>A92.3 West Nile Fever virus infection</b> <u>West Nile fever</u>
14	B00.8 その他の型のヘルペスウイルス感染症 ヘルペスウイルス (性): • 肝炎† (K77.0*) • ひょう<瘰>疽	B00.8 その他の型のヘルペスウイルス感染症 ヘルペスウイルス (性): • 肝炎† (K77.0*) • ひょう<瘰>疽† (L99.8*)	<b>B00.8 Other forms of herpes viral infection</b> Herpesviral: • hepatitis† (K77.0*) • whitlow† (L99.8*)
15	ウイルス肝炎 (B15-B19) 除外: ヘルペスウイルス [単純ヘルペス] (性) 肝炎 (B00.8)	ウイルス性肝炎 (B15-B19) 除外: サイトメガロウイルス (性) 肝炎 (B25.1)	<b>Viral hepatitis (B15-B19)</b>

No.	現行	提案	WHO勧告 (原文)
	サイトメガロウイルス (性) 肝炎 (B25.1) <b>ウイルス肝炎の続発・後遺症 (B94.2)</b>  B15 急性 A 型肝炎 B15.0 急性 A 型肝炎, 肝性昏睡を伴うもの B15.9 急性 A 型肝炎, 肝性昏睡を伴わないもの A型肝炎 (急性) (ウイルス性) NOS	ヘルペスウイルス [単純ヘルペス] (性) 肝炎 (B00.8) <b>ウイルス性肝炎の続発・後遺症 (B94.2)</b>  <b>輸血後肝炎で, 薬物の分類が必要な場合は, 追加コード (第 X X 章) を使用する。</b>  B15 急性 A 型肝炎 B15.0 急性 A 型肝炎, 肝性昏睡を伴うもの B15.9 急性 A 型肝炎, 肝性昏睡を伴わないもの A 型肝炎 (急性) (ウイルス性) NOS	<b>Excludes:</b> cytomegaloviral hepatitis (B25.1) herpesviral [herpes simplex] hepatitis (B00.8) sequelae of viral hepatitis (B94.2)  <u>Use additional code (Chapter XX), if desired, to identify drug, if post-transfusion hepatitis</u>  <b>B15 Acute hepatitis A</b>  B15.0 Hepatitis A with hepatic coma B15.9 Hepatitis A without hepatic coma Hepatitis A (acute)(viral) NOS
16	B17 その他の急性 <b>ウイルス肝炎</b>  B17.0 B 型肝炎キャリア<病原体保有者>の急性デルタ (重) 感染症 B17.1 急性 C 型肝炎 B17.2 急性 E 型肝炎 B17.8 その他の明示された <b>急性ウイルス肝炎</b> 非 A 非 B 型肝炎 (急性) (ウイルス性) NEC  B19 詳細不明の <b>ウイルス肝炎</b> B19.0 詳細不明の <b>ウイルス肝炎</b> , 昏睡を伴うもの B19.9 詳細不明の <b>ウイルス肝炎</b> , 昏睡を伴わないもの	B17 その他の急性 <b>ウイルス性肝炎</b>  B17.0 B 型肝炎キャリア<病原体保有者>の急性デルタ (重) 感染症 B17.1 急性 C 型肝炎 B17.2 急性 E 型肝炎 B17.8 その他の明示された <b>急性ウイルス性肝炎</b> 非 A 非 B 型肝炎 (急性) (ウイルス性) NEC <b>B17.9 急性ウイルス性肝炎, 詳細不明</b> <b>急性肝炎 NOS</b> B19 詳細不明の <b>ウイルス性肝炎</b> B19.0 詳細不明の <b>ウイルス性肝炎</b> , 肝性昏睡を伴うもの B19.9 詳細不明の <b>ウイルス性肝炎</b> , 肝性昏睡を伴わないもの	<b>B17 Other acute viral hepatitis</b>  <b>B17.0 Acute delta-(super)infection of hepatitis B carrier</b>  <b>B17.1 Acute hepatitis C</b>  <b>B17.2 Acute hepatitis E</b>  <b>B17.8 Other specified acute viral hepatitis</b> Hepatitis non-A non-B (acute)(viral) NEC  <b>B17.9 Acute viral hepatitis, unspecified</b> <u>Acute hepatitis NOS</u>  <b>B19 Unspecified viral hepatitis</b>  <b>B19.0 Unspecified viral hepatitis with hepatic coma</b>  <b>B19.9 Unspecified viral hepatitis without hepatic coma</b>
17	B17.9 急性ウイルス肝炎, 詳細不明 急性肝炎 NOS	B17.9 急性 <b>ウイルス性肝炎</b> , 詳細不明 急性肝炎 NOS <b>急性伝染性肝炎 NOS</b>	<b>B17.9 Acute viral hepatitis, unspecified</b> Acute hepatitis NOS <u>Acute infectious hepatitis NOS</u>
18	ヒト免疫不全ウイルス [H I V] 病 (B20—B24) 除外: 無症候性ヒト免疫不全ウイルス [H I V] 感染状態 (Z21)	ヒト免疫不全ウイルス [H I V] 病 (B20—B24) 除外: 無症候性ヒト免疫不全ウイルス [H I V] 感染状態 (Z21) <b>妊娠, 分娩及び産じょく&lt;褥&gt;に合併するもの (O98.7)</b>	<b>Human immunodeficiency virus [HIV] disease (B20—B24)</b> <b>Excludes:</b> asymptomatic human immunodeficiency virus [HIV] infection status (Z21) <u>complicating pregnancy, childbirth and the puerperium (O98.7)</u>
19	B20.6 <b>カリニ肺炎を起こした H I V 病</b>	B20.6 <b>ニューモシスチス・イロベチイ肺炎を起こした H I V 病</b> <b>ニューモシスチスカリニ肺炎を起こした HIV 病</b>	<b>B20.6 HIV disease resulting in Pneumocystis jirovecii pneumonia</b> <u>HIV disease resulting in Pneumocystis carinii pneumonia</u>
20	B33 その他のウイルス疾患, 他に分類されないもの  B33.4+ ハンタ<Hanta>ウイルス (心) 肺症候群 [HPS] [HCPS] (J17.1*) シンノンブレ<Sin Nombre>ウイルス疾患 肺症状を伴うハンタ (Hanta) ウイルス疾患  アンデス<Andes>, ベイヨ<Bayou> およびブラック・クリーク・チャンネル<Black Creek Canal> ハンタウイルスに起	B33 その他のウイルス疾患, 他に分類されないもの  B33.4+ ハンタ<Hanta>ウイルス (心) 肺症候群 [HPS] [HCPS] (J17.1*) 肺症状を伴うハンタ (Hanta) ウイルス疾患 シンノンブレ<Sin Nombre>ウイルス疾患  アンデス<Andes>, ベイヨ<Bayou> およびブラック・クリーク・チャンネル<Black Creek Canal> ハンタウイルスに起因するハ	<b>B33 Other viral diseases, not elsewhere classified</b>  <b>B33.4+ Hantavirus (cardio)-pulmonary syndrome [HPS] [HCPS] (J17.1*)</b>  <u>Hantavirus disease with pulmonary manifestations</u> <u>Sin Nombre virus disease</u>  <u>Use additional code (N17.9), if desired, to identify any renal failure associated with HPS caused by the Andes, Bayou and Black Creek Canal hantavirus aetiologies.</u>

No.	現行	提提案	WHO 勧告 (原文)
	<p>因するハンタウイルス (心) 肺症候群に伴う腎不全を分類する場合は、追加コード(N17.9)を使用する。</p> <p>除外：腎症候性出血熱&lt;HFRS&gt; (A98.5† <b>N08.0*</b>)</p>	<p>ンタウイルス (心) 肺症候群に伴う腎不全を分類する場合は、追加コード (N17.9) を使用する。</p> <p>除外：腎症候性出血熱&lt;HFRS&gt; (A98.5†)</p>	<p><b>Excludes:</b> haemorrhagic fever with renal manifestations (A98.5† <b>N08.0*</b>)</p>
21	<p>B34 部位不明のウイルス感染症 除外：ヘルペスウイルス [単純ヘルペス] 感染症 NOS (B00.9) サイトメガロウイルス病 NOS (B25.9) レトロウイルス感染症 NOS (B33.3) 他章に分類される疾患の原因であるウイルス病原体 (B97.-)</p> <p>B34.0 アデノウイルス感染症, <b>詳細</b>不明 B34.1 エンテロウイルス感染症, <b>詳細</b>不明 コクサッキーウイルス感染症 NOS エコーウイルス感染症 NOS B34.2 コロナウイルス感染症, <b>詳細</b>不明</p>	<p>B34 部位不明のウイルス感染症 除外：サイトメガロウイルス病 NOS (B25.9) ヘルペスウイルス [単純ヘルペス] 感染症 NOS (B00.9) レトロウイルス感染症 NOS (B33.3) 他章に分類される疾患の原因であるウイルス病原体 (B97.-)</p> <p>B34.0 アデノウイルス感染症, <b>部位</b>不明 B34.1 エンテロウイルス感染症, <b>部位</b>不明 コクサッキーウイルス感染症 NOS エコーウイルス感染症 NOS B34.2 コロナウイルス感染症, <b>部位</b>不明</p>	<p><b>B34 Viral infection of unspecified site</b> <i>Excludes:</i> cytomegaloviral disease NOS (B25.9) herpesvirus [herpes simplex] infection NOS (B00.9) retrovirus infection NOS (B33.3) viral agents as the cause of diseases classified to other chapters (B97.-)</p> <p>B34.0 Adenovirus infection, unspecified <b>site</b> B34.1 Enterovirus infection, unspecified <b>site</b> Coxsackievirus infection NOS Echovirus infection NOS B34.2 Coronavirus infection, unspecified <b>site</b></p>
22	B34.2 コロナウイルス感染症, <b>詳細</b> 不明	B34.2 コロナウイルス感染症, <b>部位</b> 不明 <b>除外：重症急性呼吸器症候群 [SARS] (U04.9)</b>	<b>B34.2 Coronavirus infection, unspecified</b> <i>Excludes:</i> severe acute respiratory syndrome [SARS] (U04.9)
23	B34.3 パルボウイルス感染症, <b>詳細</b> 不明 B34.4 <b>パポバウイルス</b> 感染症, <b>詳細</b> 不明 B34.8 部位不明のその他のウイルス感染症	B34.3 パルボウイルス感染症, <b>部位</b> 不明 B34.4 <b>パポバウイルス</b> 感染症, <b>部位</b> 不明 B34.8 部位不明のその他のウイルス感染症	B34.3 Parvovirus infection, unspecified <b>site</b> B34.4 Papovavirus infection, unspecified <b>site</b> B34.8 Other viral infections of unspecified site
24	B59† ニューモシスチス症 (J17.3*) <b>ニューモシスチス カリニによる肺炎</b>	B59† ニューモシスチス症 (J17.3*)  <b>下記による肺炎：</b> <b>ニューモシスチスカリニ</b> <b>ニューモシスチスイロベチイ</b>	<b>B59† Pneumocystosis (J17.3*)</b> Pneumonia due to <i>Pneumocystis carinii</i> Pneumonia due to: · <i>Pneumocystis carinii</i> · <i>Pneumocystis jirovecii</i>
25	B67.4 単包条虫感染症, <b>詳細</b> 不明	B67.4 単包条虫感染症, <b>詳細</b> 不明 <b>犬条虫感染症</b>	<b>B67.4 Echinococcus granulosus infection, unspecified</b> <b>Dog tapeworm (infection)</b>  <b>※第3回部会資料から漏れていたため追加 (2010年適用分)</b>
26	B71.1 瓜実条虫症 <b>瓜実条虫感染症</b>	B71.1 瓜実条虫症	<b>B71.1 Dipylidiasis</b> <b>Dog tapeworm (infection)</b>  <b>※第3回部会資料から漏れていたため追加 (2010年適用分)</b>
27	B81 その他の腸ぜんく蠕>虫症, 他に分類されないもの 除外：広東住血線虫症 (B83.2)  B81.3 腸住血線虫症 コスタリカ住血線虫症	B81 その他の腸ぜんく蠕>虫症, 他に分類されないもの 除外：広東住血線虫症 ( <b>Parastrostrongylus cantonensis</b> < <b>Angiostrongylus cantonensis</b> >によるもの) (B83.2)  B81.3 腸住血線虫症 コスタリカ住血線虫症 ( <b>Parastrostrongylus costaricensis</b> < <b>Angiostrongylus costaricensis</b> >によるもの)	<b>B81 Other intestinal helminthiasis, not elsewhere classified</b> <i>Excludes:</i> angiostrongyliasis due to <i>Parastrostrongylus cantonensis</i> (B83.2) angiostrongyliasis due to <i>Angiostrongylus cantonensis</i> (B83.2)  <b>B81.3 Intestinal angiostrongyliasis</b> Angiostrongyliasis due to <i>Parastrostrongylus costaricensis</i> Angiostrongyliasis due to <i>Angiostrongylus costaricensis</i>
28	B81.8 その他の明示された腸ぜんく蠕>虫症 下記による感染症： ・エソファゴストム属種 [エソファゴストム症] ・ <b>テルニデンス デミニヌーツ</b> [テルニデンス症]	B81.8 その他の明示された腸ぜんく蠕>虫症 下記による感染症： ・エソファゴストム属種 [エソファゴストム症] ・ <b>テルニデンス・デミニヌーツ</b> [テルニデンス症]	<b>B81.8 Other specified intestinal helminthiasis</b> Infection due to: - <i>Oesophagostomum</i> species [oesophagostomiasis] - <i>Ternidens diminutus</i> [ternidensiasis] - <i>Ternidens diminutus</i> [ternidensiasis]

No.	現行	提案案	WHO勧告 (原文)
		・ <b>テルニデンス・ディミヌーツス</b> [テルニデンス症]	
29	B83.2 広東住血線虫症  好酸球性髄膜脳炎† (G05.2*)	B83.2 広東住血線虫症 <b>広東住血線虫症 (Parastrostrongylus cantonensis &lt;Angiostrongylus cantonensis&gt; によるもの)</b> 好酸球性髄膜脳炎† (G05.2*)	<b>B83.2: Angiostrongyliasis due to <i>Parastrostrongylus cantonensis</i></b> <u>Angiostrongyliasis due to <i>Angiostrongylus cantonensis</i></u> Eosinophilic meningoencephalitis† (G05.2*)
30	感染症および寄生虫症の続発・後遺症 (B90—B94) 注: 本分類項目は, A00—B89 に分類される病態が続発・後遺症 (それ自体は他に分類される) の原因であることを示すために使用する。「続発・後遺症」とは, 続発症と記載された病態を含む他, 上記の分類項目 (A00—B89) に分類できる疾患はもはや存在しない確証がある場合には, その後遺症も含まれている。本分類項目の使用の際には, 関連する疾病または死亡コーディングルールを参照する。	感染症及び寄生虫症の続発・後遺症 (B90—B94) 注: 分類項目 <b>B90—B94</b> は, A00—B89 に分類される病態が続発・後遺症 (それ自体は他に分類される) の原因であることを示すために使用する。「続発・後遺症」とは, 続発症と記載された病態を含む他, 上記の分類項目 (A00—B89) に分類できる疾患はもはや存在しない確証がある場合には, その後遺症も含む。本分類項目の使用の際には, 関連する疾病または死亡コーディングルールを参照する。 <b>慢性感染症については使用しない。現在の感染症を慢性又は活動性感染症に適宜コードする。</b>	<b>Sequelae of infectious and parasitic diseases (B90-B94)</b> <b>Note:</b> These categories <b>B90-B94</b> are to be used to indicate conditions in categories <b>A00-B89</b> as the cause of sequelae, which are themselves classified elsewhere. The “sequelae” include conditions specified as such; they also include late effects of diseases classifiable to the above categories if there is evidence that the disease itself is no longer present. For use of these categories, reference should be made to the morbidity or mortality coding rules and guidelines in Volume 2. <u>Not to be used for chronic infections. Code current infections to chronic or active infectious disease as appropriate.</u>
31	B91 灰白髄炎<ポリオ>の続発・後遺症	B91 灰白髄炎<ポリオ>の続発・後遺症 <b>除外: ポリオ後症候群 (G14)</b>	<b>B91 Sequelae of poliomyelitis</b> <i>Excludes: postpolio syndrome (G14)</i>
32	細菌, ウイルスおよびその他の病原体 (B95— <b>B97</b> ) 注: 本分類項目は一次コーディングには決して用いるべきではない。本分類項目は他章に分類される疾患における感染病原体を明示する必要がある場合に補助コードまたは追加コードとして設置されたものである。  B96 他章に分類される疾患の原因であるその他の細菌性病原体	細菌, ウイルス及びその他の病原体 (B95— <b>B98</b> ) 注: 本分類項目は一次コーディングには決して用いるべきではない。本分類項目は他章に分類される疾患における感染病原体を明示する必要がある場合に補助コード又は追加コードとして設置されたものである。  B96 他章に分類される疾患の原因であるその他の <b>明示された細菌性病原体</b> B98 他章に分類される疾患の原因であるその他の <b>明示された感染性病原体</b> B98.0 他章に分類される疾患の原因である <b>ヘリコバクター・ピロリ [H.pylori]</b> B98.1 他章に分類される疾患の原因である <b>ビブリオ・バルニフィカス</b>	<b>Bacterial, viral and other infectious agents (B95—B978)</b> <b>Note:</b> These categories should never be used in primary coding. They are provided for use as supplementary or additional codes when it is desired to identify the infectious agent(s) in diseases classified elsewhere.  <b>B96 Other specified bacterial agents as the cause of diseases classified to other chapters</b>  <b>B98 Other specified infectious agents as the cause of diseases classified to other chapters</b>  <b>B98.0 <i>Helicobacter pylori</i> [H.pylori] as the cause of diseases classified to other chapters</b>  <b>B98.1 <i>Vibrio vulnificus</i> as the cause of diseases classified to other chapters</b>
33	B96.5 他章に分類される疾患の原因である緑膿菌 <P.aeruginosa> <b>&lt;P.mallei&gt; &lt;P.pseudomallei&gt;</b>	B96.5 他章に分類される疾患の原因である緑膿菌 <P.aeruginosa>	<b>B96.5 <i>Pseudomonas (aeruginosa)(mallei)(pseudomallei)</i> as the cause of diseases classified to other chapters</b>
34	B97.8 他章に分類される疾患の原因であるその他のウイルス病原体	B97.8 他章に分類される疾患の原因であるその他のウイルス病原体 <b>ヒト・メタニューモウイルス</b>	<b>B97.8 Other viral agents as the cause of diseases classified to other chapters</b> <u>Human metapneumovirus</u>
35	第II章  新生物  本章は新生物の下記の中間分類項目群から構成されている:  C00-C75 原発と記載されたまたは推定された, 明示された部位の悪性新生物, ただしリンパ組織, 造血組織および関連組織を除く C00-C14 口唇, 口腔および咽頭 C15-C26 消化器	第II章  新生物 <b>&lt;腫瘍&gt; (C00—D48)</b>  本章は新生物 <b>&lt;腫瘍&gt;</b> の下記の中間分類項目群から構成されている: <b>C00-C97 悪性新生物&lt;腫瘍&gt;</b>  C00-C75 原発と記載されたまたは推定された, 明示された部位の悪性新生物 <b>&lt;腫瘍&gt;</b> , ただしリンパ組織, 造血組織および関連組織を除く C00-C14 口唇, 口腔及び咽頭の <b>悪性新生物&lt;腫瘍&gt;</b>	<b>Chapter II</b>  <b>Neoplasms (C00-D48)</b>  <b>This chapter contains the following broad groups of neoplasms:</b> <u>C00-C97 Malignant neoplasms</u>  C00-C75 Malignant neoplasms, stated or presumed to be primary, of specified sites, except of lymphoid, haematopoietic and related tissue  C00-C14 <u>Malignant neoplasms of lip, oral cavity and pharynx</u>

No.	現行	提案	WHO勧告 (原文)
	C30-C39 呼吸器および胸腔内臓器 C40-C41 骨および関節軟骨 C43-C44 皮膚 C45-C49 中皮および軟部組織 C50 乳房 C51-C58 女性生殖器 C60-C63 男性生殖器 C64-C68 尿路 C69-C72 眼, 脳および中枢神経系のその他の部位  C73-C75 甲状腺およびその他の内分泌腺 C76-C80 部位不明確, 続発部位および部位不明の悪性新生物 C81-C96 原発と記載されたまたは推定されたリンパ組織, 造血組織および関連組織の悪性新生物 C97 独立した(原発性)多部位の悪性新生物 D00-D09 上皮内新生物 D10-D36 良性新生物 D37-D48 性状不詳または不明の新生物 [138 ページの注を参照]	C15-C26 消化器の悪性新生物<腫瘍> C30-C39 呼吸器及び胸腔内臓器の悪性新生物<腫瘍> C40-C41 骨及び関節軟骨の悪性新生物<腫瘍> C43-C44 皮膚の悪性新生物<腫瘍> C45-C49 中皮及び軟部組織の悪性新生物<腫瘍> C50 乳房の悪性新生物<腫瘍> C51-C58 女性生殖器の悪性新生物<腫瘍> C60-C63 男性生殖器の悪性新生物<腫瘍> C64-C68 腎尿路の悪性新生物<腫瘍> C69-C72 眼, 脳及び中枢神経系のその他の部位の悪性新生物<腫瘍>  C73-C75 甲状腺及びその他の内分泌腺の悪性新生物<腫瘍> C76-C80 部位不明確, 続発部位及び部位不明の悪性新生物<腫瘍> C81-C96 原発と記載された又は推定されたリンパ組織, 造血組織及び関連組織の悪性新生物<腫瘍> C97 独立した(原発性)多部位の悪性新生物<腫瘍> D00-D09 上皮内新生物<腫瘍> D10-D36 良性新生物<腫瘍> D37-D48 性状不詳または不明の新生物<腫瘍>	C15-C26 <u>Malignant neoplasms of Digestive organs</u> C30-C39 <u>Malignant neoplasms of Respiratory and intrathoracic organs</u> C40-D41 <u>Malignant neoplasms of Bone and articular cartilage</u> C43-C44 <u>Malignant neoplasms of Skin</u> C45-C49 <u>Malignant neoplasms of Mesothelial and soft tissue</u> C50 <u>Malignant neoplasms of Breast</u> C51-C58 <u>Malignant neoplasms of Female genital organs</u> C60-C63 <u>Malignant neoplasms of Male genital organs</u> C64-C68 <u>Malignant neoplasms of Urinary tract</u> C69-C72 <u>Malignant neoplasms of Eye, brain and other parts of central nervous system</u> C73-C75 <u>Malignant neoplasms of Thyroid and other endocrine glands</u> C76-C80 <u>Malignant neoplasms of ill-defined, secondary and unspecified sites</u> C81-C96 <u>Malignant neoplasms, stated or presumed to be primary, of lymphoid, haematopoietic and related tissue</u> C97 <u>Malignant neoplasms of independent (primary) multiple sites</u> D00-D09 <u>In situ neoplasms</u> D10-D36 <u>Benign neoplasms</u> D37-D48 <u>Neoplasms of uncertain or unknown behaviour [see note before D37]</u>
36	悪性新生物	悪性新生物<腫瘍> (C00-C97) 抗悪性腫瘍薬への耐性を分類する必要がある場合には追加コード(U85)を使用する	<b>Malignant neoplasms (C00-C97)</b> <u>Use additional code (U85), if desired, to identify resistance, non-responsiveness and refractive properties of the neoplasm to antineoplastic drugs</u>
37	悪性新生物 (C00-C97)  口唇, 口腔および咽頭の悪性新生物 (C00-C14)	悪性新生物<腫瘍> (C00-C97)  原発と記載された又は推定された明示された部位の悪性新生物<腫瘍>, ただしリンパ組織, 造血組織及び関連組織を除く (C00-C75)  口唇, 口腔及び咽頭の悪性新生物<腫瘍> (C00-C14)	<b>Malignant neoplasms (C00-C97)</b> <u>Malignant neoplasms, stated or presumed to be primary, of specified sites, except of lymphoid, haematopoietic and related tissue (C00-C75)</u> Malignant neoplasms of lip, oral cavity and pharynx (C00-C14)
38	C26.1 脾 除外: ホジキン (Hodgkin) リンパ腫 (C81.-)  非ホジキン (non-Hodgkin) リンパ腫 (C82-C85)	C26.1 脾 除外: 非ろ<濾>胞性リンパ腫 (C83.-) ろ<濾>胞性リンパ腫 (C82.-) ホジキン (Hodgkin) リンパ腫 (C81.-) 成熟 T/NK 細胞リンパ腫 (C84.-) 非ホジキン (non-Hodgkin) リンパ腫のその他及び詳細不明の型 (C85.-)	<b>C26.1 Spleen</b> <u>Excludes: diffuse non-Hodgkin lymphoma-non-follicular lymphoma (C83.-)</u> <u>follicular lymphoma (C82.-)</u> <u>Hodgkin lymphoma disease (C81.-)</u> <u>mature T/NK-cell lymphomas (C84.-)</u> <u>non-Hodgkin's lymphoma, other and unspecified types (C82-C85.-)</u>
39	C69.4 毛様体 眼球  C69.9 眼, 部位不明	C69.4 毛様体  C69.9 眼, 部位不明 眼球	<b>C69.4 Ciliary body</b> <u>Eyeball</u>  <b>C69.9 Eye, unspecified</b> <u>Eyeball</u>

No.	現行	提案	WHO勧告 (原文)
40	C76 その他および部位不明の悪性新生物 除外：… ・部位不明 (C80)	C76 その他及び部位不明の悪性新生物 <腫瘍> 除外：… ・部位不明 (C80.-)	<b>C76 Malignant neoplasm of other and ill-defined sites</b> <i>Excludes:</i> … • unspecified site (C80.-)
41	C77 リンパ節の続発性および部位不明の悪性新生物 除外：原発性と記載されたリンパ節の悪性新生物 (C81-C87, C96.-)	C77 リンパ節の続発性及び部位不明の悪性新生物 <腫瘍> 除外：原発性と記載されたリンパ節の悪性新生物 <腫瘍> (C81-C86, C96.-)	<b>C77.- Secondary and unspecified malignant neoplasm of lymph nodes</b> <i>Excl.:</i> malignant neoplasm of lymph nodes, specified as primary (C81-C87C86, C96.-)
42	C77 リンパ節の続発性および部位不明の悪性新生物 除外：原発性と記載されたリンパ節の悪性新生物 (C81-C87, C96.-)	C77 リンパ節の続発性及び部位不明の悪性新生物 <腫瘍> 除外：原発性と記載されたリンパ節の悪性新生物 <腫瘍> (C81-C86, C96.-)	<b>C77.- Secondary and unspecified malignant neoplasm of lymph nodes</b> <i>Excl.:</i> malignant neoplasm of lymph nodes, specified as primary (C81-C87C86, C96.-)
43	C78.7 肝の続発性悪性新生物	C78.7 肝及び肝内胆管の続発性悪性新生物 <腫瘍>	<b>C78.7 Secondary malignant neoplasm of liver and intrahepatic bile duct</b>
44	C79 その他の部位の続発性悪性新生物 C79.8 その他の明示された部位の続発性悪性新生物	C79 その他の部位及び部位不明の続発性悪性新生物 <腫瘍> C79.8 その他の明示された部位の続発性悪性新生物 <腫瘍>	<b>C79 Secondary malignant neoplasm of other and unspecified sites</b> <b>C79.8 Secondary malignant neoplasm of other specified sites</b>
45		<b>C79.9 続発性悪性新生物 &lt;腫瘍&gt;, 部位不明</b> 播種性 (続発性) : ・がん NOS ・悪性腫瘍 NOS 全身性 (続発性) : ・がん NOS ・悪性腫瘍 NOS 続発性多発がん <重複がん> NOS 肉腫症 (続発性) NOS	<b>C79.9 Secondary malignant neoplasm, unspecified site</b> <u>Disseminated (secondary):</u> • cancer NOS • malignancy NOS <u>Generalized (secondary):</u> • cancer NOS • malignancy NOS Multiple <u>secondary</u> cancer ( <del>secondary</del> ) NOS <u>Sarcomatosis (secondary) NOS</u> <i>Excludes:</i> disseminated malignant neoplasm, no primary indicated (C80.-)
46	C80 部位の明示されない悪性新生物  がん 悪性腫瘍 癌 (腫) 多発がん <重複がん> 癌腫症 全身性 : ・がん ・悪性腫瘍 悪性悪液質 原発部位不明 } 部位不明 (原発性) (続発性)	C80 悪性新生物 <腫瘍>, 部位が明示されていないもの  C80.0 悪性新生物 <腫瘍>, 原発部位不明と記載されたもの 原発部位不明	<b>C80 Malignant neoplasm, without specification of site</b> Cancer Carcinoma Carcinomatosis <del>Generalized:</del> <del>cancer</del> <del>malignancy</del> Malignancy Multiple cancer Malignant cachexia Primary site unknown } unspecified site (primary)(secondary)  C80.0 Malignant neoplasm, primary site unknown, so stated <u>Primary site unknown</u> C80.9 Malignant neoplasm, unspecified
47		<b>C80.9 悪性新生物 &lt;腫瘍&gt;, 原発部位詳細不明</b> がん NOS 癌 (腫) NOS 悪性腫瘍 NOS 悪性悪液質 NOS 多発がん <重複がん> NOS	<b>C80.9 Malignant neoplasm, primary site unspecified</b> Cancer NOS Carcinoma NOS Malignancy NOS Malignant cachexia NOS <u>Multiple cancer NOS</u> <i>Excludes:</i> multiple secondary cancer NOS (C79.9)



No.	現行	提案案	WHO勧告 (原文)
		除外：続発性悪性新生物<腫瘍>，部位不明 (C79.9)	<u>secondary malignant neoplasm, unspecified site (C79.9)</u>
48	リンパ組織，造血組織および関連組織の悪性新生物 (C81-C96)  注：項目 C82-C85 の非ホジキン<non-Hodgkin>リンパ腫で使用されている用語は，いくつかの主要な分類方式間に共通の基準を見出すように企画された「組織分類比較のための共通基準」(Working Formulation) の用語である。これらの方式に使用されている用語は内容例示表には記載されていないが，索引表に記載されている；これらは内容例示表に示される用語の内容と正確に対応するとは限らない。 包含：形態コードM959-M994 で，性状コード/3のもの  除外：リンパ節の続発性および詳細不明の新生物 (C77.-)	リンパ組織，造血組織及び関連組織の悪性新生物<腫瘍>，原発と記載された又は推定されたもの (C81-C96)  除外：リンパ節の続発性および詳細不明の新生物<腫瘍> (C77.-)	<del>Malignant neoplasms of lymphoid, haematopoietic and related tissue</del> <del>Malignant neoplasms, stated or presumed to be primary, of lymphoid, haematopoietic and related tissue</del> (C81-C96)  <i>Note:</i> The terms used in categories C82-C85 for non-Hodgkin's lymphomas are those of the Working Formulation, which attempted to find common ground among several major classification schemes. The terms used in these schemes are not given in the Tabular List but appear in the Alphabetical Index; exact equivalence with the terms appearing in the Tabular List is not always possible.  <i>Includes:</i> morphology codes M959-M994 with behaviour code /3. <i>Excludes:</i> secondary and unspecified neoplasm of lymph nodes (C77.-)
49	C81 ホジキン<Hodgkin>病 包含：形態コードM965-M966 で，性状コード/3のもの C81.0 リンパ球優勢型 リンパ球・組織球優勢型  C81.1 結節硬化型 C81.2 混合細胞型 C81.3 リンパ球減少型  C81.7 その他のホジキン<Hodgkin>病 C81.9 ホジキン<Hodgkin>病，詳細不明	C81 ホジキン<Hodgkin>リンパ腫 C81.0 結節性リンパ球優勢型ホジキン<Hodgkin>リンパ腫  C81.1 結節硬化型(古典的)ホジキン<Hodgkin>リンパ腫 C81.2 混合細胞型(古典的)ホジキン<Hodgkin>リンパ腫 C81.3 リンパ球減少型(古典的)ホジキン<Hodgkin>リンパ腫 C81.4 リンパ球豊富型(古典的)ホジキン<Hodgkin>リンパ腫 除外：結節性リンパ球優勢型ホジキン<Hodgkin>リンパ腫 (C81.0) C81.7 その他の(古典的)ホジキン<Hodgkin>リンパ腫 古典的ホジキン<Hodgkin>リンパ腫，詳細不明の型 C81.9 ホジキン<Hodgkin>リンパ腫，詳細不明	C81 <b>Hodgkin's disease lymphoma</b> <i>Includes:</i> morphology codes M965-M966 with behaviour code /3  C81.0 <del>Lymphocytic predominance</del> <b>Nodular lymphocyte predominant Hodgkin lymphoma</b> Lymphocytic-histiocytic predominance C81.1 <b>Nodular sclerosis (classical) Hodgkin lymphoma</b> C81.2 <b>Mixed cellularity (classical) Hodgkin lymphoma</b> C81.3 <del>Lymphocytic depletion</del> <b>Lymphocyte depleted (classical) Hodgkin lymphoma</b>  C81.4 <b>Lymphocyte-rich (classical) Hodgkin lymphoma</b> <i>Excludes:</i> nodular lymphocyte predominant Hodgkin lymphoma (C81.0)  C81.7 <b>Other (classical) Hodgkin's disease lymphoma</b> Classic Hodgkin lymphoma, type not specified C81.9 <b>Hodgkin's disease lymphoma, unspecified</b>
50	C82 ろ<濾>胞性【結節性】非ホジキン<non-Hodgkin>リンパ腫 包含：びまん性領域を伴うまたは伴わないろ<濾>胞性非ホジキンリンパ腫 形態コードM969 で，性状コード/3のもの	C82 ろ<濾>胞性リンパ腫 包含：びまん性領域を伴う又は伴わないろ<濾>胞性リンパ腫  除外：成熟 T/NK 細胞リンパ腫 (C84.-)	C82 <b>Follicular [nodular] non-Hodgkin's lymphoma</b> <i>Includes:</i> follicular non-Hodgkin's lymphoma with or without diffuse areas morphology code M969 with behaviour code /3 <i>Excludes:</i> mature T/NK-cell non-Hodgkin lymphoma (C84.-)  ※第3回部会資料から微修正(成熟T/NK細胞)
51	C82.0 中細胞型，ろ<濾>胞性 C82.1 中細胞および大細胞混合型，ろ<濾>胞性 C82.2 大細胞型，ろ<濾>胞性  C82.7 ろ<濾>胞性非ホジキン<non-Hodgkin>リンパ腫のその他の型	C82.0 ろ<濾>胞性リンパ腫グレード I C82.1 ろ<濾>胞性リンパ腫グレード II C82.2 ろ<濾>胞性リンパ腫グレード III，詳細不明 C82.3 ろ<濾>胞性リンパ腫グレード IIIa C82.4 ろ<濾>胞性リンパ腫グレード IIIb C82.5 びまん性ろ<濾>胞中心リンパ腫 C82.6 皮膚ろ<濾>胞中心リンパ腫 C82.7 ろ<濾>胞性リンパ腫のその他の型	C82.0 <b>Small cleaved cell, fFollicular lymphoma grade I</b> C82.1 <b>Mixed small cleaved and large cell, fFollicular lymphoma grade II</b> C82.2 <b>Large cell, fFollicular lymphoma grade III, unspecified</b> C82.3 <b>Follicular lymphoma grade IIIa</b> C82.4 <b>Follicular lymphoma grade IIIb</b> C82.5 <b>Diffuse follicle centre lymphoma</b> C82.6 <b>Cutaneous follicle centre lymphoma</b> C82.7 <b>Other types of follicular non-Hodgkin's lymphoma</b>

No.	現行	提案案	WHO 勧告 (原文)
	<p>C82.9 ろく瀘&gt; 胞性非ホジキン&lt;non-Hodgkin&gt; リンパ腫, 詳細不明 結節性非ホジキンリンパ腫 NOS</p> <p>C83 びまん性非ホジキン&lt;non-Hodgkin&gt; リンパ腫 包含: 形態コード M9593, M9595, M967-M968 で, 性状コード /3のもの</p> <p>C83.0 小細胞型 (びまん性)</p>	<p>C82.9 ろく瀘&gt; 胞性リンパ腫, 詳細不明 結節性リンパ腫 NOS</p> <p>C83 非ろく瀘&gt; 胞性リンパ腫</p> <p>C83.0 小細胞型B細胞性リンパ腫 リンパ球形質細胞性リンパ腫 筋内性&lt;節性&gt; 辺縁帯リンパ腫 B-CLLの非白血病性変異 脾性辺縁帯リンパ腫 除外: 慢性リンパ球性白血病 (C91.1) ワルデンシュトレーム&lt;Waldenström&gt; マクログロブリン血 症 (C88.0) 成熟 T/NK 細胞リンパ腫 (C84.-)</p>	<p>C82.9 <b>Follicular non-Hodgkin's lymphoma, unspecified</b> Nodular non-Hodgkin's lymphoma NOS</p> <p>C83 <b>Diffuse non-Hodgkin's-Non-follicular lymphoma</b> <i>Includes:</i> morphology codes M9593, M9595, M967-M968 with behaviour code /3</p> <p>C83.0 <b>Small cell (diffuse) B-cell lymphoma</b> Lymphoplasmacytic lymphoma Nodal marginal zone lymphoma Non-leukaemic variant of B-CLL Splenic marginal zone lymphoma <i>Excludes:</i> chronic lymphocytic leukaemia (C91.1) Waldenström macroglobulinaemia (C88.0) mature T/NK -cell lymphoma (C84.-)</p> <p>※第3回部会資料から微修正(成熟T/NK細胞)</p>
52	<p>C83.1 小切れ込み核細胞型 (びまん性)</p> <p>C83.2 小細胞および大細胞混合型 (びまん性)</p> <p>C83.3 大細胞型 (びまん性) 細網肉腫</p>	<p>C83.1 マントル細胞リンパ腫 中心細胞性リンパ腫悪性 リンパ腫ポリポーシス</p> <p>C83.3 びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫</p> <p>未分化 (型) CD30 陽性 胚中心芽球型 免疫芽球型 形質芽球型 明示されない亜型 高 T 細胞</p> <p>びまん性大細胞型 B 細胞性リンパ腫</p> <p>除外: 縦隔 (胸腺) 大細胞型B細胞性リンパ腫 (C85.2) 成熟 T/NK 細胞リンパ腫 (C84.-)</p>	<p>C83.1 <b>Small cleaved-cell (diffuse) Mantle cell lymphoma</b> Centrocytic lymphoma Malignant lymphomatous polyposis</p> <p>C83.2 <b>Mixed small and large cell (diffuse)</b></p> <p>C83.3 <b>Large cell (diffuse) Diffuse large B-cell lymphoma</b> Anaplastic CD30-positive Centroblastic Immunoblastic Plasmablastic Subtype not specified T-cell rich Reticulum cell sarcoma <i>Excludes:</i> mediastinal (thymic) large B-cell lymphoma (C85.2) mature T/NK -cell lymphoma (C84.-)</p> <p>※第3回部会資料から微修正(成熟T/NK細胞等)</p>
53	C83.4 免疫芽球型 (びまん性)		C83.4 <b>Immunoblastic (diffuse)</b>
54	C83.5 リンパ芽球型 (びまん性)	C83.5 リンパ芽球性 (びまん性) リンパ腫 B 前駆細胞性リンパ腫 リンパ芽球性 B 細胞性リンパ腫 リンパ芽球性リンパ腫 NOS リンパ芽球性 T 細胞リンパ腫 T 前駆細胞リンパ腫	C83.5 <b>Lymphoblastic (diffuse) lymphoma</b> B-precursor lymphoma Lymphoblastic B-cell lymphoma Lymphoblastic lymphoma NOS Lymphoblastic T-cell lymphoma T-precursor lymphoma
55	C83.6 未分化型 (びまん性) C83.7 バーキット<Burkitt> 腫瘍	C83.7 バーキット<Burkitt> リンパ腫 異型バーキット<Burkitt> リンパ腫 “バーキット<Burkitt> 様”リンパ腫	C83.6 <b>Undifferentiated (diffuse)</b> C83.7 <b>Burkitt's tumour lymphoma</b> Atypical Burkitt lymphoma “Burkitt-like” lymphoma

No.	現行	提案	WHO 勧告 (原文)
	<p>C83.8 <b>びまん性非ホジキン&lt;non-Hodgkin&gt;リンパ腫のその他の型</b></p> <p>C83.9 <b>びまん性非ホジキン&lt;non-Hodgkin&gt;リンパ腫, 詳細不明</b></p>	<p>除外：成熟 B 細胞性白血病バーキット&lt;Burkitt&gt;型 (C91.8)</p> <p>C83.8 その他の非ろ&lt;濾&gt;胞性リンパ腫 原発性滲出性 B 細胞性リンパ腫 血管内大細胞型 B 細胞性リンパ腫 リンパ様肉芽腫症 除外：縦隔 (胸腺) 大細胞型 B 細胞性リンパ腫 (C85.2)</p> <p>高T細胞B細胞性リンパ腫 (C83.3)</p> <p>C83.9 非ろ&lt;濾&gt;胞性 (びまん性) リンパ腫, 詳細不明</p>	<p><i>Excludes:</i> mature B-cell leukaemia Burkitt-type (C91.8)</p> <p>C83.8 <b>Other types of diffuse non-Hodgkin's non-follicular lymphoma</b> <u>Primary effusion B-cell lymphoma</u> <u>Intravascular large B-cell lymphoma</u> <u>Lymphoid granulomatosis</u> <i>Excludes:</i> mediastinal (thymic) large B-cell lymphoma (C85.2) <u>T-cell rich B-cell lymphoma (C83.3)</u></p> <p>C83.9 <b>Non-follicular (diffuse) non-Hodgkin's lymphoma, unspecified</b></p>
56	<p>C84 <b>末梢性および皮膚 T 細胞リンパ腫</b> 包含：形態コード M970 で, 性状コード / 3 のもの</p> <p>C84.0 菌状息肉症</p> <p>C84.1 セザリ- &lt;Sézary&gt; 病</p> <p>C84.2 <b>Tゾ-ン&lt;T-zone&gt;リンパ腫</b></p> <p>C84.3 <b>リンパ類上皮性リンパ腫</b> <b>レンネルト&lt;Lennert&gt;リンパ腫</b></p> <p>C84.4 末梢性 T 細胞リンパ腫</p> <p>C84.5 <b>その他および詳細不明の T 細胞リンパ腫</b> 注：特定のリンパ腫と関連して T 細胞の系統または障害が記載されている場合は, より特定しやすい記載名にコードする。</p> <p>C85 <b>非ホジキン&lt;non-Hodgkin&gt;リンパ腫のその他および詳細不明の型</b> 包含：形態コード M9590-M9592, M9594, M971 で, 性状コード / 3 のもの</p> <p>C85.0 <b>リンパ肉腫</b></p> <p>C85.1 <b>B 細胞リンパ腫, 詳細不明</b> 注：特定のリンパ腫と関連して B 細胞の系統または障害が記載</p>	<p>C84 <b>成熟 T/NK 細胞リンパ腫</b></p> <p>C84.0 菌状息肉症</p> <p>C84.1 セザリー &lt;Sézary&gt; 病</p> <p>C84.4 末梢性 T 細胞リンパ腫, 他に分類されないもの <b>レンネルト&lt;Lennert&gt;リンパ腫</b> <b>リンパ類上皮性リンパ腫</b></p> <p>C84.5 その他の成熟 T/NK 細胞リンパ腫 注：特定のリンパ腫と関連して T 細胞の系統または障害が記載されている場合は, より特定しやすい記載名にコードする。 除外：血管性免疫芽球性 T 細胞リンパ腫 (C86.5) 芽球性 NK 細胞リンパ腫 (C86.4) 腸症性 T 細胞リンパ腫 (C86.2) 節外性 NK 細胞リンパ腫, 鼻腔型 (C86.0) 肝脾型 T 細胞リンパ腫 (C86.1) 原発性皮膚 CD30 陽性 T 細胞増殖 (C86.6) 皮下脂肪組織炎様 T 細胞リンパ腫 (C86.3) T 細胞白血病 (C91.-)</p> <p>C84.6 未分化大細胞型リンパ腫, ALK 陽性 未分化大細胞型リンパ腫, CD30 陽性</p> <p>C84.7 未分化大細胞型リンパ腫, ALK 陰性 除外：原発性皮膚 CD30 陽性 T 細胞増殖 (C86.6)</p> <p>C84.8 皮膚 T 細胞リンパ腫, 詳細不明</p> <p>C84.9 成熟 T/NK 細胞リンパ腫, 詳細不明 NK/T 細胞リンパ腫 NOS 除外：成熟 T 細胞リンパ腫, 他に分類されないもの (C84.4)</p> <p>C85 非ホジキン&lt;non-Hodgkin&gt;リンパ腫のその他及び詳細不明の型</p> <p>C85.1 B 細胞性リンパ腫, 詳細不明 注：特定のリンパ腫と関連して B 細胞の系統又は障害が記載さ</p>	<p>C84 <b>Peripheral and cutaneous Mature T/NK-cell lymphomas</b> <i>Includes:</i> — morphology code M970 with behaviour code /3</p> <p>C84.0 <b>Mycosis fungoides</b></p> <p>C84.1 <b>Sézary's disease</b></p> <p><del>C84.2 T-zone lymphoma</del></p> <p><del>C84.3 Lymphoepithelioid lymphoma</del> Lennert's lymphoma</p> <p>C84.4 <b>Peripheral T-cell lymphoma, not elsewhere classified</b> <u>Lennert's lymphoma</u> <u>Lymphoepithelioid lymphoma</u></p> <p>C84.5 <b>Other and unspecified mature T/NK-cell lymphomas</b> <i>Note:</i> If T-cell lineage or involvement is mentioned in conjunction with a specific lymphoma, code to the more specific description. <i>Excludes:</i> <u>angioimmunoblastic T-cell lymphoma (C86.5)</u> <u>blastic NK-cell lymphoma (C86.4)</u> <u>enteropathy-type T-cell lymphoma (C86.2)</u> <u>extranodal NK-cell lymphoma, nasal type (C86.0)</u> <u>hepatosplenic T-cell lymphoma (C86.1)</u> <u>primary cutaneous CD30-positive T-cell proliferations (C86.6)</u> <u>subcutaneous panniculitis-like T-cell lymphoma (C86.3)</u> <u>T-cell leukaemia (C91.-)</u></p> <p><del>C84.6 Anaplastic large cell lymphoma, ALK-positive</del> Anaplastic large cell lymphoma, CD30-positive</p> <p><del>C84.7 Anaplastic large cell lymphoma, ALK-negative</del> <i>Excludes:</i> <u>primary cutaneous CD30-positive T-cell proliferations (C86.6)</u></p> <p><del>C84.8 Cutaneous T-cell lymphoma, unspecified</del></p> <p><del>C84.9 Mature T/NK-cell lymphoma, unspecified</del> NK/T cell lymphoma NOS <i>Excludes:</i> <u>mature T-cell lymphoma, not elsewhere classified (C84.4)</u></p> <p>C85 <b>Other and unspecified types of non-Hodgkin's lymphoma</b> <i>Includes:</i> — morphology codes M9590-M9592, M9594, M971 with behaviour code /3</p> <p><del>C85.0 Lymphosarcoma</del></p> <p>C85.1 <b>B-cell lymphoma, unspecified</b> <i>Note:</i> If B-cell lineage or involvement is mentioned in conjunction</p>

No.	現行	提案	WHO 勧告 (原文)
	<p>されている場合は、より特定しやすい記載名にコードする。</p> <p>C85.7 非ホジキン&lt;non-Hodgkin&gt;リンパ腫のその他の明示された型 悪性： ・細網内皮症 ・細網症 小神経膠腫&lt;ミクログリオ-マ&gt;</p> <p>C85.9 非ホジキン&lt;non-Hodgkin&gt;リンパ腫，型不明 リンパ腫 NOS 悪性リンパ腫 NOS 非ホジキンリンパ腫 NOS</p>	<p>れている場合は、より特定しやすい記載名にコードする。</p> <p>C85.2 縦隔（胸腺）大細胞型 B 細胞性リンパ腫</p> <p>C85.7 非ホジキン&lt;non-Hodgkin&gt;リンパ腫のその他の明示された型</p> <p>C85.9 非ホジキン&lt;non-Hodgkin&gt;リンパ腫，詳細不明 リンパ腫 NOS 悪性リンパ腫 NOS 非ホジキンリンパ腫 NOS</p> <p>C86 T/NK 細胞リンパ腫のその他の明示された型 除外：未分化大細胞型リンパ腫，ALK 陰性（C84.7） 未分化大細胞型リンパ腫，ALK 陽性（C84.6）C86.0 節外性 NK/T 細胞リンパ腫，鼻型</p> <p>C86.0 節外性 NK/T 細胞リンパ腫、鼻型</p> <p>C86.1 肝脾 T 細胞リンパ腫 除外：α-β及びγ-Δ型</p> <p>C86.2 腸症&lt;腸管&gt;型 T 細胞リンパ腫 腸症関連 T 細胞リンパ腫</p> <p>C86.3 皮下脂肪織炎様 T 細胞リンパ腫</p> <p>C86.4 芽球性 NK 細胞リンパ腫</p> <p>C86.5 血管免疫芽球性 T 細胞リンパ腫 異常タンパク血症を伴う血管性免疫芽球性リンパ節症（AILD）</p>	<p>with a specific lymphoma, code to the more specific description.</p> <p><b>C85.2 Mediastinal (thymic) large B-cell lymphoma</b></p> <p><b>C85.7 Other specified types of non-Hodgkin's lymphoma</b> Malignant: ▲reticuloendotheliosis ▲reticulosis Microglioma</p> <p><b>C85.9 Non-Hodgkin's lymphoma, unspecified type</b> Lymphoma NOS Malignant lymphoma NOS Non-Hodgkin's lymphoma NOS</p> <p><b>C86 Other specified types of T/NK-cell lymphoma</b> <i>Excludes:</i> anaplastic large cell lymphoma, ALK negative (C84.7) anaplastic large cell lymphoma, ALK positive (C84.6)</p> <p><b>C86.0 Extranodal NK/T-cell lymphoma, nasal type</b></p> <p><b>C86.1 Hepatosplenic T-cell lymphoma</b> <b>EX.</b>Alpha-beta and gamma- delta types</p> <p><b>C86.2 Enteropathy-type (intestinal) T-cell lymphoma</b> Enteropathy associated T-cell lymphoma</p> <p><b>C86.3 Subcutaneous panniculitis-like T-cell lymphoma</b></p> <p><b>C86.4 Blastic NK-cell lymphoma</b></p> <p><b>C86.5 Angioimmunoblastic T-cell lymphoma</b> Angioimmunoblastic lymphadenopathy with dysproteinaemia (AILD)</p> <p>※第3回部会資料から微修正（CD30+をCD30陽性に統一）</p>
57		<p>C86.6 原発性皮膚 CD30 陽性 T 細胞増殖 リンパ腫様丘疹症 原発性皮膚未分化大細胞リンパ腫 原発性皮膚 CD30 陽性大 T 細胞リンパ腫</p>	<p><b>C86.6 Primary cutaneous CD30-positive T-cell proliferations</b> <i>Lymphomatoid papulosis</i> <i>Primary cutaneous anaplastic large-cell lymphoma</i> <i>Primary cutaneous CD30+ positive large T-cell lymphoma</i></p>
58	<p>C88 悪性免疫増殖性疾患 包含：形態コード M976 で，性状コード / 3 のもの</p>	<p>C88 悪性免疫増殖性疾患</p>	<p><b>C88 Malignant immunoproliferative diseases</b> <i>Includes:</i> morphology code M976 with behaviour code /3 <i>Excludes:</i> small cell B-cell lymphoma (C83.0)</p>
59	<p>C88.0 <b>ワルデンストレーム</b>&lt;Waldenström&gt; マクログロブリン血症</p>	<p>C88.0 <b>ワルデンシュトレーム</b>&lt;Waldenström&gt; マクログロブリン血症 IgM 産生を伴うリンパ形質細胞性リンパ腫 マクログロブリン血症（原発性）（特異性） 除外：小細胞型 B 細胞リンパ腫（C83.0）</p>	<p><b>C88.0 Waldenström's macroglobulinaemia</b> <i>Lymphoplasmacytic lymphoma with IgM-production</i> <i>Macroglobulinaemia (primary)(idiopathic)</i> <i>Excl:</i> small cell-B-cell lymphoma (C83.0)</p>
60	<p>C88.1 <b>アルファ H &lt;重&gt; 鎖病</b> C88.2 <b>ガンマ H &lt;重&gt; 鎖病</b> フランクリン&lt;Franklin&gt; 病</p>	<p>C88.2 <b>その他の H &lt;重&gt; 鎖病</b> フランクリン&lt;Franklin&gt; 病 <b>ガンマ H &lt;重&gt; 鎖病</b></p>	<p><b>C88.1 Alpha heavy chain disease</b></p> <p><b>C88.2 Gamma Other heavy chain disease</b> Franklin's disease <i>Gamma heavy chain disease</i></p>

No.	現行	提要案	WHO勧告 (原文)
		ミューH<重>鎖病	Mu( $\mu$ ) heavy chain disease
61	<p>C88.3 免疫増殖性小腸疾患 地中海病</p> <p>C88.7 その他の悪性免疫増殖性疾患</p> <p>C88.9 悪性免疫増殖性疾患, 詳細不明 免疫増殖性疾患 NOS</p> <p>C90 多発性骨髄腫および悪性形質細胞性新生物 包含: 形態コードM973, M9830 で, 性状コード/3のもの</p> <p>C90.0 多発性骨髄腫 カ-レル&lt;Kahler&gt;病 骨髄腫症 除外: 孤立性骨髄腫 (C90.2)</p> <p>C90.1 形質細胞白血病</p> <p>C90.2 形質細胞腫, 髄外性 悪性形質細胞腫瘍 NOS 形質細胞腫 NOS 孤立性骨髄腫</p> <p>C91 リンパ性白血病 包含: 形態コードM982, M9940-M9941 で, 性状コード/3のもの</p> <p>C91.0 急性リンパ芽球性白血病 除外: 慢性リンパ球性白血病の急性増悪 (C91.1)</p> <p>C91.1 慢性リンパ球性白血病</p>	<p>C88.3 免疫増殖性小腸疾患 アルファH&lt;重&gt;鎖病 地中海リンパ腫</p> <p>C88.4 節外性粘膜関連リンパ組織辺縁帯 B 細胞性リンパ腫 [MALT リンパ腫] 注: 高悪性 (びまん性大細胞型) リンパ腫への移行の分類が必要な場合は, 追加コード (C83.3) を使用する。 皮膚関連リンパ様組織リンパ腫 (SALT リンパ腫) 気管支関連リンパ様組織リンパ腫 (BALT リンパ腫)</p> <p>C88.7 その他の悪性免疫増殖性疾患</p> <p>C88.9 悪性免疫増殖性疾患, 詳細不明 免疫増殖性疾患 NOS</p> <p>C90 多発性骨髄腫および悪性形質細胞性新生物 &lt;腫瘍&gt;</p> <p>C90.0 多発性骨髄腫 カ-レル&lt;Kahler&gt;病 髄様形質細胞腫 骨髄腫症 形質細胞性骨髄腫 除外: 孤立性形質細胞腫 (C90.3)</p> <p>C90.1 形質細胞性白血病 形質細胞性白血病</p> <p>C90.2 髄外 (性) 形質細胞腫</p> <p>C90.3 孤立性形質細胞腫 限局性悪性形質細胞腫 NOS 形質細胞腫 NOS 孤立性骨髄腫</p> <p>C91 リンパ性白血病</p> <p>C91.0 急性リンパ芽球性白血病 [ALL] 注: このコードは, 前駆 T 細胞および B 細胞リンパ芽球性白血病にのみ使用する。</p> <p>C91.1 B 細胞性慢性リンパ球性白血病 リンパ形質細胞性白血病 リヒター症候群 除外: リンパ形質細胞性リンパ腫 (C83.0)</p>	<p>C88.3 <b>Immunoproliferative small intestinal disease</b> <u>Alpha heavy chain disease</u> Mediterranean disease lymphoma</p> <p>C88.4 <b>Extranodal marginal zone B-cell lymphoma of mucosa-associated lymphoid tissue [MALT-lymphoma]</b> <i>Note: Use additional code (C83.3) if desired, to specify transition to high malignant (diffuse large cell) lymphoma</i> <u>Lymphoma of skin-associated lymphoid tissue (SALT-lymphoma)</u> <u>Lymphoma of bronchial-associated lymphoid tissue (BALT-lymphoma)</u></p> <p>C88.7 <b>Other malignant immunoproliferative diseases</b></p> <p>C88.9 <b>Malignant immunoproliferative disease, unspecified</b> Immunoproliferative disease NOS</p> <p>C90 <b>Multiple myeloma and malignant plasma cell neoplasms</b> <i>Includes:—morphology codes M973, M9830 with behaviour code /3</i></p> <p>C90.0 <b>Multiple myeloma</b> Kahler's disease <u>Medullary plasmacytoma</u> Myelomatosis <u>Plasma cell myeloma</u> <i>Excludes: solitary myeloma plasmacytoma (C90.23)</i></p> <p>C90.1 <b>Plasma cell leukaemia</b> <u>Plasmacytic leukaemia</u></p> <p>C90.2 <b>Plasmacytoma, extramedullary—Extramedullary plasmacytoma</b> Malignant plasma cell tumour NOS Plasmacytoma NOS Solitary myeloma</p> <p>C90.3 <b>Solitary plasmacytoma</b> <u>Localized malignant plasma cell tumour NOS</u> <u>Plasmacytoma NOS</u> <u>Solitary myeloma</u></p> <p>C91 <b>Lymphoid leukaemia</b> <i>Includes:—morphology codes M982, M9940-M9941 with behaviour code /3</i></p> <p>C91.0 <b>Acute lymphoblastic leukaemia [ALL]</b> <i>Note: This code should only be used for T-cell and B-cell precursor leukaemia</i> <i>Excludes:—acute exacerbation of chronic lymphocytic leukaemia (C91.1)</i></p> <p>C91.1 <b>Chronic lymphocytic leukaemia of B-cell type</b> <u>Lymphoplasmacytic leukaemia</u> <u>Richter syndrome</u> <i>Excludes: lymphoplasmacytic lymphoma (C83.0)</i></p>
			※第3回部会資料から微修正あり

No.	現行	提案案	WHO勧告 (原文)
62	C91.2 亜急性リンパ球性白血病 C91.3 前リンパ球性白血病 C91.4 毛様細胞性 <hairy-Cell> 白血病 白血性細網内皮症	C91.3 B細胞性前リンパ性白血病 C91.4 毛様細胞性 <hairy-Cell> 白血病 白血性細網内皮症	C91.2 <b>Subacute lymphocytic leukaemia</b> C91.3 <b>Prolymphocytic leukaemia of B-cell type</b> C91.4 <b>Hairy-cell leukaemia</b> Leukaemic reticuloendotheliosis ※第3回部会資料から微修正あり
63	C91.5 成人型T細胞白血病	C91.5 成人T細胞リンパ腫/白血病 [HTLV-1 関連] 急性 慢性 リンパ腫様 くすぶり型 成人T細胞リンパ腫/白血病の変異	C91.5 <b>Adult T-cell lymphoma/leukaemia [HTLV-1-associated]</b> Acute Chronic Lymphomatoid Smouldering Variant of adult T-cell lymphoma/leukae
64	C91.7 その他のリンパ性白血病	C91.6 T細胞性前リンパ性白血病 C91.7 その他のリンパ性白血病 T細胞大顆粒リンパ球性白血病 (関節リウマチに関連するもの)	C91.6 <b>Prolymphocytic leukaemia of T-cell type</b> C91.7 <b>Other lymphoid leukaemia</b> T-cell large granular lymphocytic leukaemia (associated with rheumatic arthritis)
65		C91.8 成熟B細胞性白血病バーキット<Burkitt>型 除外：骨髄浸潤をほとんど伴わない又は伴わないバーキット<Burkitt>リンパ腫 (C83.7)	C91.8 <b>Mature B-cell leukaemia Burkitt-type</b> Excludes: Burkitt lymphoma with little or no bone marrow infiltration (C83.7) ※第3回部会資料から微修正あり <Burkitt> 追加
66	C91.9 リンパ性白血病, 詳細不明  C92 骨髄性白血病 包含：白血病： ・顆粒球性 ・骨髄性 形態コードM986-M988, M9930で, 性状コード/3のもの  C92.0 急性骨髄性白血病  除外：慢性骨髄性白血病の急性増悪 (C92.1)  C92.1 慢性骨髄性白血病	C91.9 リンパ性白血病, 詳細不明  C92 骨髄性白血病 包含：白血病： ・顆粒球性 ・骨髄性  C92.0 急性骨髄芽球性白血病 [AML] 急性骨髄芽球性白血病, 最小分化 急性骨髄芽球性白血病 (成熟を伴うもの) AML1/ETO AML M0 AML M1 AML M2 AML, t (8;21) を伴うもの AML (FAB 分類なし) NOS 白血病移行期にある芽球過剰性不応性貧血 除外：慢性骨髄性白血病の急性増悪 (C92.1)  C92.1 慢性骨髄性白血病 [CML], BCR/ABL 陽性 慢性骨髄性白血病, フィラデルフィア染色体 (Ph1) 陽性 慢性骨髄性白血病, t (9;22) (q34;q11) 芽球細胞クリーゼを伴う慢性骨髄性白血病 除外：異型性慢性骨髄性白血病 (C92.2) 慢性骨髄単球性白血病 (C93.1) 分類不能の骨髄増殖性疾患 (D47.1)	C91.9 <b>Lymphoid leukaemia, unspecified</b>  C92 <b>Myeloid leukaemia</b> Includes: leukaemia: ・granulocytic ・myelogenous morphology codes M986-M988, M9930 with behaviour code /3  C92.0 <b>Acute myeloid myeloblastic leukaemia [AML]</b> Acute myeloblastic leukaemia, minimal differentiation Acute myeloblastic leukaemia (with maturation) AML1/ETO AML M0 AML M1 AML M2 AML with t(8;21) AML (without a FAB classification) NOS Refractory anaemia with excess blasts in transformation Excludes: acute exacerbation of chronic myeloid leukaemia (C92.1)  C92.1 <b>Chronic myeloid leukaemia [CML], BCR/ABL-positive</b> Chronic myelogenous leukaemia, Philadelphia chromosome (Ph1) positive Chronic myelogenous leukaemia, t(9;22)(q34;q11) Chronic myelogenous leukaemia with crisis of blast cells Excludes: atypical chronic myeloid leukaemia (C92.2) chronic myelomonocytic leukaemia (C93.1) unclassified myeloproliferative disease (D47.1)
67	C92.2 亜急性骨髄性白血病 C92.3 骨髄性肉腫	C92.2 非定型慢性骨髄性白血病, BCR/ABL 陰性 C92.3 骨髄性肉腫	C92.2 <b>Subacute Atypical chronic myeloid leukaemia, BCR/ABL-negative</b>

No.	現行	提要案	WHO 勧告 (原文)
	緑色腫 顆粒球性肉腫	注：未成熟骨髄細胞の腫瘍 緑色腫 顆粒球性肉腫	C92.3 <b>Myeloid sarcoma</b> <i>Note:</i> A tumour of immature myeloid cells. Chloroma Granulocytic sarcoma
C92.4	急性前骨髄球性白血病	C92.4 急性前骨髄球性白血病 [PML] AML M3 AML M3, t (15;17) 及び変異を伴うもの	C92.4 <b>Acute promyelocytic leukaemia [PML]</b> AML M3 AML M3 with t(15; 17) and variants
C92.5	急性骨髄単球性白血病	C92.5 急性骨髄単球性白血病 AML M4 AML M4 Eo, inv (16) 又は t (16;16) を伴うもの	C92.5 <b>Acute myelomonocytic leukaemia</b> AML M4 AML M4 Eo with inv(16) or t(16;16)
		C92.6 11q23 異常を伴う急性骨髄性白血病 MLL 遺伝子変異を伴う急性骨髄性白血病	C92.6 <b>Acute myeloid leukaemia with 11q23-abnormality</b> Acute myeloid leukaemia with variation of MLL-gene
C92.7	その他の骨髄性白血病	C92.7 その他の骨髄性白血病 除外：慢性好酸球性白血病 [好酸球增多症候群] (D47.5)	C92.7 <b>Other myeloid leukaemia</b> <i>Excludes:</i> chronic eosinophilic leukaemia [hypereosinophilic syndrome] (D47.5)
		C92.8 多系統異形成を伴う急性骨髄性白血病 注：既往歴に造血形成異常及び/又は骨髄異形成疾患を伴う急性骨髄性白血病	C92.8 <b>Acute myeloid leukaemia with multilineage dysplasia</b> <i>Note:</i> Acute myeloid leukaemia with dysplasia of remaining haematopoiesis and/or myelodysplastic disease in its history.
C92.9	骨髄性白血病, 詳細不明	C92.9 骨髄性白血病, 詳細不明	
C93	単球性白血病 包含：単球様白血病 形態コード M989 で, 性状コード / 3 のもの	C93 単球性白血病 包含：単球様白血病	C92.9 <b>Myeloid leukaemia, unspecified</b> C93 <b>Monocytic leukaemia</b> <i>Includes:</i> monocytoid leukaemia morphology code M989 with behaviour code /3
C93.0	急性単球性白血病  除外：慢性単球性白血病の急性増悪 (C93.1)	C93.0 急性単芽球性/単球性白血病 AML M5a AML M5b AML M5	C93.0 <b>Acute monoblastic/monocytic leukaemia</b> AML M5a AML M5b AML M5 <i>Excludes:</i> acute exacerbation of chronic monocytic leukaemia (C93.1)
C93.1	慢性単球性白血病	C93.1 慢性骨髄単球性白血病 慢性単球性白血病 CMML-1 CMML-2 CMML, 好酸球増加症を伴うもの	C93.1 <b>Chronic monocytic myelomonocytic leukaemia</b> Chronic monocytic leukaemia CMML-1 CMML-2 CMML with eosinophilia
		C93.3 若年性骨髄単球性白血病	C93.2 <b>Subacute monocytic leukaemia</b>
C93.7	その他の単球性白血病	C93.7 その他の単球性白血病	C93.3 <b>Juvenile myelomonocytic leukaemia</b>
C93.9	単球性白血病, 詳細不明	C93.9 単球性白血病, 詳細不明	C93.7 <b>Other monocytic leukaemia</b>
C94	細胞型の明示されたその他の白血病 包含：形態コード M984, M9850, M9900, M9910, M9931-M9932 で, 性状コード / 3 のもの 除外：形質細胞白血病 (C90.1) 白血性細網内皮症 (C91.4)	C94 細胞型の明示されたその他の白血病  除外：形質細胞白血病 (C90.1) 白血性細網内皮症 (C91.4)	C93.9 <b>Monocytic leukaemia, unspecified</b>
C94.0	急性赤血病および赤白血病 急性赤血病性骨髄症 ディ グリエルモ <Di Guglielmo> 病	C94.0 急性赤白血病 急性骨髄性白血病 M6 (a) (B) 赤白血病	C94 <b>Other leukaemias of specified cell type</b> <i>Includes:</i> morphology codes M984, M9850, M9900, M9910, M9931-M9932 with behaviour code /3 <i>Excludes:</i> leukaemic reticuloendotheliosis (C91.4) plasma cell leukaemia (C90.1)

No.	現行	提要案	WHO 勧告 (原文)
	<p>C94.1 慢性赤血病 ハイルマイエル・シェ-ネル&lt;Heilmeyer-Schoener&gt; 病</p> <p>C94.2 急性巨核芽球性白血病 白血病： ・巨核芽球性（急性） ・巨核球性（急性）</p> <p>C94.3 肥満細胞白血病</p> <p>C94.4 急性汎骨髄症</p> <p>C94.5 急性骨髄線維症</p> <p>C94.7 その他の明示された白血病  リンパ肉腫細胞白血病</p> <p>C95 細胞型不明の白血病 包含：形態コードM980で，性状コード/3のもの</p> <p>C95.0 細胞型不明の急性白血病 芽球性白血病&lt;Blast Cell leukaemia&gt; 幹細胞性白血病&lt;stem Cell leukaemia&gt; 除外：詳細不明の慢性白血病の急性増悪（C95.1）</p> <p>C95.1 細胞型不明の慢性白血病</p> <p>C95.2 細胞型不明の亜急性白血病</p> <p>C95.7 細胞型不明のその他の白血病</p> <p>C95.9 白血病，詳細不明</p> <p>C96 リンパ組織，造血組織および関連組織のその他および詳細不明の悪性新生物 包含：形態コードM972，M974で，性状コード/3のもの</p> <p>C96.0 レッテラ-・ジーベ&lt;Letterer-Siwe&gt; 病 非脂質性： ・細網内皮症 ・細網症</p> <p>C96.1 悪性組織球症&lt;malignant histiocytosis&gt; 組織球性髄質性細網症</p>	<p>C94.2 急性巨核芽球性白血病  急性巨核球性白血病 急性骨髄性白血病, M7</p> <p>C94.3 肥満細胞白血病</p> <p>C94.4 骨髄線維症を伴う急性汎骨髄症 急性骨髄線維症</p> <p>C94.6 骨髄異形成及び骨髄増殖性疾患，他に分類されないもの</p> <p>C94.7 その他の明示された白血病 急性好塩基球性白血病 侵襲性 NK 細胞白血病</p> <p>C95 細胞型不明の白血病</p> <p>C95.0 細胞型不明の急性白血病 急性多系統白血病 急性混合系白血病 多形質性急性白血病 系統の不明確な幹細胞性白血病&lt;stem cell leukaemia&gt; 除外：詳細不明の慢性白血病の急性増悪（C95.1）</p> <p>C95.1 細胞型不明の慢性白血病</p> <p>C95.7 細胞型不明のその他の白血病</p> <p>C95.9 白血病，詳細不明</p> <p>C96 リンパ組織，造血組織及び関連組織のその他及び詳細不明の悪性新生物&lt;腫瘍&gt;</p> <p>C96.0 多病巣性及び多臓器型（播種性）ランゲルハンス&lt;Langerhans&gt; 細胞組織球症[レットレル・ジーベ&lt;Letterer-Siwe&gt; 病] ヒストサイトーシス X, 多臓器型</p>	<p>C94.0 <b>Acute erythraemia and erythroleukaemia erythroid leukaemia</b> <u>Acute myeloid leukaemia, M6 (a)(b)</u> <u>Erythroleukaemia</u> Acute erythraemic myelosis Di-Guglielmo's disease</p> <p><del>C94.1</del> <b>Chronic erythraemia</b> Heilmeyer-Schöner disease</p> <p>C94.2 <b>Acute megakaryoblastic leukaemia</b> <u>Acute megakaryocytic leukaemia</u> <u>Acute myeloid leukaemia, M7</u> Leukaemia: ▲ megakaryoblastic (acute) ▲ megakaryocytic (acute)</p> <p>C94.3 <b>Mast cell leukaemia</b></p> <p>C94.4 <b>Acute panmyelosis with myelofibrosis</b> <u>Acute myelofibrosis</u></p> <p><del>C94.5</del> <b>Acute myelofibrosis</b></p> <p><del>C94.6</del> <b><u>Myelodysplastic and myeloproliferative disease, not elsewhere classified</u></b></p> <p>C94.7 <b>Other specified leukaemias</b> <u>Acute basophilic leukaemia</u> <u>Aggressive NK-cell leukaemia</u> <u>Lymphosarcoma cell leukaemia</u></p> <p>C95 <b>Leukaemia of unspecified cell type</b> <i>Includes:— morphology code M980 with behaviour code /3</i></p> <p>C95.0 <b>Acute leukaemia of unspecified cell type</b> <u>Acute bilineal leukaemia</u> <u>Acute mixed lineage leukaemia</u> <u>Biphenotypic acute leukaemia</u> <u>Blast cell leukaemia</u> <u>Stem cell leukaemia of unclear lineage</u> <i>Excludes:— acute exacerbation of unspecified chronic leukaemia (C95.1)</i></p> <p>C95.1 <b>Chronic leukaemia of unspecified cell type</b></p> <p><del>C95.2</del> <b>Subacute leukaemia of unspecified cell type</b></p> <p>C95.7 <b>Other leukaemia of unspecified cell type</b></p> <p>C95.9 <b>Leukaemia, unspecified</b></p> <p>C96 <b>Other and unspecified malignant neoplasms of lymphoid, haematopoietic and related tissue</b> <i>Includes:— morphology codes M972, M974 with behaviour code /3</i></p> <p>C96.0 <b><u>Multifocal and multisystemic (disseminated) Langerhans-cell histiocytosis [Letterer-Siwe disease]</u></b> <u>Histiocytosis X, multisystemic</u> Nonlipid:</p>



No.	現行	提要案	WHO 勧告 (原文)
			<ul style="list-style-type: none"> <li>▲reticuloendotheliosis</li> <li>▲reticulosis</li> </ul> <b>C96.1 Malignant histiocytosis</b> Histiocytic medullary reticulosis
68	C96.2 悪性肥満細胞腫 悪性： ・肥満細胞腫 ・肥満細胞症 肥満細胞肉腫 除外：肥満細胞白血病 (C94.3) 肥満細胞症 (皮膚) (Q82.2)	C96.2 悪性肥満細胞腫 <b>侵襲性全身性肥満細胞症</b> 肥満細胞肉腫 除外：無痛性肥満細胞症 (D47.0) 肥満細胞白血病 (C94.3) 肥満細胞症 (先天性) (皮膚) (Q82.2)	<b>C96.2 Malignant mast cell tumour</b> Aggressive systemic mastocytosis Malignant: ▲mastocytoma ▲mastocytosis Mast cell sarcoma Excludes: indolent mastocytosis (D47.0) mast cell leukaemia (C94.3) <del>(congenital)</del> mastocytosis <b>(congenital)</b> (cutaneous) (Q82.2)
69	<b>C96.3 真性組織球性リンパ腫</b>           C96.7 リンパ組織, 造血組織および関連組織のその他の明示された悪性新生物   C96.9 リンパ組織, 造血組織および関連組織の悪性新生物, 詳細不明	C96.4 樹状細胞 (補助細胞) 肉腫 指間樹状細胞肉腫 ランゲルハンス <Langerhans> 細胞肉腫 ろく濾 > 胞樹状細胞肉腫 C96.5 多病巣性及び単一臓器型ランゲルハンス <Langerhans> 細胞組織球症 <b>ハンド・シューラー・クリスチャン病</b> <b>ヒスチオサイトーシス X, 多病巣性</b> C96.6 単発性ランゲルハンス <Langerhans> 細胞組織球症 <b>好酸球性肉芽腫</b> <b>ヒスチオサイトーシス XNOS</b> <b>ヒスチオサイトーシス X, 単発性</b> <b>ランゲルハンス &lt;Langerhans&gt; 細胞組織球症 NOS</b>  C96.7 リンパ組織, 造血組織及び関連組織のその他の明示された悪性新生物 <腫瘍> C96.8 組織球性肉腫 <b>悪性組織球症</b> C96.9 リンパ組織, 造血組織及び関連組織の悪性新生物 <腫瘍>, 詳細不明	<b>C96.3 True histiocytic lymphoma</b> <b>C96.4 Sarcoma of dendritic cells ( accessory cells)</b> Interdigitating dendritic cell sarcoma Langerhans-cell sarcoma Sarcoma of follicular dendritic cells <b>C96.5 Multifocal and unisystemic Langerhans-cell histiocytosis</b> Hand-Schüller-Christian disease Histiocytosis X, multifocal  <b>C96.6 Unifocal Langerhans-cell histiocytosis</b> Eosinophilic granuloma Histiocytosis X NOS Histiocytosis X, unifocal Langerhans-cell histiocytosis NOS  <b>C96.7 Other specified malignant neoplasms of lymphoid, haematopoietic and related tissue</b> <b>C96.8 Histiocytic sarcoma</b> Malignant histiocytosis  <b>C96.9 Malignant neoplasm of lymphoid, haematopoietic and related tissue, unspecified</b> <b>※第 3 回部会資料から微修正あり (組織球症 X→ヒスチオサイトーシス X 等)</b>
70	D07 その他および部位不明の生殖器の上皮内癌 除外：上皮内黒色腫 (D03.5) D07.5 前立腺	D07 その他及び部位不明の生殖器の上皮内癌 除外：上皮内黒色腫 (D03.5) D07.5 前立腺 除外：前立腺の低度異形成 (N42.3)	<b>D07 Carcinoma in situ of other and unspecified genital organs</b> Excludes: melanoma in situ (D03.5) <b>D07.5 Prostate</b> Excludes: Low grade dysplasia of prostate (N42.3)
71	D16 骨および関節軟骨の良性新生物	D16 骨及び関節軟骨の良性新生物 <腫瘍>	<b>D16 Benign neoplasm of bone and articular cartilage</b> Includes: <del>Keratocystic odontogenic tumour</del>
72	D29 男性生殖器の良性新生物 包含：男性生殖器の皮膚 D29.0 陰茎	D29 男性生殖器の良性新生物 <腫瘍> 包含：男性生殖器の皮膚 D29.0 陰茎	<b>D29 Benign neoplasm of male genital organs</b> Includes: skin of male genital organs <b>D29.0 Penis</b>

No.	現行	提要案	WHO勧告 (原文)
	D29.1 前立腺 除外：前立腺： ・肥大 (N40) ・腫大 (N40) ・腺腫 (N40) 前立腺 (腺腫性) 過形成 (N40)	D29.1 前立腺 除外：前立腺： ・肥大 (N40) ・腫大 (N40)  前立腺 (腺腫性) 過形成 (N40)	<b>D29.1 Prostate</b> <i>Excludes: hyperplasia of prostate (adenomatous) (N40)</i> prostatic: ・adenoma (N40) ・enlargement (N40) ・hypertrophy (N40)
73	D31.4 毛様体 眼球  D31.9 眼, 部位不明	D31.4 毛様体  D31.9 眼, 部位不明 眼球	<b>D31.4 Ciliary body</b> Eyeball  <b>D31.9 Eye, unspecified</b> Eyeball
74	D45 真正赤血球増加症<多血症> 形態コードM9950で, 性状コード/1のもの  D46 骨髄異形成症候群 包含: 形態コードM998で, 性状コード/1のもの  D46.0 鉄芽球を伴わない不応性貧血と記載されたもの  D46.1 鉄芽球を伴う不応性貧血  D46.2 芽球過剰性不応性貧血	D45 真正赤血球増加症<多血症> 注: 真正赤血球増加症<多血症>は, ICD-O 第3版では悪性コードに再分類されたが, D45のコードは, 引き続き性状不詳又は不明の新生物<腫瘍>の章で使用する。分類の修正は, ICDの改訂まで保留する。  D46 骨髄異形成症候群 包含: アルキル化剤関連による骨髄異形成症候群 エピポドフィロトキシン関連による骨髄異形成症候群 治療関連骨髄異形成症候群 NOS 除外: 薬物誘発性再生不良性貧血 (D61.1)  D46.0 環状鉄芽球を伴わない不応性貧血と記載されたもの 注: 鉄芽球を伴わない, 過剰芽球性  D46.1 環状鉄芽球を伴う不応性貧血  D46.2 芽球過剰性不応性貧血 RAEB I RAEB II	<b>D45 Polycythaemia vera</b> <i>Note: Polycythaemia vera has been reclassified in ICD-O Third Edition with a malignant code. The code D45 will continue to be used, although it is located in the chapter for Neoplasms of uncertain or unknown behaviour. The modification of its classification is reserved for the revision of ICD.</i> Morphology code M9950 with behaviour code /1  <b>D46 Myelodysplastic syndromes</b> <i>Includes: morphology code M998 with behaviour code /1</i> Alkylating agent related myelodysplastic syndrome Epidodophyllotoxin related myelodysplastic syndrome Therapy related myelodysplastic syndrome NOS <i>Excludes: drug induced aplastic anaemia (D61.1)</i>  <b>D46.0 Refractory anaemia without ringed sideroblasts, so stated</b> <i>Note: without sideroblasts, without excess of blasts</i>  <b>D46.1 Refractory anaemia with ringed sideroblasts</b>  <b>D46.2 Refractory anaemia with excess of blasts</b> RAEB I RAEB II
75	D46.3 白血病移行期にある芽球過剰性不応性貧血 D46.4 不応性貧血, 詳細不明  D46.7 その他の骨髄異形成症候群  D46.9 骨髄異形成症候群, 詳細不明 骨髄異形成 NOS 前白血病 (症候群) NOS	D46.4 不応性貧血, 詳細不明 D46.5 多系統異形成を伴う不応性血球減少 D46.6 単独 del (5q) 染色体異常を伴う骨髄異形成症候群 5p マイナス症候群  D46.7 その他の骨髄異形成症候群 除外: 慢性骨髄単球性白血病 (C93.1)  D46.9 骨髄異形成症候群, 詳細不明 骨髄異形成 NOS 前白血病 (症候群) NOS	<del>D46.3 Refractory anaemia with excess of blasts with transformation</del> <b>D46.4 Refractory anaemia, unspecified</b> <b>D46.5 Refractory anaemia with multi-lineage dysplasia</b> <b>D46.6 Myelodysplastic syndrome with isolated del(5q) chromosomal abnormality</b> 5 q-minus syndrome  <b>D46.7 Other myelodysplastic syndromes</b> <i>Excludes: chronic myelomonocytic leukaemia (C93.1)</i>  <b>D46.9 Myelodysplastic syndrome, unspecified</b> Myelodysplasia NOS Preleukaemia (syndrome) NOS

No.	現行	提要案	WHO 勧告 (原文)
	D47 リンパ組織, 造血組織および関連組織の性状不詳または不明のその他の新生物 包含: 形態コード M974, M976, M996-M997 で, 性状コード/1 のもの	D47 リンパ組織, 造血組織及び関連組織の性状不詳又は不明のその他の新生物 <腫瘍>	<b>D47</b> <b>Other neoplasms of uncertain or unknown behaviour of lymphoid, haematopoietic and related tissue</b> <i>Includes:</i> — morphology codes M974, M976, M996-M997 with behaviour code /1
76	D47.0 性状不詳および不明の組織球性および肥満細胞性腫瘍 肥満細胞性腫瘍 NOS 肥満細胞腫 NOS 除外: 肥満細胞症 (皮膚) (Q82.2)	D47.0 性状不詳及び不明の組織球性及び肥満細胞性腫瘍 無痛性全身性肥満細胞症 肥満細胞性腫瘍 NOS 肥満細胞腫 NOS 全身性肥満細胞症, クローン造血非脂肪細胞症に関連するもの (SM-AHNMD) 除外: 肥満細胞症 (先天性) (皮膚) (Q82.2)	<b>D47.0</b> <b>Histiocytic and mast cell tumours of uncertain and unknown behaviour</b> <u>Indolent systematic mastocytosis</u> Mast cell tumour NOS Mastocytoma NOS <u>Systemic mastocytosis, associated with clonal haematopoietic non-mast-cell disease (SM-AHNMD)</u> <i>Excludes:</i> <del>(congenital)</del> mastocytosis <del>(congenital)</del> (cutaneous)(Q82.2)
77	D47.1 慢性骨髄増殖性疾患 骨髄線維症 (骨髄化生を伴うもの) 骨髄増殖性疾患, 詳細不明 骨髄硬化症 (巨核球性), 骨髄化生を伴うもの	D47.1 慢性骨髄増殖性疾患 慢性好中球性白血病 骨髄増殖性疾患, 詳細不明 除外: 異型性慢性骨髄性白血病 (C92.2) 慢性骨髄性白血病[CML]BCR/ABL 陽性 (C92.1)	<b>D47.1</b> <b>Chronic myeloproliferative disease</b> <u>Chronic neutrophilic leukaemia</u> <u>Myelofibrosis (with myeloid metaplasia)</u> Myeloproliferative disease, unspecified <u>Myeloseclerosis (megakaryocytic) with myeloid metaplasia</u> <i>Excludes:</i> <u>atypical chronic myeloid leukaemia (C92.2)</u> <u>chronic myeloid leukaemia [CML] BCR/ABL-positive (C92.1)</u>
78	D47.2 単クローン性異常免疫グロブリン血症 <monoclonal gammopathy> D47.3 本態性 (出血性) 血小板血症 特発性出血性血小板血症 D47.7 リンパ組織, 造血組織および関連組織の性状不詳または不明のその他の明示された新生物 D47.9 リンパ組織, 造血組織および関連組織の性状不詳または不明の新生物, 詳細不明 リンパ増殖性疾患 NOS	D47.2 意義不明の単クローングロブリン血症 (MGUS) D47.3 本態性 (出血性) 血小板血症 特発性出血性血小板血症 D47.4 骨髄線維症 慢性特発性骨髄線維症 骨髄線維症 (特発性) (骨髄様化生を伴う) 骨髄様化生を伴う骨髄硬化症 (骨髄) 巨核球性 骨髄増殖性疾患における続発性骨髄線維症 除外: 急性骨髄線維症 (C94.4) D47.5 慢性好酸球性白血病 [好酸球増加症候群] D47.7 リンパ組織, 造血組織及び関連組織の性状不詳又は不明のその他の明示された新生物 <腫瘍> 性状不詳及び不明の組織球性腫瘍 D47.9 リンパ組織, 造血組織及び関連組織の性状不詳又は不明の新生物 <腫瘍> 詳細不明 リンパ増殖性疾患 NOS	<b>D47.2</b> <b>Monoclonal gammopathy of undetermined significance (MGUS)</b> <b>D47.3</b> <b>Essential (haemorrhagic) thrombocythaemia</b> Idiopathic haemorrhagic thrombocythaemia <b>D47.4</b> <b>Osteomyelofibrosis</b> <u>Chronic idiopathic myelofibrosis</u> <u>Myelofibrosis (idiopathic) (with myeloid metaplasia)</u> <u>Myeloseclerosis (megakaryocytic) with myeloid metaplasia</u> <u>Secondary myelofibrosis in myeloproliferative disease</u> <i>Excludes:</i> acute myelofibrosis (C94.4) <b>D47.5</b> <b>Chronic eosinophilic leukaemia [hypereosinophilic syndrome]</b> <b>D47.7</b> <b>Other specified neoplasms of uncertain or unknown behaviour of lymphoid, haematopoietic and related tissue</b> <u>Histiocytic tumours of uncertain and unknown behaviour</u> <b>D47.9</b> <b>Neoplasm of uncertain or unknown behaviour of lymphoid, haematopoietic and related tissue, unspecified</b> Lymphoproliferative disease NOS
79	D57.3 鎌状赤血球保因者 Hb-S <ヘモグロビン S> 保因者 ヘテロ複合型ヘモグロビン S	D57.3 鎌状赤血球保因者 Hb-S <ヘモグロビン S> 保因者 ヘテロ複合型ヘモグロビン S [HbAS]	<b>D57.3</b> <b>Sickle-cell trait</b> Hb-S trait Heterozygous haemoglobin S [HbAS]

No.	現行	提案	WHO勧告 (原文)
80	D63* 他に分類される慢性疾患における貧血 D63.0* 新生物性疾患における貧血 (C00—D48†) D63.8* 他に分類されるその他の慢性疾患における貧血	D63* 他に分類される慢性疾患における貧血 D63.0* 新生物<腫瘍>性疾患における貧血 (C00—D48†) D63.8* 他に分類されるその他の慢性疾患における貧血 慢性腎臓病における貧血, ≥第3期 (N18.3—N18.5†)	<b>D63*</b> Anaemia in chronic diseases classified elsewhere <b>D63.0*</b> Anaemia in neoplastic disease (C00—D48†) <b>D63.8*</b> Anaemia in other chronic diseases classified elsewhere Anaemia in chronic kidney disease ≥ stage 3 (N18.3—N18.5†)
81	D64 その他の貧血 除外：不応性貧血： ・NOS (D46.4) ・芽球過剰性<with excess of blasts> (D46.2)  ・移行期<with transformation> (D46.3)	D64 その他の貧血 除外：不応性貧血： ・NOS (D46.4) ・芽球過剰性<with excess of blasts> (D46.2)  ・芽球過剰性<with excess of blasts> -移行期<with transformation> (C92.0)	<b>D64 Other anaemias</b> Excludes: refractory anaemia:  ・ NOS (D46.4) ・ with excess of blasts (D46.2) ・ with transformation (D46.3-C92.0)  ※第3回部会資料から、移行期の位置を修正
82		D68.5 原発性血栓形成傾向 活性Cタンパク<蛋白>耐性 [第V因子ライデン変異]欠乏症: ・抗トロンピン ・Cタンパク<蛋白> ・Sタンパク<蛋白> プロトロンピン遺伝子突然変異	<b>D68.5 Primary Thrombophilia</b> Activated protein C resistance [factor V Leiden mutation] Deficiency: ・ antithrombin ・ protein C ・ protein S Prothrombin gene mutation
83		D68.6 その他の血栓形成傾向 抗カルジオリピン症候群 抗リン脂質抗体症候群 ループス抗凝固因子の存在 除外：播種性血管内凝固症候群 (D65) 高ホモシステイン血症 (E72.1)	<b>D68.6 Other Thrombophilia</b> Anticardiolipin syndrome Antiphospholipid syndrome Presence of the lupus anticoagulant  Excludes: disseminated intravascular coagulation (D65) hyperhomocysteinemia (E72.1)
84	D68.8 その他の明示された凝固障害 全身性エリテマトーデス<紅斑性狼瘡> [SLE] 阻害因子の存在	D68.8 その他の明示された凝固障害	<b>D68.8 Other specified coagulation defects</b> Presence of systemic lupus erythematosus [SLE] inhibitor
85	D70 無顆粒球症 無顆粒球性アンギーナ 小児遺伝性無顆粒球症 コストマン<Kostmann>病 好中球減少性脾腫 好中球減少症： ・NOS ・中毒性 ・先天性 ・周期性 ・薬物誘発性 ・間欠性 ・脾性 (原発性)  薬物誘発性で、薬物の分類が必要な場合は、追加外因コード (XX章) を使用する。 除外：一過性新生児好中球減少症 (P61.5)	D70 無顆粒球症 無顆粒球性アンギーナ 乳児遺伝性無顆粒球症 コストマン<Kostmann>病 好中球減少症： ・NOS ・先天性 ・周期性 ・薬物誘発性 ・間欠性 ・脾性 (原発性) ・中毒性 好中球減少性脾腫 ウェルナー・シュルツ病 薬物誘発性で、薬物の分類が必要な場合は、追加外因コード (XX章) を使用する。 除外：一過性新生児好中球減少症 (P61.5)	<b>D70 Agranulocytosis</b> Incl.:Agranulocytic angina Infantile genetic agranulocytosis Kostmann disease Neutropenia: ・ NOS ・ congenital ・ cyclic ・ drug-induced ・ periodic ・ splenic (primary) ・ toxic  Neutropenic splenomegaly Werner-Schultz disease Use additional external cause code (Chapter XX), if desired, to identify drug, if drug-induced. Excl.:transient neonatal neutropenia (P61.5)

No.	現行	提要案	WHO勧告 (原文)
86	D72 白血球のその他の障害 除外：好塩基球増加症 (D75.8)	D72 白血球のその他の障害 除外：異常白血球 (数) (R72) 好塩基球増加症 (D75.8)	<b>D72 Other disorders of white blood cells</b> <i>Excludes:</i> <u>abnormal white blood cells (count) (R72)</u> basophilia (D75.8)
87	D75 血液および造血器のその他の疾患 除外：高ガンマグロブリン血症 NOS (D89.2) リンパ節炎： ・NOS (I88.9) ・腸間膜 (急性) (慢性) (I88.0) ・慢性 (I88.1) ・急性 (L04.-) リンパ節腫大 (R59.-)  D75.1 続発性<二次性>赤血球増加症<多血症> 赤血球増加症<多血症>：  ・後天性 ・情動性 ・低酸素性 ・腎性 ・相対的 ・下記によるもの： ・エリスロポ (イ) エチン ・血漿量減少 ・高地性 ・ストレス 除外：赤血球増加症<多血症>： ・真正 (D45) ・新生児 (P61.1)	D75 血液および造血器のその他の疾患 除外：リンパ節腫大 (R59.-) 高ガンマグロブリン血症 NOS (D89.2) リンパ節炎： ・NOS (I88.9) ・急性 (L04.-) ・慢性 (I88.1) ・腸間膜 (急性) (慢性) (I88.0)  D75.1 続発性<二次性>赤血球増加症<多血症> <u>赤血球増加症 NOS</u> 赤血球増加症<多血症>： ・ <u>NOS</u> ・後天性 ・下記によるもの： ・エリスロポ (イ) エチン ・血漿量減少 ・高地性 ・ストレス ・情動性 ・低酸素性 ・腎性 ・相対的  除外：赤血球増加症<多血症>： ・新生児 (P61.1) ・真正 (D45)	<b>D75 Other diseases of blood and blood-forming organs</b>  <i>Excludes:</i> enlarged lymph nodes (R59.-) hypergammaglobulinaemia NOS (D89.2) lymphadenitis: ・NOS (I88.9) ・acute (L04.-) ・chronic (I88.1) ・mesenteric (acute)(chronic) (I88.0)  <b>D75.1 Secondary polycythaemia</b> <u>Erythrocytosis NOS</u> Polycythaemia: ・ <u>NOS</u> ・acquired ・due to: ・erythropoietin ・fall in plasma volume ・high altitude ・stress ・emotional ・hypoxaemic ・nephrogenous ・relative  <i>Excludes:</i> polycythaemia: ・neonatorum (P61.1) ・vera (D45)
88	<u>D75.2 本態性血小板増加症</u> 除外：本態性 (出血性) 血小板血症 (D47.3) D75.8 血液および造血器のその他の明示された疾患 好塩基球増加症 D75.9 血液および造血器の疾患, 詳細不明	D75.8 血液及び造血器のその他の明示された疾患 好塩基球増加症 D75.9 血液及び造血器の疾患, 詳細不明	<b>D75.2 Essential thrombocytois</b> <i>Excludes:</i> <del>essential (haemorrhagic) thrombocythaemia (D47.3)</del>  <b>D75.8 Other specified diseases of blood and blood-forming organs</b> Basophilia  <b>D75.9 Disease of blood and blood-forming organs, unspecified</b>
89	D76 リンパ細網組織および細網組織球系の疾患 除外：	D76 リンパ細網組織及び細網組織球組織のその他の明示された疾患 除外：アプト・レットレル・ジーベ<Abt-Letterer-Siwe>病 (C96.0) 好酸球性肉芽腫 (C96.6) ハンド・シューラー・クリスチャン<Hand-Schüller-Christian>病 (C96.5) 組織球性肉腫 (C96.8)	<b>D76 Certain Other specified diseases involving with participation of lymphoreticular tissue and reticulohistiocytic system tissue</b> <i>Excludes:</i> (Abt-)Letterer-Siwe disease (C96.0) <u>eosinophilic granuloma (C96.6)</u> <u>Hand-Schüller-Christian disease (C96.5)</u> <u>histiocytic sarcoma (C96.8)</u> <u>histiocytosis X, multifocal (C96.5)</u> <u>histiocytosis X, unifocal (C96.6)</u>

No.	現行	提案	WHO勧告 (原文)
	<p>細網内皮症または細網症：  <ul style="list-style-type: none"> <li>・悪性 (C85.7)</li> <li>・白血性 (C91.4)</li> <li>・非脂質性 (C96.0)</li> <li>・組織球性髄質性 (C96.1)</li> <li>・リポメラニン性 (I89.8)</li> </ul>           レッテラー・ジーベ&lt;Letterer-Siwe&gt;病 (C96.0)</p> <p>悪性組織球症&lt;malignant histiocytosis&gt; (C96.1)</p>	<p>ヒスチオサイトーシス X, 多病巣性 (C96.5)            ヒスチオサイトーシス X, 単局性 (C96.6)            ランゲルハンス&lt;Langerhans&gt;細胞組織球症, 多病巣性 (C96.5)            ランゲルハンス&lt;Langerhans&gt;細胞組織球症, 単局性 (C96.6)            悪性組織球症&lt;malignant histiocytosis&gt; (C96.8)</p> <p>細網内皮症：  <ul style="list-style-type: none"> <li>・白血性 (C91.4)</li> <li>・非脂質性 (C96.0)</li> </ul>           細網症：  <ul style="list-style-type: none"> <li>・組織球性髄質性 (C96.8)</li> <li>・リポメラニン性 (I89.8)</li> <li>・悪性 NOS (C86.0)</li> </ul> </p>	<p><u>Langerhans-cell histiocytosis, multifocal (C96.5)</u>  <u>Langerhans-cell histiocytosis, unifocal (C96.6)</u>            malignant histiocytosis (C96.48)            reticuloendotheliosis ; <del>or reticulosis:</del>  <ul style="list-style-type: none"> <li>• <del>histiocytic medullary (C96.19)</del></li> <li>• leukaemic (C91.4)</li> <li>• <del>lipomelanotic (I89.8)</del></li> <li>• <del>malignant (C85.7)</del></li> <li>• nonlipid (C96.0)</li> </ul>             reticulosis:  <ul style="list-style-type: none"> <li>• <u>histiocytic medullary (C96.8)</u></li> <li>• <u>lipomelanotic (I89.8)</u></li> <li>• <u>malignant NOS (C86.0)</u></li> </ul> </p>
90	<p>D76.0 ランゲルハンス&lt;Langerhans&gt;細胞組織球症, 他に分類されないもの            好酸球性肉芽腫            ハンド・シュレー・クリスチャン&lt;Hand-Schüller-Christian&gt;病            組織球 (増殖) 症 X &lt;histiocytosis X&gt; (慢性)</p> <p>D76.1 血球貪食性リンパ組織球症            家族性血球貪食性細網症            ランゲルハンス&lt;Langerhans&gt;細胞以外の単核食細胞の組織増殖症            NOS</p>	<p>D76.1 血球貪食性リンパ組織球症            家族性血球貪食性細網症            単核食細胞の組織増殖症</p>	<p><b>D76.0 Langerhans' cell histiocytosis, not elsewhere classified</b>            Eosinophilic granuloma            Hand-Schüller-Christian disease            Histiocytosis X (chronic)</p> <p><b>D76.1 Haemophagocytic lymphohistiocytosis</b>            Familial haemophagocytic reticulosis</p> <p>Histiocytoses of mononuclear phagocytes other than Langerhans' cells NOS</p>
91	<p>免疫機構の障害 (D80-D89)            包含：補体系欠乏症            免疫不全症, ヒト免疫不全ウイルス [HIV] 病を除く            サルコイドーシス            除外：ヒト免疫不全ウイルス [HIV] 病 (B20-B24)            多 (形) 核好中球機能障害 (D71)            自己免疫疾患 (全身性) NOS (M35.9)</p>	<p>免疫機構の障害 (D80-D89)            包含：補体系欠乏症            免疫不全症, ヒト免疫不全ウイルス [HIV] 病を除く            サルコイドーシス            除外：自己免疫疾患 (全身性) NOS (M35.9)            多 (形) 核好中球機能障害 (D71)            ヒト免疫不全ウイルス [HIV] 病 (B20-B24)            妊娠、分娩及び産じょく&lt;褥&gt;に合併するヒト免疫不全ウイルス [HIV]病 (O98.7)</p>	<p><b>Certain disorders involving the immune mechanism (D80-D89)</b>  <i>Excludes:</i> autoimmune disease (systemic) NOS (M35.9)            functional disorders of polymorphonuclear neutrophils (D71)            human immunodeficiency virus [HIV] disease (B20-B24)  <u>human immunodeficiency virus [HIV] disease complicating pregnancy childbirth and the puerperium (O98.7)</u></p>
92	<p>D89 その他の免疫機構の障害, 他に分類されないもの            除外：単クローン性異常免疫グロブリン血症&lt;monoclonal gammopathy&gt; (D47.2)            高グロブリン血症 NOS (R77.1)</p>	<p>D89 その他の免疫機構の障害, 他に分類されないもの            除外：高グロブリン血症 NOS (R77.1)            意義不明の単クローン性異常免疫グロブリン血症&lt;monoclonal gammopathy&gt; (MGUS) (D47.2)</p>	<p><b>D89 Other disorders involving the immune mechanism, not elsewhere classified</b>  <i>Excludes:</i> hyperglobulinaemia NOS (R77.1)            monoclonal gammopathy of undertermined significance (MGUS) (D47.2)</p>
93	<p>D89 その他の免疫機構の障害, 他に分類されないもの            除外：単クローン性異常免疫グロブリン血症&lt;monoclonal gammopathy&gt; (D47.2)            高グロブリン血症 NOS (R77.1)            移植の不全および拒絶 (T86.-)</p>	<p>D89 その他の免疫機構の障害, 他に分類されないもの            除外：単クローン性異常免疫グロブリン血症&lt;monoclonal gammopathy&gt; (D47.2)            高グロブリン血症 NOS (R77.1)            移植の不全及び拒絶 (T86.-)</p>	<p><b>D89 Other disorders involving the immune mechanism, not elsewhere classified</b></p> <p><b>D89.3 Immune reconstitution syndrome</b>            Use additional external cause code (Chapter XX), if desired, to identify drug.</p>

No.	現行	提提案	WHO 勧告 (原文)
		<b>D89.3 免疫再構築症候群</b> 薬剤の分類が必要な場合は、追加外因コード (XX 章) を使用する。	
94	D89.3 免疫再構築症候群	D89.3 免疫再構築症候群 <b>免疫再構築症候群[IRIS]</b> 薬剤の分類が必要な場合は、追加外因コード (XX 章) を使用する。	<b>D89.3 Immune reconstitution syndrome</b> <u>Immune reconstitution inflammatory syndrome [IRIS]</u>
95	E10 <b>インスリン依存性糖尿病 &lt; I D D M &gt;</b> [細分類は 172 ページを参照] 包含：糖尿病： ・ブリットル<不安定>型 ・ケトーシス傾向型 ・若年（発症）型 E11 <b>インスリン非依存性糖尿病 &lt; N I D D M &gt;</b> [細分類は172ページを参照] 包含：糖尿病（真性）（非肥満性）（肥満性）： ・ <b>成人（発症）型</b> ・非ケトーシス性 ・安定型 若年インスリン非依存性糖尿病 E12 栄養障害に関連する糖尿病 [細分類は 172 ページを参照] 包含：栄養障害に関連する糖尿病： ・ <b>インスリン依存性</b> ・ <b>インスリン非依存性</b> E13 その他の明示された糖尿病 除外：糖尿病（下記における）： ・ <b>インスリン依存性（E10.-）</b> ・ <b>インスリン非依存性（E11.-）</b> ・栄養障害に関連する（E12.-） ・妊娠、分娩および産じょく<褥>（O24.-） ・新生児（P70.2） <b>糖尿：</b> ・N O S（R81） ・腎性（E74.8） 術後低インスリン血症（E89.1） 耐糖能障害（R73.0） E14 詳細不明の糖尿病 除外：糖尿病（下記における）： ・ <b>インスリン依存性（E10.-）</b> ・ <b>インスリン非依存性（E11.-）</b>	E10 <b>1 型 &lt;インスリン依存性&gt; 糖尿病 &lt;IDDM&gt;</b> [細分類は 172 ページを参照] 包含：糖尿病： ・ブリットル<不安定>型 ・若年（発症）型 ・ケトーシス傾向型 E11 <b>2 型 &lt;インスリン非依存性&gt; 糖尿病 &lt;NIDDM&gt;</b> [細分類は 172 ページを参照] 包含：糖尿病（真性）（非肥満性）（肥満性）： ・成人（発症）型 <adult-onset> ・成人（発症）型 <maturity-onset> ・非ケトーシス性 ・安定型 若年インスリン非依存性糖尿病 E12 栄養障害に関連する糖尿病 [細分類は 172 ページを参照] 包含：栄養障害に関連する糖尿病： ・ <b>1 型</b> ・ <b>2 型</b> E13 その他の明示された糖尿病 除外：糖尿病（下記における）： ・栄養障害に関連する（E12.-） ・新生児（P70.2） ・妊娠、分娩および産じょく<褥>（O24.-） ・1 型（E10.-） ・2 型（E11.-） <b>尿糖：</b> ・N O S（R81） ・腎性（E74.8） 耐糖能障害（R73.0） 術後低インスリン血症（E89.1） E14 詳細不明の糖尿病 除外：糖尿病（下記における）： ・栄養障害に関連する（E12.-） ・新生児（P70.2）	<b>E10 Insulin-dependent Type 1 diabetes mellitus</b> [See before E10 for subdivisions] <b>Includes:</b> diabetes (mellitus): ・ brittle ・ juvenile-onset ・ etosis-prone ・ <del>type I</del> <b>E11 Non-insulin-dependent Type 2 diabetes mellitus</b> [See before E10 for subdivisions] <b>Includes:</b> diabetes (mellitus)(nonobese)(obese): ・ adult-onset ・ maturity-onset ・ nonketotic ・ stable ・ <del>type II</del> non-insulin-dependent diabetes of the young <b>E12 Malnutrition-related diabetes mellitus</b> <b>Includes:</b> malnutrition-related diabetes mellitus: ・ <del>insulin dependent</del> ・ <del>non-insulin dependent</del> ・ <u>type 1</u> ・ <u>type 2</u> <b>E13 Other specified diabetes mellitus</b> <b>Excludes:</b> diabetes mellitus (in): ・ <del>insulin dependent (E10.-)</del> ・ malnutrition-related (E12.-) ・ neonatal (P70.2) ・ <del>non-insulin dependent (E11.-)</del> ・ pregnancy (gestational), childbirth and the puerperium (O24.-) ・ <u>type 1 (E10.-)</u> ・ <u>type 2 (E11.-)</u> glycosuria: ・ NOS (R81) ・ renal (E74.8) impaired glucose tolerance (R73.0) postsurgical hypoinsulinaemia (E89.1) <b>E14 Unspecified diabetes mellitus</b> <b>Excludes:</b> diabetes mellitus (in): ・ <del>insulin dependent (E10.-)</del> ・ malnutrition-related (E12.-)

No.	現行	提提案	WHO勧告 (原文)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・栄養障害に関連する (E12.-)</li> <li>・妊娠, 分娩および産じょく&lt;褥&gt; (O24.-)</li> <li>・新生児 (P70.2)</li> </ul> <b>糖尿:</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・NOS (R81)</li> <li>・腎性 (R74.8)</li> </ul> 術後低インスリン血症 (E89.1) 耐糖能障害 (R73.0)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・妊娠, 分娩および産じょく&lt;褥&gt; (O24.-)</li> <li>・1型 (E10.-)</li> <li>・2型 (E11.-)</li> </ul> <b>尿糖:</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・NOS (R81)</li> <li>・腎性 (E74.8)</li> </ul> 耐糖能障害 (R73.0) 術後低インスリン血症 (E89.1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ neonatal (P70.2)</li> <li>・ <del>non insulin dependent (E11.-)</del></li> <li>・ pregnancy (gestational), childbirth and the puerperium (O24.-)</li> <li>・ type 1 (E10.-)</li> <li>・ type 2 (E11.-)</li> </ul> glycosuria: <ul style="list-style-type: none"> <li>・ NOS (R81)</li> <li>・ renal (E74.8)</li> </ul> impaired glucose tolerance (R73.0) postsurgical hypoinsulinaemia (E89.1)
96	E21 副甲状腺<上皮小体>機能亢進症およびその他の副甲状腺<上皮小体>障害 E21.2 その他の副甲状腺<上皮小体>機能亢進症  除外: 家族性低カルシウム尿 (症) 性高カルシウム血症 (E83.5)	E21 副甲状腺<上皮小体>機能亢進症及びその他の副甲状腺<上皮小体>障害 E21.2 その他の副甲状腺<上皮小体>機能亢進症 <b>三次性副甲状腺&lt;上皮小体&gt;機能亢進症</b> 除外: 家族性低カルシウム尿 (症) 性高カルシウム血症 (E83.5)	<b>E21 Hyperparathyroidism and other disorders of parathyroid gland</b> <b>E21.2</b> Other hyperparathyroidism <u>Tertiary hyperparathyroidism</u> <b>Excludes:</b> familial hypocalciuric hypercalcaemia (E83.5)
97	E64 栄養失調 (症)およびその他の栄養欠乏の続発・後遺症	E64 栄養失調 (症) 及びその他の栄養欠乏の続発・後遺症 <b>注: 慢性栄養失調 (症) または慢性栄養欠乏には使用しない。現在の栄養失調 (症) または栄養欠乏をコーディングする。</b>	<b>E64 Sequelae of malnutrition and other nutritional deficiencies</b> <u>Note: Not to be used for chronic malnutrition or nutritional deficiency. Code these to current malnutrition or nutritional deficiency.</u>  <b>※第3回部会資料から抜けていたため追加</b>
98	E64.3 くる病の続発・後遺症	E64.3 くる病の続発・後遺症 <b>変形性脊柱障害の分類が必要な場合は, 追加コード (M40.1, M41.5) を使用する。</b>	<b>E64.3 Sequelae of rickets</b> <u>Use additional code (M40.1, M41.5) if desired, to identify spinal deformity</u>
99	E68 過栄養<過剰摂食>の続発・後遺症	E68 過栄養<過剰摂食>の続発・後遺症 <b>注: 慢性過栄養&lt;過剰摂食&gt;には使用しない。現在の過栄養&lt;過剰摂食&gt;をコーディングする。</b>	<b>E68 Sequelae of hyperalimentation</b> <u>Note: Not to be used for chronic hyperalimentation. Code these to current hyperalimentation.</u>
100	E71.3 脂肪酸代謝障害 <b>副腎脳白質ジストロフィー</b> [アジソン・シルダー<Addison-Schilder>病] 筋カルニチン パルミチルトランスフェラーゼ欠損症 除外: シルダー<Schilder>病 (G37.0) <b>レフサム&lt;Refsum&gt;病 (G60.1)</b> <b>ツェルウエーガー&lt;Zellweger&gt;症候群 (Q87.8)</b>	E71.3 脂肪酸代謝障害 <b>副腎白質ジストロフィー</b> [アジソン・シルダー<Addison-Schilder>病] 筋カルニチンパルミチルトランスフェラーゼ欠損症 除外: シルダー<Schilder>病 (G37.0)	<b>E71.3 Disorders of fatty-acid metabolism</b> Adrenoleukodystrophy [Addison-Schilder] Muscle carnitine palmitoyltransferase deficiency  <b>Excludes:</b> Refsum's disease (G60.1) Schilder's disease (G37.0) Zellweger's syndrome (Q87.8)
101	E72.0 アミノ酸転送障害  シスチン症 シスチン尿症 ハートナップ<Hartnup>病 ファンコニー (・ドウトニー) (・デブレ) <Fanconi (-de Toni) (-DeBré)>症候群 ロウ<Lowe>症候群 除外: トリプトファン代謝障害 (E70.8)	E72.0 アミノ酸転送障害 <b>シスチン蓄積症† (N29.8*)</b> シスチン症 シスチン尿症 ファンコニー (・ドウトニー) (・デブレ) <Fanconi (-de Toni) (-DeBré)>症候群 ハートナップ<Hartnup>病 ロウ<Lowe>症候群 除外: トリプトファン代謝障害 (E70.8)	<b>E72.0 Disorders of amino-acid transport</b> <u>Cystine storage disease† (N29.8*)</u> Cystinosis Cystinuria Fanconi(-de Toni)(-Debré) syndrome Hartnup's disease Lowe's syndrome <b>Excludes:</b> disorders of tryptophan metabolism (E70.8)



No.	現行	提要案	WHO勧告 (原文)
102	E72.3 リジンおよびヒドロオキシリジン代謝障害 グルタル酸尿症 高リジン血症 ヒドロオキシリジン血症	E72.3 リジン及びヒドロオキシリジン代謝障害 グルタル酸尿症 ヒドロオキシリジン血症 高リジン血症 除外: レフスム<Refsum>病 (G60.1) ツェルベガー<Zellweger>症候群 (Q87.8)	<b>E72.3 Disorders of lysine and hydroxylysine metabolism</b> Glutaric aciduria Hydroxylysinaemia Hyperlysinaemia  <i>Excludes:</i> Refsum's disease (G60.1) Zellweger's syndrome (Q87.8)
103	E83.3 リン代謝障害 酸ホスファターゼ欠損症 低ホスファターゼ症 家族性低リン血症 ビタミンD抵抗性: ・骨軟化症 ・くる病 除外: 骨粗しょう<鬆>症<オステオポロース> (M80-M81) 成人骨軟化症 (M83.-)	E83.3 リン代謝障害及びホスファターゼ障害 酸ホスファターゼ欠損症 家族性低リン血症 低ホスファターゼ症 ビタミンD抵抗性: ・骨軟化症 ・くる病 除外: 成人骨軟化症 (M83.-) 骨粗しょう<鬆>症<オステオポロース> (M80-M81)	<b>E83.3 Disorders of phosphorus metabolism and phosphatases</b>  Acid phosphatase deficiency Familial hypophosphataemia Hypophosphatasia Vitamin-D-resistant: ・osteomalacia ・rickets  <i>Excludes:</i> adult osteomalacia (M83.-) osteoporosis (M80-M81)
104	E84.1 腸の症状発現を伴うのう<囊>胞性線維症<システィックファイブローシス>  胎便<メコニウム>イレウス+ (P75*)  除外: のう胞性線維症が存在しないことが明らかな場合の胎便<メコニウム>閉塞<イレウス> (P76.0)	E84.1 腸の症状発現を伴うのう<囊>胞線維症  遠位腸閉塞症候群 のう<囊>胞線維症における胎便<メコニウム>イレウス+ (P75*) 除外: のう<囊>胞線維症が存在しないことが明らかな場合の胎便<メコニウム>閉塞<イレウス> (P76.0)	<b>E84.1 Cystic fibrosis with intestinal manifestations</b> Distal intestinal obstruction syndrome Meconium ileus in cystic fibrosis+ (P75*) <i>Excludes:</i> meconium obstruction(ileus) in cases where cystic fibrosis is known not to be present (P76.0)
105	E84.8 その他の症状発現を伴うのう<囊>胞性線維症<システィックファイブローシス> 複合性症状発現を伴うのう<囊>胞性線維症	E84.8 その他の症状発現を伴うのう<囊>胞線維症	<b>E84.8 Cystic fibrosis with other manifestations</b> Cystic fibrosis with combined manifestations
106	E88 その他の代謝障害 薬物誘発性で薬物の分類が必要な場合は, 追加外因コード (XX章) を使用する。 除外: 組織球増殖症X<histiocytosis X> (慢性) (D76.0)  E88.0 血漿たんぱく<蛋白>代謝障害, 他に分類されないもの アルファ1アンチ<抗>トリプシン欠損症 ビスアルブミン血症 除外: ワルデンストレーム<Waldenström>マクログロブリン血症 (C88.0) 単クローン性異常免疫グロブリン血症<monoclonal gammopathy> (D47.2) 多クローン性高ガンマグロブリン血症 (D89.0) リポたんぱく<蛋白>代謝障害 (E78.-)	E88 その他の代謝障害 薬物誘発性で薬物の分類が必要な場合は, 追加外因コード (XX章) を使用する。 除外: ヒストサイトーシスX (慢性) (C96.6)  E88.0 血漿タンパク<蛋白>代謝障害, 他に分類されないもの アルファ1アンチ<抗>トリプシン欠損症 ビスアルブミン血症 除外: リポタンパク<蛋白>代謝障害 (E78.-) 意義不明の単クローン性異常免疫グロブリン血症<monoclonal gammopathy> (MGUS) (D47.2) 多クローン性高ガンマグロブリン血症 (D89.0) ワルデンストレーム<Waldenström>マクログロブリン血症 (C88.0)	<b>E88 Other metabolic disorders</b> Use additional external cause code (Chapter XX) if desired to identify drug, if drug induced. <i>Excludes:</i> Histiocytosis X (chronic) (D76.0 C96.6)  <b>E88.0 Disorders of plasma-protein metabolism, not elsewhere classified</b> Excludes: disorder of lipoprotein metabolism (E78.-) monoclonal gammopathy of undetermined significance (MGUS) D47.2 polyclonal hypergammaglobulinaemia (D89.0) Waldenström's macroglobulinaemia (C88.0)
107		E88.3 腫瘍溶解症候群	<b>E88.3 Tumour lysis syndrome</b> Tumour lysis (following antineoplastic drug therapy)(spontaneous)

No.	現行	提要案	WHO勧告 (原文)
		腫瘍溶解 (抗腫瘍薬療法に続発するもの) (自発性)	
108	F02.8* 他に分類されるその他の明示された疾患の認知症 認知症 (下記における) : ・神経梅毒 (A52.1†) ・トリパノソーマ症 (B56.-†, B57.-†) ・甲状腺機能低下症, 後天性 (E01.-†, E03.-†) ・ナイアシン欠乏症 [ペラグラ] (E52†) ・ビタミンB12欠乏症 (E53.8†) ・脳リポドーシス (E75.-†) ・肝レンズ核変性症 (E83.0†) ・高カルシウム血症 (E83.5†) ・多発性硬化症 (G35†) ・てんかん (G40.-†) ・結節性多発 (性) 動脈炎 (M30.0†) ・全身性エリテマトーデス <紅斑性狼瘡> <SLE> (M32.-†) ・中毒 (T36-T65†)	F02.8* 他に分類されるその他の明示された疾患の認知症 認知症 (下記における) : ・脳リポドーシス (E75.-†) ・てんかん (G40.-†) ・肝レンズ核変性症 (E83.0†) ・高カルシウム血症 (E83.5†) ・甲状腺機能低下症, 後天性 (E01.-†, E03.-†) ・中毒 (T36-T65†) ・多発性硬化症 (G35†) ・神経梅毒 (A52.1†) ・ナイアシン欠乏症 [ペラグラ] (E52†) ・結節性多発 (性) 動脈炎 (M30.0†) ・全身性エリテマトーデス <紅斑性狼瘡> <SLE> (M32.-†) ・トリパノソーマ症 (B56.-†, B57.-†) ・尿毒症 (N18.5†) ・ビタミンB12欠乏症 (E53.8†)	<b>F02.8* Dementia in other specified diseases classified elsewhere</b> Dementia (in): • cerebral lipidosis (E75.-†) • epilepsy (G40.-†) • hepatolenticular degeneration (E83.0†) • hypercalcaemia (E83.5†) • hypothyroidism, acquired (E01.-†, E03.-†) • intoxications (T36-T65†) • multiple sclerosis (G35†) • neurosyphilis (A52.1†) • niacin deficiency [pellagra] (E52†) • polyarteritis nodosa (M30.0†) • systemic lupus erythematosus (M32.-†) • trypanosomiasis (B56.-†, B57.-†) • <u>uraemia (N18.5†)</u> • vitamin B 12 deficiency (E53.8†)
109	F05.8 その他のせん妄 混合性病因によるせん妄	F05.8 その他のせん妄 混合性病因によるせん妄 術後せん妄	<b>F05.8 Other delirium</b> Delirium of mixed origin <u>Postoperative delirium</u>
110	F07.2 脳振とう <盪> 後症候群 ・・・ 頭部打撲後症候群 (脳障害) 脳外傷後症候群・非精神病性	F07.2 脳振とう <盪> 後症候群 ・・・ 脳挫傷後症候群 (脳症) 脳外傷後症候群・非精神病性 除外: 現在の振とう <盪> 症, 脳 (S06.0)	<b>F07.2 Postconcussional syndrome</b> ..... Postcontusional syndrome (encephalopathy) Post-traumatic brain syndrome, nonpsychotic <u>Excludes: current concussion, brain (S06.0)</u>
111	精神作用物質使用による精神および行動の障害 (F10-F19) ・・・ .6 健忘症候群 ・・・ コルサコフ <Korsakov> 精神病または症候群, アルコールもしくは他の精神作用物質によるもの, または詳細不明のもの	精神作用物質使用による精神および行動の障害 (F10-F19) ・・・ .6 健忘症候群 ・・・ コルサコフ <Korsakov> 精神病または症候群, アルコールもしくは他の精神作用物質によるもの, または詳細不明のもの  ウェルニッケ <Wernicke> 病または症候群に関連する分類が必要な場合は, 追加コード (E51.2† G32.8*) を使用する。	<b>Mental and behavioural disorders due to psychoactive substance abuse (F10-F19)</b> ... <b>.6 Amnesic syndrome</b> ... Korsakov's psychosis or syndrome, alcohol- or other psychoactive substance-induced or unspecified <u>Use additional code, (E51.2† G32.8*), if desired, when associated with Wernicke's disease or syndrome.</u>
112	精神作用物質使用による精神および行動の障害 (F10-F19) ・・・ .0 急性中毒 アルコール症者の急性酩酊	精神作用物質使用による精神および行動の障害 (F10-F19) ・・・ .0 急性中毒 (アルコール依存症における) 急性酩酊	<b>Mental and behavioural disorders due to psychoactive substance abuse (F10-F19)</b> ... The following fourth-character subdivisions are for use with categories F10-F19: <b>.0 Acute intoxication</b> Acute drunkenness (in alcoholism)
113	F80.1 表出性言語障害 特異的な発達障害で, 表出言語使用の能力は精神年齢に相応する水準より著しく低い, しかし言語理解は正常範囲である。構音の異常があることもないこともある。 発達性不全失語 (症) または失語 (症), 表出型	F80.1 表出性言語障害 特異的な発達障害で, 表出言語使用の能力は精神年齢に相応する水準より著しく低い, しかし言語理解は正常範囲である。構音の異常があることもないこともある。 発達性不全失語 (症) 又は失語 (症), 表出型	<b>F80.1 Expressive language disorder</b> A specific developmental disorder... Developmental dysphasia or aphasia, expressive type <b>Excludes:</b> acquired aphasia with epilepsy [Landau-Kleffner] (F80.3) <del>developmental dysphasia or aphasia, receptive type (F80.2)</del> <del>dysphasia and aphasia NOS (R47.0)</del> <del>dysphasia and aphasia:</del>

No.	現行	提案	WHO勧告 (原文)
	<p>除外：知的障害&lt;精神遅滞&gt; (F70—F79)  <b>発達性不全失語 (症) または失語 (症) , 受容型 (F80.2)</b>            てんかんを伴う後天性失語 (症) [ランドウ・クレフナー&lt;Landau-Kleffner&gt;症候群] (F80.3)            広汎性発達障害 (F84.-)            選択 (性) かん&lt;緘&gt;黙 (F94.0)  <b>不全失語 (症) および失語 (症) NOS (R47.0)</b></p>	<p>除外：てんかんを伴う後天性失語 (症) [ランドウ・クレフナー&lt;Landau-Kleffner&gt;症候群] (F80.3)  <b>不全失語 (症) 及び失語 (症) :</b>  <b>• NOS (R47.0)</b>  <b>• 発達性, 受容型 (F80.2)</b></p> <p>選択 (性) かん&lt;緘&gt;黙 (F94.0)            知的障害&lt;精神遅滞&gt; (F70—F79)            広汎性発達障害 (F84.-)</p>	<p>• <b>NOS (R47.0)</b>  <b>• developmental, receptive type (F80.2)</b>            elective mutism (F94.0)            mental retardation (F70—F79)            pervasive developmental disorders (F84.-)</p>
114	<p>F80.2 受容性言語障害            特異的な発達障害で・・・            先天性聴覚無知覚症            発達性：            ・不全失語 (症) または失語 (症) , 受容型            ・ウェルニッケ&lt;Wernicke&gt;の失語 (症)            語ろう&lt;聾&gt;            除外：知的障害&lt;精神遅滞&gt; (F70—F79)            不全失語 (症) または失語 (症) :            ・NOS (R47.0)            ・表出型 (F80.1)            てんかんを伴う後天性失語 (症) [ランドウ・クレフナー&lt;Landau-Kleffner&gt;症候群] (F80.3)            自閉症 (F84.0—F84.1)            選択 (性) かん&lt;緘&gt;黙 (F94.0)            ろう&lt;聾&gt;にもとづく言語の遅れ (H90—H91)</p>	<p>F80.2 受容性言語障害            特異的な発達障害で・・・            先天性聴覚無知覚症            発達性：            ・不全失語 (症) または失語 (症) , 受容型            ・ウェルニッケ&lt;Wernicke&gt;の失語 (症)            語ろう&lt;聾&gt;            除外：てんかんを伴う後天性失語 (症) [ランドウ・クレフナー&lt;Landau-Kleffner&gt;症候群] (F80.3)            自閉症 (F84.0—F84.1)            不全失語 (症) または失語 (症) :            ・NOS (R47.0)  <b>• 発達型, 表出型 (F80.1)</b>            選択 (性) かん&lt;緘&gt;黙 (F94.0)            ろう&lt;聾&gt;にもとづく言語の遅れ (H90—H91)            知的障害&lt;精神遅滞&gt; (F70—F79)  <b>広汎性発達障害 (F84.-)</b></p>	<p><b>F80.2 Receptive language disorder</b>            A specific developmental disorder.....            Congenital auditory imperception            Developmental:            • dysphasia or aphasia, receptive type            • Wenicke's aphasia            Word deafness  <b>Excludes:</b> acquired aphasia with epilepsy [Landau-Kleffner] (F80.3)            autism (F84.0—F84.1)            dysphasia and aphasia:            • NOS (R47.0)  <b>• developmental, expressive type (F80.1)</b>            elective mutism (F94.0)            language delay due to deafness (H90—H91)            mental retardation (F70—F79)            pervasive developmental disorders (F84.-)</p>
115	<p>G04.8 その他の脳炎、脊髄炎および脳脊髄炎            感染後脳炎および脳脊髄炎 NOS</p>	<p>G04.8 その他の脳炎、脊髄炎および脳脊髄炎            感染後脳炎および脳脊髄炎 NOS  <b>てんかん発作関連の分類が必要な場合は、追加コードを使用する (G40.-)。</b></p>	<p><b>G04.8 Other encephalitis, myelitis and Encephalomyelitis</b>            Postinfectious encephalitis and encephalomyelitis NOS  <u>Use additional code, if desired, to identify any associated epileptic seizures. (G40.-).</u></p>
116	<p>G05.1* 他に分類されるウイルス疾患における脳炎、脊髄炎および脳脊髄炎            ・インフルエンザ (J10.8+, J11.8+)</p>	<p>G05.1* 他に分類されるウイルス疾患における脳炎、脊髄炎及び脳脊髄炎            ・インフルエンザ (J09+, J10.8+, J11.8+)</p>	<p><b>G05.1* Encephalitis, myelitis and encephalomyelitis in viral diseases classified elsewhere</b>            • influenza (J09+, J10.8+, J11.8+)</p>
117	<p>G09 中枢神経系の炎症性疾患の続発・後遺症            注：本項目は、続発・後遺症自身は他に分類されるが、G00—G08 [星印 (*) の項目を除く] に一次分類される病態が続発・後遺症の原因であることを示すために使用される。「続発・後遺症」とは、前述の病態、後遺症と記載された病態または原病態に患後1年以上存在する病態を含んでいる。本項目の使用の際には、関連する疾病・死亡コーディングルールおよびガイドラインを参照すべきである。</p>	<p>G09 中枢神経系の炎症性疾患の続発・後遺症            注：項目 G09 は、続発・後遺症自身は他に分類されるが、G00—G08 [星印 (*) の項目を除く] に一次分類される病態が続発・後遺症の原因であることを示すために使用される。「続発・後遺症」とは、続発・後遺症と記載された病態又は原因病態が発生後1年以上存在している病態を含む。本項目の使用の際には、関連する疾病・死亡コーディングルール及びガイドラインを参照すべきである。  <b>中枢神経系の慢性炎症性疾患には使用しない。現在の中枢神経系の炎症性疾患にコードする。</b></p>	<p><b>G09 Sequelae of inflammatory diseases of central nervous system</b>  <b>Note:</b> This category <b>G09</b> is to be used to indicate conditions whose primary classification is to <b>G00-G08</b> (i.e. excluding those marked with an asterisk (*)) as the cause of sequelae, themselves classifiable elsewhere. The “sequelae” include conditions specified as such or as late effects, or those present one year or more after onset of the causal condition. For use of this category reference should be made to the relevant morbidity and mortality coding rules and guidelines in Volume 2.  <u>Not to be used for chronic inflammatory disease of the central nervous system. Code these to current inflammatory disease of the central nervous system.</u></p>

No.	現行	提要案	WHO勧告 (原文)
118	主に中枢神経系を障害する系統萎縮症 (G10—G13)	主に中枢神経系を障害する系統萎縮症 (G10—G14) G14 ポリオ後症候群 灰白髄炎後症候群 除外：灰白髄炎<ポリオ>の続発・後遺症 (B91)	<b>Systemic atrophies primarily affecting the central nervous system (G10-G13G14)</b>  <b>G14 Postpolio syndrome</b> Postpolio myelitic syndrome <i>Excludes:</i> sequelae of poliomyelitis (B91)
119	G21 続発性パーキンソン<Parkinson>症候群	G21 続発性パーキンソン<Parkinson>症候群  G21.4 血管性パーキンソン<Parkinson>症候群	<b>G21 Secondary Parkinsonism</b>  <b>G21.4 Vascular parkinsonism</b>
120	G23.1 進行性核上性 (眼筋) 麻痺 [スチール・リチャードソン・オルツェウスキー<Steele-Richardson- Olszewski>病]	G23.1 進行性核上性眼筋麻痺 [スティール・リチャードソン・オルゼウスキー<Steele-Richardson- Olszewski>病] 進行性核上性麻痺	<b>G23.1 Progressive supranuclear ophthalmoplegia [Steele-Richardson-Olszewski]</b>  Progressive supranuclear palsy  ※訳語の修正による4桁コードタイトルの修正 (スチール→スティール等) あり
121	G25 その他の錐体外路障害および異常運動 G25.8 その他の明示された錐体外路障害および異常運動 不安脚<restless leg>症候群 スティフ・マン<stiff-man>症候群	G25 その他の錐体外路障害および異常運動 G25.8 その他の明示された錐体外路障害および異常運動 静坐不能<座位不能> <アカシジア> (薬物誘発) (治療誘発) 下肢むずむず<restless leg>症候群 全身強直<stiff-man>症候群 薬物誘発性で、薬物の分類が必要な場合は、追加外因コード (XX章) を使用する。	<b>G25 Other extrapyramidal and movement disorders</b> <b>G25.8 Other specified extrapyramidal and movement disorders</b> Akathisia (drug-induced) (treatment-induced) Restless legs syndrome Stiff-man syndrome  Use additional external cause code (Chapter XX), if desired, to identify drug, if drug-induced
122	G31.0 限局性脳萎縮 (症) ピック<Pick>病 進行性単独失語 (症)	G31.0 限局性脳萎縮 (症) 前頭側頭型認知症 (FTD) ピック<Pick>病 進行性失語 (症)	<b>G31.0 Circumscribed brain atrophy</b> Frontotemporal dementia (FTD) Pick's disease Progressive isolated aphasia
123	G31.8 神経系のその他の明示された変性疾患 灰白質変性 [アルパース<Alpers>病] 亜急性えく壊>死性脳症 [リー<Leigh>病]	G31.8 神経系のその他の明示された変性疾患 灰白質変性 [アルパース<Alpers>病] レヴィ小体 (型認知症) (病) 亜急性えく壊>死性脳症 [リー<Leigh>病]	<b>G31.8 Other specified degenerative diseases of nervous system</b> Grey-matter degeneration [Alpers] Lewy body(ies)(dementia)(disease) Subacute necrotizing encephalopathy [Leigh]
124	G61.0 ギラン・バレー<Guillain-Barré>症候群 急性感染 (後) 性多発神経炎	G61.0 ギラン・バレー<Guillain-Barré>症候群 急性感染 (後) 性多発神経炎 ミラー・フィッシャー<Miller Fisher>症候群	<b>G61.0 Guillain-Barré syndrome</b> Acute (post-) infective polyneuritis Miller Fisher Syndrome
125	G73.1* イートン・ランバート<Eaton-Lambert>症候群 (C80+)	G73.1* ランバート・イートン<Lambert-Eaton>症候群 (C00-D48+)	<b>G73.1* <del>Eaton-Lambert-Eaton</del> syndrome (C00-D48+)</b>
126	G99.8* 他に分類される疾患における神経系のその他の明示された障害	G99.8* 他に分類される疾患における神経系のその他の明示された障害 尿毒症性麻痺 (N18.5+)	<b>G99.8* Other specified disorders of nervous system in diseases classified elsewhere</b> Uraemic paralysis (N18.5+)

No.	現行	提 要 案	WHO 勧告 (原文)
127	H32.8* 他に分類される疾患におけるその他の網脈絡膜の障害	H32.8* 他に分類される疾患におけるその他の網脈絡膜の障害 タンパク<蛋白>尿性網膜炎 (N18.5†) 腎性網膜炎 (N18.5†)	<b>H32.8*Other chorioretinal disorders in diseases classified elsewhere</b> <u>Albuminurica retinitis (N18.5†)</u> <u>Renal retinitis (N18.5†)</u>
128	<p>H54 盲&lt;失明&gt;および低視力 注：視力障害の定義については 353 ページの表を参照 除外：一過性黒内障 (G45.3)</p> <p>H54.0 盲&lt;失明&gt;, 両眼 両眼の項目 3, 4, 5 の視力障害</p> <p>H54.1 盲&lt;失明&gt;, 片眼, 他眼の低視力 片眼の項目 3, 4, 5 の視力障害, 他眼の項目 1 または 2 の視力障害を伴うもの</p> <p>H54.2 両眼の低視力 両眼の項目 1 または 2 の視力障害</p> <p>H54.3 詳細不明の視力障害, 両眼 両眼の項目 9 の視力障害</p> <p>H54.4 盲&lt;失明&gt;, 片眼 片眼の項目 3, 4, 5 の視力障害 [他眼視力正常]</p> <p>H54.5 低視力, 片眼 片眼の項目 1 または 2 の視力障害 [他眼視力正常]</p> <p>H54.6 詳細不明の視力障害, 片眼 片眼の項目 9 の視力障害 [他眼視力正常]</p> <p>H54.7 詳細不明の視力障害 項目 9 の視力障害 NOS</p> <p>注：下記の表は 1972 年 11 月 6 日～10 日, ジュネーブにおいて開催された失明予防に関する WHO 研究グループ&lt;WHO Study Group on the Prevention of Blindness&gt; によって勧告された視力障害の重症度の分類である (注 1)。</p> <p>項目 H54 に使用されている「低視力」とは下記の表の項目 1 および 2 をいい、同様に「盲&lt;失明&gt;」とは項目 3, 4 および 5 をいい、また「詳細不明の視力障害」とは、項目 9 の各用語をいうものである。</p> <p>視野の範囲を考慮する場合, たとえ中心視力が障害されていなくても, 注視点より 5° 以上 10° 未満の視野の患者は項目 3 に, 同じく注視点より 5°</p>	<p>H54 両眼性及び単眼性視覚障害 (盲を含む) 注：視覚障害の定義については 353 ページの表を参照 除外：一過性黒内障 (G45.3)</p> <p>H54.0 両眼性盲 項目 3, 4, 5 の視覚障害</p> <p>H54.1 両眼性重度視覚障害 項目 2 の視覚障害</p> <p>H54.2 両眼性中度視覚障害 項目 1 の視覚障害</p> <p>H54.3 両眼性軽度視覚障害又は視覚障害なし 項目 0 の視覚障害</p> <p>H54.4 単眼性盲 単眼の項目 3, 4, 5 の視覚障害及び他眼の項目 0, 1, 2, 9 の視覚障害</p> <p>H54.5 単眼性重度視覚障害 単眼の項目 2 及び他眼の項目 0, 1, 9 の視覚障害</p> <p>H54.6 単眼性中度視覚障害 片眼の項目 1 及び他眼の項目 0, 9 の視覚障害</p> <p>H54.9 両眼性視覚障害 (詳細不明) 項目 9 の視覚障害</p> <p>注：下記の表は 2002 年国際眼科理事會決議&lt;the Resolution of the International Council of Ophthalmology&gt; 及び 2003 年 9 月“視覚の喪失及び視機能評価基準の開発”についての WHO 会議における勧告&lt;the Recommendations of the WHO Consultation on “Development of Standards for Characterization of Vision Loss and Visual Functioning”&gt; によって勧告された視覚障害の重症度の分類である。</p> <p>コード H54.0 から H54.3 の視覚障害の評価については, 両眼を解放して矯正視力を測定する。 コード H54.4 から H54.6 の視覚障害の評価については, 片眼ごとの矯正視力を測定する。</p> <p>視野を考慮する場合, 良い方の眼が中心 10 度未満の患者は項目 3 に分類する。単眼性盲 (H54.4) では, その眼には中心 10 度未満の視野障害があると</p>	<p><b>H54. Blindness and low vision</b> <b>Visual impairment including blindness (binocular or monocular)</b> <i>Note:</i> For definition of visual impairment categories see table below. <i>Excludes:</i> amaurosis fugax (G45.3)</p> <p><b>H54.0 Blindness, both eyes</b> <b>binocular</b> Visual impairment categories 3, 4, 5 in both eyes</p> <p><b>H54.1 Blindness, one eye, low vision other eye</b> <b>Severe visual impairment, binocular</b> Visual impairment categories 3, 4, 5 in one eye, with categories 1 or 2 in the other eye Visual impairment category 2</p> <p><b>H54.2 Low vision, both eyes</b> <b>Moderate visual impairment, binocular</b> Visual impairment categories 1 or 2 category 1 in both eyes</p> <p><b>H54.3 Unqualified visual loss, both eyes</b> <b>Mild or no visual impairment, binocular</b> Visual impairment category 9 in both eyes category 0</p> <p><b>H54.4 Blindness, one eye</b> <b>monocular</b> Visual impairment categories 3, 4, 5 in one eye {normal vision in other eye} and categories 0, 1, 2 or 9 in the other eye.</p> <p><b>H54.5 Low vision, one eye</b> <b>Severe visual impairment, monocular</b> Visual impairment categories 1 or 2 in one eye {normal vision in other eye} category 2 in one eye and categories 0, 1 or 9 in other eye</p> <p><b>H54.6 Unqualified visual loss, one eye</b> <b>Moderate visual impairment, monocular</b> Visual impairment category 9 in one eye {normal vision in other eye} category 1 in one eye and categories 0 or 9 in other eye</p> <p><b>H54.7 Unspecified visual loss</b> Visual impairment category 9 NOS</p> <p><b>H54.9 Unspecified visual impairment (binocular)</b> Visual impairment category 9 <i>Note:</i> The table below gives a classification of severity of visual impairment recommended by a WHO study group on the Prevention of Blindness, Geneva, 6-10 November 1972, the Resolution of the International Council of Ophthalmology (2002) and the Recommendations of the WHO Consultation on “Development of Standards for Characterization of Vision Loss and Visual Functioning” (Sept 2003)</p> <p>The term “low vision” in category H54 comprises categories 1 and 2 of the table, the term “blindness” categories 3, 4 and 5, and the term “unqualified visual loss” category 9. For characterizing visual impairment for codes H54.0 to H54.3, visual acuity should be measured with both eyes open with presenting correction if any. For characterizing visual impairment for codes H54.4 to H54.6, visual acuity should be measured monocularly with presenting correction if any.</p> <p>If the extent of the visual field is taken into account, patients with a visual field <math>\geq</math> greater than 10° but greater than 5° around central fixation should be placed in category 3 and patients with a field no greater than 5° around central fixation should be placed in category 4, even if the central acuity is not impaired. of the better eye no greater</p>

No.	現行	提 要 案	WHO 勧告 (原文)																																																																																																																								
	<p>未満の患者は項目 4 に分類する。</p> <p>(注 1) WHO Technical Report Series, No.518,1973.</p> <table border="1" data-bbox="181 457 1003 1411"> <thead> <tr> <th rowspan="2">視力障害の 分類項目</th> <th colspan="2">最良矯正視力</th> </tr> <tr> <th>最高は下記未満</th> <th>最低は下記と同等または以上</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>6/18 3/10 (0.3) 20/70</td> <td>6/60 1/10 (0.1) 20/200</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>6/60 1/10 (0.1) 20/200</td> <td>3/60 1/20 (0.05) 20/400</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>3/60 1/20 (0.05) 20/400</td> <td>1/60(1メートルで指数弁) 1/50 (0.02) 5/300 (20/1200)</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>1/60(1メートルで指数弁) 1/50 (0.02) 5/300</td> <td>光覚弁</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>光覚なし</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>未決定又は詳細不明</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	視力障害の 分類項目	最良矯正視力		最高は下記未満	最低は下記と同等または以上	1	6/18 3/10 (0.3) 20/70	6/60 1/10 (0.1) 20/200	2	6/60 1/10 (0.1) 20/200	3/60 1/20 (0.05) 20/400	3	3/60 1/20 (0.05) 20/400	1/60(1メートルで指数弁) 1/50 (0.02) 5/300 (20/1200)	4	1/60(1メートルで指数弁) 1/50 (0.02) 5/300	光覚弁	5	光覚なし		9	未決定又は詳細不明		<p>みなす。</p> <p>注：H54 の分類表における「視覚障害」は、視覚障害なしが軽度の項目 0、中等度の 1、重度の 2、盲の 3, 4, 5、不特定の 9 で構成される。前の改訂版にあった「低視力&lt;low vision&gt;」は、必要な低視力&lt;low vision&gt;ケアとの混乱を避けるために 1 及び 2 とする。</p> <table border="1" data-bbox="1080 457 1902 1453"> <thead> <tr> <th rowspan="2">分類項目</th> <th colspan="2">遠見視力で表示</th> </tr> <tr> <th>下記未満</th> <th>下記と同等又は以上</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0 視覚障害なし又は軽度の視覚障害</td> <td></td> <td>6/18 3/10 (0.3) 20/70</td> </tr> <tr> <td>1 中度の視覚障害</td> <td>6/18 3/10 (0.3) 20/70</td> <td>6/60 1/10 (0.1) 20/200</td> </tr> <tr> <td>2 重度の視覚障害</td> <td>6/60 1/10 (0.1) 20/200</td> <td>3/60 1/20 (0.05) 20/400</td> </tr> <tr> <td>3 盲</td> <td>3/60 1/20 (0.05) 20/400</td> <td>1/60* 1/50 (0.02) 5/300 (20/1200)</td> </tr> <tr> <td>4 盲</td> <td>1/60* 1/50 (0.02) 5/300 (20/1200)</td> <td>光覚弁</td> </tr> <tr> <td>5 盲</td> <td>光覚なし</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>未決定又は詳細不明</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>* あるいは 1 メートルで指数弁 (CF)</p>	分類項目	遠見視力で表示		下記未満	下記と同等又は以上	0 視覚障害なし又は軽度の視覚障害		6/18 3/10 (0.3) 20/70	1 中度の視覚障害	6/18 3/10 (0.3) 20/70	6/60 1/10 (0.1) 20/200	2 重度の視覚障害	6/60 1/10 (0.1) 20/200	3/60 1/20 (0.05) 20/400	3 盲	3/60 1/20 (0.05) 20/400	1/60* 1/50 (0.02) 5/300 (20/1200)	4 盲	1/60* 1/50 (0.02) 5/300 (20/1200)	光覚弁	5 盲	光覚なし		9	未決定又は詳細不明		<p>than 10° in radius around central fixation should be placed under category 3. For monocular blindness (H54.4), this degree of field loss would apply to the affected eye.</p> <p>Table 1 Proposed revision of categories of visual impairment</p> <table border="1" data-bbox="1970 289 2834 865"> <thead> <tr> <th rowspan="2">Category</th> <th colspan="2">Presenting distance visual acuity</th> </tr> <tr> <th>Worse than:</th> <th>Equal to or better than:</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Mild or no visual impairment</td> <td></td> <td>6/18</td> </tr> <tr> <td>0</td> <td></td> <td>3/10 (0.3)</td> </tr> <tr> <td>Moderate visual impairment</td> <td>6/18</td> <td>20/70</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>3/10 (0.3)</td> <td>6/60</td> </tr> <tr> <td>Severe visual impairment</td> <td>20/70</td> <td>1/10 (0.1)</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>6/60</td> <td>1/20 (0.05)</td> </tr> <tr> <td>Blindness</td> <td>1/10 (0.1)</td> <td>20/400</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>20/200</td> <td>1/60*</td> </tr> <tr> <td>Blindness</td> <td>3/60</td> <td>1/50 (0.02)</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>1/20 (0.05)</td> <td>5/300 (20/1200)</td> </tr> <tr> <td>Blindness</td> <td>20/400</td> <td>Light perception</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>1/60*</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>No light perception</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>Undetermined or unspecified</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>* Or counts fingers (CF) at 1 metre.</p> <p><b>Note:</b> The term visual impairment in category H54 comprises category 0 for mild or no visual impairment, category 1 for moderate visual impairment, category 2 for severe visual impairment, categories 3, 4 and 5 for blindness and category 9 for unqualified visual impairment. The term "low vision" included in the previous revision has been replaced by categories 1 and 2 to avoid confusion with those requiring low vision care.</p> <table border="1" data-bbox="2030 1117 2775 1747"> <thead> <tr> <th>Category of visual impairment</th> <th colspan="2">Visual acuity with best possible correction</th> </tr> <tr> <td></td> <th colspan="2">Maximum less than: Minimum equal to or better than:</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>6/18 3/10 (0.3) 20/70</td> <td>6/60 1/10 (0.1) 20/200</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>6/60 1/10 (0.1) 20/200</td> <td>3/60 1/20 (0.05) 20/400</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>3/60 1/20 (0.05) 20/400</td> <td>1/60 (finger counting at 1 metre) 1/50 (0.02) 5/300 (20/1200)</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>1/60 (finger counting at 1 metre) 1/50 (0.02) 5/300</td> <td>Light perception</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td colspan="2">No light perception</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td colspan="2">Undetermined or unspecified</td> </tr> </tbody> </table>	Category	Presenting distance visual acuity		Worse than:	Equal to or better than:	Mild or no visual impairment		6/18	0		3/10 (0.3)	Moderate visual impairment	6/18	20/70	1	3/10 (0.3)	6/60	Severe visual impairment	20/70	1/10 (0.1)	2	6/60	1/20 (0.05)	Blindness	1/10 (0.1)	20/400	3	20/200	1/60*	Blindness	3/60	1/50 (0.02)	4	1/20 (0.05)	5/300 (20/1200)	Blindness	20/400	Light perception	5	1/60*		9	No light perception			Undetermined or unspecified		Category of visual impairment	Visual acuity with best possible correction			Maximum less than: Minimum equal to or better than:		1	6/18 3/10 (0.3) 20/70	6/60 1/10 (0.1) 20/200	2	6/60 1/10 (0.1) 20/200	3/60 1/20 (0.05) 20/400	3	3/60 1/20 (0.05) 20/400	1/60 (finger counting at 1 metre) 1/50 (0.02) 5/300 (20/1200)	4	1/60 (finger counting at 1 metre) 1/50 (0.02) 5/300	Light perception	5	No light perception		9	Undetermined or unspecified	
視力障害の 分類項目	最良矯正視力																																																																																																																										
	最高は下記未満	最低は下記と同等または以上																																																																																																																									
1	6/18 3/10 (0.3) 20/70	6/60 1/10 (0.1) 20/200																																																																																																																									
2	6/60 1/10 (0.1) 20/200	3/60 1/20 (0.05) 20/400																																																																																																																									
3	3/60 1/20 (0.05) 20/400	1/60(1メートルで指数弁) 1/50 (0.02) 5/300 (20/1200)																																																																																																																									
4	1/60(1メートルで指数弁) 1/50 (0.02) 5/300	光覚弁																																																																																																																									
5	光覚なし																																																																																																																										
9	未決定又は詳細不明																																																																																																																										
分類項目	遠見視力で表示																																																																																																																										
	下記未満	下記と同等又は以上																																																																																																																									
0 視覚障害なし又は軽度の視覚障害		6/18 3/10 (0.3) 20/70																																																																																																																									
1 中度の視覚障害	6/18 3/10 (0.3) 20/70	6/60 1/10 (0.1) 20/200																																																																																																																									
2 重度の視覚障害	6/60 1/10 (0.1) 20/200	3/60 1/20 (0.05) 20/400																																																																																																																									
3 盲	3/60 1/20 (0.05) 20/400	1/60* 1/50 (0.02) 5/300 (20/1200)																																																																																																																									
4 盲	1/60* 1/50 (0.02) 5/300 (20/1200)	光覚弁																																																																																																																									
5 盲	光覚なし																																																																																																																										
9	未決定又は詳細不明																																																																																																																										
Category	Presenting distance visual acuity																																																																																																																										
	Worse than:	Equal to or better than:																																																																																																																									
Mild or no visual impairment		6/18																																																																																																																									
0		3/10 (0.3)																																																																																																																									
Moderate visual impairment	6/18	20/70																																																																																																																									
1	3/10 (0.3)	6/60																																																																																																																									
Severe visual impairment	20/70	1/10 (0.1)																																																																																																																									
2	6/60	1/20 (0.05)																																																																																																																									
Blindness	1/10 (0.1)	20/400																																																																																																																									
3	20/200	1/60*																																																																																																																									
Blindness	3/60	1/50 (0.02)																																																																																																																									
4	1/20 (0.05)	5/300 (20/1200)																																																																																																																									
Blindness	20/400	Light perception																																																																																																																									
5	1/60*																																																																																																																										
9	No light perception																																																																																																																										
	Undetermined or unspecified																																																																																																																										
Category of visual impairment	Visual acuity with best possible correction																																																																																																																										
	Maximum less than: Minimum equal to or better than:																																																																																																																										
1	6/18 3/10 (0.3) 20/70	6/60 1/10 (0.1) 20/200																																																																																																																									
2	6/60 1/10 (0.1) 20/200	3/60 1/20 (0.05) 20/400																																																																																																																									
3	3/60 1/20 (0.05) 20/400	1/60 (finger counting at 1 metre) 1/50 (0.02) 5/300 (20/1200)																																																																																																																									
4	1/60 (finger counting at 1 metre) 1/50 (0.02) 5/300	Light perception																																																																																																																									
5	No light perception																																																																																																																										
9	Undetermined or unspecified																																																																																																																										
129	H59.0 白内障手術に続発する硝子体症候群	H59.0 白内障手術に続発する角膜症（無水晶体性水疱性角膜症） 硝子体（接触）症候群 硝子体角膜症候群	H59.0 <del>Vitreous syndrome</del> Keratopathy (bullous aphakic) following cataract surgery Vitreous (Touch) Syndrome Vitreous Corneal Syndrome																																																																																																																								

No.	現行	提案	WHO勧告 (原文)
130	H59.8 眼および付属器のその他の処置後障害 網膜剥離手術後の網脈絡膜癒痕	H59.8 眼及び付属器のその他の処置後障害 網膜剥離手術後の網脈絡膜癒痕 濾過胞関連眼内炎 処置後濾過胞炎 (感染症) 処置後ろく濾過胞炎	<b>H59.8 Other postprocedural disorders of eye and adnexa</b> <u>Bleb associated endophthalmitis</u> <u>Inflammation (infection) of postprocedural bleb</u> <u>Postprocedural blebitis</u>
131	H67.1* 他に分類されるウイルス疾患における中耳炎 下記における中耳炎: ・麻疹 (B05.3+) ・インフルエンザ (J10—J11+)	H67.1* 他に分類されるウイルス疾患における中耳炎 下記における中耳炎: ・インフルエンザ (J09—J11+) ・麻疹 (B05.3+)	<b>H67.1* Otitis media in viral diseases classified elsewhere</b> Otitis media in: ・ influenza (J09—J11+)
132	I12 高血圧性腎疾患 包含: 腎の動脈硬化 (症) 腎硬化症 動脈硬化性腎炎 (慢性) (間質性) 高血圧性腎症 <ネフロパシー> I10 の病態を伴う N18.—, N19.—または N26.—の各病態  除外: 二次性 <続発性> 高血圧 (症) (I15.—)	I12 高血圧性腎疾患 包含: I10 の病態を伴う N00—N07, N18.—, N19.—または N26.—の各病態 腎の動脈硬化 (症) 動脈硬化性腎炎 (慢性) (間質性) 高血圧性腎症 <ネフロパシー> 腎硬化症 除外: 二次性 <続発性> 高血圧 (症) (I15.—)	<b>I12 Hypertensive renal disease</b> <i>Includes:</i> any condition in N00—N07, N18.—, N19.— or N26.— with any condition in I10 arteriosclerosis of kidney arteriosclerotic nephritis (chronic)(interstitial) hypertensive nephropathy nephrosclerosis <i>Excludes:</i> secondary hypertension (I15.—)
133	I12 高血圧性腎疾患 包含: 腎の動脈硬化 (症) 腎硬化症 動脈硬化性腎炎 (慢性) (間質性) 高血圧性腎症 <ネフロパシー> I10 の病態を伴う N18.—, N19.—または N26.—の各病態 除外: 二次性 <続発性> 高血圧 (症) (I15.—) I12.0 腎不全を伴う高血圧性腎疾患 高血圧性腎不全 I12.9 腎不全を伴わない高血圧性腎疾患 高血圧性腎疾患 NOS	I12 高血圧性腎疾患 包含: 高血圧による N00—N07, N18.—, N19.—又は N26.—の各病態 腎の動脈硬化 (症) 動脈硬化性腎炎 (慢性) (間質性) 高血圧性腎症 <ネフロパシー> 腎硬化症 除外: 二次性 <続発性> 高血圧 (症) (I15.—) I12.0 腎不全を伴う高血圧性腎疾患 高血圧性腎不全 I12.9 腎不全を伴わない高血圧性腎疾患 高血圧性腎疾患 NOS	<b>I12 Hypertensive renal disease</b> <i>Includes:</i> any condition in N00—N07, N18.—, N19.— or N26.— with any condition in I10 <u>due to hypertension</u> arteriosclerosis of kidney arteriosclerotic nephritis (chronic)(interstitial) hypertensive nephropathy nephrosclerosis <i>Excludes:</i> secondary hypertension (I15.—) <b>I12.0 Hypertensive renal disease with renal failure</b> Hypertensive renal failure <b>I12.9 Hypertensive renal disease without renal failure</b> Hypertensive renal disease NOS
134	虚血性心疾患 (I20—I25)  注: 疾病分類の場合, I21—I25 で使用される期間は, 虚血発作の発症から治療のための入院までに経過した期間とする。死因分類の場合, 罹病期間は発症から死亡までに経過した期間とする。  包含: 高血圧 (症) (I10—I15) の記載があるもの  高血圧 (症) の存在を明示することが必要な場合は, 追加コードを使用する。  I22 再発性心筋梗塞 包含: 反復性心筋梗塞	虚血性心疾患 (I20—I25)  注: 疾病分類の場合, I21, I22, I24, I25 で使用される期間は, 虚血発作の発症から治療のための入院までに経過した期間とする。死因分類の場合, 罹病期間は発症から死亡までに経過した期間とする。  包含: 高血圧 (症) (I10—I15) の記載があるもの  高血圧 (症) の存在を明示することが必要な場合は, 追加コードを使用する。  I22 再発性心筋梗塞 包含: 心筋梗塞 拡張 反復性 再梗塞 注: 疾病コーディングについては, 以前の梗塞が発症から 4 週間 (28 日) 以	<b>Ischaemic heart diseases (I20—I25)</b>  <i>Note:</i> For morbidity, duration as used in categories <del>I21—I25</del> , I21, I22, I24 and I25 refers to the interval elapsing between onset of the ischaemic episode and admission to care. For mortality, duration refers to the interval elapsing between onset and death. <i>Includes:</i> with mention of hypertension (I10—I15)  <i>Use additional code, if desired, to identify presence of hypertension.</i>  <b>I22 Subsequent myocardial infarction</b> <i>Includes:</i> <del>recurrent</del> myocardial infarction: extension recurrent reinfarction <i>Note:</i> For morbidity coding, this category should be assigned for infarction of any myocardial site, occurring within 4 weeks (28 days) from onset of a previous infarction <i>Excludes:</i> specified as chronic or with a stated duration of more than 4 weeks (more than 28 days) from onset (I25.8)

No.	現行	提提案	WHO 勧告 (原文)
	除外：慢性と明示されたもの、または期間が発症から 4 週 (28 日) を超えると記載されたもの (I25.8)	内に発生した心筋部位の梗塞を本項目に割り当てる。 除外：慢性と明示されたもの、又は期間が発症から 4 週 (28 日) を超えると記載されたもの (I25.8)	
135	I20.8 その他の型の狭心症 労作 (時) (性) 狭心症	I20.8 その他の型の狭心症 労作 (時) (性) 狭心症 冠(状)動脈遅延流症候群 狭心症	<b>I20.8 Other forms of angina pectoris</b> Angina of effort <u>Coronary slow flow syndrome</u> <b>Stenocardia</b>
136	I27.8 その他の明示された肺性心疾患	I27.8 その他の明示された肺性心疾患 除外：アイゼンメンゲル<Eisenmenger> 症候群 (Q21.8)	<b>I27.8 Other specified pulmonary heart disease</b>  <i>Excludes:</i> Eisenmenger's defect (Q21.8)  ※第 3 回部会資料から修正 (defect のため、症候群→欠損と仮訳)
137	I41.1* 他に分類されるウイルス疾患における心筋炎 ムンプス心筋炎 (B26.8+) インフルエンザ心筋炎 (急性) : ・ウイルスが分離されたもの (J10.8+) ・ウイルスが分離されないもの (J11.8+)	I41.1* 他に分類されるウイルス疾患における心筋炎 インフルエンザ心筋炎 (急性) (J09+, J10.8+, J11.8+) ムンプス心筋炎 (B26.8+)	<b>I41.1* Myocarditis in viral diseases classified elsewhere</b> Influenzal myocarditis (acute) (J09+, J10.8+, J11.8+) •avian influenza virus identified (J09+) •other virus identified (J10.8+) •virus not identified (J11.8+) Mumps myocarditis (B26.8+)
138	I45.8 その他の明示された伝導障害 干渉解離 房室 [AV] 解離	I45.8 その他の明示された伝導障害 干渉解離 房室 [AV] 解離 QT 延長症候群 除外：QT 間隔の延長 (R94.3)	<b>I45.8 Other specified conduction disorders</b> Atrioventricular [AV] dissociation Interference dissociation <u>long QT syndrome</u> <i>Excludes:</i> prolongation of QT interval (R94.3)
139	I47.1 上室(性)頻拍(症) 発作性頻拍(症) ・心房性 ・房室性 [AV]:  ・接合部 ・結節性	I47.1 上室(性)頻拍(症) 頻拍(症)(発作性): ・心房性 ・房室性 [AV]: ・ NOS ・リエントリ性 (結節性)[AVNRT][AVRT] ・接合部 ・結節性	<b>I47.1 Supraventricular tachycardia</b> <u>Paroxysmal †Tachycardia (paroxysmal):</u> •atrial •atrioventricular [AV]: • NOS • re-entrant (nodal) [AVNRT] [AVRT] • junctional • nodal
140	I48 心房細動および粗動	I48 心房細動及び粗動 I48.0 発作性心房細動 I48.1 持続性心房細動 I48.2 慢性心房細動 I48.3 定型心房粗動 I型心房粗動 I48.4 非定型心房粗動 II型心房粗動 I48.9 心房細動及び心房粗動, 詳細不明	<b>I48 Atrial fibrillation and flutter</b> <b>I48.0 Paroxysmal atrial fibrillation</b> <b>I48.1 Persistent atrial fibrillation</b> <b>I48.2 Chronic atrial fibrillation</b> <b>I48.3 Typical atrial flutter</b> <u>Type I atrial flutter</u> <b>I48.4 Atypical atrial flutter</b> <u>Type II atrial flutter</u> <b>I48.9 Atrial fibrillation and atrial flutter, unspecified</b>
141	I50.1 左室不全 急性肺水腫, 心疾患 NOS または心不全の記載があるもの 心臓喘息 左心不全	I50.1 左室不全 心臓喘息 左心不全 肺水腫, 心疾患 NOS または心不全の記載があるもの	<b>I50.1 Left ventricular failure</b> Cardiac asthma Left heart failure -Acute Oedema of lung   with mention of heart disease NOS Acute Pulmonary oedema   or heart failure



No.	現行	提要案	WHO勧告 (原文)
142	I67.1 脳動脈瘤, 非<未>破裂性 脳: ・動脈瘤 NOS ・動静脈瘻, 後天性 除外: 脳動脈瘤出血 (I60.9) 先天性脳動脈瘤, 非<未>出血性 (Q28.-)	I67.1 脳動脈瘤, 非<未>破裂性 脳: ・動脈瘤 NOS ・動静脈瘻, 後天性 除外: 先天性脳動脈瘤, 非<未>破裂 (Q28.-) 脳動脈瘤破裂 (I60.-)	<b>I67.1 Cerebral aneurysm, nonruptured</b> <b>Excludes:</b> congenital cerebral aneurysm, nonruptured (Q28.-) ruptured cerebral aneurysm (I60.9-I60.-)
143	I68.8* 他に分類される疾患におけるその他の脳血管障害	I68.8* 他に分類される疾患におけるその他の脳血管障害 慢性腎臓病における尿毒症性卒中 (N18.5†)	<b>I68.8* Other cerebrovascular disorders in diseases classified elsewhere</b> Uraemic apoplexia in chronic kidney disease (N18.5†)
144	I69 脳血管疾患の続発・後遺症 注: 本項目は, それ自身は他に分類されるが, 続発・後遺症の原因が I60-I67 の病態であることを示すために使用する。続発・後遺症とは, 前述の病態, 後遺症と記載された病態または原因病態の発生後 1 年以上存在する病態を含んでいる。	I69 脳血管疾患の続発・後遺症 注: 項目 I69 は, それ自身は他に分類されるが, 続発・後遺症の原因が I60-I67.1 及び I67.4-I67.9 の病態であることを示すために使用する。「続発・後遺症」とは, 続発・後遺症と記載された病態又は原因病態が発生後 1 年以上存在している病態を含む。 慢性脳血管疾患については使用しない。これらを I60-I67 にコードする。	<b>I69 Sequelae of cerebrovascular disease</b> <b>Note:</b> This category <b>I69</b> is to be used to indicate conditions in <b>I60-I67</b> as the cause of sequelae, themselves classified elsewhere. The “sequelae” include conditions specified as such or as late effects, or those present one year or more after onset of the causal condition. <u>Not to be used for chronic cerebrovascular disease. Code these to I60-I67.</u>
145	I70 アテローム<じゅく<粥>状>硬化 (症) 包含: 細動脈硬化 (症) 動脈硬化 (症) 動脈硬化性血管疾患 アテローム 変形性又は閉塞性動脈内膜炎 変性: ・動脈 ・動脈血管 ・血管 老人性: ・動脈炎 ・動脈内膜炎 除外: 冠動脈 (I25.1) 脳動脈 (I67.2) 肺動脈 (I27.0) 腸間膜動脈 (K55.1)	I70 アテローム<じゅく<粥>状>硬化 (症) 包含: 細動脈硬化 (症) 動脈硬化 (症) 動脈硬化性血管疾患 アテローム 変性又は閉塞性動脈内膜炎 変性: ・動脈 ・動脈血管 ・血管 老人性: ・動脈炎 ・動脈内膜炎 除外: 脳動脈 (I67.2) 冠動脈 (I25.1) 腸間膜動脈 (K55.1) 肺動脈 (I27.0)  下記のえ<壊>死の有無を示す補分的分類は分類項目 I70 における適切な細分類に伴うものとして任意的に使用する。 0 え<壊>痕なし 1 え<壊>痕あり	<b>I70 Atherosclerosis</b> <b>Includes:</b> arteriosclerosis arteriosclerosis arteriosclerotic vascular disease atheroma degeneration: ・arterial ・arteriovascular ・vascular endarteritis deformans or obliterans senile: ・arteritis ・endarteritis <b>Excludes:</b> cerebral (I67.2) coronary (I25.1) mesenteric (K55.1) pulmonary (I27.0) <u>The following supplementary classification to indicate the presence or absence of gangrene is provided for optional use with appropriate subcategories in I70.</u> 0 without gangrene 1 with gangrene
146	I72 その他の動脈瘤 包含: 動脈瘤 (蔓状) (偽性<仮性>) (破裂) 除外: 網膜動脈瘤 (H35.0) 心室瘤 (I25.3) 冠 (状) 動脈瘤 (I25.4) 肺動脈瘤 (I28.1) 脳動脈瘤 (非<未>出血性) (I67.1)	I72 その他の動脈瘤及び解離 包含: 動脈瘤 (蔓状) (偽性<仮性>) (破裂) 除外: 大動脈瘤 (I71.-) 動静脈瘤 NOS (Q27.3) 動静脈瘤 NOS: ・後天性 (I77.0) 脳動脈瘤 (非<未>破裂性) (I67.1)	<b>I72 Other aneurysm and dissection</b> <b>Includes:</b> aneurysm (cirroid)(false)(ruptured) <b>Excludes:</b> aneurysm (of): ・aorta (I71.-) ・arteriovenous NOS (Q27.3) ・arteriovenous NOS: - acquired (I77.0) ・cerebral (nonruptured) (I67.1) ・cerebral (nonruptured):

No.	現行	提 案 案	WHO 勧告 (原文)
	<p>・出血性 (I60.-) 大動脈瘤 (I71.-) 静脈瘤性動脈瘤 (I77.0) 動静脈瘤 NOS (Q27.3)</p> <p>・後天性 (I77.0)</p> <p>I72.0 頸動脈瘤 I72.1 上肢の動脈瘤 I72.2 腎動脈瘤 I72.3 腸骨動脈瘤 I72.4 下肢の動脈瘤</p>	<p>脳動脈瘤 (非&lt;未&gt;破裂性) : ・破裂性 (I60.-) 冠 (状) 動脈瘤 (I25.4) 心室瘤 (I25.3) 肺動脈瘤 (I28.1) 網膜動脈瘤 (H35.0) 静脈瘤性動脈瘤 (I77.0) 脳実質外動脈 (脳底動脈、頸動脈、椎骨動脈を含む) の解離、 先天性 (非&lt;未&gt;出血性) (Q28.1)</p> <p>I72.0 頸動脈瘤及び解離 I72.1 上肢の動脈瘤及び解離 I72.2 腎動脈瘤及び解離 I72.3 腸骨動脈瘤及び解離 I72.4 下肢の動脈瘤及び解離 I72.5 その他の脳実質外動脈 (脳底動脈、頸動脈、椎骨動脈を含む) の動脈 瘤及び解離 脳底動脈 (幹) の動脈瘤及び解離 除外: 下記における動脈瘤及び解離: ・頸動脈 (I72.0) ・椎骨動脈 (I72.6)</p>	<p>- ruptured (I60.-) • coronary (I25.4) • heart (I25.3) • pulmonary artery (I28.1) • retinal (H35.0) • varicose (I77.0) <u>dissection of precerebral artery, congenital (nonruptured) (Q28.1)</u></p> <p><b>I72.0 Aneurysm and dissection of carotid artery</b> <b>I72.1 Aneurysm and dissection of artery of upper extremity</b> <b>I72.2 Aneurysm and dissection of renal artery</b> <b>I72.3 Aneurysm and dissection of iliac artery</b> <b>I72.4 Aneurysm and dissection of artery of lower extremity</b> <b>I72.5 Aneurysm and dissection of other precerebral arteries</b> Aneurysm and dissection of basilar artery (trunk) <i>Excludes:</i> aneurysm and dissection of <u>carotid artery (I72.0)</u> • <u>carotid artery (I72.0)</u> • <u>vertebral artery (I72.6)</u></p> <p>※I72.5 について I65 の訳との整合性について要検討 (precerebral の適訳)</p>
147		I72.6 椎骨動脈の動脈瘤及び解離	<b>I72.6 Aneurysm and dissection of vertebral artery</b>
148	I72.8 その他の明示された動脈の動脈瘤 I72.9 部位不明の動脈瘤	I72.8 その他の明示された動脈の動脈瘤及び解離 I72.9 部位不明の動脈瘤及び解離	<b>I72.8 Aneurysm and dissection of other specified arteries</b> <b>I72.9 Aneurysm and dissection of unspecified site</b>
149	I77.2 動脈の破裂 びらん } 瘻 } 動脈 潰瘍 } 除外: 動脈の外傷性破裂 — 各部位の血管損傷を参照  I77.8 動脈および細動脈のその他の明示された障害	I77.2 動脈の破裂 瘻 } 動脈 除外: 動脈の外傷性破裂—各部位の血管損傷を参照  I77.8 動脈及び細動脈のその他の明示された障害 びらん } 潰瘍 } 動脈	<b>I77.2 Rupture of artery</b> Erosion Fistula of artery Ulcer <i>Excludes:</i> traumatic rupture of artery - see injury of blood vessel by body region.  <b>I77.8 Other specified disorders of arteries and arterioles</b> Erosion of artery Ulcer
150	I84 痔核 包含: 痔核(直腸) ※痔 肛門および直腸の静脈瘤 除外: 合併症: ・分娩および産じょく<褥> (O87.2) ・妊娠 (O22.4) I84.0 血栓性内痔核 I84.1 その他の合併症を伴う内痔核 内痔核: ・出血性 ・脱出性		<b>I84 Haemorrhoids</b> <i>Includes:</i> piles varicose veins of anus and rectum <i>Excludes:</i> complicating: • childbirth and the puerperium (O87.2) • pregnancy (O22.4) <b>I84.0 Internal thrombosed haemorrhoids</b> <b>I84.1 Internal haemorrhoids with other complications</b> Internal haemorrhoids: • bleeding • prolapsed • strangulated • ulcerated <b>I84.2 Internal haemorrhoids without complication</b> Internal haemorrhoids NOS

No.	現行	提要案	WHO勧告 (原文)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>絞扼性</li> <li>潰瘍性</li> </ul> I84.2 合併症を伴わない内痔核 内痔核 NOS		
151	I84.3 血栓性外痔核		<b>I84.3</b> External thrombosed haemorrhoids Perianal haematoma (nontraumatic) Perineal thrombosis
152	I84.4 その他の合併症を伴う外痔核 外痔核: <ul style="list-style-type: none"> <li>出血性</li> <li>脱出性</li> <li>絞扼性</li> <li>潰瘍性</li> </ul> I84.5 合併症を伴わない外痔核 外痔核 NOS I84.6 残遺痔核皮膚弁 肛門または直腸の皮膚弁 I84.7 詳細不明の血栓性痔核 血栓性痔核、内痔核か外痔核か明示されないもの I84.8 その他の合併症を伴う詳細不明の痔核 痔核、内痔核か外痔核か明示されないもの: <ul style="list-style-type: none"> <li>出血性</li> <li>脱出性</li> <li>絞扼性</li> <li>潰瘍性</li> </ul> I84.9 合併症を伴わない痔核、詳細不明 痔核 NOS		<b>I84.4</b> External haemorrhoids with other complications External haemorrhoids: <ul style="list-style-type: none"> <li>bleeding</li> <li>prolapsed</li> <li>strangulated</li> <li>ulcerated</li> </ul> <b>I84.5</b> External haemorrhoids without complication External haemorrhoids NOS <b>I84.6</b> Residual haemorrhoidal skin tags Skin tags of anus or rectum <b>I84.7</b> Unspecified thrombosed haemorrhoids Thrombosed haemorrhoids, unspecified whether internal or external <b>I84.8</b> Unspecified haemorrhoids with other complications Haemorrhoids, unspecified whether internal or external: <ul style="list-style-type: none"> <li>bleeding</li> <li>prolapsed</li> <li>strangulated</li> <li>ulcerated</li> </ul> <b>I84.9</b> Unspecified haemorrhoids without complication Haemorrhoids NOS
153	I87.0 静脈炎後症候群	I87.0 血栓後症候群 静脈炎後症候群	<b>I87.0</b> <del>Postphlebitic</del> Postthrombotic syndrome Postphlebitic syndrome
154	I98.2* 他に分類される疾患における食道静脈瘤 下記による食道静脈瘤: <ul style="list-style-type: none"> <li>住血吸虫症 (B65.-†)</li> <li>肝障害 (K70—K71†, K74.-†)</li> </ul>	I98.2* 他に分類される疾患における出血を伴わない食道静脈瘤 下記による食道静脈瘤: <ul style="list-style-type: none"> <li>肝障害 (K70—K71†, K74.-†)</li> <li>住血吸虫症 (B65.-†)</li> </ul> I98.3* 他に分類される疾患における出血を伴う食道静脈瘤 下記による食道静脈瘤: <ul style="list-style-type: none"> <li>肝障害 (K70-K71†, K74.-†)</li> <li>住血吸虫症 (B65.-†)</li> </ul>	<b>I98.2* Oesophageal varices without bleeding in diseases classified elsewhere</b> Oesophageal varices in: <ul style="list-style-type: none"> <li>liver disorders (K70-K71†, K74.-†)</li> <li>schistosomiasis (B65.-†)</li> </ul> <b>I98.3* Oesophageal varices with bleeding in diseases classified elsewhere</b> Oesophageal varices in: <ul style="list-style-type: none"> <li>liver disorders (K70-K71†), K74.-†</li> <li>schistosomiasis (B65.-†)</li> </ul>
155	呼吸器系の疾患 本章は、次の中間分類項目を含む: J00—J06 急性上気道感染症 <b>J10—J18</b> インフルエンザおよび肺炎 J20—J22 その他の急性下気道感染症  J02.8 その他の明示された病原体による急性咽頭炎	呼吸器系の疾患 本章は、次の中間分類項目を含む: J00—J06 急性上気道感染症 <b>J09—J18</b> インフルエンザ及び肺炎 J20—J22 その他の急性下気道感染症  J02.8 その他の明示された病原体による急性咽頭炎	<b>Diseases of the respiratory system (J00-J99)</b>  <b>This chapter contains the following blocks:</b> J00-J06 Acute upper respiratory infections J09-J18 Influenza and pneumonia J20-J22 Other acute lower respiratory infections  <b>J02.8 Acute pharyngitis due to other specified organisms</b>

No.	現行	提 要 案	WHO 勧告 (原文)
	<p>感染病原体の分類が必要な場合は、追加コード (B95—<b>B97</b>) を使用する。</p> <p>除外：咽頭炎 (下記によるもの)：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヘルペスウイルス [単純ヘルペス] (性) (B00.2)</li> <li>・エンテロウイルス性水疱性 (B08.5)</li> <li>・伝染性単核症 (B27.-)</li> <li>・インフルエンザウイルス：</li> <li>・分離されたもの (J10.1)</li> <li>・分離されないもの (J11.1)</li> </ul> <p>J04.0 急性喉頭炎</p> <p>喉頭炎 (急性)：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・NOS</li> <li>・浮腫性</li> <li>・化膿性</li> <li>・声門下</li> <li>・潰瘍性</li> </ul> <p>除外：インフルエンザ喉頭炎：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インフルエンザウイルスが分離されたもの (J10.1)</li> <li>・インフルエンザウイルスが分離されないもの (J11.1)</li> </ul> <p>慢性喉頭炎 (J37.0)</p> <p>J06 多部位および部位不明の急性上気道感染症</p> <p>除外：インフルエンザウイルスが分離されたもの (J10.1)</p> <p>インフルエンザウイルスが分離されないもの (J11.1)</p> <p>急性呼吸器感染症 NOS (J22)</p>	<p>感染病原体の分類が必要な場合は、追加コード (B95—<b>B98</b>) を使用する。</p> <p>除外：咽頭炎 (下記によるもの)：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・エンテロウイルス性水疱性 (B08.5)</li> <li>・ヘルペスウイルス [単純ヘルペス] (性) (B00.2)</li> <li>・伝染性単核症 (B27.-)</li> <li>・インフルエンザウイルス：</li> <li>・分離されたもの (<b>J09</b>, J10.1)</li> <li>・分離されないもの (J11.1)</li> </ul> <p>J04.0 急性喉頭炎</p> <p>喉頭炎 (急性)：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・NOS</li> <li>・浮腫性</li> <li>・化膿性</li> <li>・声門下</li> <li>・潰瘍性</li> </ul> <p>除外：インフルエンザ喉頭炎：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インフルエンザウイルスが分離されたもの (J09, J10.1)</li> <li>・インフルエンザウイルスが分離されないもの (J11.1)</li> </ul> <p>慢性喉頭炎 (J37.0)</p> <p>J06 多部位及び部位不明の急性上気道感染症</p> <p>除外：インフルエンザウイルスが分離されたもの (J09, J10.1)</p> <p>インフルエンザウイルスが分離されないもの (J11.1)</p> <p>急性呼吸器感染症 NOS (J22)</p>	<p>Use additional code (B95-B978), if desired, to identify infectious agent.</p> <p><b>Excludes:</b> pharyngitis (due to):</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• enteroviral vesicular (B08.5)</li> <li>• herpesviral [herpes simplex] (B00.2)</li> <li>• infectious mononucleosis (B27.-)</li> <li>• influenza virus: <ul style="list-style-type: none"> <li>• identified (J09, J10.1)</li> <li>• not identified (J11.1)</li> </ul> </li> </ul> <p><b>J04.0 Acute laryngitis</b></p> <p>Laryngitis (acute):</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• NOS</li> <li>• oedematous</li> <li>• subglottic</li> <li>• suppurative</li> <li>• ulcerative</li> </ul> <p><b>Excludes:</b> chronic laryngitis (J37.0)</p> <p>influenzal laryngitis, influenza virus:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• identified (J09, J10.1)</li> <li>• not identified (J11.1)</li> </ul> <p><b>J06 Acute upper respiratory infections of multiple and unspecified sites</b></p> <p><b>Excludes:</b> acute respiratory infection NOS (J22)</p> <p>influenza virus:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• identified (J09, J10.1)</li> <li>• not identified (J11.1)</li> </ul>
156	<p>インフルエンザおよび肺炎 (J10—J18)</p>	<p>インフルエンザ及び肺炎 (J09—18)</p> <p><b>J09 特定のインフルエンザウイルスが分離されたインフルエンザ</b></p> <p>特に疫学上重要となるインフルエンザウイルスが原因のインフルエンザで動物-ヒト又はヒト-ヒトの感染を伴うもの、包含項目に含まれるものに限る。</p> <p>注：ウイルスの型の追加については、WHO による勧告による場合のみ可能とする。</p> <p>包含:インフルエンザ A/H1N1 2009 年流行型 [豚インフルエンザ] インフルエンザ A/H5N1 流行型 [鳥インフルエンザ]</p> <p>肺炎又はその他の症状発現の分類が必要な場合追加コードを用いる。</p> <p>除外：インフルエンザ菌 [<i>H.influenzae</i>]：</p>	<p>Influenza and pneumonia (J09 J10 -J18)</p> <p><b>J09 Influenza due to certain identified influenza virus</b></p> <p><u>Influenza caused by influenza virus strains of special epidemiological importance with an animal-human or inter-human transmission limited to the inclusions.</u></p> <p>Note: Additional virus strains may only be included upon recommendation by WHO.</p> <p><u>Includes:</u> <u>Influenza A/H1N1 pandemic2009 [swine flu]</u> <u>Influenza A/H5N1 epidemic [avian influenza]</u></p> <p>Use additional code, if desired, to identify pneumonia or other manifestations.</p> <p><u>Excludes:</u> <u>Haemophilus influenzae [H. influenzae]:</u> <u>· infection NOS (A49.2)</u> <u>· meningitis (G00.0)</u> <u>· pneumonia (J14)</u></p> <p>※第3回部会資料から注書きの訳語を修正</p>

No.	現行	提提案	WHO勧告 (原文)
		<ul style="list-style-type: none"> <li>•感染症 NOS (A49.2)</li> <li>•髄膜炎 (G00.0)</li> <li>•肺炎 (J14)</li> </ul>	
157	<p>J10 インフルエンザウイルスが分離されたインフルエンザ 除外：インフルエンザ菌 [H.influenzae] :</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症 NOS (A49.2)</li> <li>・髄膜炎 (G00.0)</li> <li>・肺炎 (J14)</li> </ul> <p>J10.0 肺炎を伴うインフルエンザ, インフルエンザウイルスが分離されたもの インフルエンザ (気管支) 肺炎, インフルエンザウイルスが分離されたもの</p> <p>J10.1 その他の呼吸器症状を伴うインフルエンザ, インフルエンザウイルスが分離されたもの インフルエンザ インフルエンザ: ・急性上気道感染症 ・喉頭炎 ・咽頭炎 ・胸水</p> <p>J10.8 その他の症状を伴うインフルエンザ, インフルエンザウイルスが分離されたもの インフルエンザによる脳症 インフルエンザ: ・胃腸炎 ・心筋炎 (急性)</p> <p>J12 ウイルス肺炎, 他に分類されないもの 包含: インフルエンザウイルス以外のウイルスによる気管支肺炎 除外: 肺炎: ・インフルエンザにおける (J10.0, J11.0) ・リポイド (J69.1) ・間質性 NOS (J84.9) ・えん&lt;嚙&gt;下&lt;誤えん&lt;嚙&gt;&gt;性: ・NOS (J69.0) ・固形物および液状物 (J69.-) ・下記の麻酔: ・妊娠時 (O29.0) ・分娩時 (O74.0) ・産じょ&lt;褥&gt;時 (O89.0) ・先天性 (P23.0) ・新生児吸引性 (P24.9) 先天性風疹肺臓炎 (P35.0)</p>	<p>J10 <b>その他の</b>インフルエンザウイルスが分離されたインフルエンザ 除外：インフルエンザ菌 [H.influenzae] :</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症 NOS (A49.2)</li> <li>・髄膜炎 (G00.0)</li> <li>・肺炎 (J14)</li> </ul> <p>J10.0 肺炎を伴うインフルエンザ, <b>その他の</b>インフルエンザウイルスが分離されたもの インフルエンザ (気管支) 肺炎, <b>その他の</b>インフルエンザウイルスが分離されたもの</p> <p>J10.1 その他の呼吸器症状を伴うインフルエンザ, <b>その他の</b>インフルエンザウイルスが分離されたもの インフルエンザ インフルエンザ: ・急性上気道感染症 ・喉頭炎 ・咽頭炎 ・胸水</p> <p>J10.8 その他の症状を伴うインフルエンザ, <b>その他の</b>インフルエンザウイルスが分離されたもの インフルエンザによる脳症 インフルエンザ: ・胃腸炎 ・心筋炎 (急性)</p> <p>J12 ウイルス肺炎, 他に分類されないもの 包含: インフルエンザウイルス以外のウイルスによる気管支肺炎 除外: 先天性風疹肺臓炎 (P35.0) 肺炎: ・えん&lt;嚙&gt;下&lt;誤えん&lt;嚙&gt;&gt;性: ・NOS (J69.0) ・下記の麻酔: ・分娩時 (O74.0) ・妊娠時 (O29.0) ・産じょ&lt;褥&gt;時 (O89.0) ・新生児吸引性 (P24.9) ・固形物及び液状物 (J69.-) ・先天性 (P23.0) ・インフルエンザにおける (J09, J10.0, J11.0) ・間質性 NOS (J84.9) ・リポイド (J69.1) <b>重症急性呼吸器症候群 [SARS] (U04.9)</b></p>	<p><b>J10 Influenza due to <u>other</u> identified influenza virus</b> <i>Excludes:</i> <i>Haemophilus influenzae</i> [H. influenzae]: ・ infection NOS (A49.2) ・ meningitis (G00.0) ・ pneumonia (J14)</p> <p><b>J10.0 Influenza with pneumonia, <u>other</u> influenza virus identified</b> Influenzal (broncho)pneumonia, <u>other</u> influenza virus identified</p> <p><b>J10.1 Influenza with other respiratory manifestations, <u>other</u> influenza virus identified</b> Influenza Influenzal: ・ acute upper respiratory infection ・ laryngitis ・ pharyngitis ・ pleural effusion</p> <p><b>J10.8 Influenza with other manifestations, <u>other</u> influenza virus identified</b> Encephalopathy due to influenza Influenzal: ・ gastroenteritis ・ myocarditis (acute)</p> <p><b>J12 Viral pneumonia, not elsewhere classified</b> <i>Includes:</i> bronchopneumonia due to viruses other than influenza viruses <i>Excludes:</i> congenital rubella pneumonitis (P35.0) pneumonia: ・ aspiration (due to): ・ NOS (J69.0) ・ anaesthesia during: ・ labour and delivery (O74.0) ・ pregnancy (O29.0) ・ puerperium (O89.0) ・ neonatal (P24.9) ・ solids and liquids (J69.-) ・ congenital (P23.0) ・ in influenza (J09, J10.0, J11.0) ・ interstitial NOS (J84.9) ・ lipid (J69.1) <u>severe acute respiratory syndrome [SARS] (U04.9)</u></p>

No.	現行	提要案	WHO勧告 (原文)
158	J12 ウイルス肺炎, 他に分類されないもの	J12 ウイルス肺炎, 他に分類されないもの J12.3 ヒト・メタニューモウイルス肺炎	J12 <b>Viral pneumonia, not elsewhere classified</b> J12.3 <b>Human metapneumovirus pneumonia</b>
159	J18 肺炎, 病原体不詳 除外: 肺炎: ・えん<嚔>下<誤えん<嚔>>性: ・NOS (J69.0) ・固形物および液状物 (J69.-) ・下記の麻酔: ・妊娠時 (O29.0) ・分娩時 (O74.0) ・産じょく<褥>時 (O89.0) ・リポイド (J69.1) ・間質性 NOS (J84.9) ・先天性 (P23.9) ・新生児吸引性 (P24.9) 肺臓炎, 外的因子によるもの (J67-J70) 薬物誘発性間質性肺障害 (J70.2-J70.4) 肺炎を伴う肺膿瘍 (J85.1)	J18 肺炎, 病原体不詳 除外: 肺炎を伴う肺膿瘍 (J85.1) 薬物誘発性間質性肺障害 (J70.2-J70.4) 肺炎: ・えん<嚔>下<誤えん<嚔>>性: ・NOS (J69.0) ・下記の麻酔: ・分娩時 (O74.0) ・妊娠時 (O29.0) ・産じょく<褥>時 (O89.0) ・新生児吸引性 (P24.9) ・固形物及び液状物 (J69.-) ・先天性 (P23.9) ・間質性 NOS (J84.9) ・リポイド (J69.1) ・通常型間質性 (J84.1) 肺臓炎, 外的因子によるもの (J67-J70)	J18 <b>Pneumonia, organism unspecified</b>  <i>Excludes:</i> abscess of lung with pneumonia (J85.1) drug-induced interstitial lung disorders (J70.2-J70.4) pneumonia: ・aspiration (due to): ・NOS (J69.0) ・anaesthesia during: ・labour and delivery (O74.0) ・pregnancy (O29.0) ・puerperium (O89.0) ・neonatal (P24.9) ・solids and liquids (J69.-) ・congenital (P23.9) ・interstitial NOS (J84.9) ・lipid (J69.1) ・usual interstitial (J84.1) pneumonitis, due to external agents (J67-J70)
160	J21 急性細気管支炎	J21 急性細気管支炎 J21.1 ヒト・メタニューモウイルスによる急性細気管支炎	J21 <b>Acute bronchiolitis</b> J21.1 <b>Acute bronchiolitis due to human metapneumovirus</b>
161	J44.0 急性下気道感染症を伴う慢性閉塞性肺疾患 除外: インフルエンザを伴うもの (J10-J11)	J44.0 急性下気道感染症を伴う慢性閉塞性肺疾患 除外: インフルエンザを伴うもの (J09-J11)	J44.0 <b>Chronic obstructive pulmonary disease with acute lower respiratory infection</b> <i>Excludes:</i> with influenza (J09-J11)
162	J68.1 化学物質, ガス, フュームおよび蒸気による急性肺水腫 化学物質性肺水腫 (急性)	J68.1 化学物質, ガス, フューム及び蒸気による肺水腫 化学物質性肺水腫 (急性)	J68.1 <b>Acute pulmonary oedema due to chemicals, gases, fumes and vapours</b> Chemical pulmonary oedema (acute)
163	J84.1 肺線維症を伴うその他の間質性肺疾患 びまん<広汎>性肺線維症 線維化性肺炎 (特発性) ハンマン・リッチ<Hamman-Rich>症候群 特発性肺線維症  除外: 肺線維症 (慢性): ・化学物質, ガス, フュームおよび蒸気の吸入による (J68.4) ・放射線照射に続発する (J70.1)	J84.1 肺線維症を伴うその他の間質性肺疾患 びまん<広汎>性肺線維症 線維化性肺炎 (特発性) ハンマン・リッチ<Hamman-Rich>症候群 特発性肺線維症 通常型間質性肺炎 除外: 肺線維症 (慢性): ・化学物質, ガス, フューム及び蒸気の吸入による (J68.4) ・放射線照射に続発する (J70.1)	J84.1 <b>Other interstitial pulmonary diseases with fibrosis</b> Diffuse pulmonary fibrosis Fibrosing alveolitis (cryptogenic) Hamman-Rich syndrome Idiopathic pulmonary fibrosis Usual interstitial pneumonia  <i>Excludes:</i> pulmonary fibrosis (chronic): ・due to inhalation of chemicals, gases, fumes or vapours (J68.4) ・following radiation (J70.1)
164	J85.1 肺炎を伴う肺膿瘍 除外: 明示された病原体による肺炎を伴うもの (J10-J16)	J85.1 肺炎を伴う肺膿瘍 除外: 明示された病原体による肺炎を伴うもの (J09-J16)	J85.1 <b>Abscess of lung with pneumonia</b>  <i>Excludes:</i> with pneumonia due to specified organism (J09-J16)
165	J96 呼吸不全, 他に分類されないもの 除外: 呼吸窮<促>迫症候群: ・成人<ARDS> (J80) ・新生児<IRDS> (P22.0)	J96 呼吸不全, 他に分類されないもの 除外: 心呼吸不全 (R09.2) 処置後呼吸不全 (J95.-)	J96 <b>Respiratory failure, not elsewhere classified</b> <i>Excludes:</i> cardiorespiratory failure (R09.2) postprocedural respiratory failure (J95.-) respiratory: ・arrest (R09.2)

No.	現行	提提案	WHO勧告 (原文)
	処置後呼吸不全 (J95.-) 心呼吸不全 (R09.2) 呼吸停止 (R09.2)	呼吸: ・停止 (R09.2) ・窮<促>迫: ・成人の症候群<ARDS> (J80) ・新生児における<IRDS> (P22.-)	・distress syndrome ・syndrome of adult (J80) ・in newborn ( <del>P22.0</del> ) (P22.-)
166	J96 呼吸不全,他に分類されないもの  除外: 心呼吸不全 (R09.2) 処置後呼吸不全 (J95.-) 呼吸: ・停止 (R09.2) ・窮<促>迫 ・成人の症候群<ARDS> (J80) ・新生児における<IRDS> (P22.-)  J96.0 急性呼吸不全 J96.1 慢性呼吸不全 J96.9 呼吸不全, 詳細不明	J96 呼吸不全,他に分類されないもの 下記の補足的細分類は分類項目 J96 に伴うものとして任意的使用する。 0 I型 [低酸素性] 1 II型 [高炭酸ガス性] 9 型詳細不明 除外: 心呼吸不全 (R09.2) 処置後呼吸不全 (J95.-) 呼吸: ・停止 (R09.2) ・窮<促>迫: ・成人の症候群<ARDS> (J80) ・新生児における<IRDS> (P22.-)  J96.0 急性呼吸不全 J96.1 慢性呼吸不全 J96.9 呼吸不全, 詳細不明	<b>J96 Respiratory failure, not elsewhere classified</b> The following supplementary subclassification is provided for optional use with category J96. 0 Type I [hypoxic] 1 Type II [hypercapnic] 9 Type unspecified <b>Excludes:</b> cardiorespiratory failure (R09.2) postprocedural respiratory failure (J95.-) respiratory: ・arrest (R09.2) ・distress: ・syndrome of adult (J80) ・in newborn (P22.-) <b>J96.0 Acute respiratory failure</b> <b>J96.1 Chronic respiratory failure</b> <b>J96.9 Respiratory failure, unspecified</b>
167	第 XI 章 消化器系の疾患 (K00-K93) ..... 本章は、次の中間分類項目を含む: ... K55-K63 腸のその他の疾患	第 XI 章 消化器系の疾患 (K00-K93) ..... 本章は、次の中間分類項目を含む: ... K55-K64 腸のその他の疾患	<b>Chapter XI</b> <b>Diseases of the digestive system</b> <b>(K00-K93)</b> ..... <b>This chapter contains the following blocks:</b> ... <del>K55-K63</del> K64 Other diseases of intestines
168	K02 う<齲>蝕	K02 う<齲>蝕 K02.5 露髄のあるう<齲>蝕	<b>K02 Dental Caries</b>  <b>K02.5 Caries with pulp exposure</b>
169	K04.0 歯髄炎 歯髄膿瘍 歯髄ポリープ 化膿性歯髄炎 急性歯髄炎 慢性 (増殖性) (潰瘍性) 歯髄炎	K04.0 歯髄炎  歯髄炎: NOS 急性 慢性 (増殖性) (潰瘍性) 不可逆性 可逆性	<b>K04.0 Pulpitis</b> <del>Pulpal:</del> -abscess -polyp Pulpitis: ・NOS ・acute ・chronic (hyperplastic)(ulcerative) <del>-suppurative</del> ・irreversible ・reversible
170	K08.8 歯および歯の支持組織のその他の明示された障害 顎堤の腫大 NOS 不規則歯槽突起 歯痛 NOS	K08.8 歯および歯の支持組織のその他の明示された障害 歯槽 (突起) 裂 顎堤の腫大 NOS 不規則歯槽突起 歯痛 NOS	<b>K08.8 Other specified disorders of teeth and supporting structures</b> <u>Alveolar (process) cleft</u> Enlargement of the alveolar ridge NOS Irregular alveolar process Toothache NOS

No.	現行	提案	WHO勧告 (原文)
171	K09.0 発育性歯原性のう〈囊〉胞 のう〈囊〉胞： ・含歯性 ・萌出 ・ろ〈濾〉胞性 ・側方性歯周 ・原始性 ・歯肉 角化のう〈囊〉胞	K09.0 発育性歯原性のう〈囊〉胞 のう〈囊〉胞： ・含歯性 ・萌出 ・ろ〈濾〉胞性 ・側方性歯周 ・原始性 ・歯肉	<b>K09.0</b> Developmental odontogenic cysts <del>Keratocyst</del>
172	K09.1 口腔部の発育性(非歯原性)のう〈囊〉胞 のう〈囊〉胞： 球状上顎 切歯管 正中口蓋 鼻口蓋(管) 口蓋乳頭	K09.1 口腔部の発育性(非歯原性)のう〈囊〉胞 のう〈囊〉胞： 鼻唇の〔鼻歯槽(前庭)の〕 鼻口蓋管〔切歯管〕	<b>K09.1</b> <b>Developmental (nonodontogenic) cysts of oral region</b> Cyst (of): <del>-globulomaxillary</del> ・nasopalatine-nasolabial [nasopalveolar] ・incisive canal-nasopalatine duct [incisive canal] <del>-median palatal</del> <del>-palatine papilla</del>
173	K09.8 その他の口腔部のう〈囊〉胞,他に分類されないもの 皮様〈類皮〉のう〈囊〉胞 } 口腔 類表皮のう〈囊〉胞 } リンパ上皮性のう〈囊〉胞 } エプスタイン〈Epstein〉真珠 } 鼻歯槽のう〈囊〉胞 鼻口唇のう〈囊〉胞	K09.8 その他の口腔部のう〈囊〉胞,他に分類されないもの 皮様〈類皮〉のう〈囊〉胞 } 口腔 類表皮のう〈囊〉胞 } リンパ上皮性のう〈囊〉胞 } エプスタイン〈Epstein〉真珠 }	<b>K09.8</b> Other cysts of oral region, not elsewhere classified Dermatoid cyst } Epidermoid cyst } of mouth Lymphoepithelial cyst } Epstein's pearl } Nasopalveolar cyst } Nasolabial cyst }
174	K10.2 炎症性顎骨病態 骨炎 } 骨髄炎(新生児) } 顎(急性)(慢性)(化膿性) 放射線骨え〈壊〉死 } 骨膜炎 } 顎の腐骨 } 放射線誘発性で,放射線の分類が必要な場合は,追加外因コード(XX章)を使用する。	K10.2 炎症性顎骨病態 骨炎 } 骨髄炎(新生児) } 顎(急性) 骨え〈壊〉死(薬物誘発)(放射線誘発) } (慢性)(化膿性) 放射線骨え〈壊〉死 } 骨膜炎 } 顎の腐骨 } 放射線誘発性で,放射線の分類が必要な場合,又は薬物誘発性で,薬物の分類が必要な場合は,追加外因コード(XX章)を使用する。	<b>K10.2</b> <b>Inflammatory conditions of jaws</b> Osteitis } Osteomyelitis (neonatal) } of jaw (acute) Osteonecrosis (drug-induced) } (chronic) Osteonecrosis (radiation-induced) } (suppurative) Osteo(radio)nerosis } Periostitis } Sequestrum of jaw bone } Use additional external cause code (Chapter XX), if desired, to identify radiation, if radiation induced, or to identify drug, if drug induced.
175	K12 口内炎および関連病変	K12 口内炎及び関連病変 K12.3 口腔粘膜炎(潰瘍性) 粘膜炎(口腔)(中咽頭): -NOS -薬物誘発性 -放射線誘発性 -ウイルス性 薬物誘発性で,外的因子の分類が必要な場合は,追加外因コード(XX章)を使用する。	<b>K12</b> <b>Stomatitis and related lesions</b> <b>K12.3</b> <b>Oral mucositis (ulcerative)</b> Mucositis(oral)(oropharyngeal): ・NOS ・drug-induced ・radiation induced ・viral Use additional external cause code (Chapter XX), if desired, to identify external agent <u>Excludes:</u> mucositis (ulcerative) of: ・nose and nasal sinuses (J34.8) ・vagina and vulva (N76.8)



No.	現行	提要案	WHO勧告 (原文)
		除外：粘膜炎（潰瘍性）： -鼻及び副鼻腔（J34.8） -腔及び外陰（N76.8） -消化管（口腔および中咽頭を除く）（K92.8）	: <u>gastrointestinal tract (except oral cavity and oropharynx) (K92.8)</u>
176	K12.3 口腔粘膜炎（潰瘍性） 除外：粘膜炎（潰瘍性）： ・鼻及び副鼻腔（J34.8） ・腔及び外陰（N76.8） ・消化管（口腔及び中咽頭を除く）（K92.8）	K12.3 口腔粘膜炎（潰瘍性） 除外：以下の粘膜炎（潰瘍性）： ・胃腸管（口腔及び中咽頭を除く）（K92.8）	<b>K12.3 Oral mucositis (ulcerative)</b> <i>Excludes:</i> mucositis (ulcerative) of: • <del>nose and nasal sinuses (J34.8)</del> • <del>vagina and vulva (N76.8)</del> • gastrointestinal tract (except oral cavity and oropharynx) (K92.8)
177	K22.1 食道潰瘍 食道のびらん 食道潰瘍： ・NOS ・真菌性 ・消化性 ・下記の摂取による： ・薬物および薬剤 ・化学物質  原因の分類が必要な場合は、追加外因コード（XX章）を使用する。	K22.1 食道潰瘍 食道のびらん 食道潰瘍： ・NOS ・下記の摂取による： ・薬物および薬剤 ・化学物質 ・真菌性 ・消化性 <b>潰瘍性食道炎</b> 原因の分類が必要な場合は、追加外因コード（XX章）を使用する。	<b>K22.1 Ulcer of oesophagus</b> Erosion of oesophagus Ulcer of oesophagus: • NOS • Due to ingestion of: • Chemicals • drugs and medicaments • fungal • peptic <u>Ulcerative oesophagitis</u> Use additional external cause code (Chapter XX), if desired, to identify cause.
178		<b>K22.7 バレット食道</b> バレット： ・病 ・症候群 除外：バレット潰瘍（K22.1）	<b>K22.7 Barrett's esophagus</b> <u>Barrett's:</u> • <u>disease</u> • <u>syndrome</u> <i>Excludes:</i> Barrett's ulcer (K22.1)
179	K30 <b>ディスペプシア（症）</b> 消化不良 除外：ディスペプシア（症） 心因性（F45.3） 神経性（F45.3） 神経症性（F45.3） 胸やけ（R12）	K30 <b>機能性ディスペプシア</b> 消化不良 除外：ディスペプシア（症）： ・神経性（F45.3） ・神経症性（F45.3） ・心因性（F45.3） 胸やけ（R12）	<b>K30 Dyspepsia-Functional dyspepsia</b> Indigestion <i>Excludes:</i> dyspepsia: • nervous ( F45.3 ) • neurotic ( F45.3 ) • psychogenic ( F45.3 ) heartburn ( R12 )

No.	現行	提提案	WHO勧告 (原文)
180	<p>K35 急性虫垂炎</p> <p><b>K35.0</b> 汎発性腹膜炎を伴う急性虫垂炎 虫垂炎（急性）, 下記を伴う: ・穿孔 ・腹膜炎（汎発性）（限局性） 破裂または穿孔後に発生するもの ・破裂</p> <p><b>K35.1</b> 腹腔内膿瘍を伴う急性虫垂炎 虫垂膿瘍</p>	<p>K35 急性虫垂炎</p> <p><b>K35.2</b> 汎発性腹膜炎を伴う急性虫垂炎 破裂又は穿孔に続発する汎発性（びまん性）腹膜炎を伴う虫垂炎（急性）</p>	<p><b>K35</b> <b>Acute appendicitis</b> <del><b>K35.0</b> <b>Acute appendicitis with generalized peritonitis</b></del> Appendicitis (acute) with:  <ul style="list-style-type: none"> <li>perforation</li> <li>peritonitis (generalized) (localized) following rupture or perforation</li> <li>rupture</li> </ul> </p> <p><del><b>K35.1</b> <b>Acute appendicitis with peritoneal abscess</b></del> Abscess of appendix</p> <p><del><b>K35.2</b> <b>Acute appendicitis with generalized peritonitis</b></del> Appendicitis (acute) with generalized (diffuse) peritonitis following rupture or perforation</p>
181		<p><b>K35.3</b> 限局性腹膜炎を伴う急性虫垂炎 腹膜炎を伴う急性虫垂炎（穿孔又は破裂を伴うもの又は伴わないもの）: ・NOS ・限局性 腹腔内膿瘍を伴う急性虫垂炎</p>	<p><b>K35.3</b> <b>Acute appendicitis with localized peritonitis</b> <u>Acute appendicitis (with or without perforation or rupture) with localized peritonitis with or without rupture or perforation</u>  <ul style="list-style-type: none"> <li>NOS</li> <li>localized</li> </ul> Acute appendicitis with peritoneal abscess</p>
182	<p><b>K35.9</b> 急性虫垂炎, 詳細不明 急性虫垂炎: 腹膜炎（限局性またはNOS）を伴うもの 下記を伴わないもの: ・汎発性腹膜炎 ・穿孔 ・腹腔内膿瘍 ・破裂</p>	<p><b>K35.8</b> 急性虫垂炎, その他及び詳細不明 限局性又は汎発性腹膜炎の記載がない急性虫垂炎</p>	<p><b>K35.8</b> <b>Acute appendicitis, other and unspecified</b> Acute appendicitis without mention of localized or generalized peritonitis</p> <p><del><b>K35.9</b> <b>Acute appendicitis, unspecified</b></del> Acute appendicitis with peritonitis, localized or NOS Acute appendicitis without:  <ul style="list-style-type: none"> <li>generalized peritonitis</li> <li>perforation</li> <li>peritoneal abscess</li> <li>rupture</li> </ul> </p>
183	<p><b>K43.0</b> 腹壁ヘルニア, 閉塞を伴い, えく壊&gt;疝を伴わないもの 腹壁ヘルニア:  <ul style="list-style-type: none"> <li>閉塞性</li> <li>かんく嵌&gt;頓性</li> <li>非還納性</li> <li>絞扼性</li> </ul> えく壊&gt;疝を伴わないもの</p> <p><b>K43.1</b> 腹壁ヘルニア, えく壊&gt;疝を伴うもの えく壊&gt;疝性腹壁ヘルニア</p>	<p><b>K43.0</b> 癒痕ヘルニア, 閉塞を伴い, えく壊&gt;疝を伴わないもの 癒痕ヘルニア:  <ul style="list-style-type: none"> <li>閉塞性</li> <li>かんく嵌&gt;性</li> <li>非還納性</li> <li>絞扼性</li> </ul> えく壊&gt;疝を伴わないもの</p> <p><b>K43.1</b> 癒痕ヘルニア, えく壊&gt;疝を伴うもの えく壊&gt;疝性癒痕ヘルニア</p> <p><b>K43.2</b> 癒痕ヘルニア, 閉塞及びえく壊&gt;疝を伴わないもの 癒痕ヘルニア NOS</p> <p><b>K43.3</b> 傍ストーマヘルニア, 閉塞を伴い, えく壊&gt;疝を伴わないもの 傍ストーマヘルニア:</p>	<p><del><b>K43.0</b> <b>Ventral-Incisional hernia with obstruction, without gangrene</b></del> <del>Ventral-Incisional hernia:</del>  <ul style="list-style-type: none"> <li>causing obstruction</li> <li>Incarcerated</li> <li>irreducible</li> <li>strangulated</li> </ul> } without gangrene</p> <p><del><b>K43.1</b> <b>Ventral-Incisional hernia with gangrene</b></del> Gangrenous ventral-incisional hernia</p> <p><del><b>K43.2</b> <b>Incisional hernia without obstruction or gangrene</b></del> <u>Incisional hernia NOS</u></p> <p><del><b>K43.3</b> <b>Parastomal hernia with obstruction, without gangrene</b></del> <u>Parastomal hernia:</u>  <ul style="list-style-type: none"> <li>causing obstruction</li> <li>incarcerated</li> <li>irreducible</li> </ul> } without gangrene</p>

No.	現行	提 要 案	WHO 勧告 (原文)
	<p>K43.9 腹壁ヘルニア, 閉塞またはえく壊&gt; 疝を伴わないもの 腹壁ヘルニア NOS</p>	<p>• 閉塞性 • かん&lt;嵌&gt;頓性 • 非還納性 • 絞扼性</p> <p>えく壊&gt; 疝を伴わないもの</p> <p>K43.4 傍ストーマヘルニア, えく壊&gt; 疝を伴うもの えく壊&gt; 疝性傍ストーマヘルニア</p> <p>K43.5 傍ストーマヘルニア, 閉塞及びえく壊&gt; 疝を伴わないもの 傍ストーマヘルニア NOS</p> <p>K43.6 その他及び詳細不明の腹壁ヘルニア, 閉塞を伴い, えく壊&gt; 疝を伴わないもの ヘルニア: • 上腹壁 • 下腹壁 • 正中腹壁 • スピゲリウス • 剣状突起下</p> <p>K43.6 にある下記のいずれかの状態: • 閉塞性 • かん&lt;嵌&gt;頓性 • 非還納性 • 絞扼性</p> <p>えく壊&gt; 疝を伴わないもの</p> <p>K43.7 その他及び詳細不明の腹壁ヘルニア, えく壊&gt; 疝を伴うもの K43.6 にあるいずれかの状態でえく壊&gt; 疝を伴うと明示されたもの</p> <p>K43.9 その他及び詳細不明の腹壁ヘルニア, 閉塞及びえく壊&gt; 疝を伴わないもの 腹壁ヘルニア NOS</p>	<p>• <u>strangulated</u></p> <p><b>K43.4 Parastomal hernia with gangrene</b> Gangrenous parastomal hernia</p> <p><b>K43.5 Parastomal hernia without obstruction or gangrene</b> Parastomal hernia NOS</p> <p><b>K43.6 Other and unspecified ventral hernia with obstruction, without gangrene</b> Hernia: • <u>epigastric</u> • <u>hypogastric</u> • <u>midline</u> • <u>spigelian</u> • <u>subxiphoid</u> Any condition listed under K43.6 • <u>causing obstruction</u> • <u>incarcerated</u> • <u>irreducible</u> • <u>strangulated</u> } <u>without gangrene</u></p> <p><b>K43.7 Other and unspecified ventral hernia with gangrene</b> Any condition listed under K43.6 specified as gangrenous</p> <p><b>K43.9 Other and unspecified ventral hernia without obstruction or gangrene</b> Ventral hernia NOS</p>
184	<p>K51 潰瘍性大腸炎 K51.0 潰瘍性 (慢性) 全腸炎 K51.1 潰瘍性 (慢性) 回腸大腸炎</p> <p>K51.2 潰瘍性 (慢性) 直腸炎 K51.3 潰瘍性 (慢性) 直腸 S 状結腸炎 K51.4 大腸仮性ポリポージス K51.5 粘膜 (性) 直腸結腸炎</p> <p>K51.8 その他の潰瘍性大腸炎 K51.9 潰瘍性大腸炎, 詳細不明 潰瘍性腸炎 NOS</p>	<p>K51 潰瘍性大腸炎 K51.0 潰瘍性 (慢性) 全大腸炎 包含: 逆流性回腸炎</p> <p>K51.2 潰瘍性 (慢性) 直腸炎 K51.3 潰瘍性 (慢性) 直腸 S 状結腸炎 K51.4 炎症性ポリープ K51.5 左側結腸炎 包含: 左半結腸炎</p> <p>K51.8 その他の潰瘍性大腸炎 K51.9 潰瘍性大腸炎, 詳細不明</p>	<p><b>K51 Ulcerative colitis</b> <b>K51.0 Ulcerative (chronic) enterocolitis pancolitis</b> Includes: backwash ileitis <del>K51.1 Ulcerative (chronic) ileocolitis</del> <b>K51.2 Ulcerative (chronic) proctitis</b> <b>K51.3 Ulcerative (chronic) rectosigmoiditis</b> <b>K51.4 Pseudopolyposis of colon-Inflammatory polyps- [Pseudopolyposis of colon]</b> <del>K51.5 Left sided colitis Mucosal proctocolitis</del> Includes: left hemicolitis <b>K51.8 Other ulcerative colitis</b> <b>K51.9 Ulcerative colitis, unspecified</b> Ulcerative enteritis NOS</p> <p>※K51～内の colitis の訳し分け (大腸、結腸) について要検討</p>
185	<p>K52 その他の非感染性胃腸炎および非感染性大腸炎 K52.0 放射線による胃腸炎および大腸炎</p>	<p>K52 その他の非感染性胃腸炎及び非感染性大腸炎 K52.0 放射線による胃腸炎及び大腸炎</p>	<p><b>K52 Other noninfective gastroenteritis and colitis</b> <b>K52.0 Gastroenteritis and colitis due to radiation</b></p>

No.	現行	提提案	WHO 勧告 (原文)
186	K52.1 中毒性胃腸炎および大腸炎 毒性物質の分類が必要な場合は、追加外因コード (XX 章) を使用する。	K52.1 中毒性胃腸炎及び大腸炎 薬物誘発性の胃腸炎および大腸炎 薬物誘発性又は毒性物質で、薬物の同定が必要な場合は、追加外因コード (XX 章) を使用する。	<b>K52</b> Other noninfective gastroenteritis and colitis <b>K52.1</b> Toxic gastroenteritis and colitis <u>Drug-induced gastroenteritis and colitis</u>  Use additional external cause code (Chapter XX), if desired, to identify <u>drug, if drug-induced, or</u> toxic agent
187	K52.2 アレルギー性および食事性胃腸炎および大腸炎 食物過敏性胃腸炎または大腸炎	K52.2 アレルギー性及び食事性胃腸炎及び大腸炎 食物過敏性胃腸炎又は大腸炎  K52.3 分類不能大腸炎	<b>K52.2</b> Allergic and dietetic gastroenteritis and colitis Food hypersensitivity gastroenteritis or colitis <b>K52.3</b> Indeterminate colitis
188	K52.8 その他の明示された非感染性胃腸炎および非感染性大腸炎 好酸球 (増加) 性胃炎または胃腸炎	K52.8 その他の明示された非感染性胃腸炎及び非感染性大腸炎 膠原性大腸炎 好酸球 (増加) 性胃炎又は胃腸炎 リンパ球性大腸炎 顕微鏡的大腸炎 (膠原性大腸炎又はリンパ球性大腸炎)	<b>K52.8</b> Other specified noninfective gastroenteritis and colitis <u>Collagenous colitis</u> Eosinophilic gastritis or gastroenteritis <u>Lymphocytic colitis</u> <u>Microscopic colitis (collagenous colitis or lymphocytic colitis)</u>
189	K52.9 非感染性胃腸炎および非感染性大腸炎, 詳細不明 下痢 腸炎 回腸炎 空腸炎 S 状結腸炎 非感染性と明示されたもの ★原因が非感染性と推定される国における NOS のもの (★日本では使用しない)  除外: 大腸炎, 胃腸炎, 腸炎, 下痢: ・感染性 (A09) ・原因が感染性と推定される国における詳細不明のもの (A09) 心因性下痢 (F45.3) 機能性下痢 (K59.1) 新生児の下痢症 (非感染性) (P78.3)	K52.9 非感染性胃腸炎及び非感染性大腸炎, 詳細不明 下痢 腸炎 回腸炎 空腸炎 S 状結腸炎 非感染性と明示されたもの  除外: 大腸炎, 胃腸炎, 腸炎, 下痢: ・感染性 (A09.0) ・原因が詳細不明のもの (A09.9) 機能性下痢 (K59.1) 新生児の下痢症 (非感染性) (P78.3) 心因性下痢 (F45.3)	<b>K52.9</b> Noninfective gastroenteritis and colitis, unspecified Diarrhoea   Enteritis   specified as <del>noninfective noninfectious, or NOS</del> Ileitis } <del>in countries where the conditions can be-</del> Jejunitis   <del>presumed to be of non-infectious origin</del> Sigmoiditis    <b>Excludes:</b> colitis, diarrhoea, enteritis, gastroenteritis: - infectious (A09.0) - unspecified <del>in countries where the condition can be presumed to be of</del> <del>infectious origin (A09) origin (A09.9)</del> functional diarrhoea (K59.1) neonatal diarrhoea (noninfective) (P78.3) psychogenic diarrhoea (F45.3)
190	腸のその他の疾患 (K55-K63)	腸のその他の疾患 (K55-K64)	Other diseases of intestines (K55-K63 K64)
191	K59.3 巨大結腸、他に分類されないもの 除外: 巨大結腸(下記におけるもの): ・シャガス <Chagas> 病 (B57.3) ・先天性(無神経節性) (Q43.1) ・ヒルシュスプルング <Hirschsprung> 病 (Q43.1)	K59.3 巨大結腸、他に分類されないもの 除外: 巨大結腸 (下記におけるもの): ・シャーガス <Chagas> 病 (B57.3) ・クロストリジウム・ディフィシル (A04.7) ・先天性 (無神経節性) (Q43.1) ・ヒルシュスプルング <Hirschsprung> 病 (Q43.1)	<b>K59.3</b> Megacolon, not elsewhere classified <b>Excludes:</b> megacolon (due to)(in): ・ Chagas' disease (B57.3) ・ <u>Clostridium difficile (A04.7)</u> ・ congenital (aganglionic) (Q43.1) ・ Hirschsprung's disease (Q43.1)
192	K62 肛門および直腸のその他の疾患 包含: 肛門管 除外: 結腸瘻 <人工肛門> および小腸瘻の機能障害 (K91.4) 便失禁 (R15) 痔核 (I84.-) 潰瘍性直腸炎 (K51.2)	K62 肛門および直腸のその他の疾患 包含: 肛門管 除外: 結腸瘻 <人工肛門> および小腸瘻の機能障害 (K91.4) 便失禁 (R15) 痔核 (K64.-) 潰瘍性直腸炎 (K51.2)	<b>K62</b> Other diseases of anus and rectum <b>Includes:</b> anal canal <b>Excludes:</b> colostomy and enterostomy malfunction (K91.4) faecal incontinence (R15) haemorrhoids (I84.-K64.-) ulcerative proctitis (K51.2)
193	K63.0 腸膿瘍	K63.0 腸膿瘍	<b>K63.0</b> Abscess of intestine

No.	現行	提要案	WHO 勧告 (原文)
	除外：膿瘍： ・虫垂 (K35.1) ・肛門部および直腸部 (K61.-) 憩室性疾患を伴うもの (K57.-) K63.1 腸穿孔 (非外傷性) 除外：穿孔 (非外傷性)： ・十二指腸 (K26.-) ・虫垂 (K35.0) 憩室性疾患を伴うもの (K57.-)	除外：膿瘍： ・肛門部および直腸部 (K61.-) ・虫垂 (K35.3) 憩室性疾患を伴うもの (K57.-) K63.1 腸穿孔 (非外傷性) 除外：穿孔 (非外傷性)： ・虫垂 (K35.-) ・十二指腸 (K26.-) 憩室性疾患を伴うもの (K57.-)	<i>Excludes:</i> abscess of: • anal and rectal regions (K61.-) • appendix ( <del>K35.1</del> K35.3) with diverticular disease (K57.-) <b>K63.1 Perforation of intestine (nontraumatic)</b> <i>Excludes:</i> perforation (nontraumatic) of: • appendix (K35.0 <sub>2</sub> ) • duodenum (K26.-) with diverticular disease (K57.-)
194	K63.0 腸膿瘍 除外：膿瘍： ・肛門部および直腸部 (K61.-) ・虫垂 (K35.1) 憩室性疾患を伴うもの (K57.-) K63.1 腸穿孔 (非外傷性) 除外：穿孔 (非外傷性)： ・虫垂 (K35.0) ・十二指腸 (K26.-) 憩室性疾患を伴うもの (K57.-)	K63.0 腸膿瘍 除外：膿瘍： ・肛門部および直腸部 (K61.-) ・虫垂 (K35.3) 憩室性疾患を伴うもの (K57.-) K63.1 腸穿孔 (非外傷性) 除外：穿孔 (非外傷性)： ・虫垂 (K35.2, K35.3) ・十二指腸 (K26.-) 憩室性疾患を伴うもの (K57.-)	<b>K63.0 Abscess of intestine</b> <i>Excludes:</i> abscess of: • anal and rectal regions (K61.-) • appendix ( <del>K35.1</del> K35.3) with diverticular disease (K57.-) <b>K63.1 Perforation of intestine (nontraumatic)</b> <i>Excludes:</i> perforation (nontraumatic) of: • appendix ( <del>K35.0</del> K35.2, K35.3) • duodenum (K26.-) with diverticular disease (K57.-)
195		<b>K64 痔核及び肛門周囲静脈血栓症</b> 包含：痔 除外：合併症： ・産じょく<褥>における痔核 (87.2) ・妊娠 (O22.4) <b>K64.0 第1度痔核</b> グレード/ステージ I 痔核 痔核 (出血性), 脱肛を伴わない <b>K64.1 第2度痔核</b> グレード/ステージ II 痔核 痔核 (出血性), 努責により脱肛するが, 自然に還納する。 <b>K64.2 第3度痔核</b> グレード/ステージ III 痔核 痔核 (出血性), 努責により脱肛し, 用指的還納を必要とする。 <b>K64.3 第4度痔核</b> グレード/ステージ IV 痔核 痔核 (出血性), 脱肛を伴い用指的に還納できない <b>K64.4 痔核性遺残皮膚突起</b> 肛門皮垂 <b>K64.5 肛門周囲静脈血栓症</b> 肛門周囲血腫 <b>K64.8 その他の明示された痔核</b> <b>K64.9 痔核, 詳細不明</b> 痔核 (出血性)： ・NOS ・重症度の言及がないもの	<b>K64 Haemorrhoids and perianal venous thrombosis</b> <i>Includes:</i> piles <i>Excludes:</i> complicating: • childbirth and the puerperium (O87.2) • pregnancy (O22.4) <b>K64.0 First degree haemorrhoids</b> Grade/stage I haemorrhoids Haemorrhoids (bleeding) without prolapse outside of anal canal <b>K64.1 Second degree haemorrhoids</b> Grade/stage II haemorrhoids Haemorrhoids (bleeding) that prolapse with straining, but retract spontaneously <b>K64.2 Third degree haemorrhoids</b> Grade/stage III haemorrhoids Haemorrhoids (bleeding) that prolapse with straining and require manual replacement back inside anal canal <b>K64.3 Fourth degree haemorrhoids</b> Grade/stage IV haemorrhoids Haemorrhoids (bleeding) with prolapsed tissue that cannot be manually replaced <b>K64.4 Residual haemorrhoidal skin tags</b> Skin tags of anus or rectum <b>K64.5 Perianal venous thrombosis</b> Perianal haematoma <b>K64.8 Other specified haemorrhoids</b> <b>K64.9 Haemorrhoids, unspecified</b> Haemorrhoids (bleeding): • NOS • without mention of degree

No.	現行	提提案	WHO 勧告 (原文)
196	<p>K72 肝不全, 他に分類されないもの            包含: 肝性:            ・昏睡 NOS            ・脳症 NOS            黄色肝萎縮またはジストロフィー            肝(細胞)え&lt;壊&gt;死, 肝不全を伴うもの            肝炎:            ・急性            ・劇症            ・malignant            除外:</p> <p>K72.0 急性および亜急性肝不全</p> <p>K75 その他の炎症性肝疾患            除外: ウイルス肝炎 (B15-B19)            中毒性肝疾患 (K71.-)            急性または亜急性 (K72.0)            慢性肝炎 NEC (K73.-)</p>	<p>K72 肝不全, 他に分類されないもの            包含: 肝性:            ・昏睡 NOS            ・脳症 NOS            黄色肝萎縮またはジストロフィー            肝(細胞)え&lt;壊&gt;死, 肝不全を伴うもの            肝炎:            ・劇症            ・malignant            除外:</p> <p>K72.0 急性および亜急性肝不全            急性非ウイルス性肝炎 NOS</p> <p>K75 その他の炎症性肝疾患            除外: 慢性肝炎 NEC (K73.-)            肝炎:            ・急性または亜急性            ・NOS (B17.9)            ・非ウイルス性 (K72.0)            ・ウイルス (B15-B19)            ・中毒性肝疾患 (K71.-)</p>	<p><b>K72 Hepatic failure, not elsewhere classified</b>  <i>Includes:</i> hepatic:            ・coma NOS            ・encephalopathy NOS            hepatitis:            ・acute }            ・fulminant } NEC, with hepatic failure            ・malignant }            liver (cell) necrosis with hepatic failure            yellow liver atrophy or dystrophy  <i>Excludes:</i> ...</p> <p><b>K72.0 Acute and subacute hepatic failure</b>  <u>Acute non-viral hepatitis NOS</u></p> <p><b>K75 Other inflammatory liver diseases</b>  <i>Excludes:</i> chronic hepatitis NEC (K73.-)            hepatitis:            ・acute or subacute, (K72.0):            ・NOS (-B17.9)            ・non-viral (K72.0)            ・viral (B15-B19)            toxic liver disease (K71.-)</p>
197	<p>K75.8 その他の明示された炎症性肝疾患</p> <p>K76 その他の肝疾患            K76.0 脂肪肝&lt;肝の脂肪化&gt;, 他に分類されないもの</p>	<p>K75.8 その他の明示された炎症性肝疾患            非アルコール性脂肪性肝炎 (NASH)</p> <p>K76 その他の肝疾患            K76.0 脂肪肝&lt;肝の脂肪化&gt;, 他に分類されないもの            非アルコール性脂肪性肝疾患 (NAFLD)            除外: 非アルコール性脂肪性肝炎 (K75.8)</p>	<p><b>K75.8 Other specified inflammatory liver diseases</b>  <u>Nonalcoholic steatohepatitis (NASH)</u></p> <p><b>K76 Other diseases of liver</b>  <b>K76.0 Fatty(change of) liver, not elsewhere classified</b>  <u>Nonalcoholic fatty liver disease (NAFLD)</u>  <i>Excludes:</i> nonalcoholic steatohepatitis (K75.8)</p>
198	<p>K76.8 その他の明示された肝疾患            肝限局性結節性過形成            肝下垂(症)</p>	<p>K76.8 その他の明示された肝疾患            単純性肝のう&lt;囊&gt;胞            肝限局性結節性過形成            肝下垂(症)</p>	<p><b>K76.8 Other specified diseases of liver</b>  <u>Simple cyst of liver</u>            Focal nodular hyperplasia of liver            Hepatoptosis</p>
199	<p>K85 急性膵炎            膵炎:            ・NOS            ・急性(再発性)            ・亜急性            ・出血性            ・化膿性            膵膿瘍            急性膵え&lt;壊&gt;死</p>	<p>K85 急性膵炎            膵膿瘍            膵え&lt;壊&gt;死:            ・急性            ・感染性            膵炎:            ・NOS            ・急性(再発性)            ・出血性</p>	<p><b>K85 Acute pancreatitis</b>            Abscess of pancreas            Necrosis of pancreas:            ・acute            ・infective            Pancreatitis:            ・NOS            ・acute (recurrent)            ・haemorrhagic            ・subacute</p>

No.	現行	提要案	WHO勧告 (原文)
	感染性瘰癧<壊>死	<ul style="list-style-type: none"> <li>・亜急性</li> <li>・化膿性</li> </ul> <p>K85.0 特発性急性膵炎</p> <p>K85.1 胆石性急性膵炎 胆石性膵炎</p> <p>K85.2 アルコール性急性膵炎</p> <p>K85.3 薬物性急性膵炎 薬物の同定が必要な場合は、追加外因コード (XX 章) を使用する。</p> <p>K85.8 その他の急性膵炎</p> <p>K85.9 急性膵炎, 詳細不明</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ suppurative</li> </ul> <p><b>K85.0 Idiopathic acute pancreatitis</b></p> <p><b>K85.1 Biliary acute pancreatitis</b> Gallstone pancreatitis</p> <p><b>K85.2 Alcohol-induced acute pancreatitis</b></p> <p><b>K85.3 Drug-induced acute pancreatitis</b> Use additional external cause code (Chapter XX), if desired, to identify drug</p> <p><b>K85.8 Other acute pancreatitis</b></p> <p><b>K85.9 Acute pancreatitis, unspecified</b></p>
200	K92.1 メレナ	K92.1 メレナ 除外: 便潜血 (R19.5)	<b>K92.1 Melaena</b> <i>Excludes:</i> occult blood in faeces (R19.5)
201	L08.0 膿皮症 化膿性皮膚炎 敗血症性皮膚炎	L08.0 膿皮症 化膿性皮膚炎 敗血症性皮膚炎 え<壊>疽性皮膚炎	<b>L08.0 Pyoderma</b> Dermatitis: ・ gangrenosa purulent
202	皮膚炎および湿疹 (L20 - L30) 除外: 慢性 (小児性)肉芽腫症(D71) 皮膚炎 ・皮膚乾燥性 (L85.3) ・人工 (L98.1) ・え<壊>疽性 (L88)	皮膚炎および湿疹 (L20 - L30) 除外: 慢性 (小児性) 肉芽腫症 (D71) 皮膚炎 ・乾皮症 (L85.3) ・人工 (L98.1) ・え<壊>疽性 (L08.0)	Dermatitis and eczema (L20 - L30) <i>Excludes:</i> chronic (childhood) granulomatous disease (D71) dermatitis ・ dry skin (L85.3) ・ factitial (L98.1) ・ gangrenosa (L88)(L08.0)
203	L41 類乾せん<癬>  L41.0 急性痘瘡状苔せん<癬> 状ひこく<靴糠> 疹 L41.1 慢性苔せん<癬> 状ひこく<靴糠> 疹 L41.2 リンパ腫様丘疹症	L41 類乾せん<癬>  L41.0 急性痘瘡状苔せん<癬> 状ひこく<靴糠> 疹 L41.1 慢性苔せん<癬> 状ひこく<靴糠> 疹	<b>L41 Parapsoriasis</b>  <b>L41.0 Pityriasis lichenoides et varioliformis acuta</b> <b>L41.1 Pityriasis lichenoides chronica</b> <b>L41.2 Lymphomatoid papulosis</b>
204	L88 え<壊>疽性膿皮症 え<壊>疽性皮膚炎 侵食<蝕>性膿皮症	L88 え<壊>疽性膿皮症  侵食<蝕>性膿皮症 除外: え<壊>疽性皮膚炎 (L08.0)	<b>L88 Pyoderma gangrenosum</b> Dermatitis gangrenosa Phagedenic pyoderma  <i>Excludes:</i> dermatitis gangrenosa (L08.0)
205	L89 じょく<褥>瘡性潰瘍 じょく<褥>瘡 ギブス (包帯) 性潰瘍 圧迫性潰瘍  除外: 子宮頸 (部) のじょく<褥>瘡性 (栄養性) 潰瘍 (N86)	L89 じょく<褥>瘡性潰瘍及び圧迫領域 包含: じょく<褥>瘡 ギブス (包帯) 性潰瘍 注: ステージが異なる複数の部位がある場合は、最も高いステージを示すコード1つのみを割り当てる。  除外: 子宮頸 (部) のじょく<褥>瘡性 (栄養性) 潰瘍 (N86)	<b>L89 Decubitus ulcer and pressure area</b> <i>Incl.:</i> Bedsore Plaster ulcer Pressure ulcer  <i>Note:</i> For multiple sites of differing stages assign only one code indicating the highest stage.  <i>Excludes:</i> decubitus (trophic) ulcer of cervix (uteri) (N86)

No.	現行	提 要 案	WHO 勧告 (原文)
		<p><b>L89.0</b> ステージ I じょくく褥&gt;瘡性潰瘍及び圧迫領域 皮膚の欠損を伴わず、潰瘍は、薄く色素沈着のある皮膚では、持続的な赤みがかかった色調（紅斑）、より暗い色調の皮膚では、持続的な赤、青又は紫の色調として認められる。 紅斑のみに限定されるじょくく褥&gt;瘡性 [圧迫性] 潰瘍</p> <p><b>L89.1</b> ステージ II じょくく褥&gt;瘡性潰瘍 下記を伴うじょくく褥&gt;瘡性 [圧迫性] 潰瘍 ・擦過傷 ・水疱 ・表皮及び/又は真皮を含む皮膚の部分的欠損 ・皮膚の欠損 NOS</p> <p><b>L89.2</b> ステージ III じょくく褥&gt;瘡性潰瘍 皮下組織の傷害又はえく壊&gt;死を含む皮膚全層の欠損を伴うじょくく褥&gt;瘡性 [圧迫性] 潰瘍、下床の筋膜までの範囲に及ぶもの</p> <p><b>L89.3</b> ステージ IV じょくく褥&gt;瘡性潰瘍 筋肉、骨、支持構造（即ち、腱又は関節包）のえく壊&gt;死を伴うじょくく褥&gt;瘡性 [圧迫性] 潰瘍</p> <p><b>L89.9</b> じょくく褥&gt;瘡性潰瘍及び圧迫領域、詳細不明 じょくく褥&gt;瘡性 [圧迫性] 潰瘍、ステージの記載がないもの</p>	<p><b>L89.0</b> <b>Stage I decubitus ulcer and pressure area</b> Decubitus [pressure] ulcer limited to erythema only  <i>Note: The ulcer appears as a defined area of persistent redness (erythema) in lightly pigmented skin, whereas in darker skin tones, the ulcer may appear with persistent red, blue or purple hues, without skin loss.</i></p> <p><b>L89.1</b> <b>Stage II decubitus ulcer</b> Decubitus [pressure] ulcer with: •abrasion •blister •partial thickness skin loss involving epidermis and/or dermis •skin loss NOS</p> <p><b>L89.2</b> <b>Stage III decubitus ulcer</b> Decubitus [pressure] ulcer with full thickness skin loss involving damage or necrosis of subcutaneous tissue extending to underlying fascia</p> <p><b>L89.3</b> <b>Stage IV decubitus ulcer</b> Decubitus [pressure] ulcer with necrosis of muscle, bone or supporting structures (ie tendon or joint capsule)</p> <p><b>L89.9</b> <b>Decubitus ulcer and pressure area, unspecified</b> Decubitus [pressure] ulcer without mention of stage</p> <p>※第3回部会資料から訳を微修正</p>
206	<p>L91.0 ケロイド癬痕 肥大性癬痕 除外：ケロイド瘡瘡&lt;アクネ&gt; (L73.0) 癬痕 NOS (L90.5)</p>	<p>L91.0 肥厚性癬痕 ケロイド癬痕 除外：ケロイド瘡瘡&lt;アクネ&gt; (L73.0) 癬痕 NOS (L90.5)</p>	<p><b>L91.0 Keloid scar</b> <b>Hypertrophic scar</b> Hypertrophic-Keloid scar Excludes: acne keloid (L73.0) scar NOS (L90.5) ※第3回告示資料から抜けていたため追加</p>
207	<p>L97 下肢の潰瘍、他に分類されないもの 除外：A00—B99 に分類される感染症 じょくく褥&gt;瘡性潰瘍 (L89) 静脈瘤性潰瘍 (I83.0, I83.2) えく壊&gt;疽&lt;脱疽&gt; (R02) 皮膚感染症 (L00—L08)</p> <p>L98 皮膚および皮下組織のその他の障害、他に分類されないもの</p> <p>L98.4 皮膚の慢性潰瘍、他に分類されないもの 皮膚の慢性潰瘍 NOS 皮膚の潰瘍 NOS 熱帯性潰瘍 NOS 除外：A00—B99 に分類される感染症 静脈瘤性潰瘍 (I83.0, I83.2) 皮膚感染症 (L00—L08) じょくく褥&gt;瘡性潰瘍 (L89) 下肢の潰瘍 NEC (L97)</p>	<p>L97 下肢の潰瘍、他に分類されないもの 除外：じょくく褥&gt;瘡性 [圧迫性] 潰瘍及び圧迫領域 (L89.-) えく壊&gt;疽&lt;脱疽&gt; (R02) 皮膚感染症 (L00—L08) A00—B99 に分類される感染症 静脈瘤性潰瘍 (I83.0, I83.2)</p> <p>L98 皮膚及び皮下組織のその他の障害、他に分類されないもの</p> <p>L98.4 皮膚の慢性潰瘍、他に分類されないもの 皮膚の慢性潰瘍 NOS 熱帯性潰瘍 NOS 皮膚の潰瘍 NOS 除外：じょくく褥&gt;瘡性 [圧迫性] 潰瘍及び圧迫領域 (L89.-) えく壊&gt;疽&lt;脱疽&gt; (R02) 皮膚感染症 (L00—L08)</p>	<p><b>L97 Ulcer of lower limb, not elsewhere classified</b>  <i>Excludes:</i> decubitus [pressure] ulcer and pressure area (L89,-) gangrene (R02) skin infections (L00—L08) specific infections classified to A00—B99 varicose ulcer (I83.0, I83.2)</p> <p><b>L98 Other disorders of skin and subcutaneous tissue, not elsewhere classified</b></p> <p><b>L98.4 Chronic ulcer of skin, not elsewhere classified</b> Chronic ulcer of skin NOS Tropical ulcer NOS Ulcer of skin NOS  <i>Excludes:</i> decubitus [pressure] ulcer and pressure area (L89,-) gangrene (R02) skin infections (L00—L08) specific infections classified to A00—B99 ulcer of lower limb NEC (L97) varicose ulcer (I83.0, I83.2)</p>



No.	現行	提要案	WHO勧告 (原文)
	え<壊>疽<脱疽> (R02)	A00 – B99 に分類される感染症 下肢の潰瘍 NEC (L97) 静脈瘤性潰瘍 (I83.0, I83.2)	
208	L98.5 皮膚のムチン (沈着) 症 病巣性ムチン (沈着) 症 粘液水腫性苔せん<癬> 除外: 粘液水腫 (E03.9) 病巣性口腔ムチン (沈着) 症 (K13.7)	L98.5 皮膚のムチン (沈着) 症 病巣性ムチン (沈着) 症 粘液水腫性苔せん<癬> 網状紅斑性ムチン (沈着) 症 除外: 病巣性口腔ムチン (沈着) 症 (K13.7) 粘液水腫 (E03.9)	<b>L98.5 Mucinosis of skin</b> Focal mucinosis Lichen myxoedematosus Reticular erythematous mucinosis <b>Excludes:</b> focal oral mucinosis (K13.7) myxoedema (E03.9)
209	第XIII章 筋骨格系および結合組織の疾患  全身性結合組織障害 (M30–M36)  包含: 自己免疫疾患, 全身性またはNOS 膠原 (血管) 病, 全身性またはNOS  除外: 自己免疫疾患, 単独臓器型または単独細胞型 (該当する病態の分類項目にコードする)	第XIII章 筋骨格系及び結合組織の疾患  全身性結合組織障害 (M30 – M36)  包含: 自己免疫疾患, 全身性又はNOS 膠原 (血管) 病, 全身性又はNOS  除外: 抗リン脂質抗体症候群 (D68.6) 自己免疫疾患, 単独臓器型または単独細胞型 (該当する病態の分類項目にコードする)	Chapter XIII  <b>Diseases of the musculoskeletal system and connective tissue (M00-M99)</b>  <b>Systemic connective tissue disorders (M30-M36)</b>  <i>Includes:</i> autoimmune disease: · NOS · systemic collagen (vascular) disease: · NOS · systemic <i>Excludes:</i> antiphospholipid syndrome (D68.6) autoimmune disease, single organ or single cell-type (code to relevant condition category)
210	M00 化膿性関節炎 [部位コードは章の冒頭を参照]	M00 化膿性関節炎 [部位コードは章の冒頭を参照]  除外: 体内関節プロステーシスによる感染症および炎症性反応 (T84.5)	<b>M00 Pyogenic arthritis</b> [See site code at the beginning of this chapter]  <b>Excludes:</b> <a href="#">infection and inflammatory reaction due to internal joint prosthesis (T84.5)</a>
211	M10.3 腎機能障害による痛風	M10.3 腎機能障害による痛風 腎疾患の障害の分類が必要な場合は, 追加コードを使用する (N17–N19)。	<b>M10.3 Gout due to impairment of renal function</b> <u>Use additional code, if desired, to identify impairment of kidney disease (N17-N19)</u>
212	M24.8 その他の明示された関節内障、他に分類されないもの 過敏性股 (関節)	M24.8 その他の明示された関節内障、他に分類されないもの	<b>M24.8 Other specific joint derangements, not elsewhere classified</b> Irritable hip  ※第3回部会資料から抜けていたため追加
213		<b>M31.7 顕微鏡的多発 (性) 血管炎</b> 顕微鏡的多発 (性) 動脈炎 除外: 結節性多発 (性) 動脈炎 (M30.0)	<b>M31.7 Microscopic polyangiitis</b> Microscopic polyarteritis <b>Excludes:</b> polyarteritis nodosa (M30.0)
214	M36.1* 新生物性疾患における関節症 (C00–D48+) 下記における関節障害: ・多発性骨髄腫 (C90.0+) ・白血病 (C91–C95+)	M36.1* 新生物<腫瘍>性疾患における関節症 (C00–D48+) 下記における関節障害: ・白血病 (C91–C95+) ・悪性組織球症 (C96.8+)	<b>M36.1* Arthropathy in neoplastic disease (C00-D48†)</b> Arthropathy in: • leukaemia (C91-C95†) • malignant histiocytosis (C96.4†) • multiple myeloma (C90.0†)

No.	現行	提要案	WHO勧告 (原文)
	・悪性組織球症 (C96.1+)	・多発性骨髄腫 (C90.0+)	
215	M65.8 その他の滑膜炎および腱鞘炎	M65.8 その他の滑膜炎及び腱鞘炎 過敏性股 (関節)	<b>M65.8 Other synovitis and tenosynovitis</b> <u>Irritable hip</u>
216	M70 使用, 使い過ぎおよび圧迫に関連する軟部組織障害 包含: 職業に起因する軟部組織障害 除外: 滑液包炎: ・NOS (M71.9) ・肩 (M75.5) 腱 (靭帯) 付着部症 (M76-M77)	M70 使用, 使い過ぎ及び圧迫に関連する軟部組織障害 包含: 職業に起因する軟部組織障害 除外: 滑液包炎: ・NOS (M71.9) ・肩 (M75.5) じょくく褥>瘡性潰瘍及び圧迫領域 (L89.-) 腱 (靭帯) 付着部症 (M76-M77)	<b>M70 Soft tissue disorders related to use, overuse and pressure</b> <i>Includes:</i> soft tissue disorders of occupational origin <i>Excludes:</i> bursitis (of): • NOS (M71.9) • shoulder (M75.5) <u>decubitus ulcer and pressure area (L89.-)</u> enthesopathies (M76-M77)
217	M79.0 リウマチ, 詳細不明 線維筋 (肉) 痛 結合組織炎 除外: 回帰性リウマチ (M12.3)	M79.0 リウマチ, 詳細不明 除外: 線維筋痛症 (M79.7) 回帰性リウマチ (M12.3) M79.7 線維筋痛症 線維筋炎 結合組織炎 筋線維膜炎	<b>M79.0 Rheumatism, unspecified</b> Fibromyalgia Fibrositis <i>Excludes:</i> fibromyalgia (M79.7) <b>M79.7 Fibromyalgia</b> Fibromyositis Fibrositis Myofibrositis ※第3回部会資料から訳を微修正
218	M85.8 骨の密度および構造のその他の明示された障害 骨増殖症, 頭蓋を除く 除外: 全身性特発性骨増殖症 [DISH] (M48.1)	M85.8 骨の密度及び構造のその他の明示された障害 骨増殖症, 頭蓋を除く 骨硬化症, 後天性 除外: 全身性特発性骨増殖症 [DISH] (M48.1) 骨硬化症: •先天性 (Q77.4) •骨髄線維症 (D75.8)	<b>M85.8 Other specified disorders of bone density and structure</b> Hyperostosis of bones, except skull <u>Osteosclerosis, acquired</u> <i>Excludes:</i> diffuse idiopathic skeletal hyperostosis [DISH] (M48.1-) osteosclerosis: • congenita (Q77.4) • myelofibrosis (D75.8)
219	M87 骨えく壊>死 [部位コードは524~525ページを参照] 包含: 骨の阻血性えく壊>死 除外: 骨軟骨症<骨端症> (M91-M93)	M87 骨えく壊>死 [部位コードは524~525ページを参照] 包含: 骨の阻血性えく壊>死 除外: 骨軟骨症<骨端症> (M91-M93) 顎の骨えく壊>死 (薬物誘発) (放射線誘発) (K10.2)	<b>M87 Osteonecrosis</b> [See site code at the beginning of this chapter] <i>Includes:</i> avascular necrosis of bone <i>Excludes:</i> osteochondropathies (M91-M93) <u>osteonecrosis of jaw (drug-induced)(radiation-induced) (K10.2)</u>
220	M87.1 薬物による骨えく壊>死 薬物の分類が必要な場合は, 追加外因コード (XX章) を使用する。	M87.1 薬物による骨えく壊>死 薬物の分類が必要な場合は, 追加外因コード (XX章) を使用する。 除外: 顎の骨えく壊>死 (K10.2)	<b>M87.1 Osteonecrosis due to drugs</b> Use additional external cause code (Chapter XX), if desired, to identify drug. <i>Excludes:</i> osteonecrosis of jaw (K10.2) ※第3回部会資料から抜けていたため, 追加
221	M89.6 急性灰白髄炎<ポリオ>後骨障害 既往の急性灰白髄炎<ポリオ>の分類が必要な場合は, 追加コード (B91) を使用する。	M89.6 急性灰白髄炎<ポリオ>後骨障害 既往の急性灰白髄炎<ポリオ>の分類が必要な場合は, 追加コード (B91) を使用する。 除外: ポリオ後症候群 (G14)	<b>M89.6 Osteopathy after poliomyelitis</b> Use additional code (B91), if desired, to identify previous poliomyelitis. <i>Excludes:</i> postpolio syndrome (G14)
222	M94.0 肋軟骨骨結合症候群 [ティーツェ<Tietze>病]	M94.0 肋軟骨骨結合症候群 [ティーツェ<Tietze>病]	<b>M94.0 Chondrocostal junction syndrome [Tietze]</b> <u>Costochondritis</u>

No.	現行	提提案	WHO勧告 (原文)
		肋軟骨炎	
223	糸球体疾患 (N00—N08)  外因 (第XX章) または腎不全 (N17—N19) の存在の分類が必要な場合は、追加コードを使用する。 除外：高血圧性腎疾患 (I12.—)	糸球体疾患 (N00—N08) 慢性腎臓病 (N18.—) に関連する分類が必要な場合は、追加コードを使用する (N18.—)。 外因 (第XX章) 又は急性 (N17)、慢性 (N18) もしくは詳細不明 (N19) の腎不全の存在の分類が必要な場合は、追加コードを使用する。 除外：高血圧性腎疾患 (I12.—)	<b>Glomerular diseases (N00—N08)</b> Use additional code, if desired, to identify associated chronic kidney disease (N18.—) Use additional code, if desired, to identify external cause (Chapter XX) or presence of renal failure, (N17—N19) Acute (N17), Chronic(N18.—), or Unspecified (N19) Excludes: hypertensive renal disease (I12.—)
224	N03 慢性腎炎症候群 [細分類は574ページを参照] 包含：慢性： ・糸球体疾患 ・糸球体腎炎 ・腎炎 ・腎疾患 NOS 除外：腎炎症候群 NOS (N05.—) 慢性尿細管間質性腎炎 (N11.—) びまん性硬化性糸球体腎炎 (N18.—)	N03 慢性腎炎症候群 [細分類は574ページを参照] 包含：慢性： ・糸球体疾患 ・糸球体腎炎 ・腎炎  除外：慢性尿細管間質性腎炎 (N11.—) びまん性硬化性糸球体腎炎 (N18.—) 腎炎症候群 NOS (N05.—)	<b>N03 Chronic nephritic syndrome</b> [Note: See before N00 for subdivisions] Includes: chronic: ・ glomerular disease ・ glomerulonephritis ・ nephritis ・ renal disease NOS Excludes: chronic tubulo-interstitial nephritis (N11.—) diffuse sclerosing glomerulonephritis (N18.—) nephritic syndrome NOS (N05.—)
225	N05 詳細不明の腎炎症候群 [細分類は574ページを参照] 包含：糸球体疾患 糸球体腎炎 腎炎 NOS  574ページの0—8で明示された形態学的病変を伴う腎症<ネフロパシー> NOSおよび腎疾患 NOS 除外：尿細管間質性腎炎 NOS (N12) 形態学的病変の明示されない腎症<ネフロパシー> NOS (N28.9) 原因の明示されない腎疾患 NOS (N28.9)	N05 詳細不明の腎炎症候群 [細分類は574ページを参照] 包含：糸球体疾患 糸球体腎炎 腎炎 NOS  574ページの0—8で明示された形態学的病変を伴う腎症<ネフロパシー> NOS及び腎疾患 NOS 除外：尿細管間質性腎炎 NOS (N12) 形態学的病変の明示されない腎症<ネフロパシー> NOS (N28.9) 形態学的病変の明示されない腎疾患 NOS (N28.9)	<b>N05 Unspecified nephritic syndrome</b>  Excludes: nephropathy NOS with no stated <u>morphological lesion</u> (N28.9) renal disease NOS with no stated <u>morphological lesion</u> (N28.9)
226	N08.5* 全身性結合組織障害における糸球体障害 下記における糸球体障害： ・結節性多発(性)動脈炎 (M30.0+) ・グッドパスチャー<Goodpasture>症候群 (M31.0+) ・血栓性血小板減少性紫斑病 (M31.1+) ・ウェゲ<ジ>ナー<Wegener>肉芽腫症 (M31.3+) ・全身性エリテマトーデス<紅斑性狼瘡> <SLE> (M32.1+)	N08.5* 全身性結合組織障害における糸球体障害 下記における糸球体障害： ・グッドパスチャー<Goodpasture>症候群 (M31.0+) ・顕微鏡的多発(性)血管炎 (M31.7+) ・全身性エリテマトーデス<紅斑性狼瘡> <SLE> (M32.1+) ・血栓性血小板減少性紫斑病 (M31.1+) ・ウェゲ<ジ>ナー<Wegener>肉芽腫 (M31.3+)	<b>N08.5* Glomerular disorders in systemic connective tissue disorders</b> Glomerular disorders in: ・ polyarteritis nodosa (M30.0+) microscopic polyangiitis (M31.7+)
227	腎尿細管間質性疾患 (N10—N16) 包含：腎盂腎炎  除外：のう<嚢>胞性腎盂尿管炎 (N28.8)	腎尿細管間質性疾患 (N10—N16) 包含：腎盂腎炎 慢性腎臓病 (N18.—)に関連する分類が必要な場合は、追加コードを使用する (N18.—) 除外：のう<嚢>胞性腎盂尿管炎 (N28.8)	<b>RENAL TUBULO-INTERSTITIAL DISEASES (N10—N16)</b> Includes: pyelonephritis Use additional code, if desired, to identify associated chronic kidney disease (N18.—) Excludes: pyeloureteritis cystica (N28.8)
228	N17 急性腎不全	N17 急性腎不全 包含：急性腎機能障害	<b>N17 Acute renal failure</b> Includes: acute renal impairment

No.	現行	提 要 案	WHO 勧告 (原文)
229	<p>N18 慢性腎不全 包含：慢性尿毒症 びまん性硬化性糸球体腎炎</p> <p>除外：高血圧（症）を伴う慢性腎不全（I12.0）</p> <p>N18.0 末期腎疾患</p> <p>N18.8 その他の慢性腎不全 尿毒症性： ・ニューロパチ&lt;シ&gt;-†（G63.8*） ・心膜炎†（I32.8*）</p> <p>N18.9 慢性腎不全，詳細不明</p>	<p>N18 慢性腎臓病 包含：慢性尿毒症 びまん性硬化性糸球体腎炎 基礎疾患の分類が必要な場合は，追加コードを使用する。 高血圧症の存在の分類が必要な場合は，追加コードを使用する。 除外：高血圧（症）を伴う慢性腎不全（I12.0）</p> <p>N18.1 慢性腎臓病，ステージ1 GFR 正常値又は亢進（&gt; 90 mL/min）を伴う腎障害</p> <p>N18.2 慢性腎臓病，ステージ2 GFR の軽度低下（60-89 mL/min）を伴う腎障害</p> <p>N18.3 慢性腎臓病，ステージ3 GFR の中度低下（30-59 mL/min）を伴う腎障害</p> <p>N18.4 慢性腎臓病，ステージ4 GFR の重度低下（15-29 mL/min）を伴う腎障害</p> <p>N18.5 慢性腎臓病，ステージ5 慢性尿毒症 末期腎臓病： ・同種移植片不全におけるもの ・NOS ・透析中もの ・透析又は移植を受けないもの 腎性網膜炎†（H32.8*） 尿毒症性： ・卒中†（I68.8*） ・認知症†（F02.8*） ・ニューロパチ&lt;シ&gt;-†（G63.8*） ・麻痺†（G99.8*） ・心膜炎†（I32.8*）</p> <p>N18.9 慢性腎臓病，詳細不明</p>	<p>N18 <del>Chronic renal failure</del> <b>chronic kidney disease</b> <i>Includes:</i> chronic uraemia diffuse sclerosing glomerulonephritis <u>Use additional code, if desired, to identify underlying disease.</u> <u>Use additional code, if desired, to identify presence of hypertension.</u> <i>Excludes:</i> chronic renal failure with hypertension (I12.0)</p> <p><del>N18.0 End stage renal disease</del></p> <p><b>N18.1 Chronic kidney disease, stage 1</b> <u>Kidney damage with normal or increased GFR (&gt; 90 mL/min)</u></p> <p><b>N18.2 Chronic kidney disease, stage 2</b> <u>Kidney damage with mild decreased GFR (60-89 mL/min)</u></p> <p><b>N18.3 Chronic kidney disease, stage 3</b> <u>Kidney damage with moderately decreased GFR (30-59 mL/min)</u></p> <p><b>N18.4 Chronic kidney disease, stage 4</b> <u>Kidney damage with severely decreased GFR (15-29 mL/min)</u></p> <p><b>N18.5 Chronic kidney disease, stage 5</b> <u>Chronic uraemia</u> <u>End stage kidney disease:</u> • <u>in allograft failure</u> • <u>NOS</u> • <u>on dialysis</u> • <u>without dialysis or transplant</u> <u>Renal retinitis†(H32.8*)</u> <u>Uraemic:</u> • <u>apoplexia† (I68.8*)</u> • <u>dementia † (F02.8*)</u> • <u>neuropathy† (G63.8*)</u> • <u>paralysis† (G99.8*)</u> • <u>pericarditis† (I32.8*)</u></p> <p><del>N18.8 Other chronic renal failure</del> <u>Uraemic:</u> • <u>neuropathy† (G63.8*)</u> • <u>pericarditis† (I32.8*)</u></p> <p><b>N18.9 Chronic renal failure kidney disease, unspecified</b></p> <p>※第3回部会資料から訳を修正</p>
230	<p>N19 詳細不明の腎不全 尿毒症 NOS</p> <p>除外：高血圧（症）を伴う腎不全（I12.0） 新生児尿毒症（P96.0）</p>	<p>N19 詳細不明の腎不全 腎機能不全 NOS</p> <p>除外：高血圧（症）を伴う腎不全（I12.0） 新生児尿毒症（P96.0）</p>	<p>N19 <b>Unspecified renal kidney failure</b> <u>Renal insufficiency NOS</u> <u>Uraemia NOS</u> <i>Excludes:</i> <del>renal</del> kidney failure with hypertension (I12.0) uraemia of newborn (P96.0)</p>
231	<p>N19 詳細不明の腎不全 腎機能不全 NOS 除外：高血圧（症）を伴う腎不全（I12.0） 新生児尿毒症（P96.0）</p>	<p>N19 詳細不明の腎不全 腎機能不全 NOS 除外：高血圧（症）による腎不全（I12.0） 新生児尿毒症（P96.0）</p>	<p>N19 <b>Unspecified kidney failure</b> <u>Renal insufficiency NOS</u> <u>Uraemia NOS</u> <i>Excludes:</i> kidney failure <u>with due to</u> hypertension (I12.0) uraemia of newborn (P96.0)</p>

No.	現行	提案案	WHO勧告 (原文)
232	N20 腎結石および尿管結石 除外：水腎症を伴うもの (N13.2)  N20.9 尿路結石, 詳細不明 結石性腎盂腎炎	N20 腎結石及び尿管結石 包含：結石性腎盂腎炎 除外：水腎症を伴うもの (N13.2)  N20.9 尿路結石, 詳細不明	N20 <b>Calculus of kidney and ureter</b> <i>Includes: calculous pyelonephritis</i> <i>Excludes: with hydronephrosis (N13.2)</i>  N20.9 <b>Urinary calculus, unspecified</b> <i>Calculous pyelonephritis</i>
233	N26 詳細不明の萎縮腎 除外：高血圧を伴う萎縮腎(I12)	N26 詳細不明の萎縮腎 除外：高血圧による萎縮腎 (I12)	N26 <b>Unspecified contracted kidney</b> <i>Excludes: contracted kidney with due to hypertension (I12)</i>
234	N29.8* 他に分類されるその他の疾患における腎および尿管のその他の障害	N29.8* 他に分類されるその他の疾患における腎及び尿管のその他の障害 シスチン尿症 (E72.0†)	N29.8* <b>Other disorders of kidney and ureter in other diseases classified elsewhere</b> <i>Cystine storage disease (E72.0†)</i>
235	N32.8 その他の明示された膀胱障害 膀胱： ・石灰化 ・萎縮	N32.8 その他の明示された膀胱障害 膀胱： ・石灰化 ・萎縮 ・過活動	N32.8 <b>Other specified disorders of bladder</b> Bladder: ・ calcified ・ contracted ・ <a href="#">overactive</a>
236	N36.3 尿道粘膜脱 尿道脱 尿道瘤, 男性  除外：尿道瘤, 女性 (N81.0)	N36.3 尿道粘膜脱 尿道脱 尿道瘤, 男性 除外：尿道瘤： ・先天性 (Q64.7) ・女性 (N81.0)	N36.3 <b>Prolapsed urethral mucosa</b> Prolapse of urethra Urethrocele, male  <i>Excludes: urethrocele; female (N81.0)</i> <i>・ congenital (Q64.7)</i> <i>・ female (N81.0)</i>
237	N40 前立腺肥大 (症) 腺腫 (良性) 線維腺腫 線維腫 筋腫 腺線維腫様肥大 腫大 (良性) 肥大 (良性) 中柵 (前立腺) 前立腺性閉塞 NOS 除外：前立腺の腺腫, 線維腫および筋腫を除く良性新生物 (D29.1)	N40 前立腺肥大 (症) 腺線維性肥大 腫大 (良性) 肥大 (良性)  中葉肥大 (前立腺) 前立腺性閉塞 NOS  除外：前立腺の良性新生物 <腫瘍> (D29.1)	N40 <b>Hyperplasia of prostate</b>  Adenofibromatous hypertrophy } Adenoma (benign) } Enlargement (benign) } Fibroadenoma } of prostate Fibroma } Hypertrophy (benign) } Myoma } Median bar (prostate) Prostatic obstruction NOS  <i>Excludes: benign neoplasms, except adenoma, fibroma and myoma of prostate (D29.1)</i>
238		N42.3 前立腺の異形成 低度異形成 除外：前立腺の高度異形成 (D07.5)	N42.3 <b>Dysplasia of prostate</b> <i>Low grade dysplasia</i> <i>Excludes: high grade dysplasia of prostate (D07.5)</i>
239	N81.0 女性尿道瘤  除外： 下記を伴う尿道瘤： ・膀胱瘤 (N81.1) ・子宮脱 (N81.2-N81.4)	N81.0 女性尿道瘤  除外：先天性 (Q64.7) 下記を伴う尿道瘤： ・膀胱瘤 (N81.1) ・子宮脱 (N81.2-N81.4)	N81.0 <b>Female urethrocele</b>  <i>Excludes: congenital (Q64.7)</i> urethrocele with: ・ cystocele (N81.1) ・ prolapse of uterus (N81.2-N81.4)

No.	現行	提案案	WHO勧告 (原文)
240	<p>N85 子宮のその他の非炎症性障害, 子宮頸 (部) を除く 除外: 子宮の炎症性疾患 (N71.—) 子宮体 (部) ポリープ (N84.0) 子宮内膜症 (N80.—) 子宮頸 (部) の非炎症性障害 (N86—N88) 子宮脱 (N81.—)</p>	<p>N85 子宮のその他の非炎症性障害, 子宮頸 (部) を除く 除外: 子宮内膜症 (N80.—) 子宮の炎症性疾患 (N71.—) 子宮頸 (部) の非炎症性障害, 位置異常を除く (N86—N88) 子宮体 (部) ポリープ (N84.0) 子宮脱 (N81.—)</p>	<p><b>N85 Other noninflammatory disorders of uterus, except cervix</b></p> <p><i>Excludes:</i> endometriosis (N80.—) inflammatory diseases of uterus (N71.—) noninflammatory disorders of cervix <u>except malposition</u> (N86 - N88) polyp of corpus uteri (N84.0) uterine prolapse (N81.—)</p>
241	<p>第XV章 妊娠, 分娩および産じょく&lt;褥&gt;</p> <p>除外: 産科的破傷風 (A34) ヒト免疫不全ウイルス [HIV] 病 (B20—B24) 下垂体の分娩後え&lt;壊&gt;死 (E23.0) 産じょく&lt;褥&gt;に関連する精神および行動の障害 (F53.—) 産じょく&lt;褥&gt;性骨軟化症 (M83.0) 損傷, 中毒およびその他の外因の影響 (S00—T98)</p> <p>管理: ・正常妊娠 (Z34.—) ・ハイリスク妊娠 (Z35.—)</p>	<p>第XV章 妊娠, 分娩及び産じょく&lt;褥&gt;</p> <p>本章に含まれているコードは、妊娠, 分娩または産じょく&lt;褥&gt; (母体又は産科的な原因) に関連する又はそれによって悪化する病態に使用する。</p> <p>除外: 他に分類される妊娠, 分娩及び産じょく&lt;褥&gt;に合併する疾患又は損傷: 外因 (死因) (V, W, X, Y) 損傷, 中毒及びその他の外因の影響 (S00—T88.1, T88.6—T98) 産じょく&lt;褥&gt;に関連する精神及び行動の障害 (F53.—) 産科的破傷風 (A34) 下垂体の分娩後え&lt;壊&gt;死 (E23.0) 産じょく&lt;褥&gt;期骨軟化症 (M83.0)</p> <p>管理: ・ハイリスク妊娠 (Z35.—) ・正常妊娠 (Z34.—)</p>	<p><b>Chapter XV Pregnancy, childbirth and the puerperium (O00-O99)</b></p> <p>The codes included in this chapter are to be used for conditions related to or aggravated by the pregnancy, childbirth or by the puerperium (maternal causes or obstetric causes)</p> <p><b>Excludes:</b> Certain diseases or injuries complicating pregnancy, childbirth and the puerperium classified elsewhere:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- external causes (for mortality) (V, W, X, Y)</li> <li>- <del>human immunodeficiency virus [HIV] disease (B20—B24)</del></li> <li>- injury, poisoning and certain other consequences of external cause (S00-T88.1, T88.6-T98)</li> <li>- mental and behavioural disorders associated with the puerperium (F53.—)</li> <li>- obstetrical tetanus (A34)</li> <li>- postpartum necrosis of pituitary gland (E23.0)</li> <li>- puerperal osteomalacia (M83.0)</li> </ul> <p>Supervision of:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- high-risk pregnancy (Z35.—)</li> <li>- normal pregnancy (Z34.—)</li> </ul>
242	<p>O08.0 流産, 子宮外妊娠および胎状奇胎妊娠に続発する生殖器および骨盤内感染症 子宮内膜炎 子宮傍 (結合) 組織炎 骨盤腹膜炎 卵管炎 卵巣炎 卵管—卵巣炎 敗血症 敗血症性ショック</p> <p>O00—O07 に分類される病態に続発するもの</p> <p>O08.3 流産, 子宮外妊娠および胎状奇胎妊娠に続発するショック 循環虚脱 } O00—O07 に分類される病態に ショック (術後) } 続発するもの</p> <p>除外: 敗血症性ショック (O08.0)</p>	<p>O08.0 流産, 子宮外妊娠及び胎状奇胎妊娠に続発する生殖器及び骨盤内感染症 子宮内膜炎 卵巣炎 子宮傍 (結合) 組織炎 骨盤腹膜炎 卵管炎 卵管—卵巣炎 敗血症</p> <p>O00—O07 に分類される病態に続発するもの</p> <p>敗血症性ショックの分類が必要な場合は, 追加コード (R57.2) を使用する。</p> <p>O08.3 流産, 子宮外妊娠及び胎状奇胎妊娠に続発するショック 循環虚脱 } O00—O07 に分類され ショック (術後) } る病態に続発するもの</p> <p>除外: 敗血症性ショック (R57.2)</p>	<p><b>O08.0 Genital tract and pelvic infection following abortion and ectopic and molar pregnancy</b></p> <p>Endometritis } Oophoritis } Parametritis } Pelvic peritonitis } Salpingitis } following conditions classifiable to O00—O07 Salpingo-oophoritis } Sepsis } Septic shock } Septicaemia } Use additional code (R57.2), if desired, to identify septic shock</p> <p><b>O08.3 Shock following abortion and ectopic and molar pregnancy</b></p> <p>Circulatory collapse } following conditions classifiable to O00—O07 Shock (postoperative) } <b>Excludes:</b> septic shock (O08.0 R57.2)</p>
243	<p>O10 妊娠, 分娩および産じょく&lt;褥&gt;に合併する既存の高血圧 (症) 包含: 既存のたんぱく&lt;蛋白&gt;尿を伴う下記の病態 除外: 増量または増悪したたんぱく&lt;蛋白&gt;尿を伴うもの (O11)</p>	<p>O10 妊娠, 分娩及び産じょく&lt;褥&gt;に合併する既存の高血圧 (症) 包含: 既存のタンパク&lt;蛋白&gt;尿を伴う下記の病態 除外: 加重した子かん&lt;癩&gt;前症を伴うもの (O11)</p>	<p><b>O10 Pre-existing hypertension complicating pregnancy, childbirth and the puerperium</b></p> <p><b>Includes:</b> the listed conditions with pre-existing proteinuria <b>Excludes:</b> that with <del>increased or</del> superimposed</p>

No.	現行	提要案	WHO勧告 (原文)
			proteinuria pre-eclampsia (O11)
244	O11 増悪したたんぱく<蛋白>尿を伴う既存の高血圧性障害  増量したたんぱく<蛋白>尿を合併した O10.- の内容 増悪した子かん<癩>前症	O11 慢性高血圧 (症) に加重した子かん<癩>前症  O10.- の病態に子かん<癩>前症を合併したもの 以下に加重した子かん<癩>前症： -高血圧 (症) NOS -高血圧 (症) の既往	O11 <del>Pre-existing hypertensive disorder with superimposed proteinuria eclampsia superimposed on chronic hypertension</del> Conditions in O10.- complicated by increased <del>proteinuria pre-eclampsia</del> Pre-eclampsia superimposed on: . hypertension NOS . pre-existing hypertension
245	O13 明らかなたんぱく<蛋白>尿を伴わない妊娠高血圧 (症)  妊娠 高血圧 (症) NOS 軽度子かん<癩>前症	O13 妊娠高血圧 (症)  包含：妊娠中の一過性高血圧 (症) 妊娠 高血圧 (症) NOS 妊娠誘発性	O13 <del>Gestational [pregnancy-induced] hypertension without significant proteinuria</del> <i>Includes:</i> Transient hypertension of pregnancy Gestational <del>Pregnancy-induced Mild pre-eclampsia</del> } hypertension NOS
246	O14 明らかなたんぱく<蛋白>尿を伴う妊娠高血圧(症) 除外：増悪した子かん<癩>前症(O11) O14.0 中等症 子かん<癩>前症	O14 子かん<癩>前症 除外：加重した子かん<癩>前症 (O11) O14.0 軽症から中等症の子かん<癩>前症	O14 <del>Gestational [pregnancy-induced] hypertension with significant proteinuria - Pre-eclampsia</del> <i>Excludes:</i> superimposed pre-eclampsia (O11) O14.0 <del>Moderate Mild to moderate pre-eclampsia</del>
247	O14.1 重症子かん<癩>前症  O14.9 子かん<癩>前症, 詳細不明	O14.1 重症子かん<癩>前症 O14.2 HELLP 症候群 溶血, 肝酵素上昇及び低血小板数の組合せ O14.9 子かん<癩>前症, 詳細不明	O14.1 <del>Severe pre-eclampsia</del> O14.2 <del>HELLP syndrome</del> <i>Combination of hemolysis, elevated liver enzymes and low platelet count</i> O14.9 <del>Pre-eclampsia, unspecified</del>
248	主として妊娠に関連するその他の母体障害 (O20-O29) O22 妊娠中の静脈合併症	主として妊娠に関連するその他の母体障害 (O20-O29) O22 妊娠中の静脈合併症及び痔核	<b>Other maternal disorders predominantly related to pregnancy (O20-O29)</b> O22 Venous complications and haemorrhoids in pregnancy
249	O22 妊娠中の静脈合併症 除外：産科的肺塞栓症 (O88.-)	O22 妊娠中の静脈合併症及び痔核 除外：産科的肺塞栓症 (O88.-)	O22 <b>Venous complications and haemorrhoids in pregnancy</b> <i>Excludes:</i> obstetric pulmonary embolism (O88.-)
250	O23 妊娠中の腎尿路性器感染症	O23 妊娠中の腎尿路性器感染症 除外：淋菌感染症 (O98.2) 性的伝播様式をとる感染症 NOS (O98.3) 梅毒 (O98.1) 腎尿路生殖器系の結核 (O98.0) 性病 NOS (O98.3) 妊娠, 分娩, 産じょく<褥>に合併するもの	O23 <b>Infections of genitourinary tract in pregnancy</b> <i>Excludes</i> gonococcal infections (O98.2) infections with a predominantly sexual mode of transmission NOS (O98.3) syphilis (O98.1) tuberculosis of genitourinary system (O98.0) venereal disease NOS (O98.3) } complicating pregnancy, childbirth and the puerperium
251	O24 妊娠中の糖尿病 包含：分娩および産じょく<褥>におけるもの O24.0 既存のインスリン依存性糖尿病 O24.1 既存のインスリン非依存性糖尿病	O24 妊娠中の糖尿病 包含：分娩及び産じょく<褥>におけるもの O24.0 既存の1型糖尿病 O24.1 既存の2型糖尿病	O24 <b>Diabetes mellitus in pregnancy</b> <i>Includes:</i> in childbirth and the puerperium O24.0 <b>Pre-existing type 1 diabetes mellitus, insulin-dependent</b> O24.1 <b>Pre-existing type 2 diabetes mellitus, non-insulin-dependent</b>
252	O26.6 妊娠, 分娩および産じょく<褥>における肝障害 除外：分娩に続発する肝腎症候群 (O90.4)	O26.6 妊娠, 分娩及び産じょく<褥>における肝障害 妊娠における胆汁うっ滞 (肝内) 産科胆汁うっ滞 除外：分娩に続発する肝腎症候群 (O90.4)	O26.6 <b>Liver disorders in pregnancy, childbirth and the puerperium</b> <i>Cholestasis (intrahepatic) in pregnancy</i> <i>Obstetric cholestasis</i> <i>Excludes:</i> hepatorenal syndrome following labour and delivery (O90.4)

No.	現行	提提案	WHO 勧告 (原文)
253	O43 胎盤障害 除外：胎盤機能不全による胎児発育不良のための母体ケア (O36.5) 前置胎盤 (O44.-) (常位) 胎盤早期剥離 (O45.-)	O43 胎盤障害 除外：胎盤機能不全による胎児発育不良のための母体ケア (O36.5) 前置胎盤 (O44.-) (常位) 胎盤早期剥離 (O45.-)  O43.2 病的な癒着胎盤 胎盤： ・癒着 ・嵌入 ・穿通 下記の分類が必要な場合は、追加コードを使用する。 分娩後出血，第3期 O72.0 出血を伴わない胎盤残留 O73.0	<b>O43 Placental disorders</b> Excludes: maternal care for poor fetal growth due to placental insufficiency (O36.5) placenta praevia (O44.-) premature separation of placenta [abruptio placenta](O45.-)  <b>O43.2 Morbidly adherent placenta</b> <u>Placenta:</u> ・ <u>accreta</u> ・ <u>increta</u> ・ <u>percreta</u> Use additional code, if desired, to identify any: ・ <u>postpartum haemorrhage, third stage O72.0</u> ・ <u>retained placenta without hemorrhage O73.0</u>
254	O60 早産 妊娠満 37 週未満の (自然) 分娩開始	O60 切迫早産及び早産 妊娠満 37 週未満の (自然) 分娩開始	<b>O60 Preterm delivery labour and delivery</b> Onset (spontaneous) of <del>delivery</del> labour before 37 completed weeks of gestation
255		O60.0 切迫早産 (児の娩出を伴わない) 切迫早産: ・ 誘発 ・ 自然	<b>O60.0 Preterm labour without delivery</b> <u>Preterm labour:</u> ・ <u>induced</u> ・ <u>spontaneous</u>
256		O60.1 早産 早産 NOS 自然陣痛が発来し帝王切開となった早産	<b>O60.1 Preterm spontaneous labour with preterm delivery</b> <u>Preterm labour with delivery NOS</u> <u>Preterm spontaneous labour with preterm delivery by caesarean section</u>
257		O60.2 切迫早産後の正常産 切迫早産後の帝王切開による正常産	<b>O60.2 Preterm labour with term delivery</b> <u>Preterm spontaneous labour with term delivery by caesarean section</u>
258		O60.3 陣痛発来前の早産 下記による早産: ・ 陣痛発来前の帝王切開 ・ 誘発	<b>O60.3 Preterm delivery without spontaneous labour</b> <u>Preterm delivery by:</u> ・ <u>caesarean section, without spontaneous labour</u> ・ <u>induction</u>
259	O62 娩出力の異常 O62.0 原発性陣痛微弱 子宮頸管拡張不全 原発性低緊張性子宮機能不全  O62.1 続発性陣痛微弱 分娩の活動期の停止 続発性低緊張性子宮機能不全	O62 娩出力の異常 O62.0 原発性微弱陣痛 子宮頸管開大不全 原発性子宮収縮不全 分娩潜伏期の微弱陣痛  O62.1 続発性微弱陣痛 分娩停止 続発性子宮収縮不全	<b>O62 Abnormalities of forces of labour</b> <b>O62.0 Primary inadequate contractions</b> Failure of cervical dilatation Primary hypotonic uterine dysfunction <u>Uterine inertia during latent phase of labour</u>  <b>O62.1 Secondary uterine inertia</b> Arrested active phase of labour Secondary hypotonic uterine dysfunction
260	O69.2 その他の臍帯巻絡を合併する分娩 臍帯結節 単一羊膜腔における双胎の臍帯巻絡	O69.2 その他の臍帯巻絡を合併する分娩、臍帯圧迫を伴うもの 臍帯の圧迫 NOS 臍帯結節 一羊膜双胎における相互臍帯巻絡	<b>O69.2 Labour and delivery complicated by other cord entanglement, with compression</b> <u>Compression of cord NOS</u> Entanglement of cords of twins in monoamniotic sac Knot in cord  <b>O69.8</b> Labour and delivery complicated by other cord complications



No.	現行	提 要 案	WHO 勧告 (原文)
	O69.8 その他の臍帯合併症を合併する分娩	O69.8 その他の臍帯合併症を合併する分娩 圧迫を伴わない臍帯頸部巻絡	<u>Cord around neck without compression</u>
261	O70 分娩における会陰裂傷<laceration> 除外：産科的高位腔(壁)裂傷<laceration>のみ (O71.4)  O70.0 分娩における第1度会陰裂傷<laceration> 会陰裂傷<laceration>、破裂または裂傷<断裂> <tear> (下記を含む): - 腔(壁) - 陰唇小帯 - 陰唇 - 外陰 - 皮膚 - 軽度 分娩におけるもの	O70 分娩における会陰裂傷<laceration> 除外：産科的高位腔(壁)裂傷<laceration> (O71.4) 腔溝裂傷<laceration> (O71.4)  O70.0 分娩における第1度会陰裂傷<laceration> 会陰裂傷<laceration>、破裂または裂傷<断裂> <tear> (下記を 含む): -陰唇小帯 -陰唇 -尿道周囲組織 -皮膚 -軽度 -腔, 下部 -外陰 分娩におけるもの 除外：尿道を含む尿道周囲裂傷<laceration> (O71.5) うち下記を伴うもの: -腔上部(中央)(腔壁上部1/3) (O71.4) -腔溝 (O71.4)	<b>O70 Perineal laceration during delivery</b> <i>Excludes:</i> obstetric high vaginal laceration alone (O71.4) <u>vaginal sulcus laceration (O71.4)</u>  <b>O70.0 First degree perineal laceration during delivery</b> Perineal laceration, rupture or tear (involving): -fourchette -labia - <u>periurethral tissue</u> -skin -slight -vagina, <u>low</u> -vulva during delivery <i>Excludes:</i> <u>periurethral laceration involving urethra (O71.5)</u> <u>that with laceration of:</u> - <u>high vaginal wall (middle)(upper third of vaginal wall) (O71.4)</u> - <u>vaginal sulcus (O71.4)</u>
262	O71.4 産科的高位腔(壁)裂傷<laceration>のみ 腔壁の裂傷<laceration>、会陰裂傷<laceration>: の記載がないもの  除外：会陰裂傷<laceration>を伴うもの (O70.-)	O71.4 産科的高位腔(壁)裂傷<laceration>  下記の裂傷<laceration>: -腔壁の中央あるいは上部1/3 -腔溝 除外: 腔下部のもの (O70.-)	<b>O71.4 Obstetric high vaginal laceration-alone</b> Laceration of <u>vaginal wall without mention of perineal laceration</u> - <u>middle or upper third of vaginal wall</u> - <u>vaginal sulcus</u> <i>Excludes:</i> <u>with perineal laceration (O70.-)</u> <u>that of the lower vagina (O70.-)</u>
263	O71.5 骨盤臓器のその他の産科的損傷	O71.5 骨盤臓器のその他の産科的損傷 除外：尿道周囲組織のみを含む軽度裂傷<laceration> (O70.0)	<b>O71.5 Other obstetric injury to pelvic organs</b> <i>Excludes:</i> (minor) laceration involving periurethral tissue only (O70.0)
264	O72 分娩後出血 包含：胎児または新生児分娩後の出血 O72.0 第3期出血 遺残胎盤、かん<嵌>頓胎盤または癒着胎盤に関連する出血 遺残胎盤 NOS	O72 分娩後出血 包含：胎児又は新生児分娩後の出血 O72.0 第3期出血 胎盤残留、かん<嵌>頓胎盤または癒着胎盤に伴う出血 胎盤残留 NOS 病的に癒着した胎盤の分類が必要な場合は、追加コードを使用する (O43.2)	<b>O72 Postpartum haemorrhage</b> <i>Includes:</i> haemorrhage after delivery of fetus or infant <b>O72.0 Third-stage haemorrhage</b> Haemorrhage associated with retained, trapped or adherent placenta Retained placenta NOS <u>Use additional code, if desired, to identify any morbidly adherent placenta (O43.2)</u>
265	O73 遺残胎盤および遺残卵膜、出血を伴わないもの O73.0 遺残胎盤、出血を伴わないもの 癒着胎盤、出血を伴わないもの	O73 胎盤残留及び卵膜残留、出血を伴わないもの O73.0 出血を伴わない胎盤残留  病的に癒着した胎盤の分類が必要な場合は、追加コードを使用する。(O43.2)	<b>O73 Retained placenta and membranes, without haemorrhage</b> <b>O73.0 Retained placenta without haemorrhage</b> <u>Placenta accreta without haemorrhage</u> <u>Use additional code, if desired, to identify any morbidly adherent placenta (O43.2)</u>
266	分娩 (O80—O84) 注：項目 O80—O84 は疾病コーディングのために設けられた。下記の間	分娩 (O80—O84) 注：本項目の使用の際には、2巻(総論)にある死因及び疾病のコーディン	<b>Delivery (O80-O84)</b> Note: Codes O80-O84 are provided for morbidity coding purposes. Codes from this

No.	現行	提要案	WHO勧告 (原文)
	分類項目からのコードは、第XV章に分類される病態が記録されていない場合、一次疾病コーディングのためにのみ使用されるべきである。本項目の使用の際には、疾病コーディングルールおよびガイドラインを参照する。	グループ及びガイドラインを参照する。	<del>block should be used for primary morbidity coding only if no other condition classifiable to Chapter XV is recorded.</del> For use of these categories reference should be made to the <u>mortality and morbidity coding rules and guidelines</u> in Volume 2.
267	主として産じょく<褥>に関連する合併症(O85-O92) O87 産じょく<褥>における静脈合併症	主として産じょく<褥>に関連する合併症(O85-O92) O87 産じょく<褥>における静脈合併症及び痔核	<b>Complications predominantly related to the puerperium (O85-O92)</b> O87 Venous complications <u>and haemorrhoids</u> in the puerperium
268	O87 産じょく<褥>における静脈合併症 包含: 分娩および産じょく<褥>におけるもの	O87 産じょく<褥>における静脈合併症及び痔核 包含: 陣痛, 分娩及び産じょく<褥>におけるもの	<b>O87 Venous complications and haemorrhoids in the puerperium</b> <i>Includes:</i> in labour, delivery and the puerperium
269	O88.1 羊水塞栓症	O88.1 羊水塞栓症 妊娠のアナフィラキシー様症候群	<b>O88.1 Amniotic fluid embolism</b> <u>Anaphylactoid syndrome of pregnancy</u>
270	O94 妊娠, 分娩および産じょく<褥>の合併症の続発・後遺症  注: 本項は、疾病分類<コーディング>のみに使用するものである。すなわち、本項はその病態自身は他に分類されるものであるが、この続発・後遺症の原因が O00-O75 および O85-O92 の病態であることを示すために使用する(ものである)。続発・後遺症とは続発性または後遺症と記載され病態または原因病態が発生後 1 年以上存在している病態を含む。	O94 妊娠, 分娩及び産じょく<褥>の合併症の続発・後遺症  注: 本項は、疾病分類<コーディング>のみに使用するものである。すなわち、本項はその病態自身は他に分類されるものであるが、この続発・後遺症の原因が O00-O75 および O85-O92 の病態であることを示すために使用する(ものである)。「続発・後遺症」とは続発・後遺症と記載された病態又は原因病態が発生後 1 年以上存在している病態を含む。  妊娠, 分娩及び産じょく<褥>の慢性の合併症に対しては使用しない。これを O00-O75 及び O85-O92 にコードする。	<b>O94 Sequelae of complication of pregnancy, childbirth and the puerperium</b>  <i>Note</i> :This category is to be used for morbidity coding only to indicate previous episodes of conditions in categories O00-O75 and O85-O92 as the cause of sequelae ... <u>Not to be used for chronic complications of pregnancy, childbirth and the puerperium. Code these to O00-O75 and O85-O92.</u>
271	O96 分娩満 42 日以後 1 年未満に発生したあらゆる産科的原因による母体死亡 産科的死亡原因の分類が必要な場合は、追加コードを使用する。  O97 直接産科的原因の続発・後遺症による死亡 分娩後 1 年以上経過後発生したあらゆる直接産科的原因による母体死亡	O96 分娩満 42 日以後 1 年未満に発生したあらゆる産科的原因による母体死亡 産科的死亡原因 (直接もしくは間接) の分類が必要な場合は、追加コードを使用する。  O96.0 直接産科的原因による死亡 O96.1 間接産科的原因による死亡 O96.9 詳細不明の産科的原因による死亡  O97 産科的原因の続発・後遺症による死亡 分娩後 1 年以上経過後発生したあらゆる産科的原因による母体死亡。 産科的原因 (直接もしくは間接) の分類が必要な場合は、追加コードを使用する。  O97.0 直接産科的原因の続発・後遺症による死亡 O97.1 間接産科的原因の続発・後遺症による死亡 O97.9 産科的原因の続発・後遺症による死亡, 詳細不明	<b>O96 Death from any obstetric cause occurring more than 42 days but less than one year after delivery</b> Use additional code, if desired, to identify the obstetric cause ( <u>direct or indirect</u> ) of death. <b>O96.0 Death from direct obstetric cause</b> <b>O96.1 Death from indirect obstetric causes</b> <b>O96.9 Death from unspecified obstetric cause</b>  <b>O97 Death from sequelae of direct obstetric causes</b> Death from any <del>direct</del> obstetric cause ( <u>direct or indirect</u> ) occurring one year or more after delivery. Use additional code, if desired to identify the obstetric cause ( <u>direct or indirect</u> ). <b>O97.0 Death from sequelae of direct obstetric cause</b> <b>O97.1 Death from sequelae of indirect obstetric cause</b> <b>O97.9 Death from sequelae of obstetric cause, unspecified</b>
272	O98 他に分類されるが妊娠, 分娩および産じょく<褥>に合併する母体の感染症および寄生虫症 包含: 妊娠に合併した場合, 妊娠により増悪した場合または産科的ケアによる理由の場合の下記の病態 特定の病態の分類が必要な場合は、追加コード (第 I 章) を使用する	O98 他に分類されるが妊娠, 分娩および産じょく<褥>に合併する母体の感染症および寄生虫症 包含: 妊娠に合併した場合, 妊娠により増悪した場合または産科的ケアによる理由の場合の下記の病態 特定の病態の分類が必要な場合は、追加コード (第 I 章) を使用する	<b>O98 Maternal infectious and parasitic diseases classifiable elsewhere but complicating pregnancy, childbirth and the puerperium</b> <i>Includes:</i> the listed conditions when complicating the pregnant state, when aggravated by the pregnancy, or as a reason for obstetric care.  Use additional code (Chapter 1), if desired, to identify specific

No.	現行	提案	WHO勧告 (原文)
	<p>る。 除外：産科的破傷風（A34） ヒト免疫不全ウイルス〔HIV〕病（B20—B24） 母体ケアの理由が、胎児に影響したと明示されている疾患の場合またはその疑いがある疾患の場合（O35—O36） 産じょく＜褥＞性： ・敗血症（O85） ・感染症（O86.—） ヒト免疫不全ウイルス〔HIV〕の検査陽性（R75） 無症候性ヒト免疫不全ウイルス〔HIV〕感染状態（Z21）</p>	<p>る。 除外：産科的破傷風（A34）  母体ケアの理由が、胎児に影響したと明示されている疾患の場合またはその疑いがある疾患の場合（O35—O36） 産じょく＜褥＞性： ・感染症（O86.—） ・敗血症（O85） ヒト免疫不全ウイルス〔HIV〕の検査陽性（R75） 無症候性ヒト免疫不全ウイルス〔HIV〕感染状態（Z21）</p>	<p>condition.  <i>Excludes</i> : asymptomatic human immunodeficiency virus [HIV] infection status (Z21) <del>human immunodeficiency virus [HIV] disease (B20-B24)</del> laboratory evidence of human immunodeficiency virus [HIV] (R75) obstetrical tetanus (A34) puerperal: • infection (O86.—) • sepsis (O85) when the reason for maternal care is that the disease is known or suspected to have affected the fetus (O35-O36)</p>
273		<p>O98.7 妊娠、分娩及び産じょく＜褥＞に合併するヒト免疫不全ウイルス〔HIV〕病 B20—B24の病態</p>	<p><b>O98.7 Human immunodeficiency virus [HIV] disease complicating pregnancy, childbirth and the puerperium</b> <u>Conditions in B20-B24</u></p>
274	<p>O99.6 妊娠、分娩および産じょく＜褥＞に合併する消化器系の疾患 K00—K93の病態 除外：妊娠、分娩および産じょく＜褥＞における肝障害（O26.6）</p>	<p>O99.6 妊娠、分娩及び産じょく＜褥＞に合併する消化器系の疾患 K00—K93の病態 除外：妊娠における痔核（O22.4） 妊娠、分娩及び産じょく＜褥＞における肝障害（O26.6）</p>	<p><b>O99.6 Diseases of the digestive system complicating pregnancy, childbirth and the puerperium</b> Conditions in K00-K93 <i>Excludes</i>: haemorrhoids in pregnancy (O22.4) liver disorders in pregnancy, childbirth and the puerperium (O26.6)</p>
275	<p>O99.8 妊娠、分娩および産じょく＜褥＞に合併するその他の明示された疾患および病態 C00—D48, H00—H95, M00—M99, N00—N99 および Q00—Q99の病態 O99.0—O99.7に分類される病態の組合せ</p>	<p>O99.8 妊娠、分娩及び産じょく＜褥＞に合併するその他の明示された疾患及び病態 C00—D48, H00—H95, M00—M99, N00—N99 及び Q00—Q99の病態、他に分類されないもの O99.0—O99.7に分類される病態の組合せ 除外：妊娠中の尿路性器感染症（O23.—） 既知の母体骨盤内臓器の異常又はその疑いのための母体ケア（O34.—） 分娩に続発する尿路性器の感染症（O86.0—O86.3） 分娩後急性腎不全（O90.4） 分娩後腎炎（O90.8）</p>	<p><b>O99.8 Other specified diseases and conditions complicating pregnancy, childbirth and the puerperium</b> Combination of conditions classifiable to O99.0-O99.7 Conditions in C00-D48, H00-H95, M00-M99, N00-N99 and Q00-Q99 <u>not elsewhere classified</u> <i>Excludes</i>: genitourinary infections in pregnancy (O23.—) infection of genitourinary tract following pregnancy (O86.0-O86.3) maternal care for known or suspected abnormality of maternal pelvic organs (O34.—) postpartum acute renal failure (O90.4) <u>postpartum nephritis (O90.8)</u></p>
276	<p>第XVI章 周産期に発生した病態 ・・・ 本章の星印（*）項目は下記のとおりである： P75* 胎便＜メコニウム＞イレウス</p>	<p>第XVI章 周産期に発生した病態 ・・・ 本章の星印（*）項目は下記のとおりである： P75* のう＜嚢＞胞性線維症＜システィックファイブローシス＞における胎便＜メコニウム＞イレウス</p>	<p><b>Chapter XVI</b> <b>Certain conditions originating in the perinatal period (P00-P96)</b> ..... <b>As asterisk category for this chapter is provided as follows:</b> P75* Meconium ileus <u>in cystic fibrosis</u></p>
277	<p>P00.2 母体の感染症および寄生虫症により影響を受けた胎児および新生児 A00—B99, J10—J11に分類される母体の感染症により影響を受けた胎児または新生児であるが、胎児または新生児自身はその疾患を発現していないもの 除外：母体の性器およびその他の局所感染症（P00.8） 周産期に特異的な感染症（P35—P39）</p>	<p>P00.2 母体の感染症及び寄生虫症により影響を受けた胎児及び新生児  A00—B99, J09—J11に分類される母体の感染症により影響を受けた胎児または新生児であるが、胎児又は新生児自身はその疾患を発現していないもの 除外：母体の性器及びその他の局所感染症（P00.8） 産期に特異的な感染症（P35—P39）</p>	<p><b>P00.2 Fetus and newborn affected by maternal infectious and parasitic diseases</b> Fetus or newborn affected by maternal infectious disease classifiable to A00-B99 and J09-J11, but not itself manifesting that disease <i>Excludes</i>: infections specific to the perinatal period (P35-P39) maternal genital tract and other localized infections (P00.8)</p>

No.	現行	提案	WHO勧告 (原文)
278	P04 胎盤または母乳を介して有害な影響を受けた胎児および新生児 包含：経胎盤性移行物質の非催奇形性効果 除外：その他の多量の溶血による新生児黄疸，母体から移行した薬物または毒素によるもの (P58.4) 先天奇形 (Q00—Q99)	P04 胎盤又は母乳を介して有害な影響を受けた胎児及び新生児 包含：経胎盤性移行物質の非催奇形性効果 除外：新生児黄疸，母体から移行した薬物又は毒素によるもの (P58.4) 先天奇形 (Q00—Q99)	<b>P04 Fetus and newborn affected by noxious influences transmitted via placenta or breast milk</b> <i>Includes:</i> nonteratogenic effects of substances transmitted via placenta <i>Excludes:</i> congenital malformations (Q00—Q99) neonatal jaundice from other excessive haemolysis due to drugs or toxins transmitted from mother (P58.4)
279	P08.1 妊娠期間に比較して過体重のその他の児 妊娠期間の長短にかかわらず，妊娠期間に比較して過体重または高身長 <sup>の</sup> その他の胎児または児	P08.1 妊娠期間に比較して過体重のその他の児 妊娠期間の長短にかかわらず，妊娠期間に比較して過体重または過大 <sup>の</sup> その他の胎児または児  通常，出生体重がその妊娠期間における出生体重の90パーセントイルを超えた場合又は満期時に出生体重が4000g以上であることを意味する。  除外：下記における児の症候群： - 糖尿病母体から出産した児の症候群 (P70.1) - 妊娠性糖尿病母体の児症候群 (P70.0) - 出生体重 4500g 以上 (P08.0)	<b>P08.1 Other heavy for gestational age infants</b> Other fetus or infant heavy- or large-for-dates regardless of period of gestation. <u>Usually implies a birth weight &gt;90th percentile for gestational age or 4000 g or more at term</u>  <i>Excludes:</i> syndrome of infant of: - <u>diabetic mother (P70.1)</u> - <u>mother with gestational diabetes (P70.0)</u> - <u>Birth weight of 4500 g or more (P08.0)</u>
280	P28 周産期に発生したその他の呼吸器病態 除外：呼吸器系の先天奇形 (Q30—Q34) P28.2 新生児のチアノーゼ発作 除外：新生児無呼吸 (P28.3—P28.4) P28.3 新生児原発性睡眠時無呼吸 新生児睡眠時無呼吸 NOS  P28.4 新生児のその他の無呼吸	P28 周産期に発生したその他の呼吸器病態 除外：呼吸器系の先天奇形 (Q30—Q34) P28.2 新生児のチアノーゼ発作 除外：新生児無呼吸 (P28.3—P28.4) P28.3 新生児原発性睡眠時無呼吸 新生児睡眠時無呼吸： • 中枢性 • NOS • 閉塞性 P28.4 新生児のその他の無呼吸 無呼吸 (下記の) • 新生児，閉塞性 • 未熟児 除外：新生児の閉塞性睡眠時無呼吸 (P28.3)	<b>P28 Other respiratory conditions originating in the perinatal period</b> <i>Excludes:</i> congenital malformations of the respiratory system (Q30—Q34) <b>P28.2 Cyanotic attacks of newborn</b> <i>Excludes:</i> apnoea of newborn (P28.3—P28.4) <b>P28.3 Primary sleep apnoea of newborn</b> Sleep apnoea of newborn NOS: • <u>central</u> • <u>NOS</u> • <u>obstructive</u> <b>P28.4 Other apnoea of newborn</b> <u>Apnoea (of):</u> • <u>newborn, obstructive</u> • <u>prematurity</u> <i>Excludes:</i> obstructive sleep apnoea of newborn (P28.3)
281	P59.2 その他および詳細不明の肝細胞傷害による新生児黄疸  除外：先天性ウイルス肝炎 (P35.3)	P59.2 その他および詳細不明の肝細胞傷害による新生児黄疸 胎児又は新生児 (特発性) 肝炎 胎児又は新生児の巨細胞性肝炎 除外：先天性ウイルス性肝炎 (P35.3)	<b>P59.2 Neonatal jaundice from other and unspecified hepatocellular damage</b> <u>Fetal or neonatal (idiopathic) hepatitis</u> <u>Fetal or neonatal Ggiant cell hepatitis</u> <i>Excludes:</i> congenital viral hepatitis (P35.3)
282	P70.0 妊娠性糖尿病母体の児症候群  P70.1 糖尿病母体の児症候群 母体の糖尿病 (既存) が胎児または新生児を障害する場合 (低血糖を伴うもの)	P70.0 妊娠性糖尿病母体の児の症候群 母体の妊娠糖尿病の影響を受けた胎児又は新生児 (低血糖を伴うもの) P70.1 糖尿病母体から出産した児の症候群 母体の糖尿病 (既存) の影響を受けた胎児又は新生児 (低血糖を伴うもの)	<b>P70.0 Syndrome of infant of mother with gestational diabetes</b> <u>Fetus or newborn (with hypoglycaemia) affected by maternal gestational diabetes</u>  <b>P70.1 Syndrome of infant of a diabetic mother</b> <del>Maternal diabetes mellitus (pre-existing) affecting fetus or newborn (with hypoglycaemia)</del> <u>Fetus or newborn (with hypoglycemia) affected by maternal diabetes mellitus (pre-existing)</u>
283	P75* 胎便<メコニウム>イレウス (E84.1+)	P75* のう<嚢>胞線維症における胎便<メコニウム>イレウス (E84.1+)	<b>P75* Meconium ileus in cystic fibrosis (E84.1+)</b>

No.	現行	提要案	WHO勧告 (原文)
284	P76.0 胎便栓症候群	P76.0 胎便栓症候群 包含：のう<囊>胞線維症が存在しないことがわかっている症例における胎便<メコニウム>イレウス	<b>P76.0 Meconium plug syndrome</b> <i>Includes:</i> <u>meconium ileus in cases where cystic fibrosis is known not to be present</u>
285	P78.8 その他の明示された周産期の消化器系障害 先天性肝硬変 新生児消化性潰瘍	P78.8 その他の明示された周産期の消化器系障害 先天性肝硬変 新生児食道逆流 新生児消化性潰瘍	<b>P78.8 Other specified perinatal digestive system disorders</b> <u>Neonatal oesophageal reflux</u>
286	P96.1 母体の嗜癖性薬物使用による新生児離脱症状 薬物依存の母の児における薬物離脱症候群  除外：分娩中の母体に投与したアヘン剤および精神安定薬<トランキライザー>による反応および中毒 (P04.0)	P96.1 母体の嗜癖性薬物使用による新生児離脱症状 薬物依存の母の児における薬物離脱症候群 新生児禁断症候群 除外：分娩中の母体に投与したアヘン製剤および精神安定薬<トランキライザー>による反応及び中毒 (P04.0)	<b>P96.1 Neonatal withdrawal symptoms from maternal use of drugs or addiction</b> Drug withdrawal syndrome in infant of dependent mother <u>Neonatal abstinence syndrome</u> <i>Excludes:</i> reactions and intoxications from maternal opiates and tranquilizers administered during labour and delivery (P04.0)
287	P96.4 妊娠中絶, 胎児および新生児 除外：妊娠中絶 (母体) (O04.-)	P96.4 妊娠中絶, 胎児及び新生児に影響を与える場合 除外：妊娠中絶 (母体に影響を与える場合) (O04.-)	<b>P96.4 Termination of pregnancy, affecting fetus and newborn</b> <i>Excludes:</i> termination of pregnancy ( <u>affecting mother</u> ) (O04.-)
288	Q18.1 先天性耳ろう<瘻>孔と先天性のう<囊>胞 瘻： ・耳介, 先天性 ・頸耳	Q18.1 前耳介洞及びのう<囊>胞 瘻： ・耳介, 先天性 ・頸耳 耳珠 (前) のろう<瘻>孔及び先天性のう<囊>胞	<b>Q18.1 Preauricular sinus and cyst</b> Fistula (of): • auricle, congenital • cervicoaural <u>Pretragal sinus and cyst</u>
289	Q21.8 心 (臓) 中隔のその他の先天奇形 アイゼンメンゲル<Eisenmenger>症候群 ファロー五徴 (症)	Q21.8 心 (臓) 中隔のその他の先天奇形 アイゼンメンゲル<Eisenmenger>欠損 ファロー五徴 (症) 除外：アイゼンメンゲル<Eisenmenger>： ・複合体 (I27.8) ・症候群 (I27.8)	<b>Q21.8 Other congenital malformations of cardiac septa</b> <u>Eisenmenger's syndrome defect</u>  <i>Excludes:</i> Eisenmenger's: • <u>complex (I27.8)</u> • <u>syndrome (I27.8)</u>
290	Q25.3 大動脈狭窄 (症) 除外：先天性大動脈狭窄 (症) (Q23.0)	Q25.3 大動脈狭窄 (症) 除外：大動脈弁の先天性狭窄 (症) (Q23.0)	<b>Q25.3 Stenosis of aorta</b> <i>Excludes:</i> congenital <u>stenosis of aortic valvestenosis</u> (Q23.0)
291	Q25.6 肺動脈狭窄 (症)	Q25.6 肺動脈狭窄 (症) 肺動脈弁上狭窄 (症)	<b>Q25.6 Stenosis of pulmonary artery</b> <u>Supravalvular pulmonary stenosis</u>
292	Q61.4 腎異形成<形成異常>	Q61.4 腎異形成<形成異常> 多のう<囊>胞性： ・異形成腎 ・腎 (発達性) ・腎疾患 ・腎形成異常  除外：多発性のう<囊>胞腎疾患 (Q61.1-Q61.3)	<b>Q61.4 Renal dysplasia</b> <u>Multicystic:</u> • <u>dysplastic kidney</u> • <u>kidney (developmental)</u> • <u>kidney disease</u> • <u>renal dysplasia</u>  <i>Excludes:</i> polycystic kidney disease (Q61.1-Q61.3)
293	Q77.4 軟骨無形成 (症) 軟骨低形成 (症)	Q77.4 軟骨無形成 (症) 軟骨低形成 (症) 先天性骨硬化症	<b>Q77.4 Achondroplasia</b> Hypochondroplasia <u>Osteosclerosis congenita</u>
294	R06 呼吸の異常	R06 呼吸の異常	<b>R06 Abnormalities of breathing</b>

No.	現行	提提案	WHO勧告 (原文)
	除外：成人呼吸窮<促>迫 (症候群) <ARDS> (J80) 呼吸不全 (J96.-) 新生児呼吸窮<促>迫 (P22.-) 新生児の呼吸不全 (P28.5) 呼吸停止 (R09.2)	除外：呼吸停止 (R09.2) 成人呼吸窮<促>迫 (症候群) <ARDS> (J80) 新生児呼吸窮<促>迫 (P22.-) 呼吸不全 (J96.-) 新生児の呼吸不全 (P28.5)	<i>Excludes:</i> respiratory • arrest (R09.2) • distress ( <del>syndrome</del> )(of) • <u>syndrome of adult</u> (J80) • <u>in newborn</u> (P22.-) • failure (J96.-) • of newborn (P28.5)
295	R10.1 上腹部に限局した疼痛 上腹部<心窩部>痛	R10.1 上腹部に限局した疼痛 ディスペプシア NOS 上腹部<心窩部>痛 除外：機能性ディスペプシア (K30)	<b>R10.1 Pain localized to upper abdomen</b> <u>Dyspepsia NOS</u> Epigastric pain  <i>Excludes:</i> functional dyspepsia (K30)
296	R12 胸やけ 除外：消化不良(症) (K30)	R12 胸やけ 除外：ディスペプシア： • NOS (R10.1) • 機能性 (K30)	<b>R12 Heartburn</b> <i>Excludes:</i> <u>dyspepsia:</u> • <u>NOS (R10.1)</u> • <u>functional (K30)</u>
297	R19.5 その他の異常便 便色異常 大量便 粘液便  除外：メレナ (K92.1) • 新生児 (P54.1)	R19.5 その他の異常便 便色異常 大量便 粘液便 便潜血  除外：メレナ (K92.1) • 新生児 (P54.1)	<b>R19.5 Other faecal abnormalities</b> Abnormal stool colour Bulky stools Mucus in stools <u>Occult blood in stools</u>  <i>Excludes:</i> melaena (K92.1) • neonatal (P54.1)
298	R26 歩行および移動の異常 除外：運動失調 (症)： • NOS (R27.0) • 梅毒性 (A52.1) • 遺伝性 (G11.-) 移動不能症候群 (対麻痺性) (M62.3) R26.0 失調性歩行 よろめき歩行 R26.1 麻痺性歩行 けい<瘓>性歩行 R26.2 歩行困難，他に分類されないもの  R26.8 歩行および移動のその他および詳細不明の異常 足どり不安定 NOS	R26 歩行及び移動の異常 除外：運動失調 (症)： • NOS (R27.0) • 遺伝性 (G11.-) • 梅毒性 (A52.1) 移動不能症候群 (対麻痺性) (M62.3) R26.0 失調性歩行 よろめき歩行 R26.1 麻痺性歩行 けい<瘓>性歩行 R26.2 歩行困難，他に分類されないもの  R26.3 不動状態 寝たきり<Bedfast><Chairfast>  R26.8 歩行及び移動のその他及び詳細不明の異常 足どり不安定 NOS	<b>R26 Abnormalities of gait and mobility</b> <i>Excludes:</i> ataxia: • NOS (R27.0) • hereditary (G11.-) • locomotor (syphilitic) (A52.1) immobility syndrome (paraplegic) (M62.3)  <b>R26.0 Ataxic gait</b> Staggering gait <b>R26.1 Paralytic gait</b> Spastic gait <b>R26.2 Difficulty in walking, not elsewhere classified</b>  <b>R26.3 Immobility</b> <u>Bedfast</u> <u>Chairfast</u>  <b>R26.8 Other and unspecified abnormalities of gait and mobility</b> Unsteadiness on feet NOS
299		R29.6 転倒傾向，他に分類されないもの 高齢又は他に明確でない健康問題による転倒傾向 除外：不慮の事故 NOS (X59) 歩行困難 (R26.2) めまい<眩暈>感及びよろめき感 (R42)	<b>R29.6 Tendency to fall, not elsewhere classified</b> <u>Tendency to fall because of old age or other unclear health problems</u> <i>Excludes:</i> accidents NOS (X59) <u>difficulty in walking (R26.2)</u> <u>dizziness and giddiness (R42)</u> <u>falls causing injury (W00-W19)</u>

No.	現行	提要案	WHO勧告 (原文)
		<p>損傷の原因となる転倒・転落・墜落 (W00-W19)  他に分類された疾患による転倒・転落  失神及び虚脱 (R55)</p>	<p><u>falls due to diseases classified elsewhere  syncope and collapse (R55)</u></p>
300	R46.8 外観および行動に関するその他の症状および徴候	R46.8 外観及び行動に関するその他の症状及び徴候 <b>包含：セルフネグレクト NOS</b> <b>除外：セルフネグレクトによる食物及び水分の摂取不足 (R63.6)</b>	<b>R46.8 Other symptoms and signs involving appearance and behaviours</b> <b><i>Includes:</i> self neglect NOS</b> <b><i>Excludes:</i> insufficient intake of food and water due to self neglect (R63.6)</b>
301	R50 不明熱 除外：不明熱（下記におけるもの）： ・分娩 (O75.2) ・新生児 (P81.9) 産じょく<褥>熱 NOS (O86.4)  <b>R50.0 悪寒&lt;さむけ&gt;を伴う発熱</b>  <b>R50.1 持続熱</b>   R50.9 発熱，詳細不明 超高熱 NOS 発熱 NOS 除外：麻酔による悪性高熱<体温> (症) (T88.3)	R50 <b>その他の原因による熱及び不明熱</b> 除外：不明熱（下記におけるもの）： ・分娩 (O75.2) ・新生児 (P81.9) 産じょく<褥>熱 NOS (O86.4)  <b>R50.2 薬剤性の発熱</b> <b>薬物の分類が必要分類が必要な場合は，追加外因コード (XX 章) を使用する。</b>  <b>R50.8 その他の明示された発熱</b> <b>悪寒を伴う発熱</b> <b>さむけを伴う発熱</b> <b>持続熱</b>  R50.9 発熱，詳細不明 超高熱 NOS 発熱 NOS 除外：麻酔による悪性高熱<体温> (症) (T88.3)	<b>R50 Fever of other and unknown origin</b>  <b><i>Excludes:</i> fever of unknown origin (during)(in):</b> ・labour (O75.2) ・newborn (P81.9) puerperal pyrexia NOS (O86.4)  <b>R50.0 — Fever with chills</b> Fever with rigors  <b>R50.1 — Persistent fever</b>  <b>R50.2 Drug-induced fever</b>  <i>Use additional external cause code (Chapter XX), if desired, to identify drug.</i>  <b>R50.8 Other specified fever</b> Fever with chills Fever with rigors Persistent fever  <b>R50.9 Fever, unspecified</b> Hyperpyrexia NOS Pyrexia NOS  <b><i>Excludes:</i> malignant hyperthermia due to anaesthesia (T88.3)</b>  <b>※第3回部会資料から修正あり</b>
302	R53 倦怠 (感) および疲労 無力症 NOS 弱質： ・NOS ・慢性 <b>・神経性</b> 全身性身体荒廃	R53 倦怠 (感) 及び疲労 無力症 NOS 虚弱： ・NOS ・慢性  全身性身体荒廃	<b>R53 Malaise and fatigue</b> Asthenia NOS Debility: ・NOS  ・chronic  <del>—nervous</del> General physical deterioration
303	R57 ショック，他に分類されないもの	R57 ショック，他に分類されないもの <b>R57.2 敗血症性ショック</b>	<b>R57 Shock, not elsewhere classified</b> <b>R57.2 Septic shock</b>
304	R63 食物および水分摂取に関する症状および徴候 除外：栄養失調 (症) (E40—E46) 非器質性の摂食障害 (F50.—) 大食症 NOS (F50.2) --- R63.5 異常体重増加 除外：肥満 (症) (E66.—)	R63 食物及び水分摂取に関する症状及び徴候 除外：栄養失調 (症) (E40—E46) 非器質性の摂食障害 (F50.—) 大食症 NOS (F50.2) --- R63.5 異常体重増加 除外：肥満 (症) (E66.—)	<b>R63 Symptoms and signs concerning food and fluid intake</b> ... <b>R63.5 Abnormal weight gain</b> <b><i>Excludes:</i> excessive weight gain in pregnancy (O26.0)</b> obesity (E66.-) <b>R63.6 Insufficient intake of food and water due to self neglect</b> <b><i>Excludes:</i> starvation due to anorexia (R63.0)</b> starvation due to privation of food (X53)

No.	現行	提提案	WHO勧告 (原文)
	妊娠中の過度の体重増加 (O26.0)  R63.8 食物および水分摂取に関するその他の症状および徴候	妊娠中の過度の体重増加 (O26.0)  R63.6 セルフネグレクトによる食物及び水分の摂取不足 除外：食欲不振 (R63.0) 食糧不足による飢餓 (X53) 水不足による脱水 (X54) セルフネグレクト NOS (R46.8)  R63.8 食物及び水分摂取に関するその他の症状及び徴候	<u>thirst due to privation of water (X54)</u> <u>self neglect NOS (R46.8)</u> <b>R63.8 Other symptoms and signs concerning food and fluid intake</b>
305	R64 悪液質 除外：消耗症候群を起こしたヒト免疫不全ウイルス [H I V] 病 (B22.2) 悪性悪液質 (C80) 栄養性消耗症 <マラスムス> (E41)	R64 悪液質 除外：消耗症候群を起こしたヒト免疫不全ウイルス [H I V] 病 (B22.2) 悪性悪液質 (C80.-) 栄養性消耗症 <マラスムス> (E41)	<b>R64 Cachexia</b> <i>Excludes:</i> HIV disease resulting in wasting syndrome (B22.2) Malignant cachexia (C80.-) Nutritional marasmus (E41)
306		R65 全身性炎症反応症候群 [SIRS] 注：本項目は一次コーディングにおいて使用するべきではない。本項目は複数コーディングにおいて使用するものであり、何らかの原因からこの病態が生じたことを示す際に用いる。原因もしくは基礎疾患を示す際には、まずは他章のコードを先に割り当てるべきである。 R65.0 感染症が原因の全身性炎症反応症候群、臓器不全を伴わないもの R65.1 感染症が原因の全身性炎症反応症候群、臓器不全を伴うもの R65.2 感染症が原因でない全身性炎症反応症候群、臓器不全を伴わないもの R65.3 感染症が原因でない全身性炎症反応症候群、臓器不全を伴うもの R65.9 全身性炎症反応症候群、詳細不明	<b>R65 Systemic Inflammatory Response Syndrome [SIRS]</b> <i>Note:</i> This category should never be used in primary coding. The category is for use in multiple coding to identify this condition resulting from any cause. A code from another chapter should be assigned first to indicate the cause or underlying disease.  <b>R65.0 Systemic Inflammatory Response Syndrome of infectious origin without organ failure</b>  <b>R65.1 Systemic Inflammatory Response Syndrome of infectious origin with organ failure</b>  <b>R65.2 Systemic Inflammatory Response Syndrome of non-infectious origin without organ failure</b>  <b>R65.3 Systemic Inflammatory Response Syndrome of non-infectious origin with organ failure</b>  <b>R65.9 Systemic Inflammatory Response Syndrome, unspecified</b>
307		R65.1 感染症が原因の全身性炎症反応症候群、臓器不全を伴うもの 重症敗血症	<b>R65.1 Systemic Inflammatory Response Syndrome of infectious origin with organ failure</b> Severe sepsis
308	R68.3 (太鼓) ばち指 (太鼓) ばち爪 除外：先天性 (太鼓) ばち指 (Q68.1)	R68.3 (太鼓) ばち指 (太鼓) ばち爪 除外：先天性 (太鼓) ばち指 (Q68.1) 先天性ばち爪 (Q84.6)	<b>R68.3 Clubbing of fingers</b> Clubbing of nails <i>Excludes:</i> congenital clubfinger (Q68.1) congenital clubnail (Q84.6)
309	R71 赤血球の異常 異常赤血球： ・形態学的 NOS ・容積 NOS 赤血球大小不同症 変型赤血球症 除外：貧血 (D50—D64)	R71 赤血球の異常 異常赤血球： ・形態学的 NOS ・容積 NOS 赤血球大小不同症 変型赤血球症 除外：貧血 (D50—D64)	<b>R71 Abnormality of red blood cells</b> ... <i>Excludes:</i> anaemias (D50—D64) polycythaemia: ・ NOS (D75.1) ・ benign (familial) (D75.0) ・ neonatorum (P61.1) ・ secondary (D75.1)



No.	現行	提要案	WHO勧告 (原文)
	赤血球増加症 <多血症> : ・真正 (D45) ・続発性 <二次性> (D75.1) ・良性 (家族性) (D75.0) ・新生児 (P61.1)	赤血球増加症 <多血症> : ・NOS(D75.1) ・良性 (家族性) (D75.0) ・新生児 (P61.1) ・続発性 <二次性> (D75.1) ・真正 (D45)	・ vera (D45)
310	R75 ヒト免疫不全ウイルス [HIV] の検査陽性 乳児における確認されない HIV テスト所見 除外: ヒト免疫不全ウイルス [HIV] 病 (B20—B24) 無症候性ヒト免疫不全ウイルス [HIV] 感染状態 (Z21)	R75 ヒト免疫不全ウイルス [HIV] の検査陽性 乳児における確認されない HIV テスト所見 除外: ヒト免疫不全ウイルス [HIV] 病 (B20—B24) 無症候性ヒト免疫不全ウイルス [HIV] 感染状態 (Z21) 妊娠, 分娩及び産じょく <褥> に合併するヒト免疫不全ウイルス [HIV] 病 (O98.7)	<b>R75</b> <b>Laboratory evidence of human immunodeficiency virus [HIV]</b> Nonconclusive HIV-test finding in infants <i>Excludes:</i> asymptomatic human immunodeficiency virus [HIV] infection status (Z21) human immunodeficiency virus [HIV] disease (B20-B24) <u>human immunodeficiency virus [HIV] disease complicating pregnancy, childbirth and the puerperium (O98.7)</u>
311	R83 脳脊髄液に関する異常所見  R84 呼吸器および胸部 <郭> からの検体 <材料> の異常所見  下記における異常所見: ・気管支洗浄液 ・鼻分泌物 ・喀痰 ・咽喉擦過材料 ・胸水 除外: 血痰 (R04.2)  R85 消化器および腹腔からの検体 <材料> の異常所見  下記における異常所見: ・唾液 ・腹水 除外: 異常便 (R19.5)  R86 男性生殖器からの検体 <材料> の異常所見  異常精子 下記における異常所見 ・前立腺分泌物 ・精子, 精液 除外: 無精子症 (N46) 精子減少症 (N46)  R87 女性生殖器からの検体 <材料> の異常所見  下記からの分泌物およびスミアにおける異常所見: ・子宮頸 (部)	R83 脳脊髄液に関する異常所見 [細分類項目については、R83 の前にある記載を参照のこと]  R84 呼吸器及び胸部 <郭> からの検体 <材料> の異常所見 [細分類項目については、R83 の前にある記載を参照のこと] 下記における異常所見: ・気管支洗浄液 ・鼻分泌物 ・胸水 ・喀痰 ・咽喉擦過材料 除外: 血痰 (R04.2)  R85 消化器及び腹腔からの検体 <材料> の異常所見 [R83 の前に記載の細分類項目参照] 下記における異常所見: ・腹水 ・唾液 除外: 異常便 (R19.5)  R86 男性生殖器からの検体 <材料> の異常所見 [R83 の前に記載の細分類項目参照] 下記における異常所見 ・前立腺分泌物 ・精子, 精液 異常精子 除外: 無精子症 (N46) 精子減少症 (N46)  R87 女性生殖器からの検体 <材料> の異常所見 [R83 の前に記載の細分類項目参照] 下記からの分泌物及びスミアにおける異常所見: ・子宮頸 (部)	<b>R83</b> <b>Abnormal findings in cerebrospinal fluid</b> <b>[See before R83 for subdivisions]</b>  <b>R84</b> <b>Abnormal findings in specimens from respiratory organs and thorax</b> <b>[See before R83 for subdivisions]</b> Abnormal findings in: ・ bronchial washings ・ nasal secretions ・ pleural fluid ・ sputum ・ throat scrapings <i>Excludes:</i> blood-stained sputum (R04.2)  <b>R85</b> <b>Abnormal findings in specimens from digestive organs and abdominal cavity</b> <b>[See before R83 for subdivisions]</b> Abnormal findings in: ・ peritoneal fluid ・ saliva <i>Excludes:</i> faecal abnormalities (R19.5)  <b>R86</b> <b>Abnormal findings in specimens from male genital organs</b> <b>[See before R83 for subdivisions]</b> Abnormal findings in: ・ prostatic secretions ・ semen, seminal fluid Abnormal spermatozoa <i>Excludes:</i> azoospermia (N46) oligospermia (N46)  <b>R87</b> <b>Abnormal findings in specimens from female genital organs</b> <b>[See before R83 for subdivisions]</b> Abnormal findings in secretions and smears from: ・ cervix uteri ・ vagina ・ vulva <i>Excludes:</i> carcinoma in situ (D05-D07.3)

No.	現行	提案	WHO勧告 (原文)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 膣</li> <li>・ 外陰</li> </ul> 除外：上皮内癌 (D05—D07.3) 異形成： <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子宮頸 (部) (N87.—)</li> <li>・ 膣 (N89.0—N89.3)</li> <li>・ 外陰 (N90.0—N90.3)</li> </ul> R89 その他の臓器, 器官系および組織からの検体<材料>の異常所見  下記における異常所見： <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 乳頭分泌物</li> <li>・ 滑液</li> <li>・ 創傷分泌物</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 膣</li> <li>・ 外陰</li> </ul> 除外：上皮内癌 (D05—D07.3) 異形成： <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子宮頸 (部) (N87.—)</li> <li>・ 膣 (N89.0—N89.3)</li> <li>・ 外陰 (N90.0—N90.3)</li> </ul> R89 その他の臓器, 器官系および組織からの検体<材料>の異常所見 <b>[R83の前に記載の細分類項目参照]</b> 下記における異常所見： <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 乳頭分泌物</li> <li>・ 滑液</li> <li>・ 創傷分泌物</li> </ul>	dysplasia of: <ul style="list-style-type: none"> <li>・ cervix uteri (N87.—)</li> <li>・ vagina (N89.0-N89.3)</li> <li>・ vulva (N90.0-N90.3)</li> </ul> <b>R89 Abnormal findings in specimens from other organs, systems and tissues</b> <b>[See before R83 for subdivisions]</b> Abnormal findings in: <ul style="list-style-type: none"> <li>・ nipple discharge</li> <li>・ synovial fluid</li> <li>・ wound secretions</li> </ul>
312	R90.8 中枢神経系の画像診断におけるその他の異常所見 脳超音波検査異常	R90.8 中枢神経系の画像診断におけるその他の異常所見 脳超音波検査異常 白質病変 NOS	<b>R90.8 Other abnormal findings on diagnostic imaging of central nervous system</b> Abnormal echoencephalogram <u>White matter disease NOS</u>
313	診断名不明および原因不明の死亡 (R95—R99) 除外：原因不明の胎児死亡 (P95) 産科的死亡 NOS (O95) R95 乳幼児突然死症候群	診断名不明および原因不明の死亡 (R95—R99) 除外：原因不明の胎児死亡 (P95) 産科的死亡 NOS (O95) R95 乳幼児突然死症候群 R95.0 乳幼児突然死症候群, 剖検の記載があるもの R95.9 乳幼児突然死症候群, 剖検の記載がないもの 乳幼児突然死症候群, 詳細不明	<b>Ill-defined and unknown causes of mortality (R95-R99)</b> <i>Excludes:</i> fetal death of unspecified cause ( P95 ) obstetric death NOS ( O95 ) <b>R95 Sudden infant death syndrome</b> <b>R95.0 Sudden infant death syndrome with mention of autopsy</b> <b>R95.9 Sudden infant death syndrome without mention of autopsy</b> <u>Sudden infant death syndrome, unspecified</u>
314	R96.0 即死	R96.0 即死 成人における説明のつかない突然死 除外：原因が既知の突然死 (A00.0—Q99.9, U04.9, V01.0—Y89.9)	<b>R96.0 Instantaneous death</b> <u>Sudden unexplained death in adult</u> <i>Excludes:</i> Sudden death of known aetiology (A00.0-Q99.9, U04.9,V01.0-Y89.9.)
315	第XIX章 損傷, 中毒およびその他の外因の影響  筋, 筋膜および腱の損傷, 下記を含む： 裂離 切創 裂傷<laceraTion> 外傷性断裂 } 筋 (肉), 筋膜および腱	第XIX章 損傷, 中毒及びその他の外因の影響  筋, 筋膜及び腱の損傷, 下記を含む： 裂離 切創 裂傷<laceraTion> ストレイン 外傷性断裂 } 筋 (肉), 筋膜及び腱	<b>Chapter XIX - Injury, poisoning and certain other consequences of external causes (S00-T98)</b>  Injury to muscle, fascia and tendon, including: avulsion cut laceration <u>strain</u> traumatic rupture } of muscle, fascia and tendon
316	S37.8 その他の骨盤臓器の損傷 副腎 精のう<囊> 前立腺 精管	S37.8 その他の骨盤臓器の損傷 副腎 前立腺 精のう<囊> 精管 除外：その他及び詳細不明の外性器の開放創 (S31.5)	<b>S37.8 Injury of other pelvic organs</b> Adrenal gland Prostate Seminal vesicle Vas deferens <i>Excludes:</i> Open wound of other and unspecified external genital organs (S31.5)

No.	現行	提案案	WHO勧告 (原文)
317	S46.0 肩 (回旋筋) 腱板の腱損傷	S46.0 肩 (回旋筋) 腱板の筋及び腱の損傷	<b>S46.0 Injury of muscle(s) and tendon(s) of the rotator cuff of shoulder</b>
318	S82.1 脛骨近位端骨折 脛骨: ・近位端 ・頭部 ・顆 ・粗面 } 腓骨骨折の記載の有無にかかわらない	S82.1 脛骨近位端骨折 脛骨: ・顆 ・頭部 ・プラトー ・近位端 ・粗面 } 腓骨骨折の記載の有無にかかわらない	<b>S82.1 Fracture of upper end of tibia</b> Tibial: ・ condyles ・ head ・ plateau ・ proximal end ・ tuberosity } with or without mention of fracture of fibula
319	T14.6 部位不明の筋および腱の損傷 裂離 切創 損傷   筋 NOS および腱 NOS 裂傷 <laceration> 外傷性断裂  除外: 筋および腱の多発性損傷 NOS (T06.4)	T14.6 部位不明の筋及び腱の損傷 裂離 切創 損傷 } 筋 NOS 及び腱 NOS 裂傷 <laceration> 捻挫 ストレイン 外傷性断裂  除外: 筋及び腱の多発性損傷 NOS (T06.4)	<b>T14.6 Injury of muscles and tendons of unspecified body region</b> Avulsion Cut Injury Laceration <u>Sprain</u> <u>Strain</u> Traumatic rupture <i>Excludes:</i> multiple injuries of tendons and muscles NOS ( <b>T06.4</b> )
320	T31 傷害された体表面積による熱傷分類 注: 本項目は熱傷部位が不明な場合のみ, 一次コードとして使用する。また, 部位が明示されている場合は, 必要に応じて項目 T20-T29 とともに補助コードとして使用する。	T31 傷害された体表面積による熱傷分類 注: 本項目は熱傷部位が不明な場合のみ, 一次コードとして使用する。また, 部位が明示されている場合は, 必要に応じて項目 T20-T25 又は T29 とともに補助コードとして使用する。	<b>T31 Burns classified according to extent of body surface involved</b> Note: This category is to be used as the primary code only when the site of the burn is unspecified. It may be used as a supplementary code with categories ( <del>T20-T29</del> )(T20-T25, or T29) when the site is specified.
321	T32 傷害された体表面積による腐食分類 注: 本項目は腐食部位が不明な場合のみ, 一次コードとして使用する。また, 部位が明示されている場合は, 必要に応じて項目 T20-T29 とともに補助コードとして使用する。	T32 傷害された体表面積による腐食分類 注: 本項目は腐食部位が不明な場合のみ, 一次コードとして使用する。また, 部位が明示されている場合は, 必要に応じて項目 T20-T25 又は T29 とともに補助コードとして使用する。	<b>T32 Corrosions classified according to extent of body surface involved</b> Note: This category is to be used as the primary code only when the site of the burn is unspecified. It may be used as a supplementary code with categories ( <del>T20-T29</del> )(T20-T25, or T29) when the site is specified.
322	T56 金属の毒作用 包含: すべての発生源からの金属, 薬用を除く 金属のフェームおよび蒸気 除外: 砒素およびその化合物 (T57.0) マンガンおよびその化合物 (T57.2) タリウム (T60.4)  T56.8 その他の金属	T56 金属の毒作用 包含: すべての発生源からの金属, 薬用を除く 金属のフェーム及び蒸気 除外: 砒素及びその化合物 (T57.0) マンガン及びその化合物 (T57.2)  T56.8 その他の金属 タリウム	<b>T56 Toxic effect of metals</b> <i>Includes:</i> fumes and vapours of metals metals from all sources, except medicinal substances <i>Excludes:</i> arsenic and its compounds ( T57.0 ) manganese and its compounds ( T57.2 ) <del>thallium ( T60.4 )</del>  <b>T56.8</b> Other metals <u>Thallium</u>
323	T60.4 殺鼠剤 タリウム 除外: ストリキニーネおよびその塩類 (T65.1)	T60.4 殺鼠剤 除外: ストリキニーネ及びその塩類 (T65.1)	<b>T60.4 Rodenticides</b> <del>Thallium</del>
324	T71 窒息 窒息 (絞扼による) :	T71 窒息 窒息 (絞扼による) :	<b>T71 Asphyxiation</b> Suffocation (by strangulation) Systemic oxygen deficiency due to:

No.	現行	提要案	WHO 勧告 (原文)
	※ ・鼻口部閉塞によるもの ※ ・頸部圧迫によるもの ※ ・胸部圧迫によるもの ※ ・その他 下記による全身性酸素欠乏： ・外気中の低酸素濃度 ・機械的呼吸圧迫 除外：下記における呼吸窮<促>迫（症候群）： ・成人<ARDS>（J80） ・新生児<IRDS>（P22.-） 下記による窒息： ・食物または異物の誤えん<嚥><吸引>（T17.-） ・一酸化炭素（T58） ・その他の気体，フュームおよび蒸気（T59.-） 高所での無酸素症（T70.2）	※ ・鼻口部閉塞によるもの ※ ・頸部圧迫によるもの ※ ・胸部圧迫によるもの ※ ・その他 下記による全身性酸素欠乏： ・外気中の低酸素濃度 ・機械的呼吸圧迫 除外：下記における呼吸窮<促>迫： ・成人における症候群<ARDS>（J80） ・新生児におけるもの<IRDS>（P22.-） 下記による窒息： ・食物または異物の誤えん<嚥><吸引>（T17.-） ・一酸化炭素（T58） ・その他の気体，フューム及び蒸気（T59.-） 高所での無酸素症（T70.2）	・ low oxygen content in ambient air ・ mechanical threat to breathing <b>Excludes:</b> anoxia due to high altitude (T70.2) asphyxia from: ・ carbon monoxide (T58) ・ inhalation of food or foreign body (T17.-) ・ other gases, fumes and vapours (T59.-) respiratory distress: ・ <u>syndrome in adult</u> (J80) ・ <u>in newborn</u> (P22.-)
325	T79 外傷の早期合併症，他に分類されないもの 除外：呼吸窮<促>迫症候群： ・成人<ARDS>（J80） ・新生児<IRDS>（P22.0） 医学的処置中または処置に続発して発生したもの（T80—T88） 外科的および内科的ケアの合併症 NEC（T80—T88）	T79 外傷の早期合併症，他に分類されないもの 除外：呼吸： ・成人における症候群<ARDS>（J80） ・新生児におけるもの<IRDS>（P22.-） 医学的処置中又は処置に続発して発生したもの（T80—T88） 外科的及び内科的ケアの合併症 NEC（T80—T88）	<b>T79 Certain early complications of trauma, not elsewhere classified</b> <b>Excludes:</b> complications of surgical and medical care NEC (T80—T88) respiratory distress : ・ <u>syndrome of adult</u> (J80) ・ <u>in newborn</u> (P22.0)(P22.-) when occurring during or following medical procedures (T80—T88)
326	T80.2 輸液，輸血および治療用注射に続発する感染症 感染症 敗血症 敗血症性ショック }  輸液，輸血および治療用注射に続発するもの	T80.2 輸液，輸血及び治療用注射に続発する感染症 感染症 敗血症 敗血症 輸液，輸血及び治療用注射 に続発するもの 敗血症性ショックの分類が必要な場合は，追加コード（R57.2）を使用する。	<b>T80.2 Infections following infusion, transfusion and therapeutic injection</b> Infection } Sepsis } following infusion, transfusion and therapeutic injection Septic shock } Use additional code (R57.2), if desired, to identify septic shock
327	T81 処置の合併症，他に分類されないもの 除外：他に分類される明示された合併症，下記のようなもの： ・薬物および薬剤による皮膚炎（L23.3，L24.4，L25.1，L27.0—，L27.1） ・薬物および化学物質の中毒および毒作用（T36—T65） ・プロステーシス，挿入物および移植片の合併症（T82—T85） 下記に続発する合併症： ・輸液，輸血および治療用注射（T80.-） ・予防接種（T88.0—T88.1） 薬物の有害作用 NOS（T88.7）	T81 処置の合併症，他に分類されないもの 除外：他に分類される明示された合併症，下記のようなもの： ・薬物および薬剤による皮膚炎（L23.3，L24.4，L25.1，L27.0-，L27.1） ・薬物及び化学物質の中毒および毒作用（T36—T65） ・プロステーシス，挿入物及び移植片の合併症（T82—T85） ・移植臓器及び組織の不全及び拒絶反応（T86） 下記に続発する合併症： ・輸液，輸血及び治療用注射（T80.-） ・予防接種（T88.0—T88.1） 薬物の有害作用 NOS（T88.7）	<b>T81 Complications of procedures, not elsewhere classified</b> <b>Excludes:</b> adverse effect of drug NOS (T88.7) complication following: immunization (T88.0-T88.1) infusion, transfusion and therapeutic injection (T80.-) specified complications classified elsewhere, such as: complications of prosthetic devices, implants and grafts (T82-T85) dermatitis due to drugs and medicaments (L23.3, L24.4, L25.1, L27.0-L27.1) <u>failure and rejection of transplanted organs and tissues (T86)</u> poisoning and toxic effects of drugs and chemicals (T36-T65)
328	T81.1 処置中のまたはその結果によるショック，他に分類されないもの 虚脱 NOS ショック } 処置中のまたは処置に	T81.1 処置中の又はその結果によるショック，他に分類されないもの 虚脱 NOS ショック（エンドトキ } 処置中の又は処置に 続発するもの	<b>T81.1 Shock during or resulting from a procedure, not elsewhere classified</b> Collapse NOS Shock } during or following a procedure

No.	現行	提要案	WHO勧告 (原文)
	(エンドトキシン性) 続発するもの (血流減少性) (敗血症性) 術後ショック NOS	シン性) (血流減少性) 術後ショックNOS  敗血症性ショックの分類が必要な場合は、追加コード (R57.2) を使用する。	Shock (endotoxic)(hypovolaemic) (septic) } Postprocedural shock NOS  <u>Use additional code (R57.2), if desired, to identify septic shock</u>
329	T81.4 処置に続発する感染症、他に分類されない 膿瘍： ・腹腔内 ・縫合 }処置後 ・横隔膜下 ・創傷 敗血症	T81.4 処置に続発する感染症、他に分類されない 膿瘍： ・腹腔内 ・縫合 }処置後 ・横隔膜下 ・創傷 敗血症  敗血症または膿瘍での感染症の他の徴候の分類が必要な場合は、追加コードを使用する。	<b>T81.4 Infection following a procedure, not elsewhere classified</b> Abscess: ・ intra-abdominal ・ stitch }postprocedural ・ subphrenic ・ wound Sepsis <u>Use additional code, if desired, to identify other manifestations of infection, such as sepsis or abscess.</u> ※第3回部会資料から抜けていたため追加
330	T82.8 心臓および血管のプロステーシス、挿入物および移植片のその他の合併症 合併症 塞栓症 血栓症 線維症 出血 疼痛 狭窄 (症)    心臓および血管のプロステーシス、挿入物および移植片	T82.8 心臓及び血管のプロステーシス、挿入物及び移植片のその他の明示された合併症  塞栓症 線維症 出血 疼痛 狭窄 (症) 血栓症  心臓及び血管のプロステーシス、挿入物及び移植片	<b>T82.8 Other specified complications of cardiac and vascular prosthetic devices, implants and grafts</b> Complication Embolism Fibrosis Haemorrhage Pain Stenosis Thrombosis  } due to cardiac and vascular prosthetic devices, implants and grafts
331	損傷、中毒およびその他の外因による影響の続発・後遺症 (T90—T98)  注：これらの項目は、後遺症 (それ自体は他に分類される) の原因として S00—S99 および T00—T88 に記載されている病態を示すために使用される。続発・後遺症は、前述の病態、後遺症として明示された病態または急性損傷の後1年以上存在している病態を含む。	損傷、中毒及びその他の外因による影響の続発・後遺症 (T90—T98)  注：項目 T90-T98 は、後遺症 (それ自体は他に分類される) の原因として S00—S99 および T00—T88 に記載されている病態を示すために使用される。「続発・後遺症」とは、続発・後遺症と記載された病態または急性損傷の後1年以上存在している病態を含む。 慢性中毒および有害な曝露については使用しない。現在の中毒および有害な曝露にコードする。	<b>Sequelae of injuries, of poisoning and of other consequences of external causes (T90-T98)</b> <i>Note:</i> These categories <b>T90-T98</b> are to be used to indicate conditions in <b>S00-S99</b> and <b>T00-T88</b> as the cause of late effects, which are themselves classified elsewhere. The “sequelae” include those specified as such, or as late effects, and those present one year or more after the acute injury.  <u>Not to be used for chronic poisoning and harmful exposure. Code these to current poisoning and harmful exposure.</u>
332	交通事故 (V01—V99)  注：本節は12の群からなる。陸上交通事故に関連したもの (V01—V89) は、受傷者の移動手段を示し、それは受傷者の相手方あるいは事件の型によって細分類されている。受傷者の乗っていた交通機関は最初の2桁で示されている。これは交通機関を同定することが事故防止の点からみてもっとも重要な因子と思われるからである。  除外：動いておらず、公道上にない輸送機器もしくは車両の整備または修理に従事する者の事故 (W00—X59)	交通事故 (V01—V99)  注：本節は12の群からなる。陸上交通事故に関連したもの (V01—V89) は、受傷者の移動手段を示し、それは受傷者の相手方あるいは事件の型によって細分類されている。受傷者の乗っていた交通機関は最初の2桁で示されている。これは交通機関を同定することが事故防止の点からみてもっとも重要な因子と思われるからである。  除外：(動いていない) 輸送機器もしくは車両の整備または修理に従事する者の事故で、別の動いている車両による負傷を除く (W00—X59)	<b>Transport accidents (V01-V99)</b>  <i>Note:</i> This section is structured in 12 groups. Those relating to land transport accidents (V01-V89) reflect the victim’s mode of transport and are subdivided to identify the victim’s “counterpart” or the type of event. The vehicle of which the injured person is an occupant is identified in the first two characters since it is seen as the most important factor to identify for prevention purposes.  <i>Excludes:</i> accidents to persons engaged in the maintenance or repair of transport equipment or vehicle (not in motion) <del>not on a public highway unless injured by another vehicle in motion</del>

No.	現行	提 要 案	WHO 勧告 (原文)
	<p>天災による交通事故 (X34—X38)</p> <p>故意の自傷 (X82—X83)</p> <p>モーター車両の衝突による加害にもとづく傷害および死亡 (Y03.-)</p> <p>不慮か故意かの決定されない事件 (Y32—Y33)</p>	<p>車両による事故、輸送手段関連の危険因子と関連しないもの [例えば、船上での口論；大災害における輸送車両；自動車の扉を閉める際に指を挟むことによる負傷] (W00-X59)</p> <p>故意の自傷 (X82—X83)</p> <p>モーター車両の衝突による加害にもとづく傷害および死亡 (Y03.-)</p> <p>不慮か故意かの決定されない事件 (Y32—Y33)</p>	<p>(W00-X59)</p> <p><u>accidents involving vehicles, but unrelated to the hazards associated with the means of transportation</u> [e.g., injuries received in a fight on board ship; transport vehicle involved in a cataclysm; finger crushed when shutting car door] (W00-X59)</p> <p>assault by crashing of motor vehicle (Y03.-)</p> <p>event of undetermined intent (Y32-Y33)</p> <p>intentional self-harm (X82-X83)</p> <p><del>transport accidents due to cataclysm (X34-X38)</del></p>
333	<p>交通事故 (V01—V99)</p> <p>除外：・・・</p> <p>故意の自傷 (X82—X83)</p> <p>不慮か故意かの決定されない事件 (Y32—Y33)</p>	<p>交通事故 (V01—V99)</p> <p>除外：・・・</p> <p>故意の自傷 (X81—X83)</p> <p>不慮か故意かの決定されない事件 (Y31—Y33)</p>	<p><b>Transport accidents (V01-V99)</b></p> <p>...</p> <p><b>Excludes:</b></p> <p>...</p> <p>event of undetermined intent (<del>Y32</del> Y31-Y33)</p> <p>intentional self-harm (<del>X82</del> X81-X83)</p>
334	<p>(m) オート三輪車とは、本来道路上で使用するために設計された原動機付き三輪車をいう。</p> <p>包含：原動機駆動三輪車 原動機付き人力車 三輪自動車</p> <p>除外：サイドカー付きオートバイー 定義 (k) を参照 全地形用特殊車両 — 定義 (w) を参照</p> <p>(n) 乗用車とは、本来 10 人以内の人を輸送するために設計された四輪のモーター車両をいう。</p> <p>包含：ミニバス</p> <p>(o) モーター車両または車両には多様な輸送車両が該当する。車両用語の各地域における使用については、適切なコードを決定し、制定すべきである。用語が曖昧に使用された場合は、「詳細不明」のコードを使用する。</p> <p>(p) 軽トラックまたはバンとは、本来、物を輸送する目的で設計された四輪または六輪のモーター車両で、その地域の大型貨物車の基準より軽く、特別な運転免許を要しないものをいう。</p> <p>(q) 大型輸送車両とは、本来、物を輸送する目的で設計されたモーター車両で、その地域の大型貨物車の基準重量 (通常 3500Kg 以上) を満たし、特別な運転免許を要するものをいう。</p> <p>(r) バスとは、本来、10 人を超える人を輸送する目的で設計されまたは改造されたモーター車両で、特別な運転免許を要するものをいう。</p> <p>(s) 鉄道列車または鉄道車両とは、連結車の有無を問わず、軌道上を走行する目的で作られたものをいう。</p> <p>包含：都市間連絡： ・電車 ・ ・ (他の交通機関に用いられない専用路を走行するもの) ・市街電車 蒸気、電気、ディーゼルなどあらゆる動力による鉄道列車：</p>	<p>(英語版における当初の落丁により本欄は、修正箇所未反映)</p> <p>m) オート三輪車とは、本来道路上で使用するために設計された原動機付き三輪車をいう。</p> <p>包含：原動機駆動三輪車 原動機付き人力車 三輪自動車</p> <p>除外：サイドカー付きオートバイー 定義 (k) を参照 全地形用特殊車両 — 定義 (w) を参照</p> <p>(n) 乗用車とは、本来 10 人以内の人を輸送するために設計された四輪のモーター車両をいう。</p> <p>包含：ミニバス</p> <p>(o) モーター車両または車両には多様な輸送車両が該当する。車両用語の各地域における使用については、適切なコードを決定し、制定すべきである。用語が曖昧に使用された場合は、「詳細不明」のコードを使用する。</p> <p>(p) 軽トラックまたはバンとは、本来、物を輸送する目的で設計された四輪または六輪のモーター車両で、その地域の大型貨物車の基準より軽く、特別な運転免許を要しないものをいう。</p> <p>(q) 大型輸送車両とは、本来、物を輸送する目的で設計されたモーター車両で、その地域の大型貨物車の基準重量 (通常 3500Kg 以上) を満たし、特別な運転免許を要するものをいう。</p> <p>(r) バスとは、本来、10 人を超える人を輸送する目的で設計されまたは改造されたモーター車両で、特別な運転免許を要するものをいう。</p> <p>(s) 鉄道列車または鉄道車両とは、連結車の有無を問わず、軌道上を走行する目的で作られたものをいう。</p> <p>包含：都市間連絡： ・電車 ・市街電車 蒸気、電気、ディーゼルなどあらゆる動力による鉄道列車： ・ケーブルカー</p> <p>(他の交通機関に用いられない専用路を走行するもの)</p>	<p>(m) A <i>three-wheeled motor vehicle</i> is a motorized tricycle designed primarily for on-road use.</p> <p><b>Includes:</b> motor-driven tricycle motorized rickshaw three-wheeled motor car</p> <p><b>Excludes:</b> motorcycle with sidecar – see definition (k) special all-terrain vehicle – see definition (<del>w</del>)(x)</p> <p>(n) A <i>car [automobile]</i> is a four-wheeled motor vehicle designed primarily for carrying up to 10 persons. <u>A trailer or caravan being towed by a car is considered a part of the car.</u></p> <p><b>Includes:</b> minibus</p> <p><u>(o) A motor vehicle or vehicle may refer to various transport vehicles. The local usage of the terms should be established to determine the appropriate code. If the terms are used ambiguously, use the code for “unspecified.” A trailer or caravan being towed by a vehicle is considered a part of the vehicle</u></p> <p>(op) A <i>pick-up truck or van</i> (pq) A <i>heavy transport vehicle</i> (qr) A <i>bus</i> (rs) A <i>railway train or railway vehicle</i> is any device, with or without cars coupled to it, designed for traffic on a railway.</p> <p><b>Includes:</b> interurban: • electric car } (operated chiefly on its own right-of-way, • streetcar } not open to other traffic) railway train, any power [diesel] [electric] [steam]: • funicular • monorail or two-rail • subterranean or elevated other vehicle designed to run on a railway track</p> <p><b>Excludes:</b> interurban electric cars [streetcars] specified to be operating on a right-of-way that forms part of the public street or highway – see definition (st)</p> <p>(st) A <i>streetcar</i> (tu) A <i>special vehicle mainly used on industrial premises</i></p>



No.	現行	提 要 案	WHO 勧告 (原文)
	(z) 航空機とは、人または物を空中で輸送するすべてのものをいう。	(z) 航空機とは、人または物を空中で輸送するすべてのものをいう。	
335	<p>転倒・転落 (W00—W19) [4桁細分類項目は889~892ページを参照]</p> <p>除外：下記への、または下記からの転落：  <ul style="list-style-type: none"> <li>・交通機関 (V01—V99)</li> <li>・動物 (V80.-)</li> <li>・機械 (運転中のもの) (W28—W31)</li> <li>・水中 (溺死または溺水を伴うもの) (W65—W74)</li> <li>・燃焼中の建物 (X00.-)</li> <li>・火中 (X00—X04, X08—X09)</li> </ul>             故意の自傷 (X80—X81)            加害にもとづく傷害および死亡 (Y01—Y02)</p>	<p>転倒・転落・墜落 (W00—W19) [4桁細分類項目は889~892ページを参照]</p> <p>除外：加害にもとづく傷害及び死亡 (Y01—Y02)            下記への、又は下記からの転落：  <ul style="list-style-type: none"> <li>・動物 (V80.-)</li> <li>・燃焼中の建物 (X00.-)</li> <li>・火中 (X00—X04, X08—X09)</li> <li>・水中 (溺死又は溺水を伴うもの) (W65—W74)</li> <li>・機械 (運転中のもの) (W28—W31)</li> <li>・不慮の事故に起因しない転倒傾向 (R29.6)</li> <li>・交通機関 (V01—V99)</li> </ul>           故意の自傷 (X80—X81)</p>	<p><b>Falls (W00-W19)</b></p> <p>[See pages 1013-1017 for fourth-character subdivisions]</p> <p><b>Excludes:</b> assault (Y01-Y02)            fall (in)(from):  <ul style="list-style-type: none"> <li>• animal (V80.-)</li> <li>• burning building (X00)</li> <li>• into fire (X00-X04, X08-X09)</li> <li>• into water (with drowning or submersion) (W65-W74)</li> <li>• machinery (in operation) (W28-W31)</li> <li>• repeated falls not resulting from accident (R29.6)</li> <li>• transport vehicle (V01-V99)</li> <li>intentional self-harm (X80-X81)</li> </ul> </p>
336	<p>W13 建物または建造物からの転落            包含：下記からの転落：  <ul style="list-style-type: none"> <li>・バルコニー</li> <li>・壁</li> <li>・建物</li> <li>・手すり</li> <li>・塔</li> <li>・橋</li> <li>・旗掲揚台</li> <li>・窓</li> <li>・櫓</li> <li>・屋根</li> <li>・床</li> <li>・陸橋</li> </ul>           除外：建物または建造物の崩壊 (W20.-)            燃焼中の建物からの転落または飛び降り (X00.-)</p>	<p>W13 建物又は建造物からの転落            包含：下記からの転落：  <ul style="list-style-type: none"> <li>・バルコニー</li> <li>・橋</li> <li>・建物</li> <li>・旗掲揚台</li> <li>・床</li> <li>・手すり</li> <li>・屋根</li> <li>・塔</li> <li>・櫓</li> <li>・陸橋</li> <li>・壁</li> <li>・窓</li> </ul>           除外：建物又は建造物の崩壊 (W20.-)            燃焼中の建物又は建造物からの転落又は飛び降り (X00.-)</p>	<p><b>W13 Fall from, out of or through building or structure</b>  <b>Includes:</b> fall from, out of or through:  <ul style="list-style-type: none"> <li>• balcony</li> <li>• bridge</li> <li>• building</li> <li>• etc. etc. etc.</li> </ul> <b>Excludes:</b> collapse of a building or structure (W20.-)            fall or jump from burning building or structure (X00.-)</p>
337	<p>W17 その他の転倒            包含：下記からのまたは下記への転倒：  <ul style="list-style-type: none"> <li>・穴</li> <li>・くぼみ</li> </ul> </p>	<p>W17 その他の転倒            包含：下記からの又は下記への転倒：...  <ul style="list-style-type: none"> <li>・移動クレーン</li> <li>・穴</li> <li>・つり上げ装置</li> <li>・可動式昇降作業足場 [MEWP]</li> <li>・くぼみ</li> <li>・高所作業車</li> </ul> </p>	<p><b>W17 Fall from one level to another</b>  <b>Includes:</b> fall from or into:...  <ul style="list-style-type: none"> <li>• cherry picker</li> <li>• hole</li> <li>• lifting device</li> <li>• mobile elevated work platform [MEWP]</li> <li>• pit</li> </ul>   <ul style="list-style-type: none"> <li>• sky lift</li> </ul> </p>
338	<p>W23 物体内または物体間への捕捉、圧挫、圧入または挟まれ            包含：下記への捕捉、圧挫、圧入または挟まれ：  <ul style="list-style-type: none"> <li>・折りたたみ式のもの</li> </ul> </p>	<p>W23 物体内又は物体間への捕捉、圧挫、圧入又は挟まれ            包含：下記への捕捉、圧挫、圧入又は挟まれ：  <ul style="list-style-type: none"> <li>・折りたたみ式のもの   のような   運動中の物体間</li> </ul> </p>	<p><b>W23 Caught, crushed, jammed or pinched in or between objects</b></p> <p>...  <b>Excludes:</b> injury caused by:</p>



No.	現行	提 要 案	WHO 勧告 (原文)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き戸と戸枠の間に挟まった場合</li> <li>手のゆるみにより (運送用) 外装箱の下になった場合</li> <li>洗濯機のローラー式しぼり機</li> </ul> <p>のような</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>運動中の物体間</li> <li>停止中の物体と運動中の物体との間</li> <li>物体内</li> </ul> <p>除外：下記による損傷：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>交通機関 (V01-V99)</li> <li>持ち上げ装置および伝達装置 (W24.-)</li> <li>刃器または刺器 (W25-W27)</li> <li>無動力手工具 (W27.-)</li> <li>機械 (W28-W31)</li> </ul> <p>投げられ、投げ出されまたは落下する物体による打撲 (W20.-)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き戸と戸枠の間に挟まった場合</li> <li>手のゆるみにより (運送用) 外装箱の下になった場合</li> <li>洗濯機のローラー式しぼり機</li> </ul> <p>停止中の物体と運動中の物体との間 物体内</p> <p>除外：下記による損傷：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>刃器又は刺器 (W25-W27)</li> <li>持ち上げ装置及び伝達装置 (W24.-)</li> <li>機械 (W28-W31)</li> <li>無動力手工具 (W27.-)</li> <li>輸送手段として使用される交通機関 (V01-V99)</li> </ul> <p>投げられ、投げ出され又は落下する物体による打撲 (W20.-)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Cutting or piercing instruments (W25-W27)</li> <li>Lifting and transmission devices (W24.-)</li> <li>Machinery (W28-W31)</li> <li>Nonpowered hand tools (W27.-)</li> <li>Transport vehicle <u>being used as a means of transportation</u> (V01-V99)</li> </ul> <p>Struck by thrown, projected or falling object (W20.-)</p>
339	W27 無動力手工具との接触	W27 無動力手工具との接触 除外：皮下注射針 (W46.-)  W46 皮下注射針との接触	<b>W27 Contact with nonpowered hand tool</b>  <i>Excludes:</i> hypodermic needle (W46.-)  <b>W46 Contact with hypodermic needle</b>
340	W45 皮膚からの異物侵入 包含：ブリキ缶のふた 爪 硬い紙の角 とげ 除外：物体による打撲 (W20-W22) 下記との接触： ・鋭いガラス (W25.-) ・ナイフ、刀剣または短剣 (W26.-) ・手工具 (無動力) (動力) (W27-W29)	W45 皮膚からの異物侵入 包含：ブリキ缶のふた 爪 硬い紙の角 とげ 除外：下記との接触： ・手工具 (無動力) (動力) (W27-W29) ・皮下注射針 (W46.-) ・ナイフ、刀剣又は短剣 (W26.-) ・鋭いガラス (W25.-) 物体による打撲 (W20-W22)	<b>W45 Foreign body or object entering through skin</b> <i>Includes:</i> edge of stiff paper nail splinter tin-can lid <i>Excludes:</i> contact with: ・hand tools (nonpowered)(powered) (W27-W29) ・hypodermic needle (W46.-) ・knife, sword or dagger (W26.-) ・sharp glass (W25.-) struck by objects (W20-W22)
341	W80 気道閉塞を生じたその他の物体の誤えん<嚥><吸引> 包含：食物または嘔吐物以外の物体の鼻または口からの侵入による窒息  (気道への) 食物または嘔吐物以外の物体の誤えん<嚥><吸引> NOS ...	W80 気道閉塞を生じたその他の物体の誤えん<嚥><吸引> 包含：食物または嘔吐物以外の物体の鼻または口からの侵入による窒息 誤えん<嚥><吸引> NOS (気道への) 食物または嘔吐物以外の物体の誤えん<嚥><吸引> NOS ...	<b>W80 Inhalation and ingestion of other objects causing obstruction of respiratory tract</b> <i>Includes:</i> asphyxia by ... <u>aspiration NOS</u> aspiration and inhalation of foreign body, except food or vomitus (into respiratory tract), NOS
342	W84 詳細不明の窒息	W84 詳細不明の窒息	<b>W84 Unspecified threat to breathing</b>

No.	現行	提案	WHO勧告 (原文)
	包含：誤えん<嚥><吸引> NOS 窒息 NOS	包含： 窒息 NOS	<i>Includes:</i> asphyxiation NOS <del>aspiration NOS</del> suffocation NOS
343	X34 地震による受傷者	X34 地震による受傷者 X34.0 地震による地殻変動の受傷者 包含：建物又はその他の構造物の崩壊に閉じ込められた者又はそれによって傷つけられた者 X34.1 津波による受傷者 X34.8 地震によるその他の明示された影響の受傷者 X34.9 地震による詳細不明の影響の受傷者	<b>X34 Victim of earthquake</b> <b>X34.0 Victim of cataclysmic earth movements caused by earthquake</b> <i>Includes:</i> trapped in or injured by collapsing building or other structure <b>X34.1 Victim of tsunami</b> <b>X34.8 Victim of other specified effects of earthquake</b> <b>X34.9 Victim of unspecified effect of earthquake</b>
344	X39 その他および詳細不明の自然の力への曝露 包含：自然放射線 NOS 大波 NOS ※ 津波 除外：曝露 NOS (X59.-)	X39 その他及び詳細不明の自然の力への曝露 包含：自然放射線 NOS 大波 NOS 除外：曝露 NOS (X59.9) 津波 (X34.1)	<b>X39 Exposure to other and unspecified forces of nature</b> <i>Includes:</i> natural radiation NOS tidal wave NOS <i>Excludes:</i> exposure NOS (X59.-) tsunami (X34.1)
345	X47 その他のガスおよび蒸気による不慮の中毒および曝露 包含：一酸化炭素 流涙ガス [催涙ガス]	X47 その他のガスおよび蒸気による不慮の中毒および曝露 包含：一酸化炭素 ヘリウム (非薬物性) NEC 流涙ガス [催涙ガス]	<b>X47 Accidental poisoning by and exposure to other gases and vapours</b> <i>Includes:</i> carbon monoxide helium (nonmedicinal) NEC lacrimogenic gas [tear gas]
346	X53 食糧の不足 包含：下記の原因となった食糧不足： ・栄養失調 ・栄養不良 ・飢餓 除外：遺棄または放置 (Y06.-)	X53 食糧の不足 包含：下記の原因となった食糧不足： ・栄養失調 ・栄養不良 ・飢餓 除外：遺棄または放置 (Y06.-) セルフネグレクトによる食物及び水分の摂取不足 (R63.6) セルフネグレクト NOS (R46.8)	<b>X53 Lack of food</b> <i>Includes:</i> lack of food as the cause of: ・ inanition ・ insufficient nourishment ・ starvation <i>Excludes:</i> neglect or abandonment by others (Y06.-) insufficient intake of food and water due to self neglect (R63.6) self neglect NOS (R46.8)

No.	現行	提要案	WHO勧告 (原文)
347	X59 詳細不明の要因への曝露 包含：不慮の事故 NOS 曝露 NOS	X59 詳細不明の要因への曝露  X59.0 詳細不明の骨折 X59.9 その他及び詳細不明の損傷 包含：不慮の事故 NOS 曝露 NOS	X59 Exposure to unspecified factor * <i>Includes:</i> accident NOS exposure NOS X59.0 Exposure to unspecified factor causing fracture X59.9 Exposure to unspecified factor causing other and unspecified injury  <i>Includes:</i> accident NOS exposure NOS
348	X67 その他のガスおよび蒸気による中毒および曝露にもとづく自傷および自殺 包含：一酸化炭素 流涙ガス [催涙ガス]	X67 その他のガスおよび蒸気による中毒および曝露にもとづく自傷および自殺 包含：一酸化炭素 ヘリウム (非薬物性) NEC 流涙ガス [催涙ガス]	X67 Intentional self-poisoning by and exposure to other gases and vapours <i>Includes:</i> carbon monoxide helium (nonmedicinal) NEC lacrimogenic gas [tear gas]
349	Y07 その他の虐待症候群	Y07 その他の虐待	Y07 Other maltreatment syndromes
350	Y17 その他のガスおよび蒸気による中毒および曝露、不慮か故意か決定されないもの 包含：… 流涙ガス [催涙ガス]	Y17 その他のガスおよび蒸気による中毒および曝露、不慮か故意か決定されないもの 包含：一酸化炭素 ヘリウム (非薬物性) NEC 流涙ガス [催涙ガス]	Y17 Poisoning by and exposure to other and unspecified drugs, medicaments and biological substances, undetermined intent <i>Includes:</i> … helium (nonmedicinal) NEC lacrimogenic gas [tear gas]
351	外科的および内科的ケア時における患者に対する医療事故 (Y60—Y69) 除外：治療および診断に用いて副反応を起こした医療用器具 (Y70—Y82) 患者の異常反応を生じた外科的および内科的処置で、処置時には事故の記載がないもの (Y83—Y84)	外科的及び内科的ケア時における患者に対する医療事故 (Y60—Y69) 除外：医療用器具の破損又は不具合 (治療中) (移植後) (継続使用) (Y70—Y82) 患者の異常反応を生じた外科的及び内科的処置で、処置時には事故の記載がないもの (Y83—Y84)	Misadventures to patients during surgical and medical care (Y60—Y69) <i>Excludes:</i> medical devices associated with adverse incidents in diagnostic and therapeutic use breakdown or malfunctioning of medical device (during procedure) (after implantation) (ongoing use) (Y70—Y82) surgical and medical procedures as the cause of abnormal reaction of the patient, without mention of misadventure at the time of the procedure (Y83-Y84)
352	外科的および内科的ケア時における患者に対する医療事故(Y60-Y69) 除外：医療用器具の破損、または動作しないもの(治療中)(移植後)(継続使用)(Y70-Y82) 患者の異常反応を生じた外科的および内科的処置で、処置時には事故の記載がないもの(Y83-Y84)	外科的および内科的ケア時における患者に対する医療事故 (Y60—Y69) 除外：医療用器具の破損、動作しないもの (治療中) (移植後) (継続使用) (Y70—Y82) 患者の異常反応を生じた外科的および内科的処置で、処置時には事故の記載がないもの (Y83—Y84) 他に分類される外因による有害事象に関連した医療用器具 (V01—Y59, Y85-Y87, Y89)	Misadventures to patients during surgical and medical care (Y60-Y69) <i>Excludes:</i> breakdown and malfunctioning ... (ongoing use) (Y70-Y82) surgical and medical procedure ... time of the procedure (Y83-Y84) medical devices associated with adverse incidents due to external causes classified elsewhere (V01-Y59, Y85-Y87, Y89)

No.	現行	提案案	WHO勧告 (原文)
353	治療および診断に用いて副反応を起こした医療用器具 (Y70—Y82)  下記の4桁細分類項目は項目 Y70—Y82 に使用する： .0 診断およびモニター用器具 .1 治療 (外科手術以外) およびリハビリテーション器具 .2 プロステーシスおよびその他の挿入物, 材料および付属器具 .3 外科用機械, 材料および器具 (縫合を含む) .8 その他の器具, 他に分類されないもの	治療及び診断に用いて副反応を起こした医療用器具 (Y70—Y82) 包含: 医療用器具の破損又は不具合 (治療中) (移植後) (継続使用) 除外: 外科的及び内科的ケア時における患者に対する医療事故, Y60—Y69 に分類されるもの (Y60—Y69) 医療用器具の使用後に合併症を生じた処置で医療用器具の破損又は不具合の記載がないもの (Y83—Y84) 他に分類される外因による有害事象に関連した医療用器具 (V01—Y59, Y85—Y87, Y89)  下記の4桁細分類項目は項目 Y70—Y82 に使用する： .0 診断及びモニター用器具 .1 治療 (外科手術以外) 及びリハビリテーション器具 .2 プロステーシス及びその他の挿入物, 材料および付属器具 .3 外科用機械, 材料及び器具 (縫合を含む) .8 その他の器具, 他に分類されないもの	<b>Medical devices associated with adverse incident in diagnostic and therapeutic use (Y70-Y82)</b> <i>Excludes:</i> misadventure to patients ... classifiable to Y60-Y69 (Y60-Y69) later complications to patients ... malfunctioning of medical device (Y83-Y84) <u>medical devices associated with adverse incidents due to external causes classified elsewhere (V01-Y59, Y85-Y87, Y89)</u>
354	患者の異常反応または後発合併症を生じた外科的およびその他の医学的処置で, 処置時には事故の記載がないもの (Y83—Y84)	患者の異常反応又は後発合併症を生じた外科的及びその他の医学的処置で, 処置時には事故の記載がないもの (Y83—Y84) 除外: 外科的及び内科的ケア時における患者に対する医療事故, Y60—Y69 に分類されるもの (Y60—Y69) 医療用器具の破損又は不具合 (治療中) (移植後) (継続使用) (Y70—Y82) 他に分類される外因による有害事象に関連した医療用器具 (V01—Y59, Y85—Y87, Y89)	<b>Surgical and other medical procedures as the cause of abnormal reaction of the patient, or of later complication, without mention of misadventure at the time of the procedure (Y83-Y84)</b> <i>Excludes:</i> misadventure to patients ... classifiable to Y60-Y69 (Y60-Y69) breakdown and malfunctioning ... (ongoing use) (Y70-Y82) <u>medical devices associated with adverse incidents due to external causes classified elsewhere (V01-Y59, Y85-Y87, Y89)</u>
355	傷病および死亡の外因の続発・後遺症 (Y85—Y89) 注: 項目 Y85—Y89 は, 続発・後遺症または「後遺症」 (それ自身は他に分類される) が死亡, 機能障害または能力低下の原因となった状況を示すために使用する。続発・後遺症とは, 続発・後遺症として報告された病態または事件後1年以上後に「後遺症」として生じている病態を含む。	傷病および死亡の外因の続発・後遺症 (Y85—Y89) 注: 項目 Y85—Y89 は, 続発・後遺症又は「後遺症」 (それ自身は他に分類される) が死亡, 機能障害又は能力低下の原因となった状況を示すために使用する。続発・後遺症とは, 続発・後遺症と報告された病態又は事件後1年以上後に「後遺症」として生じている病態を含む。  慢性中毒及び有害な曝露については使用しない。現在の中毒及び有害な曝露にコードする。	<b>Sequelae of external causes of morbidity and mortality (Y85-Y89)</b> <i>Note:</i> Categories <b>Y85-Y89</b> are to be used to indicate circumstances as the cause of death, impairment or disability from sequelae or “late effects”, which are themselves classified elsewhere. The sequelae include conditions reported as such, or occurring as “late effects” one year or more after the originating event.  <u>Not to be used for chronic poisoning and harmful exposure. Code these to current poisoning and harmful exposure.</u>
356	Z21 無症候性ヒト免疫不全ウイルス [HIV] 感染状態 HIV 陽性 (状態) NOS 除外: ヒト免疫不全ウイルス [HIV] 病 (B20—B24) ヒト免疫不全ウイルス [HIV] の検査陽性 (R75) ヒト免疫不全ウイルス [HIV] との接触または曝露 (Z20.6)	Z21 無症候性ヒト免疫不全ウイルス [HIV] 感染状態 HIV 陽性 (状態) NOS 除外: ヒト免疫不全ウイルス [HIV] との接触または曝露 (Z20.6) ヒト免疫不全ウイルス [HIV] 病 (B20—B24) 妊娠, 分娩及び産じょく<褥>に合併するヒト免疫不全ウイルス [HIV] 病 (O98.7) ヒト免疫不全ウイルス [HIV] の検査陽性 (R75)	<b>Z21 Asymptomatic human immunodeficiency virus [HIV] infection status</b> HIV positive NOS <i>Excludes:</i> contact with or exposure to human immunodeficiency virus [HIV] (Z20.6) human immunodeficiency virus [HIV] disease (B20-B24) <u>human immunodeficiency virus [HIV] disease complicating pregnancy, childbirth and the puerperium (O98.7)</u> laboratory evidence of human immunodeficiency virus [HIV] (R75)
357	Z45.0 心臓ペースメーカーの調整および管理 心拍発生装置 [バッテリー] の点検検査および調整	Z45.0 心臓デバイスの調整及び管理 心臓デバイスの点検検査	<b>Z45.0 Adjustment and management of cardiac pacemaker devices</b> Checking and testing <del>and adjusting</del> of pulse generator <del>[battery]</del> cardiac devices
358	Z51.3 輸血, 診断名の記載がないもの	Z51.3 輸血 (診断名の記載がないもの)	<b>Z51.3 Blood transfusion (without reported diagnosis)</b>

No.	現行	提要案	WHO勧告 (原文)
359	Z58.1 空気汚染への曝露	Z58.1 空気汚染への曝露 除外：タバコの煙 (Z58.7)  Z58.7 タバコの煙への暴露 受動喫煙 除外：タバコ使用<喫煙>による精神及び行動の障害 (F17.-) 精神作用物質乱用の既往歴 (Z86.4) タバコ使用<喫煙> (Z72.0)	<b>Z58.1 Exposure to air pollution</b> <i>Excludes:</i> tobacco smoke (Z58.7)  <b>Z58.7 Exposure to tobacco smoke</b> Passive smoking <i>Excludes:</i> Mental and behavioural disorders due to the use of tobacco (F17.-) Personal history of psychoactive substance abuse (Z86.4) Tobacco use (Z72.0)
360	その他の環境下での保健サービスの利用者 (Z70—76) Z74 介護者依存に関連する問題 除外：機能支持機器または器具への依存 NEC (Z99.-) Z74.0 移動困難 ※ 寝たきり Bedfast chairfast Z74.1 個人介護の援助の必要性 Z74.2 家庭における援助の必要があるが、介護を行う世帯員がいない場合 Z74.3 継続的管理の必要性 Z74.8 介護者依存に関連するその他の問題 Z74.9 介護者依存に関連する問題、詳細不明	その他の環境下での保健サービスの利用者 (Z70—76) Z74 介護者依存に関連する問題 除外：機能支持機器又は器具への依存 NEC (Z99.-) Z74.0 移動困難による援助の必要性  Z74.1 個人介護の援助の必要性 Z74.2 家庭における援助の必要があるが、介護を行う世帯員がいない場合 Z74.3 継続的管理の必要性 Z74.8 介護者依存に関連するその他の問題 Z74.9 介護者依存に関連する問題、詳細不明	<b>Persons encountering health services in other circumstances (Z70—Z76)</b> <b>Z74 Problems related to care-provider dependency</b> <i>Excludes:</i> dependence on enabling machines or devices NEC (Z99.-) <b>Z74.0 Need for assistance due to reduced mobility</b> Bedfast Chairfast <b>Z74.1 Need for assistance with personal care</b> <b>Z74.2 Need for assistance at home and no other household member able to render care</b> <b>Z74.3 Need for continuous supervision</b> <b>Z74.8 Other problems related to care-provider dependency</b> <b>Z74.9 Problem related to care-provider dependency, unspecified</b>
361	Z80.9 悪性新生物の家族歴、詳細不明 C80 に分類される病態	Z80.9 悪性新生物<腫瘍>の家族歴、詳細不明 C80.- に分類される病態	<b>Z80.9 Family history of malignant neoplasm, unspecified</b> Conditions classifiable to C80._
362	Z83.0 ヒト免疫不全ウイルス [HIV] 病の家族歴 B20—B24 に分類される病態	Z83.0 ヒト免疫不全ウイルス [HIV] 病の家族歴 B20—B24, O98.7 に分類される病態	<b>Z83.0 Family history of human immunodeficiency virus [HIV] disease</b> Conditions classifiable to B20-B24, O98.7
363	Z83.3 糖尿病の家族歴 E 10—E 14 に分類される病態	Z83.3 糖尿病の家族歴 E 10—E 14, O24 に分類される病態	<b>Z83.3 Family history of diabetes mellitus</b> Conditions classifiable to E10-E14, O24
364	Z85.9 悪性新生物の既往歴、詳細不明 C80 に分類される病態	Z85.9 悪性新生物<腫瘍>の既往歴、詳細不明 C80.- に分類される病態	<b>Z85.9 Personal history of malignant neoplasm, unspecified</b> Conditions classifiable to C80._
365		Z92.6 新生物<腫瘍>性疾患に対する化学療法既往歴	<b>Z92.6 Personal history of chemotherapy for neoplastic disease</b>
366	Z94.8 その他の臓器および組織の移植後の状態 骨髄 腸 脾	Z94.8 その他の臓器及び組織の移植後の状態 骨髄 腸 脾 幹細胞	<b>Z94.8 Other transplanted organ and tissue status</b> Bone marrow Intestine Pancreas Stem cells
367	Z95 心臓および血管の挿入物および移植片の存在 除外：心臓および血管の器具、挿入物および移植片の合併症 (T82.-) Z95.0 心臓ペースメーカーの存在	Z95 心臓及び血管の挿入物及び移植片の存在 除外：心臓及び血管の器具、挿入物及び移植片の合併症 (T82.-) Z95.0 心臓の電氣的デバイスの存在	<b>Z95 Presence of cardiac and vascular implants and grafts</b> <i>Excludes:</i> complications of cardiac and vascular devices, implants and grafts (T82.-)

No.	現行	提案	WHO勧告 (原文)
	除外：心臓ペースメーカーの調整または管理 (Z45.0)	<p>下記の存在：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>心臓ペースメーカー</li> <li>両室ペーシング機能付植え込み型除細動器 (CRT-D)</li> <li>両室ペーシング機能付 (CRT) ペースメーカー</li> <li>植え込み型除細動器 (ICD)</li> </ul> 除外：心臓デバイスの調整又は管理 (Z45.0) 人工心臓依存 (Z99.4)	<p><b>Z95.0 Presence of electronic cardiac pacemaker devices</b> Presence of:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>cardiac pacemaker</li> <li>cardiac resynchronization therapy defibrillator (CRT-D)</li> <li>cardiac resynchronization therapy (CRT) pacemaker</li> <li>cardioverter-defibrillator (ICD)</li> </ul> <p><b>Excludes:</b> adjustment or management of cardiac pacemaker devices (Z45.0) dependence on artificial heart (Z99.4)</p>
368	Z99 機能支持機器および器具への依存, 他に分類されないもの Z99.0 吸引器依存 Z99.1 人工呼吸器依存 Z99.2 腎透析依存 透析用の動静脈シャントの存在 腎透析状態 除外：透析治療または施行中 (Z49.-) Z99.3 車椅子依存 Z99.8 その他の機能支持機器および器具への依存 Z99.9 詳細不明の機能支持機器および器具への依存	Z99 機能支持機器および器具への依存, 他に分類されないもの Z99.0 吸引器依存 Z99.1 人工呼吸器依存 Z99.2 腎透析依存 透析用の動静脈シャントの存在 腎透析状態 除外：透析治療または施行中 (Z49.-) Z99.3 車椅子依存 Z99.4 人工心臓依存 Z99.8 その他の機能支持機器および器具への依存 Z99.9 詳細不明の機能支持機器および器具への依存	<p><b>Z99 Dependence on enabling machines and devices, not elsewhere classified</b>  <b>Z99.0 Dependence on aspirator</b>  <b>Z99.1 Dependence on respirator</b>  <b>Z99.2 Dependence on renal dialysis</b>            Presence of arteriovenous shunt for dialysis            Renal dialysis status  <b>Excludes:</b> Dialysis preparation, treatment or session (Z49.-)  <b>Z99.3 Dependence on wheelchair</b>  <b>Z99.4 Dependence on artificial heart</b>  <b>Z99.8 Dependence on other enabling machine and devices</b>  <b>Z99.9 Dependence on unspecified enabling machine and devices</b></p>
369	第 XXII 章 特殊目的用コード (U00 - U99) 本章には次のブロックを含む： 原因不明の新たな疾患の暫定分類 (U00-U49)	第 XXII 章 特殊目的用コード (U00 - U99) 本章には次のブロックを含む： U00-U49 原因不明の新たな疾患の暫定分類 U82-U85 抗菌及び抗悪性腫瘍薬への耐性	<p><b>Chapter XXII</b>  <b>Codes for special purposes</b>  <b>(U00 - U99)</b>  <b>This chapter contains the following blocks:</b>            U00 - U49 Provisional assignment of new diseases of uncertain etiology            U80-U89 Bacterial agents resistant to antibiotics  <b>U82-U85 Resistance to antimicrobial and antineoplastic drugs</b></p>
370	原因不明の新たな疾患の暫定分類(U00-U49) U04 重症急性呼吸器症候群 [SARS] U04.9 重症急性呼吸器症候群[SARS], 詳細不明	原因不明の新たな疾患又はエマージェンシーコードの暫定分類 (U00 - U49) U04 重症急性呼吸器症候群 [SARS] U04.9 重症急性呼吸器症候群 [SARS], 詳細不明 U06 エマージェンシーコード U06 項目 U00-U49 は WHO により原因不明の新しい疾患に暫定的に使用される。非常用項目において、電子版ではコードは利用しない。ここで使用する U06 項目の詳細は、WHO で指示があった場合に本分類項目を確認し、細分類項目を用いるように電子版システムで利用するものである。 U06.0 エマージェンシーコード U06.0 U06.1 エマージェンシーコード U06.1 U06.2 エマージェンシーコード U06.2 U06.3 エマージェンシーコード U06.3 U06.4 エマージェンシーコード U06.4 U06.5 エマージェンシーコード U06.5	<p><b>Provisional assignment of new diseases of uncertain etiology or emergency use (U00-U49)</b></p> <p><b>U04 Severe acute respiratory syndrome [SARS]</b>  <b>U04.9 Severe acute respiratory syndrome, unspecified</b>  <b>U06 Emergency use of U06</b>            Codes U00-U49 are to be used by WHO for the provisional assignment of new diseases of uncertain etiology. In emergency situations codes are not always accessible in electronic systems. The specification of category U06 in the way it is done here will make sure this category and the subcategories are available in every electronic system at any time and that they can be used upon instruction by WHO, immediately.  <b>U06.0 Emergency use of U06.0</b>  <b>U06.1 Emergency use of U06.1</b>  <b>U06.2 Emergency use of U06.2</b>  <b>U06.3 Emergency use of U06.3</b>  <b>U06.4 Emergency use of U06.4</b>  <b>U06.5 Emergency use of U06.5</b>  <b>U06.6 Emergency use of U06.6</b>  <b>U06.7 Emergency use of U06.7</b></p>

No.	現行	提案	WHO 勧告 (原文)
		<p>U06.6 エマージェンシーコード U06.6  U06.7 エマージェンシーコード U06.7  U06.8 エマージェンシーコード U06.8  U06.9 エマージェンシーコード U06.9  U07 エマージェンシーコード U07  項目 U00-U49 は WHO により原因不明の新しい疾患に暫定的に使用される。非常用項目において、電子版ではコードは利用しない。ここで使用する U07 項目の詳細は、WHO で指示があった場合に本分類項目を確認し、細分類項目を用いるように電子版システムで利用するものである。</p> <p>U07.0 エマージェンシーコード U07.0  U07.1 エマージェンシーコード U07.1  U07.2 エマージェンシーコード U07.2  U07.3 エマージェンシーコード U07.3  U07.4 エマージェンシーコード U07.4  U07.5 エマージェンシーコード U07.5  U07.6 エマージェンシーコード U07.6  U07.7 エマージェンシーコード U07.7  U07.8 エマージェンシーコード U07.8  U07.9 エマージェンシーコード U07.9</p>	<p><u>U06.8</u> Emergency use of U06.8  <u>U06.9</u> Emergency use of U06.9</p> <p><b>U07 Emergency use of U07</b>  Codes U00-U49 are to be used by WHO for the provisional assignment of new diseases of uncertain etiology. In emergency situations codes are not always accessible in electronic systems. The specification of category U07 in the way it is done here will make sure this category and the subcategories are available in every electronic system at any time and that they can be used upon instruction by WHO, immediately.</p> <p><u>U07.0</u> Emergency use of U07.0  <u>U07.1</u> Emergency use of U07.1  <u>U07.2</u> Emergency use of U07.2  <u>U07.3</u> Emergency use of U07.3  <u>U07.4</u> Emergency use of U07.4  <u>U07.5</u> Emergency use of U07.5  <u>U07.6</u> Emergency use of U07.6  <u>U07.7</u> Emergency use of U07.7  <u>U07.8</u> Emergency use of U07.8  <u>U07.9</u> Emergency use of U07.9</p>
371	<p>抗生物質に耐性の細菌性病原体 (U80-U89)  注：一次コーディングには決して用いるべきではない。本分類は、他に分類されている細菌感染において、細菌性病原体が耐性を示す抗生物質を特定する必要がある場合に、補助コードまたは追加のコードとして使用するためのものである。</p> <p>U80 ペニシリンおよび関連抗生物質耐性病原体  U80.0 ペニシリン耐性病原体  U80.1 メチシリン耐性病原体  U80.8 その他のペニシリン系抗生物質耐性病原体  U81 バンコマイシンおよび関連抗生物質耐性病原体  U81.0 バンコマイシン耐性病原体  U81.8 その他のバンコマイシン関連抗生物質耐性病原体  U88 抗生物質多剤耐性病原体  注：本項は、細菌性病原体が2つ以上の抗生物質に対して耐性があるが、どの抗生物質が「主要病態」に最も寄与しているのかを決定するには詳細不明である場合に使用するためのものである。  また本項は、一次製表分類のために単一のコードを用いるのがより便利な場合に使用する。他方、多数の明示された抗生物質耐性病原体を示す場合は各々をそれぞれ別々にコードする。</p> <p>U89 その他の抗生物質および詳細不明の抗生物質耐性病原体  U89.8 その他の明示された単一抗生物質耐性病原体  U89.9 詳細不明の抗生物質耐性病原体</p>	<p><b>U82-U85 抗菌薬及び抗悪性腫瘍薬への耐性</b></p> <p>注：一次コーディングには決して用いるべきではない。本分類は、抗菌薬及び抗悪性腫瘍薬の病態の耐性、非反応性及び不応性物質を特定する必要がある場合に、補助コードまたは追加コードとして使用するためのものである。</p>	<p><u>U82-U85</u> Resistance to antimicrobial and antineoplastic drugs</p> <p><b>Note: These categories should never be used in primary coding. The codes are provided for use as supplementary or additional codes when it is desired to identify the resistant properties of infectious agents, which are themselves classified elsewhere—resistance, non-responsiveness and refractive properties of a condition to antimicrobials and antineoplastic drugs.</b></p> <p><b>Bacterial agents resistant to antibiotics (U80-U89)</b></p> <p><i>Note:</i> These categories should never be used in primary coding. They are provided for use as supplementary or additional codes when it is desired to identify the antibiotic to which a bacterial agent is resistant, in bacterial infection classified elsewhere</p> <p><b>U80—Agent resistant to penicillin and related antibiotics</b>  <b>U80.0—Penicillin resistant agent</b>  <b>U80.1—Methicillin resistant agent</b>  <b>U80.8—Agent resistant to other penicillin-related antibiotic</b></p> <p><b>U81—Agent resistant to vancomycin and related antibiotics</b>  <b>U81.0—Vancomycin resistant agent</b>  <b>U81.8—Agent resistant to other vancomycin-related antibiotic</b></p> <p><b>U88—Agent resistant to multiple antibiotics</b></p> <p><i>Note:</i> This category is provided for use when a bacterial agent is resistant to two or more antibiotics but there is insufficient detail to determine which antibiotic is contributing most to the “main condition”. It should also be used for primary tabulation purposes when it is more convenient to record a single code; otherwise each specific antibiotic resistant agent should be coded separately.</p>

No.	現行	提要案	WHO 勧告 (原文)
			<p><del>U89 Agent resistant to other and unspecified antibiotics</del>  <del>U89.8 Agent resistant to other single specified antibiotic</del>  <del>U89.9 Agent resistant to unspecified antibiotic</del></p>
372		<p><b>U82 ベータラクタム抗生物質への耐性</b>  ベータラクタム抗生物質の治療に対する耐性病原体の分類が必要な場合は、追加コードを使用する (B95-B98)。</p> <p><b>U82.0 ペニシリンへの耐性</b>  耐性:  アモキシシリン  アンピシリン</p> <p><b>U82.1 メチシリンへの耐性</b>  耐性:  クロキサシリン  フルクロキサシリン  オキサシリン</p> <p><b>U82.2 基質特異性拡張型ベータラクタマーゼ (ESBL) 耐性</b></p> <p><b>U82.8 その他のベータラクタム耐性</b></p> <p><b>U82.9 ベータラクタム耐性, 詳細不明</b></p> <p><b>U83 その他の抗生物質への耐性</b>  その他の抗生物質の治療に対する耐性病原体の分類が必要な場合は、追加コード (B95-B98) を使用する。</p> <p><b>U83.0 バンコマイシンへの耐性</b></p> <p><b>U83.1 抗生物質に関連するその他のバンコマイシンへの耐性</b></p> <p><b>U83.2 キノロンへの耐性</b></p> <p><b>U83.7 多剤抗生物質への耐性</b></p> <p><b>U83.8 特定の単剤抗生物質への耐性</b></p> <p><b>U83.9 詳細不明の抗生物質への耐性</b>  抗生物質への耐性 NOS</p> <p><b>U84 その他の抗菌薬への耐性</b>  抗菌薬に対する耐性病原体の分類が必要な場合は、追加コード (B95-B98) を使用する。  除外: 抗生物質への耐性 (U82-U83)</p> <p><b>U84.0 抗菌薬への耐性</b>  キノネまたは化合物関連への耐性</p> <p><b>U84.1 抗真菌薬への耐性</b></p> <p><b>U84.2 抗ウイルス薬への耐性</b></p> <p><b>U84.3 抗結核薬への耐性</b></p> <p><b>U84.7 多剤抗菌薬への耐性</b>  除外: 多剤抗生物質のみの耐性 (U83.7)</p> <p><b>U84.8 その他の特定された抗菌薬への耐性</b></p> <p><b>U84.9 詳細不明の抗菌薬への耐性</b>  薬剤耐性 NOS</p> <p><b>U85 その他の抗悪性腫瘍薬への耐性</b>  包含: 抗悪性腫瘍薬への非反応性  難治性癌</p>	<p><b>U82 Resistance to betalactam antibiotics</b>  Use additional code (B95-B98), if desired, to identify agents resistant to betalactam antibiotic treatment.</p> <p><b>U82.0 Resistance to penicillin</b>  Resistance to:  Amoxicillin  Ampicillin</p> <p><b>U82.1 Resistance to methicillin</b>  Resistance to:  cloxacillin  flucloxacillin  oxacillin</p> <p><b>U82.2 Extended spectrum betalactamase (ESBL) resistance</b></p> <p><b>U82.8 Resistance to other betalactam antibiotics</b></p> <p><b>U82.9 Resistance to betalactam antibiotics, unspecified</b></p> <p><b>U83 Resistance to other antibiotics</b>  Use additional code (B95-B98), if desired, to identify agents resistant to other antibiotic treatment.</p> <p><b>U83.0 Resistance to vancomycin</b></p> <p><b>U83.1 Resistance to other vancomycin related antibiotics</b></p> <p><b>U83.2 Resistance to quinolones</b></p> <p><b>U83.7 Resistance to multiple antibiotics</b></p> <p><b>U83.8 Resistance to other single specified antibiotic</b></p> <p><b>U83.9 Resistance to unspecified antibiotic</b>  Resistance to antibiotics NOS</p> <p><b>U84 Resistance to other antimicrobial drugs</b>  Use additional code (B95-B98), if desired, to identify agents resistant to antimicrobial drugs.</p> <p><i>Excludes:</i> Resistance to antibiotics (U82 - U83)</p> <p><b>U84.0 Resistance to antiparasitic drug(s)</b>  Resistance to quinine and related compounds:</p> <p><b>U84.1 Resistance to antifungal drug(s)</b></p> <p><b>U84.2 Resistance to antiviral drug(s)</b></p> <p><b>U84.3 Resistance to tuberculostatic drug(s)</b></p>



No.	現行	提要案	WHO 勧告 (原文)
			<p><b>U84.7 Resistance to multiple antimicrobial drugs</b>  <i>Excludes:</i> Resistance to multiple antibiotics only (U83.7)</p> <p><b>U84.8 Resistance to other specified antimicrobial drug</b></p> <p><b>U84.9 Resistance to unspecified antimicrobial drugs</b>  <i>Drug resistance NOS</i></p> <p><b>U85 Resistance to antineoplastic drugs</b>  <i>Includes:</i> Non-responsiveness to antineoplastic drugs  <i>Refractory cancer</i></p>

Morphology of neoplasms

新生物の形態

No.	現行	提要案	WHO 勧告 (原文)
373	<p>新生物の形態  注:  診断書に記載された部位が、部位特異的コードによって示された部位と異なっている場合に、時々問題が生じる...C25.9 (臍, 詳細不明).  ...  リンパ組織、造血組織および関連組織の新生物(M959-M998) に対しては C81-C96 及び D45-D47 から関連コードが与えられている。これらの第 II 章のコードは、記載された部位に関わりなく使用する。</p>	<p>新生物&lt;腫瘍&gt;の形態  注:  診断書に記載された部位が、部位特異的コードによって示された部位と異なっている場合に、時々問題が生じる...C25.9 (臍, 詳細不明).  ...</p>	<p><b>MORPHOLOGY OF NEOPLASMS</b>  Note:  Occasionally a problem arises...C25.9 (pancreas, unspecified).  ...  For neoplasms of lymphoid, haematopoietic and related tissue (M959-M998) the relevant codes from <b>C81-C96</b> and <b>D45-D47</b> are given. These Chapter II codes should be used irrespective of the stated site of the neoplasm.</p>
374	M8162/3 クラツキン<Klatskin>腫瘍 (C22.1)	M8162/3 クラツキン (Klatskin) 腫瘍 (C24.0)	M8162/3 Klatskin's tumour (C22.1C24.0)
375	<p>新生物の形態  M814-M838 腺腫および腺癌  ...  M8202/0 小のう&lt;嚢&gt;胞腺腫 (D13.7)</p>	<p>新生物の形態  M814-M838 腺腫及び腺癌  ...  M8202/0 小のう&lt;嚢&gt;胞腺腫 (D13.6)</p>	<p><b>Morphology of neoplasms</b>  <b>M814-M838 Adenomas and adenocarcinomas</b>  .....  M8202/0 Microcystic adenoma (D13.7)</p>
376	M959-M998	M959-M998 削除	Delete morphology codes M959-M998

Appendices

3桁分類および勧告された特定製表用リスト

ICD-10 3桁分類

※以下の表は、現在発行されている書籍上は、第1巻総論に掲載されている。

No.	現行	提要案	WHO 勧告 (原文)
-----	----	-----	-------------

No.	現行	提要案	WHO勧告(原文)
377	細菌、ウイルスおよびその他の病原体 (B95-B97) B95 他章に分類される疾患の原因としてのレンサ球菌およびブドウ球菌 B96 他章に分類される疾患の原因であるその他の病原体  B97 他章に分類される疾患の原因であるウイルス病原体	細菌、ウイルスおよびその他の病原体 (B95-B98) B95 他章に分類される疾患の原因としての連鎖球菌およびブドウ球菌  B96 他章に分類される疾患の原因であるその他の明示された細菌性病原体 B97 他章に分類される疾患の原因であるウイルス病原体 B98 他章に分類される疾患の原因であるその他の明示された病原体	<b>Bacterial, viral and other infectious agents (B95-B978)</b> B95 Streptococcus and staphylococcus as the cause of diseases classified to other chapters B96 Other <u>specified</u> bacterial agents as the cause of diseases classified to other chapters B97 Viral agents as the cause of diseases classified to other chapters B98 <u>Other specified infectious agents as the cause of diseases classified to other chapters</u>
378	C79 その他の部位の続発性悪性新生物	C79 その他の部位及び部位不明の続発性悪性新生物	C79 Secondary malignant neoplasm of other <u>and unspecified</u> sites
379	リンパ組織、造血組織及び関連組織の悪性新生物 (C81-C96) C81 ホジキン (Hodgkin) 病 C82 ろ (濾) 胞性 [結節性] 非ホジキン (non-Hodgkin) リンパ腫 C83 びまん性非ホジキン (non-Hodgkin) リンパ腫 C84 末梢及び皮膚T細胞リンパ腫 C85 非ホジキンリンパ腫 (non-Hodgkin) のその他及び詳細不明の型  C88 悪性免疫増殖性疾患  D76 リンパ細網組織及び細網組織球系の疾患	リンパ組織、造血組織及び関連組織の悪性新生物 (C81-C96) C81 ホジキン (Hodgkin) リンパ腫 C82 ろ (濾) 胞性リンパ腫 C83 非ろ (濾) 胞性リンパ腫 C84 成熟T/NK細胞リンパ腫 C85 非ホジキンリンパ腫 (non-Hodgkin) のその他及び詳細不明の型 C86 T/NK細胞リンパ腫のその他の明示された型 C88 悪性免疫増殖性疾患  D76 リンパ細網組織及び細網組織球組織のその他の明示されたの疾患	<i>Malignant neoplasms of lymphoid, haematopoietic and related tissue (C81-C96)</i> C81 Hodgkin's disease-lymphoma C82 Follicular <del>nodular</del> non-Hodgkin's lymphoma C83 <del>Diffuse non-Hodgkin's</del> Non-follicular lymphoma C84 <del>Peripheral and cutaneous</del> Mature T/NK-cell lymphomas C85 Other and unspecified types of non-Hodgkin's lymphoma C86 <u>Other specified types of T/NK-cell lymphoma</u> C88 <del>Other B-cell lymphoma</del> {Malignant immunoproliferative diseases} D76 <del>Certain Other specified</del> diseases involving with participation of lymphoreticular tissue and reticulohistiocytic system tissue
380	糖尿病 (E10-E14) E10 インスリン依存性糖尿病 E11 インスリン非依存性糖尿病	糖尿病 (E10-E14) E10 1型糖尿病 E11 2型糖尿病	<b>Diabetes mellitus (E10-E14)</b> E10 <del>Insulin-dependent</del> Type 1 diabetes mellitus E11 <del>Non-insulin-dependent</del> Type 2 diabetes mellitus
381	神経系の疾患 (G00-G99) 主に中枢神経系を障害する系統萎縮症 (G10-G13) G10 ハンチントン (Huntington) 病 G11 遺伝性運動失調 (症) G12 脊髄性筋萎縮症及び関連する症候群 G13* 他に分類される疾患における主に中枢神経系を障害する系統性萎縮症	神経系の疾患 (G00-G99) 主に中枢神経系を障害する系統萎縮症 (G10-G14) G10 ハンチントン (Huntington) 病 G11 遺伝性運動失調 (症) G12 脊髄性筋萎縮症及び関連する症候群 G13* 他に分類される疾患における主に中枢神経系を障害する系統性萎縮症 G14* ポリオ後症候群	<b>Diseases of the nervous system (G00-G99)</b> <b>Systemic atrophies primarily affecting the central nervous system (G10-G13 G14)</b> G10 Huntington's disease G11 Hereditary ataxia G12 Spinal muscular atrophy and related syndromes G13* Systemic atrophies primarily affecting central nervous system in diseases classified elsewhere G14 <u>Postpolio syndrome</u>
382	静脈、リンパ管およびリンパ節の疾患、他に分類されないもの (I80-I89) I83 下肢の静脈瘤 I84 痔核 I85 食道静脈瘤	静脈、リンパ管及びリンパ節の疾患、他に分類されないもの (I80-I89) I83 下肢の静脈瘤  I85 食道静脈瘤	<b>Diseases of veins, lymphatic vessels and lymph nodes, not elsewhere classified (I80-I89)</b> .... I83 Varicose veins of lower extremities I84 <del>Haemorrhoids</del> I85 Oesophageal varices
383	インフルエンザおよび肺炎 (J10-J18) J10 インフルエンザウイルスが分離されたインフルエンザ	インフルエンザ及び肺炎 (J09-J18) J09 特定のインフルエンザウイルスが分離されたインフルエンザ J10 その他のインフルエンザウイルスが分離されたインフルエンザ	Influenza and pneumonia (J09-J18) J09 <u>Influenza due to certain identified influenza virus</u> J10 Influenza due to <u>other</u> identified influenza virus
384	第 XI 章 (K00-K93) 消化器系の疾患 食道、胃および十二指腸の疾患 (K20-K31)	第 XI 章 (K00-K93) 消化器系の疾患 食道、胃および十二指腸の疾患 (K20-K31)	<b>Chapter XI</b> <b>Diseases of the digestive system (K00-K93)</b> <b>Diseases of oesophagus, stomach and duodenum (K20-K31)</b>

No.	現行	提要案	WHO 勧告 (原文)
	K30 <b>ディスペプシア (症)</b>	K30 <b>機能性ディスペプシア</b>	K30 <u>Dyspepsia</u> <u>Functional dyspepsia</u>
385	腸のその他の疾患 (K55-K63) ..... K63 腸のその他の疾患	腸のその他の疾患 (K55-K64) ..... K63 腸のその他の疾患 <b>K64 痔核及び肛門周囲静脈血栓症</b>	<b>Other diseases of intestines (K55-K63)</b> ..... K63 Other diseases of intestine K64 <u>Haemorrhoids and perianal venous thrombosis</u>
386	腎不全 (N17-N19) N17 急性腎不全 N18 慢性 <b>腎不全</b>	腎不全 (N17-N19) N17 急性腎不全 N18 慢性 <b>腎臓病</b>	<b>Renal failure (N17-N19)</b> N17 Acute renal failure N18 Chronic <del>renal</del> <u>kidney failure disease</u>
387	第 XV 章 妊娠、分娩および産じょく (褥) (O00-O99) 妊娠、分娩および産じょく (褥) における浮腫、 <b>たんぱく</b> (蛋白) 尿および 高血圧性障害 (O10-O16) O11 増悪したたんぱく (蛋白) 尿を伴う既存の高血圧性障害 O13 明らかなたんぱく (蛋白) 尿を伴わない妊娠高血圧 (症) O14 明らかなたんぱく (蛋白) 尿を伴う妊娠高血圧 (症)	第 XV 章 妊娠、分娩及び産じょく (褥) (O00-O99) 妊娠、分娩及び産じょく (褥) における浮腫、 <b>タンパク</b> (蛋白) 尿及び高血 圧性障害 (O10-O16) O11 <b>慢性高血圧 (症) に層積した子かん (癩) 前症</b> O13 <b>タンパク妊娠高血圧 (症)</b> O14 <b>タンパク子かん (癩) 前症</b>	<b>Chapter XV</b> <b>Pregnancy, childbirth and the puerperium</b> <b>(O00-O99)</b> <b>Oedema, proteinuria and hypertensive disorders in pregnancy, childbirth and the</b> <b>puerperium (O10-O16)</b> O11 <del>Pre-existing hypertensive disorder with</del> <del>superimposed proteinuria</del> <u>eclampsia</u> <u>superimposed on chronic hypertension</u> O13 Gestational [pregnancy-induced] hypertension <del>without significant proteinuria</del> O14 <del>Gestational [pregnancy-induced] hypertension</del> <del>with significant proteinuria</del> <u>Pre-eclampsia</u>
388	主として妊娠に関連するその他の母体障害 (O20-O29) O22 妊娠中の静脈合併症  主として産じょく (褥) に関連する合併症 (O85-O92) O87 産じょく (褥) における静脈合併症	主として妊娠に関連するその他の母体障害 (O20-O29) O22 妊娠中の静脈合併症 <b>及び痔核</b>  主として産じょく (褥) に関連する合併症 (O85-O92) O87 産じょく (褥) における静脈合併症 <b>及び痔核</b>	<b>Other maternal disorders predominantly related to pregnancy (O20-O29)</b> O22 Venous complications <u>and haemorrhoids</u> in pregnancy  <b>Complications predominantly related to the puerperium (O85-O92)</b> O87 Venous complications <u>and haemorrhoids</u> in the puerperium
389	胎児及び新生児の消化器系障害 (P75-P78) P75* 胎便 (メコニウム) イレウス (E84.1+)  P76 新生児のその他の腸閉塞 P77 胎児及び新生児のえ (壊) 死性腸炎 P78 その他の周産期の消化器系障害	胎児及び新生児の消化器系障害 (P75-P78) P75* <b>のう (嚢) 胞性線維症 (システィックファイブローシス) における胎</b> <b>便 (メコニウム) イレウス (E84.1+)</b>  P76 新生児のその他の腸閉塞 P77 胎児及び新生児のえ (壊) 死性腸炎 P78 その他の周産期の消化器系障害	<b>Digestive system disorders of fetus and newborn (P75-P78)</b> <b>P75*</b> Meconium ileus <u>in cystic fibrosis</u> <b>P76</b> Other intestinal obstruction of newborn <b>P77</b> Necrotizing enterocolitis of fetus and newborn <b>P78</b> Other perinatal digestive system disorders
390	第 XXII 章 特殊目的用コード (U00-U99) <b>抗生物質に耐性の細菌性病原体 (U80-U89)</b> U80 <b>ペニシリン及び関連抗生物質耐性病原体</b> U81 <b>バンコマイシン及び関連抗生物質耐性病原体</b>   U88 <b>抗生物質多剤耐性病原体</b> U89 <b>その他の抗生物質及び詳細不明の抗生物質耐性病原体</b>	第 XXII 章 特殊目的用コード (U00-U99)    <b>U82 ベータラクタム抗生物質への耐性</b> <b>U83 その他の抗生物質への耐性</b> <b>U84 その他の抗菌薬への耐性</b> <b>U85 その他の抗悪性腫瘍薬への耐性</b>	<b>Chapter XXII</b> <b>Codes for special purposes</b> <b>(U00-U99)</b> <b>Bacterial agents resistant to antibiotics (U80-U89)</b> <b>Resistance to antimicrobial and antineoplastic drugs (U82-U85)</b> U80 <del>Agent resistant to penicillin and related antibiotics</del> U81 <del>Agent resistant to vancomycin and related antibiotics</del> U88 <del>Agent resistant to multiple antibiotics</del> U89 <del>Agent resistant to other and unspecified antibiotics</del> U82 <u>Resistance to betalactam antibiotics</u> U83 <u>Resistance to other antibiotics</u> U84 <u>Resistance to other antimicrobial drugs</u> U85 <u>Resistance to antineoplastic drugs</u>
391	第 XXII 章	第 XXII 章	<b>Codes for special purposes</b>

No.	現行	提要案	WHO 勧告 (原文)
	特殊目的用コード (U00-U99) 原因不明のための新たな疾患暫定分類 (U00-U49)  U04 重症急性呼吸器症候群 [SARS]	特殊目的用コード (U00-U99) 原因不明のための新たな疾患又はエマージェンシーコード暫定分類 (U00-U49) U04 重症急性呼吸器症候群 [SARS] U06 エマージェンシーコード U06 U07 エマージェンシーコード U07	(U00-U99) <b>Provisional assignment of new diseases of uncertain etiology or emergency use (U00-U49)</b> U04 Severe acute respiratory syndrome [SARS] U06 Emergency use of U06 U07 Emergency use of U07

Special tabulation lists for mortality and morbidity

勧告された特定製表用リスト

死亡製表用リスト

No.	現行	提要案	WHO 勧告 (原文)
392	死亡製表用リスト 1 (一般死亡簡約リスト)  1-043 非ホジキンリンパ腫 C82-C85	死亡製表用リスト 1 (一般死亡簡約リスト)  1-043 非ホジキンリンパ腫 C83-C85	<i>Mortality tabulation list 1</i> <b>General mortality Condensed list</b>  1-043 Non-Hodgkin's lymphoma C82 C83-C85
393	1-073 インフルエンザ J10-J11	1-073 インフルエンザ J09-J11	1-073 Influenza J09-J11
394	2-058 インフルエンザ J10-J11	2-058 インフルエンザ J09-J11	2-058 Influenza J09-J11
395	疾病製表用リスト 168 インフルエンザ J10-J11	疾病製表用リスト 168 インフルエンザ J09-J11	<i>Tabulation list for morbidity</i> 168 Influenza J09-J11
396	勧告された特定製表用リスト  死亡製表用リスト 1 (一般死亡 簡約リスト) 1-073 インフルエンザ J10-J11  死亡製表用リスト 2 (一般死亡 選択リスト) 2-058 インフルエンザ J10-J11  死亡製表用リスト 3 (乳児および小児死亡 簡約リスト)  死亡製表用リスト 4 (乳児および小児死亡 選択リスト)	勧告された特定製表用リスト  死亡製表用リスト 1 (一般死亡 簡約リスト) 1-073 インフルエンザ J09-J11 1-901 SARS U04  死亡製表用リスト 2 (一般死亡 選択リスト) 2-058 インフルエンザ J09-J11 2-901 SARS U04  死亡製表用リスト 3 (乳児および小児死亡 簡約リスト) 3-901 SARS U04  死亡製表用リスト 4 (乳児および小児死亡 選択リスト) 4-901 SARS U04	<b>Special tabulation lists for mortality and morbidity</b>  <b>Mortality tabulation list 1</b> General mortality Condensed list 1-073 Influenza J09-J11 1-901 SARS U04  <b>Mortality tabulation list 2</b> General mortality Selected list 2-058 Influenza J09-J11 2-901 SARS U04  <b>Mortality tabulation list 3</b> Infant and child mortality Condensed list 3-901 SARS U04  <b>Mortality tabulation list</b> infant and child mortality Selected list 4-901 SARS U04  <b>Tabulation list for morbidity</b> 168 Influenza J09-J11

No.	現行	提要案	WHO勧告 (原文)
	疾病製表用リスト 168 インフルエンザ J10-J11	疾病製表用リスト 168 インフルエンザ J09-J11 901 SARS U04	901 SARS U04
397	疾病製表用リスト (298 項目)  注: これらのリストは、データの製表について、1990 年の世界保健総会により採択されたものである。これらの用法については、5. 4 及び 5. 5 に記載されている。  疾病製表用リスト 129 その他の神経系の疾患 G10-G13, G21-G26, G31-G32, G36-G37, G46-G47, G60-G73, G90-G99	疾病製表用リスト (298 項目)  注: これらのリストは、データの製表について、1990 年の世界保健総会により採択されたものである。これらの用法については、5. 4 及び 5. 5 に記載されている。  疾病製表用リスト 129 その他の神経系の疾患 G10-G14, G21-G26, G31-G32, G36-G37, G46-G47, G60-G73, G90-G99	<b>Tabulation list for morbidity (298 causes)</b> <i>Note:</i> These lists were adopted by the World Health Assembly in 1990 for the tabulation of data. They are described, and their use is explained, in Volume 2, the Instruction Manual. <b>Tabulation list for morbidity</b> 129 Other diseases of the nervous system G10-G13 G14, G21-G26, G31-G32, G36-G37, G46-G47, G60-G73, G90-G99

疾病製表用リスト

No.	現行	提要案	WHO勧告 (原文)	告示対象
398	疾病製表用リスト 163 痔核 I84	疾病製表用リスト 163 痔核 K64	<b>Tabulation list for morbidity</b> 163 Haemorrhoids I84K64	

社会保障審議会統計分科会疾病、傷害及び死因分類部会委員名簿

あかがわ やすまさ 赤川 安正	奥羽大学学長
いがらし たかし 五十嵐 隆	独立行政法人国立成育医療研究センター総長
いまむら さとし 今村 聡	公益社団法人日本医師会副会長
おおえ かずひこ 大江 和彦	東京大学大学院医学系研究科医療情報経済学分野教授
かねこ あけみ 金子 あけみ	東京医療保健大学東が丘看護学部看護学科准教授
かねこ りゅういち 金子 隆一	国立社会保障・人口問題研究所副所長
くりやま まりこ 栗山 真理子	NPO 法人「アラジーポット」専務理事・ 日本患者会情報センター代表
こいけ かずひこ 小池 和彦	東京大学大学院医学系研究科消化器内科学講座教授
こおりやま かずあき 郡山 一明	一般財団法人救急振興財団 救急救命九州研修所教授
こまむら こうへい 駒村 康平	慶應義塾大学経済学部教授
すえまつ まこと 末松 誠	慶応義塾大学医学部長
たじま なおこ ○田嶋 尚子	東京慈恵会医科大学名誉教授
たつい さとこ 辰井 聡子	立教大学大学院法務研究科教授
ながい りょうぞう ◎永井 良三	自治医科大学学長
なかむら こうぞう 中村 耕三	国立障害者リハビリテーションセンター総長
にしだ ようこう 西田 陽光	一般社団法人日本家庭生活研究協会理事
ひぐち てるひこ 樋口 輝彦	独立行政法人国立精神・神経医療研究センター理事長
ほった ともみつ 堀田 知光	独立行政法人国立がん研究センター理事長
まつたに ゆきお 松谷 有希雄	国立保健医療科学院長
みやざき もとのぶ 宮崎 元伸	さいたま市健康科学研究センター所長

(平成 26 年 4 月 1 日現在、五十音順、敬称略 ◎：部会長、○：部会長代理)

厚生労働省発統1101第1号

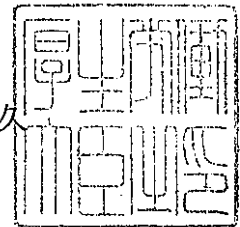
平成25年11月1日

社会保障審議会

会長 西村 周三 殿

厚生労働大臣

田村 憲久



諮 問 書

世界保健機関が勧告する「疾病及び関連保健問題の国際統計分類」第10回改訂分類（ICD-10）の一部改正の適用について、厚生労働省設置法（平成11年法律第97号）第7条第1項第1号の規定に基づき、貴会の意見を求めます。

(案)

社保審発第 号  
平成26年 月 日

厚生労働大臣  
田村憲久 殿

社会保障審議会  
会長 西村周三

答 申 書

世界保健機関が勧告する「疾病及び関連保健問題の国際統計分類」第10回改定分類（ICD-10）の一部改正の適用について、厚生労働省設置法（平成11年法律第97号）第7条第1項第1号の規定に基づき平成25年11月1日付け厚生労働省発統1101第1号をもって諮問があった。

審議を行った結果、諮問のとおりとすることが適当であるとの結論を得たので答申する。



# ICD-10(2013年版)にかかる告示改正手続きについて

厚生労働大臣から社保審へ諮問

統計分科会・疾病、傷害及び死因分類部会において審議  
(平成26年5月19日終了)

社保審から厚労大臣へ答申  
(平成26年7月中予定)

総務省

総務大臣から統計委員会へ諮問

統計委員会から総務大臣へ答申

告示の官報掲載手続き

官報掲載

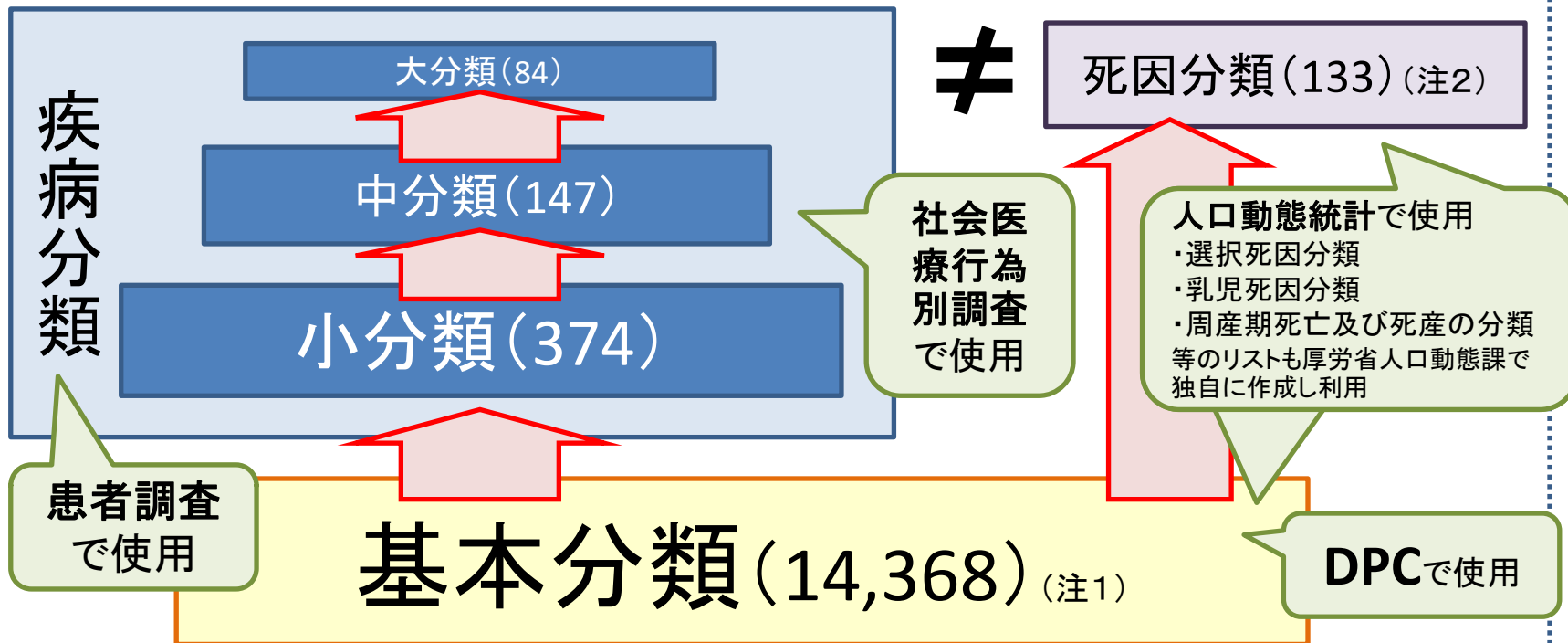
周知期間(3か月～)

施行(国内適用開始)

# 疾病、傷害および死因統計分類

(International Statistical Classification of Diseases and Related Health Problems)

統計法(総務省)告示



(政策統括官通知)  
厚労省標準規格

対応

**ICD10対応標準病名マスター**  
( (財)医療情報システム開発センター )

レセプト・カルテで使用

Ver.3.05	病名	: 23,696件
	修飾語表記	: 2,099件
	索引語	: 43,118件

項目数: 基本分類 > 疾病分類(小分類) > 疾病分類(中分類) > 死因分類 > 疾病分類(大分類)

注1: 人口動態統計では、「人口動態死因統計分類基本分類(死因基本分類)」との名称を使用している。

注2: 人口動態統計では、「死因単分類」の名称で利用している。

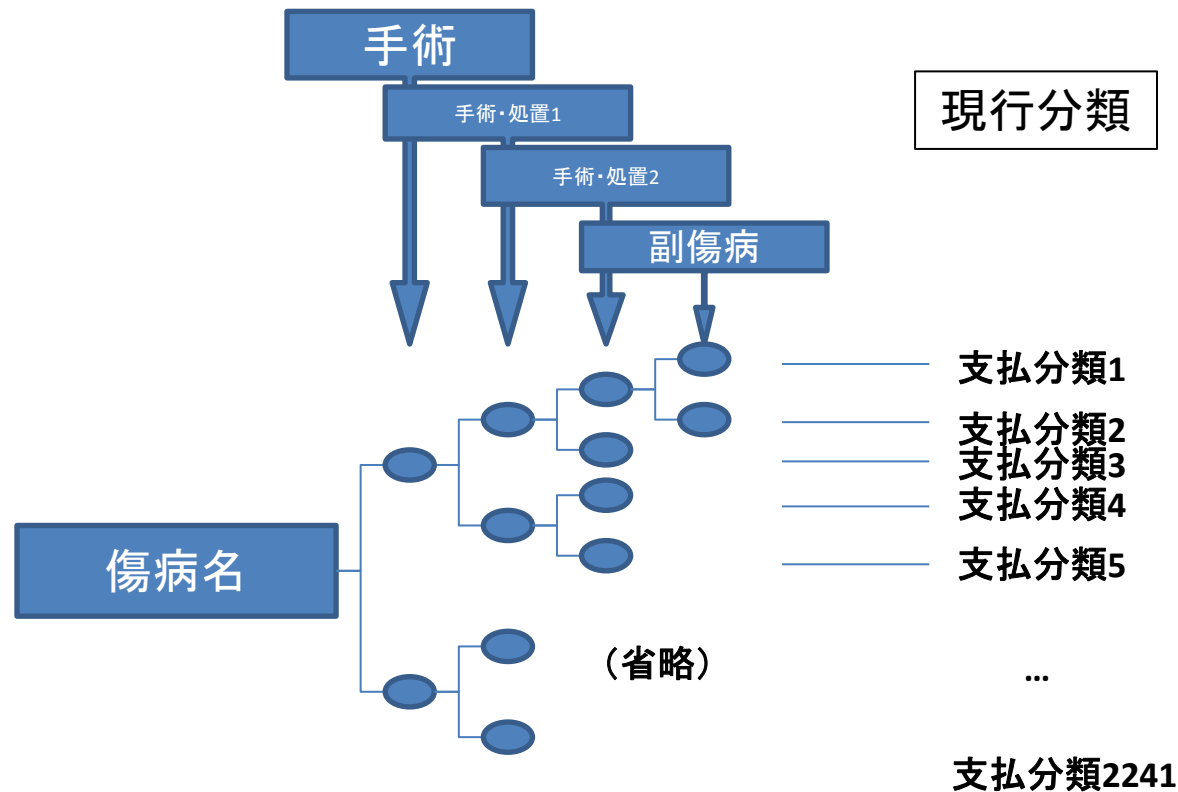
# 重症度を考慮した評価手法 (CCP Matrix)の今後の検討方針について

DPC研究班

## 重症度を考慮した評価手法(CCPマトリックス)

- 平成30年度の調整係数廃止に向け、より正確に医療資源必要量を診療報酬支払いに反映させることが必要。
- 例えば、病院毎の肺炎患者の病態・重症度の違いをDPC分類では十分適切に評価されていない可能性。
- DPC分類の更なる精緻化が必要だが、分類数は増やせない。
- 「重症度を考慮した評価手法」CCP(Comorbidity Complication Procedure)マトリックスの設計手法を検討

# 樹形図で表された現行のDPC分類の課題



- 分岐条件が枝わかれのどの階層、位置にあるかで分類の作成方法が制限
- 支払分類数の制限から条件設定が見送られる

# CCPマトリックスの考え方(1)

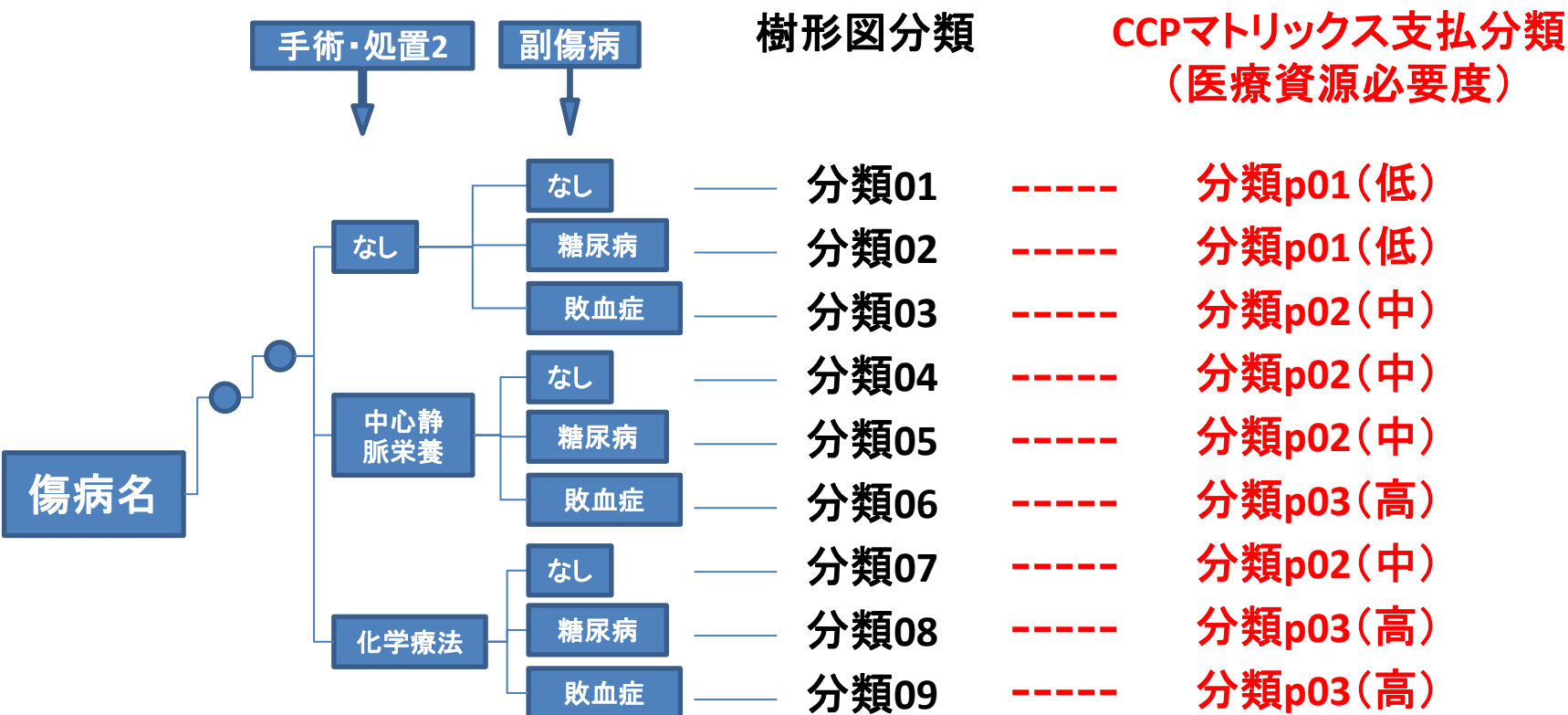
- 手術処置と副傷病等の組み合わせに基づく医療資源必要度分類である。
- 枝分かれの構造にとらわれずに医療資源必要度が類似したグループをまとめることができる。

		副傷病等		
		なし	糖尿病	敗血症
手術・処置等2	なし	低	低	中
	中心静脈栄養	中	中	高
	化学療法	中	高	高

- ・この例では9区分を3段階に圧縮して分類数を減らすことが可能
- ・このような2次元の組み合わせに限らず、多次元で集約が可能となる

# CCPマトリックス分類の考え方(2)

- CCPマトリックスは、分岐条件に基づいて全ての分類を樹形図に書き下した樹形図分類と、医療資源必要度に応じた支払分類との対応表を作成することと同じ意味である。



## CCPマトリックスの考え方(3)

- 樹形図分類と支払分類の対応表を用いることにより、枝分かれ構造の制約されずに、どのレベルにおいても分類を集約することが可能となる。
- 傷病名優位のDPC分類の構造を維持しつつ、医療資源必要度に大きな影響を与える手術、処置をより重点的に評価することにより、支払分類の精緻化を図ることができる。
- CCPマトリックス分類対応表を用いることにより、部分的、段階的導入が可能となる。



## 部分的試行について

- CCPマトリックスの有用性を確認するために、比較的症例数が多く、現行の分類では課題のある部分を先行的に検討するのはどうか。
- 研究班で検討した肺炎、糖尿病、心不全、脳血管障害、慢性関節リウマチ、先天性心疾患などを検討するのはどうか。

## 分析項目について

- 当初の検討においては、現在の14桁のコード体系を維持する方が良いのではないか。
- 病態の細かな違いを反映している手術処置等1および2, 副傷病、重症度の下4桁を分析対象とするのはどうか。
  - その場合、傷病名分類と手術分類部分がCCPマトリックスの基礎分類となる。
- 病態が類似するような傷病名分類は集約して分析することも検討してはどうか。

# 分類作成手順について

- CCPマトリックスの安定的な導入のために、従来の作業手順をできるだけ踏襲するのはどうか。

## 従来の分類作成作業手順

1. 臨床的観点から定義表の臨床情報を整備
2. 医療資源必要度の観点も含めて、項目毎の優先順位を設定
3. 医療資源必要度の観点から隣接項目を集約し、樹形図を作成

# CCPマトリックス作成手順について

## CCPマトリックス作成作業手順案

### 1. 臨床的観点から定義表を整備

- 現在、記載されていない臨床情報等の追加も検討



### 2. 医療資源必要度の観点も含めて項目を集約、優先順位を設定して分岐条件を整理する

- 項目が多い場合等は、多変量解析等を用いて分析



### 3. 定義表情報から素樹形図を作成し、医療資源必要度の観点から対応表によって分類を集約してCCPマトリックスを作成

- 隣接する分岐以外の集約を検討するため、定義表情報をそのまま反映した「素樹形図」を使う
- 医療資源必要度の類似性で分類を集約する

# 1. 定義表の整備の手順(1)

○以下の基準により、定義表に収載する臨床情報を見直して整理する

## 1. DPCデータから情報を得られるもの

- 様式1およびEFファイルから得られる情報
- 重症度等に関する情報も積極的に検討
- 必要に応じて様式1診療関連情報の追加も検討

## 2. 医療資源必要度を反映する可能性があるもの

# 1. 定義表の整備の手順(2)

- 体系的に整理して「フラグ」を設定
- 可能な限り統一されたコード体系が望ましい
  - 手術・処置等2では、①リハビリテーション、②中心静脈栄養、③人工呼吸など
- 副傷病については、統計解析および臨床的判断によってMDC別またはDPC傷病名分類別に整理

## 2. 分岐条件の整理の手順

○多変量解析および臨床的判断等により分岐の条件となり得る項目を抽出して整理する

- － 医療資源必要度への影響度の大きさにより、優先順位を付ける
- － 必要に応じて、項目を集約する
- － 併せて臨床的な妥当性も検討する
- － 診療を歪める恐れ(過剰な診療行為の誘発、治療手技の選択への悪影響等)が少ないものを選択する
- － 定義表上の「対応コード」を設定する

### 3. CCPマトリックス作成の手順(1)

1. 定義表に基づく各分岐毎に患者数、在院日数、包括範囲出来高換算点数を集計する。
2. 当初は、従来の単純集計の手法を用いて、医療資源必要量の類似性によって、分類を集約する。将来的には多変量解析等の手法も検討する。
3. 臨床的判断を加味して、樹形図分類-CCPマトリックス支払分類対応表を作成する。



### 3. CCPマトリックス作成の手順(2)

○分類の集約方法については、以下のような方法を検討するべきではないか

- 在院日数、1日あたり点数それぞれに一定の幅の枠内で集約するのはどうか
- 分類を設定する基準を設けるのが良いのではないか
  - 以下の①②③いずれも満たす場合等
    - ①100例以上、②平均在院日数または1日あたり点数が1.2倍以上異なる、③変動係数が1.0以下

# CCPマトリックス試行例－糖尿病（1）

## 1. 定義表の整備と2. 分岐条件の整理

- － 多変量解析等により、以下の項目が医療資源消費に影響していることが明らかとなった。

項目	内容
傷病名	医療資源病名の末梢循環合併症と多発合併症 (ICD10コード4桁目が5または7)
手術	手術の有無
手術・処置等1	
手術・処置等2	インスリン使用の有無
合併症	特定の合併症の有無 (認知症、閉塞性動脈疾患、胃の悪性腫瘍、肝硬変、膝関節症、慢性腎不全)
重症度	年齢85歳以上

# CCPマトリックス試行例－糖尿病（2）

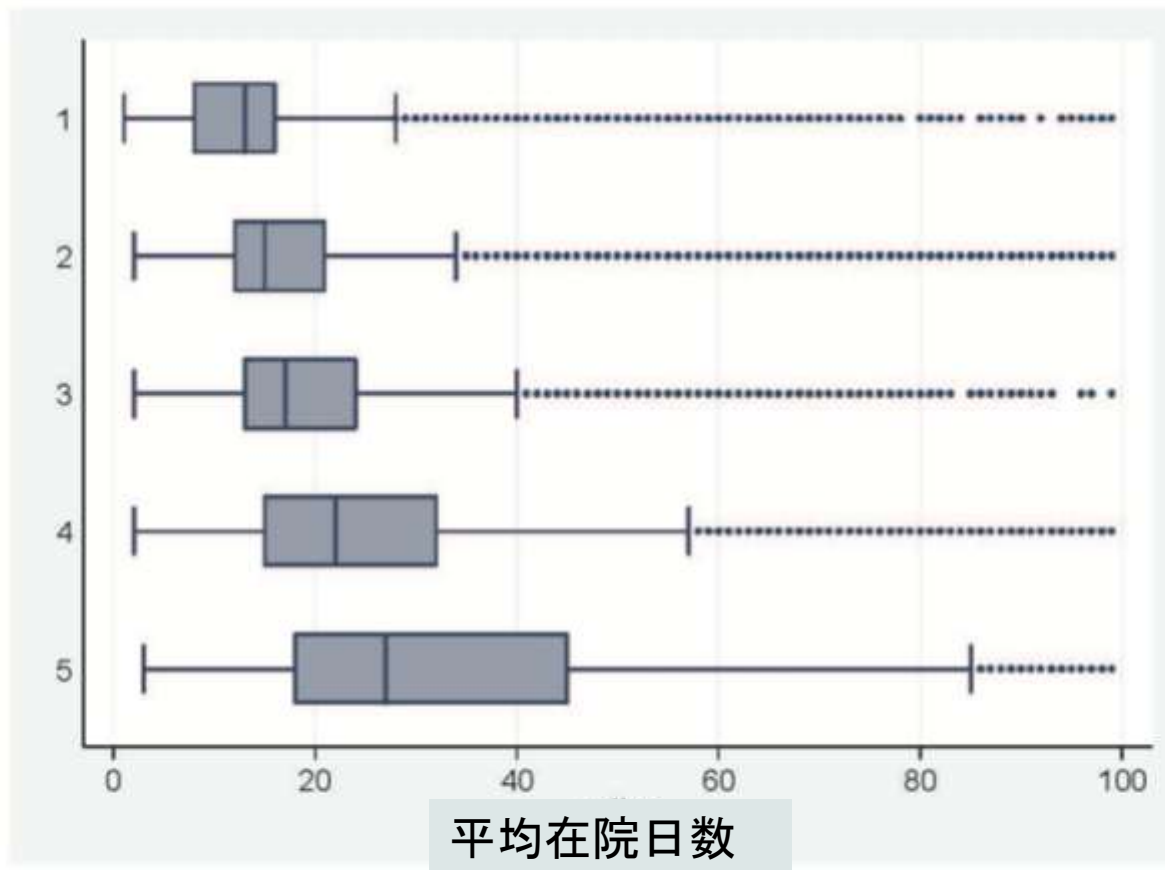
## 3. CCPマトリックス作成

- － 在院日数と1日あたり包括範囲点数の類似性からグループ分けを設定

末梢循環合併症等	手術の有無	インスリン 使用の有無	特定の 合併症の有無	年齢85歳以上	CCPマトリックス グループ分け
0	0	0	0	0	1
0	1	0	0	0	1
0	0	0	1	0	1
0	1	0	1	0	3
1	0	0	0	0	1
1	1	0	0	0	2
1	0	0	1	0	1
1	1	0	1	0	5
0	0	0	0	1	1
0	1	0	0	1	4
0	0	0	1	1	2
(以下省略)					

# CCPマトリックス試行例ー糖尿病(3)

図2. 糖尿病 CCP 分類による平均在院日数の集計



- ・現行の糖尿病DPC分類より医療資源必要度の説明力の高いことが示された。

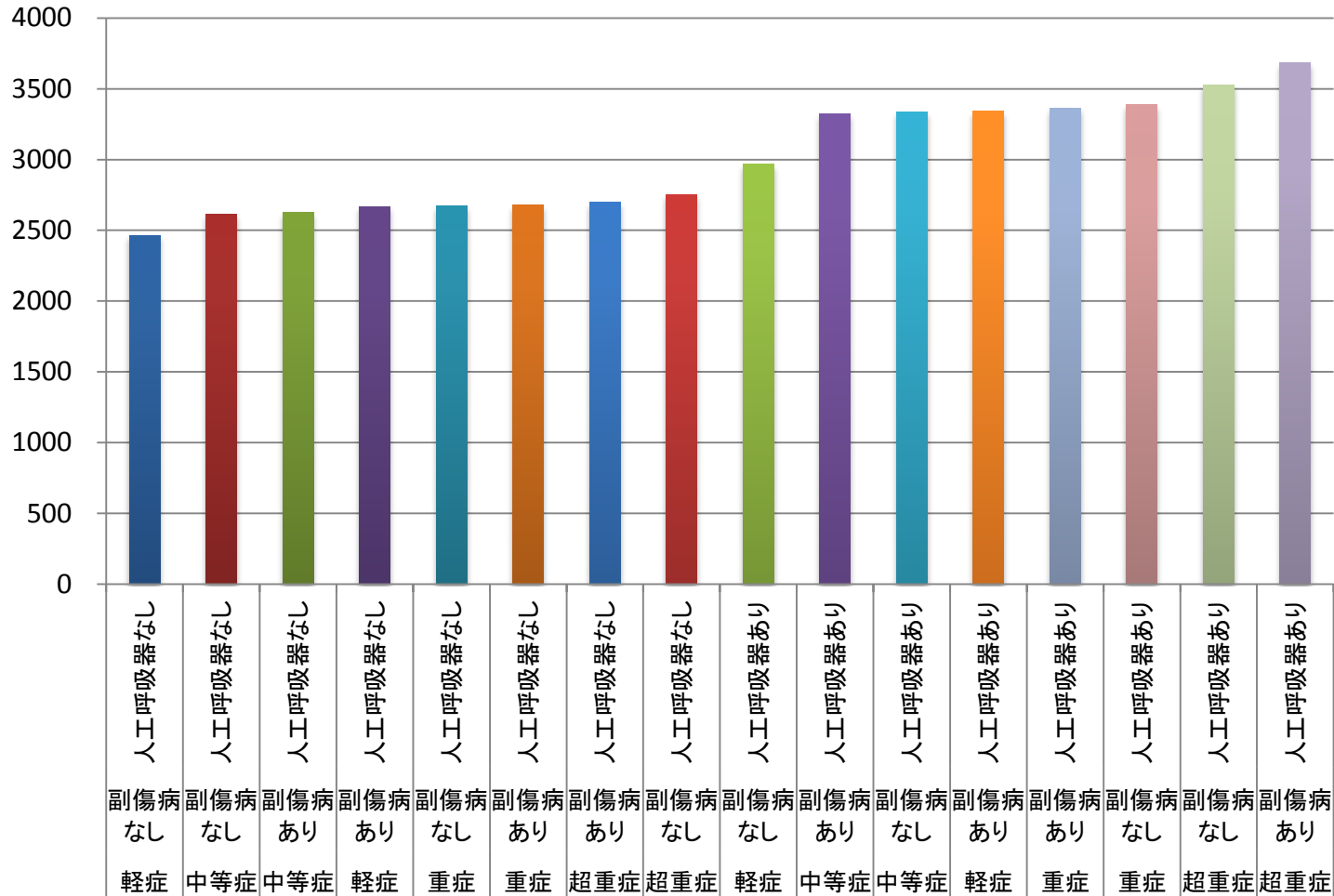
# CCPマトリックス試行例－肺炎

## 1. 定義表の整備と2. 分岐条件の整理

- －重症度が医療資源必要量に影響していることが明らかとなった。

重症度	平均在院日数	1日あたり包括範囲点数
軽症	11.3 ± 10.1	2681 ± 487
中等症	18.0 ± 16.4	2582 ± 561
重症	22.8 ± 20.7	2648 ± 654
超重症	24.9 ± 24.4	2881 ± 958

# 肺炎の1日当たり包括点数平均値 (除外: 在院日数21日以上、死亡退院)



- 人工呼吸器の使用が1日あたり包括範囲点数に影響していることが明らかとなった。(国際医療福祉大 池田)

# CCPマトリックス試行例ー心不全(1)

## 1. 定義表の整備 と 2. 分岐条件の整理

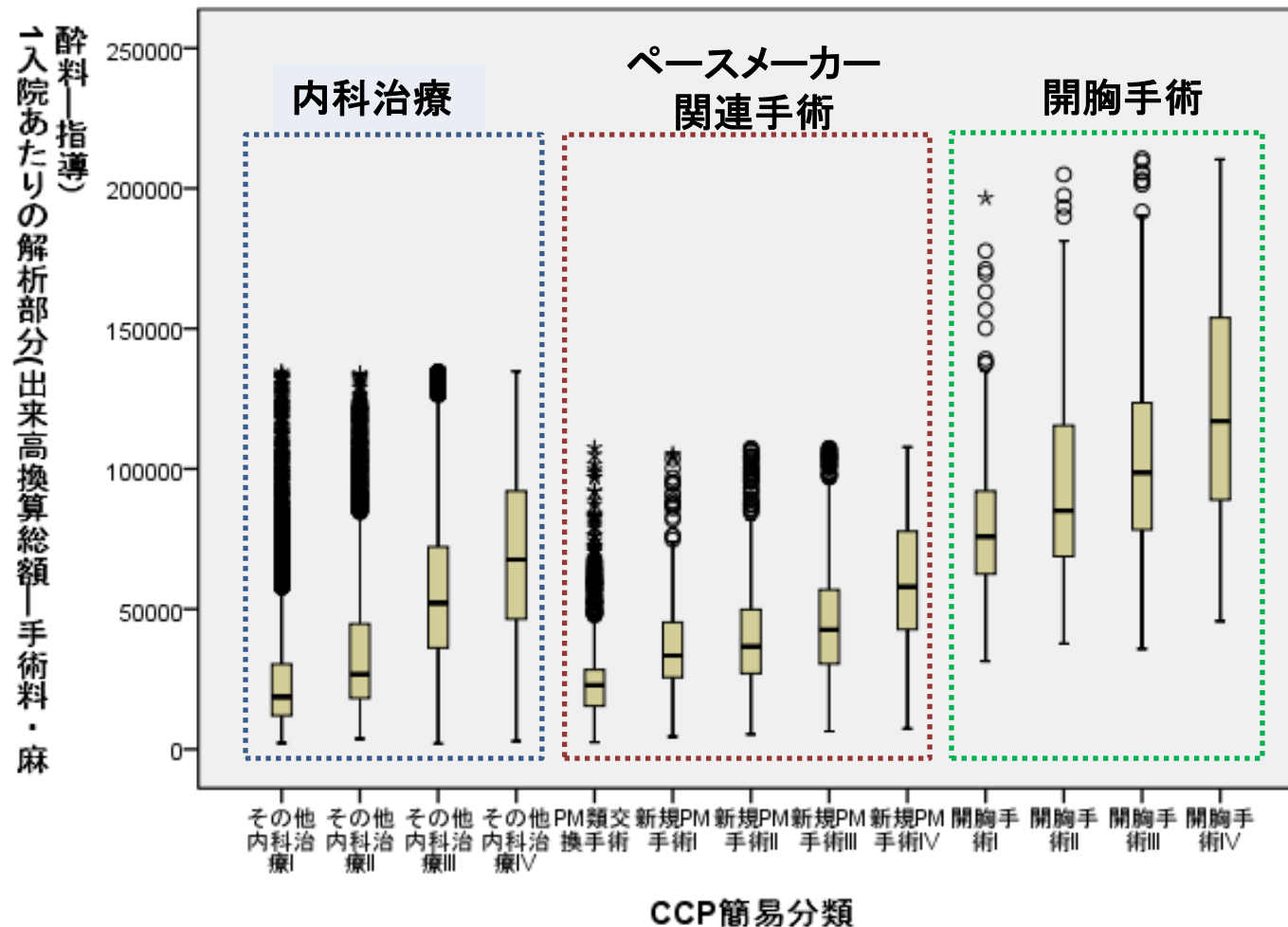
ー 多変量解析により、以下の項目が医療資源消費に影響していることが明らかとなった。

コード	手術処置1	手術処置2	合併症併存症	重症度等
1	輸血	IABP	糖尿病	60歳台
		PCPS	心房細動	
			COPD	
			陳旧性脳梗塞	
			悪性腫瘍の併存	
2		EPS	肺炎の併存	70歳以上
		心カテ	肺炎の合併	
		シンチ・SPECT	脳梗塞の入院後合併	
		透析	急性心不全の入院後合併	
		カテコラミン		

(京都大学  
今中 猪飼  
佐々木)

# CCPマトリックス試行例ー心不全(2)

再構築したCCP分類(13分類)における診療報酬のばらつき  
 [心不全・不整脈・弁膜症]  $R^2 = 0.388$



(京都大学  
 今中 猪飼  
 佐々木)



# CCPマトリックス導入の工程表(案)

H26.4 H26.6 H26.8 H26.11 H27.3 H27.10 H28.2

研究班  
CCPM導入候補・  
工程表案提示

1. 対象DPCの選定

MDC班  
研究班

・定義表の整備

1. 臨床情報の追加選択
2. 副傷病の検討
3. 多変量解析等により分岐条件の設定

医療課  
研究班

・集計分析  
・CCPM作成試行

○分析の課題

1. 分析手法の確立  
症例数等
2. 分岐設定基準の設定  
100例、1.2倍、CV>1等

MDC班  
研究班

・CCPM検証  
・定義表完成

医療課

・CCPM・樹形図・点数表作成

## 医療機関群のあり方等について

次回診療報酬改定（平成 28 年を想定）における医療機関別係数の見直しに向けて、医療機関群のあり方等について検討を行う。

### 1. 医療機関群に関するこれまでの議論の整理（【D-3 参考 資料A】参照）

#### （1）平成 24 年改定に向けた議論の整理

【平成 24 年 7 月 27 日 DPC 評価分科会 D-2】

平成 24 年度改定において整理された、調整係数の置換えに対応する基礎係数と機能評価係数Ⅱの設定に係る検討経過（概要）は次の通り。

##### （1）調整係数の置き換えと引き続き求められる役割

- 制度導入時の激変緩和のために設定された調整係数は、過去の報酬水準を継続して反映するという弊害が生じることから、調整係数による個別施設単位での調整を廃止し、医療機関の機能を評価する新たな係数として組み替えることとされた。
- 一方で、調整係数の運用を通じた、(a) アウトライヤーへの対応、(b) 施設毎のバラツキの対応、(c) 診療報酬の改定への対応、(d) 診療効率化分の対応、に由来する診療報酬を個別施設単位で一括して「調整分」として支払う機能を担っており、これらの支払の結果として i) 円滑な医療機関運営の促進、と ii) DPC 制度選択のインセンティブ、という効用が生じてきたと考えられた。（【図 1】参照）
- これら 2 つの効用（円滑な医療機関運営の促進と DPC 制度選択のインセンティブ）を残しつつ、過去の報酬水準を維持する個別調整から、全体平均の報酬（基本的な診療機能に対応する「基礎係数」）に診療実績に基づく調整分（「機能評価係数Ⅱ」）を加味する報酬体系に移行することとされた。（【図 2】参照）

##### （2）基礎係数における医療機関群の設定

- 基本的な診療機能に対応して設定する、包括範囲に係る直近の出来高点数相当の平均値（基礎係数）について、例えば、大学病院本院は、包括範囲の 1 日当たり出来高点数（診療密度）が明らかに異なっており、これらは、より重症な患者への対応や、より高度な技術の実践といった、他の施設とは異な

る機能や役割を担っていることに由来するものと考えられた。（【図3】参照）

- このような医療機関に他と同程度の効率化・標準化を求めることは、これらの役割や機能を維持することが困難になる恐れがあることから、DPC/PDPS 参加病院を幾つかの医療機関群に分類し、それぞれの医療機関群毎に基礎係数を設定することとし、大学病院本院については役割や機能が明らかに他施設と異なることから別群とされた。（【図4】参照）

## （2）基本方針（案）

### 【考え方】

- ・ 基礎係数と機能評価係数Ⅱの組み合わせは機能分化を推進しつつ、調整係数を廃止するための基本的な枠組みとして重要（診療密度が高い施設について、多角的な観点から一定の役割を求める仕組みが不可欠）
- ・ 見直しについては、一定の実績を踏まえた必要性に応じて、今後、更に検討すべき課題

## （2）平成26年改定に向けた議論

- ① I群・II群については、医療機関の予見性を確保する観点から維持することとされた。
- ② III群の細分化の是非について議論が行われたが、最終的には細分化はしないこととされた。

### 【考え方】

- III群に含まれている病院には、専門病院や地域の中核病院等、役割や効率性・複雑性等の観点から非常に大きなバリエーションがあり、それらを平均的に評価することは問題があるのではないかという意見があった。
- 一方、効率性や複雑性が低い小さな病院であっても、地域に密着して果たしている役割があり、そういった役割を担う病院が基礎係数で評価されるという観点から現行のIII群の評価方法のままでも良いのではないかという意見があった。
- また、例えば「専門病院」という枠組みで見た場合であっても、専門病院の中に脳疾患専門病院や整形外科専門病院等多様な機能を持った病院が含まれており、一定の基準を設定することは難しいのではないかという意見があった。
- 加えて、そもそも医療機関群そのものを変更することではバラつきを補正することにはならず、さまざまなバリエーションについては、機能評価係数によって評価していくべきではないかという意見があった。

## 2. 医療機関別係数の現状等に関する整理

- (1) 各医療機関の係数の分布図について **【D-3参考 資料B】参照**
- ① 医療機関別係数の合計値の分布（医療機関群別）
  - ② 機能評価係数Ⅱの各係数分布
- (2) 激変緩和措置の対象となった病院について **【D-3参考 資料C】参照**
- ① 平成24年・26年改定時の激変緩和措置の対象病院
  - ② Ⅱ群・Ⅲ群の入れ替わりが生じた病院の推計収入変動率
  - ③ 今後の推計収入変動率のシミュレーション

## 3. 医療機関群のあり方に関する論点の整理

- ・ 医療機関群のあり方等については、以下の通り検討課題を整理した上で、今後検討を進めることとしてはどうか。

### (1) 医療機関群および基礎係数・機能評価係数Ⅱの基本的な考え方の整理

- これまでの診療報酬改定の経緯や、医療提供体制全体の見直しの方針等を踏まえ、医療機関群と、基礎係数・機能評価係数Ⅱによる医療機関の機能評価のあり方についてどのように考えるか。

[考え方]

- 「基礎係数」および「機能評価係数Ⅱ」は、医療機関群別の評価となっており、医療機関群の考え方は、それぞれの医療機関別係数のあり方と共に検討する必要がある。

### (2) I群のあり方について

- 大学病院本院を一律にI群として評価することについてどのように考えるか。

[考え方]

- 大学病院本院の中には、病院によって地域において担う機能が様々であること、また分院に機能を移している病院等があることから、診療実態のバラツキが大きいのではないかという指摘がある。

### (3) II群のあり方について

- II群の基本的な考え方「I群（大学病院本院）に準じる病院」についてどのように考えるか。

[考え方]

- II群の基本的な考え方については、医療提供体制全体の見直しの方針等を踏まえ検討する必要がある。

#### (4) Ⅲ群のあり方について

- Ⅲ群を細分化すべきか。あるいは、細分化せず機能評価係数Ⅱで評価する場合、どのような視点があるか。

##### [考え方]

- Ⅲ群の中にも規模が小さくても、専門性の高い高度な医療レベル、医療の質を持った医療機関があり、必ずしも診療の科目数が多ければレベルが高いというわけではないことを踏まえ、見直しをしていくべきではないかという指摘がある。

#### (5) 激変緩和措置のあり方について

- 激変緩和措置は現行のまま継続すべきか。継続すべきでない場合、どのような対応が必要か。

##### [考え方]

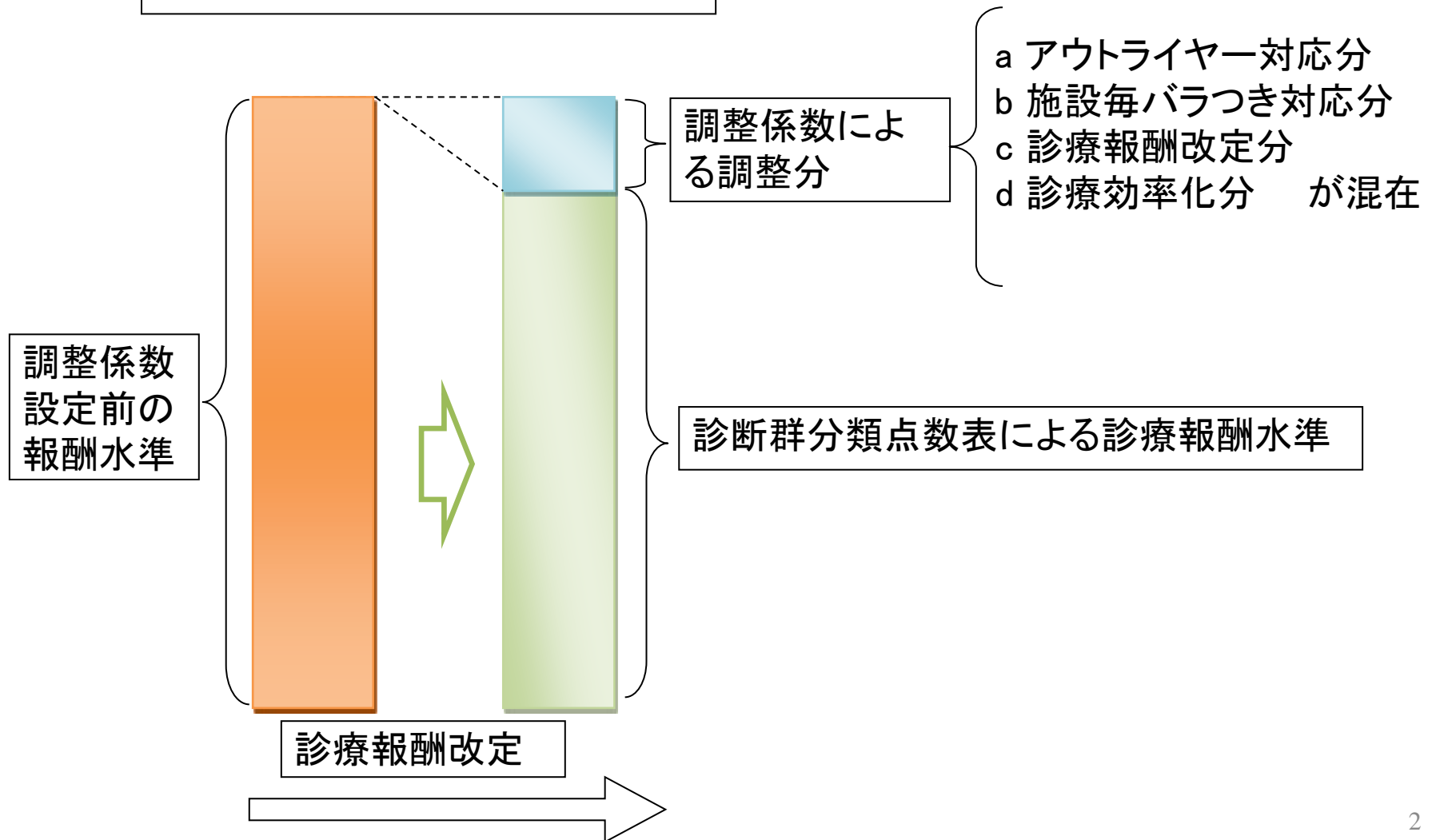
- 平成 24 年改定および平成 26 年改定において、出来高部分も含めた推計報酬変動率が±2%を超える場合には激変緩和措置として±2%を超えないよう暫定調整係数を調整する措置を行ったが、引き続き当該措置を継続した場合、変動の猶予分が蓄積していく可能性があり、調整係数が廃止となる時点において収入の変動が集中する可能性がある。
- 従来の調整係数を基礎係数と機能評価係数Ⅱへの段階的な置き換えを進めることで、従来の調整係数が高い病院あるいは低い病院の収入が大きく変動していく可能性があるが、当該病院の地域医療における位置づけや診療内容等を踏まえ対応を検討する必要がある。

# 【資料A】

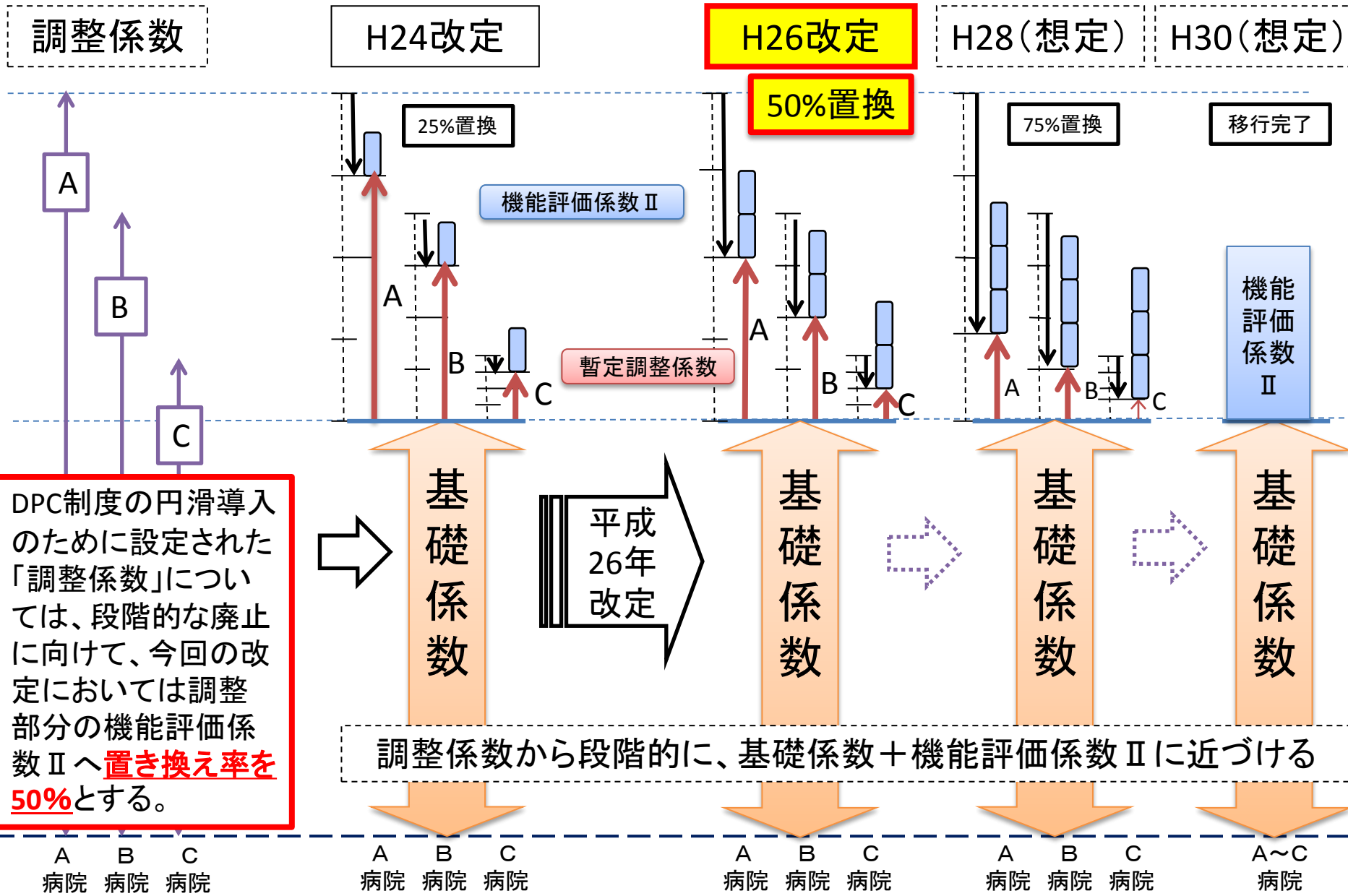
「調整係数」から  
「基礎係数」+「機能評価係数Ⅱ」への移行  
に関する資料

# 【図1】 調整係数の役割

個別の医療機関におけるイメージ



【図2】「調整係数」から「基礎係数」+「機能評価係数Ⅱ」への移行



DPC制度の円滑導入のために設定された「調整係数」については、段階的な廃止に向けて、今回の改定においては調整部分の機能評価係数Ⅱへ置き換え率を50%とする。

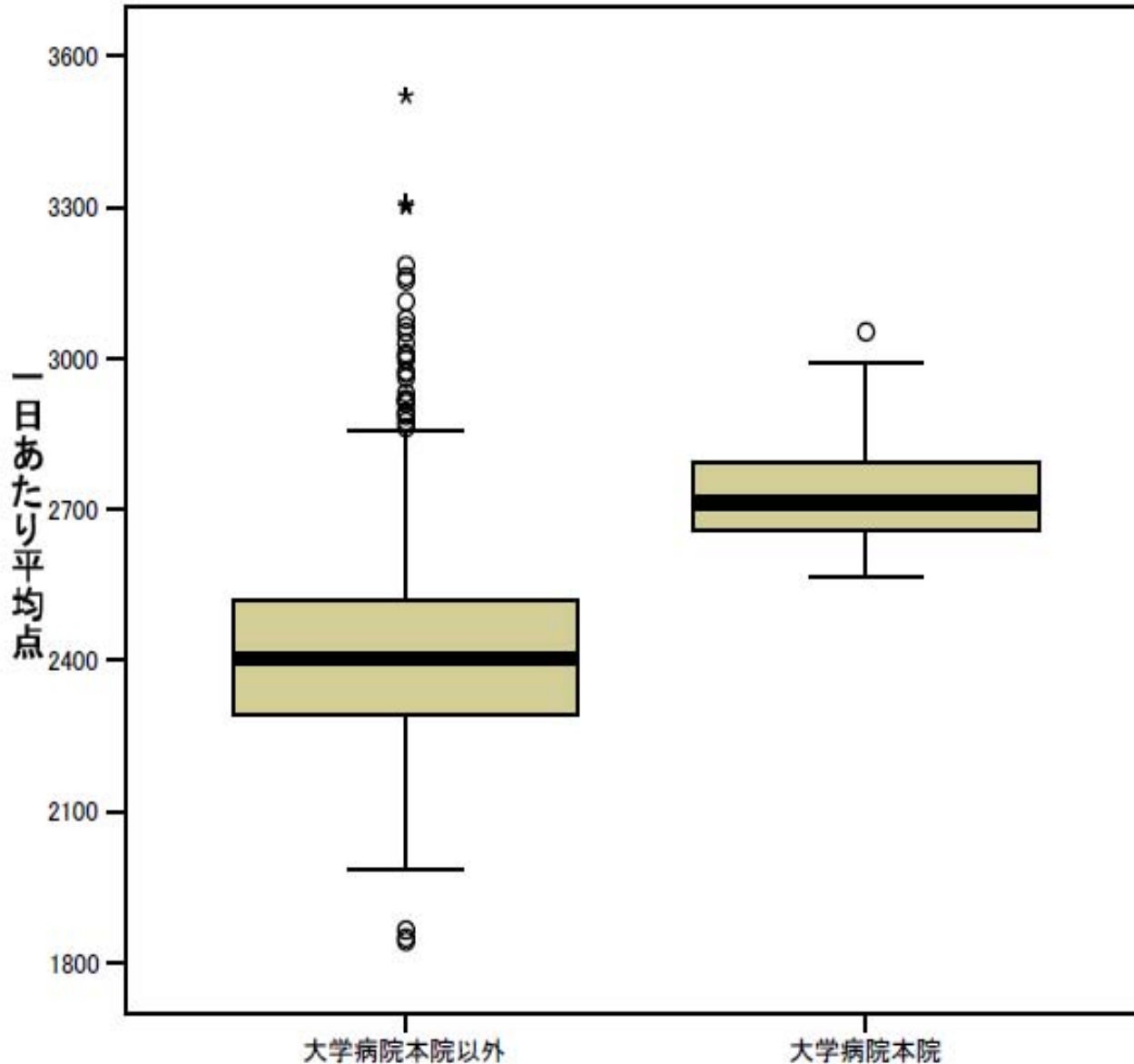
調整係数から段階的に、基礎係数+機能評価係数Ⅱに近づける

※ 同程度の機能評価係数Ⅱの評価となるA病院～C病院を想定したイメージ



# 【図3】 大学病院本院における1日あたり平均点数

平成23年4月14日  
DPC評価分科会D-8



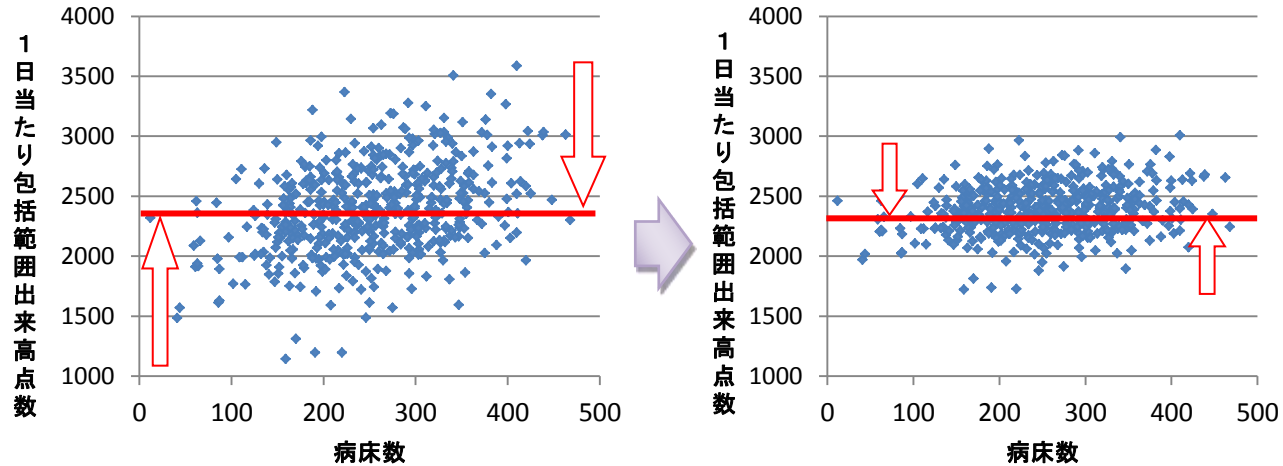
# 【図4】 医療機関群別に基礎係数を設定する理由

同一の基礎係数が設定される医療機関に対しては、同程度の効率化・標準化が促進され、中長期的には同一基礎係数の対象機関について、一定の診療機能や診療密度等に収斂していくことが期待されることになる。

例えば、より重症な患者への対応やより先進的な技術の実践といった、他の施設とは異なる機能や役割を担う医療機関に、他と同程度の効率化・標準化を求めることは、これらの役割や機能を担うインセンティブがなくなってしまう懸念がある。

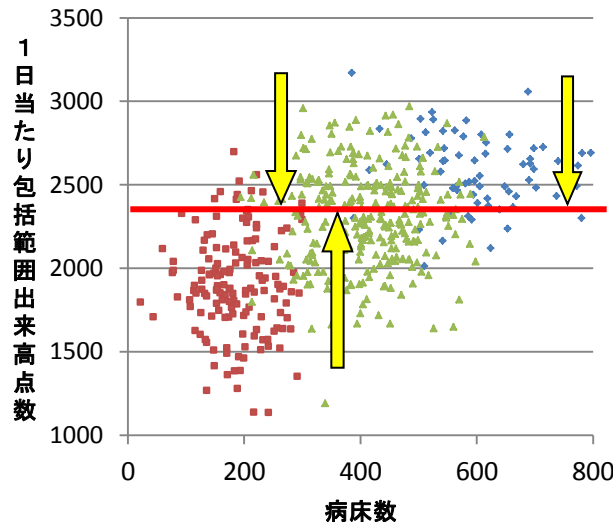
このような弊害に対応するため、一定の合理的な役割や機能の差が認められる医療機関について、基礎係数を分けて設定することが妥当と考えられる(医療機関群に対応した基礎係数の設定)。

＜効率化・標準化の進展のイメージ＞

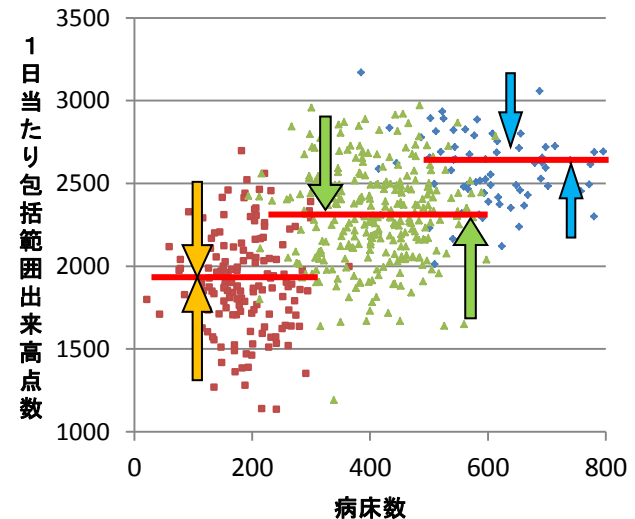


＜基礎係数設定のイメージ＞

【単一医療機関群】



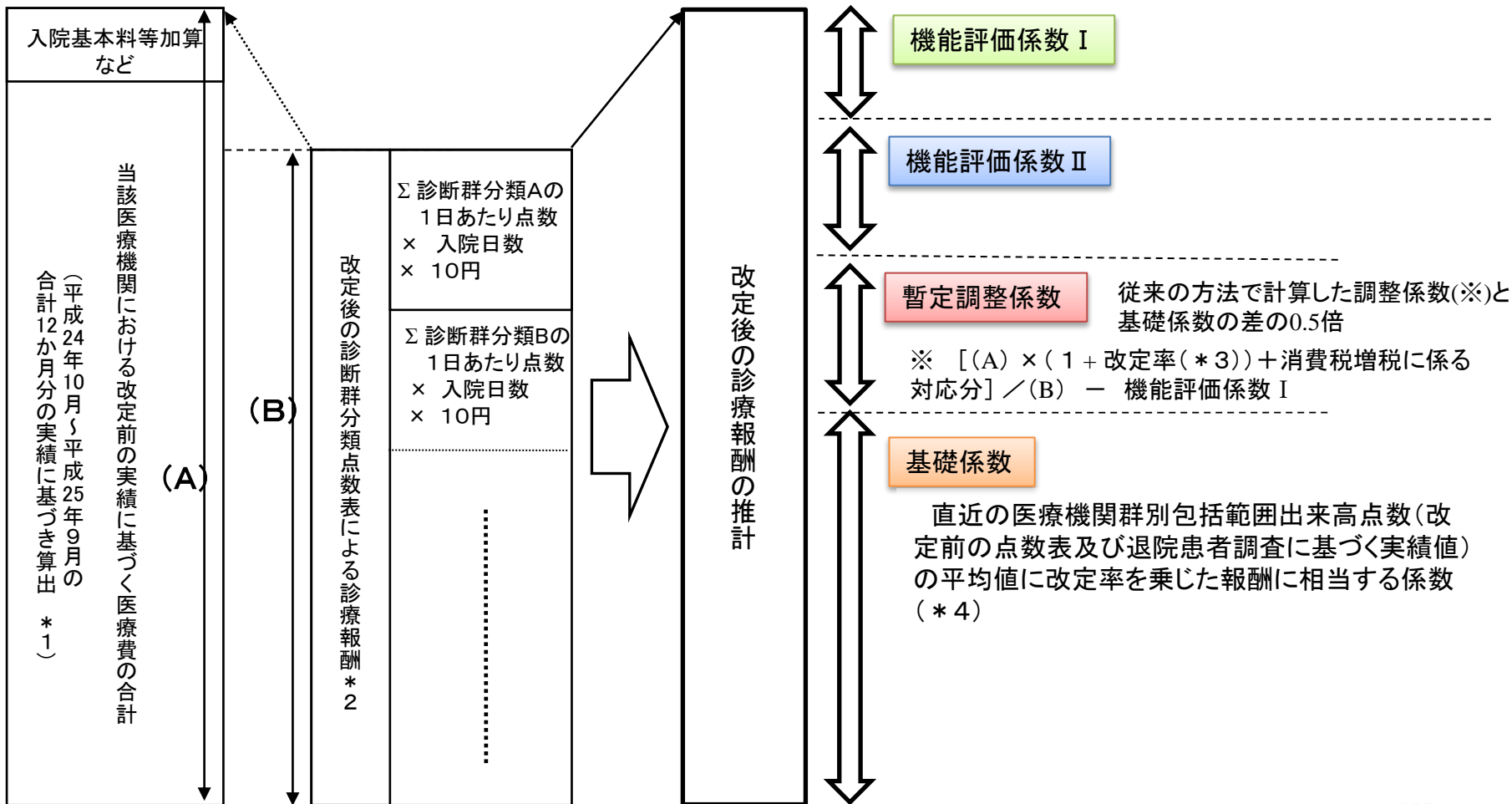
【医療機関群ごと】



● 医療機関タイプA ■ 医療機関タイプB ▲ 医療機関タイプC ● 医療機関タイプA ■ 医療機関タイプB ▲ 医療機関タイプC

# (参考) 医療機関別係数の設定方法等(平成26年改定)

$$\text{医療機関別係数} = \text{「機能評価係数 I」} + \text{「機能評価係数 II」} + \text{「暫定調整係数」} + \text{「基礎係数」}$$



\*1 改定前の実績に基づく医療費の合計には、平成26年度診療報酬改定における入院基本料や包括範囲の見直し等を反映している。

\*2 改定後の診断群分類による診療報酬については、当該医療機関における平成24年10月から平成25年9月の入院実績に基づき算出している。

\*3 消費税増税にかかる対応分を除いている。

\*4 消費税増税にかかる対応分を加味して算出している。

# (参考) 調整係数の役割

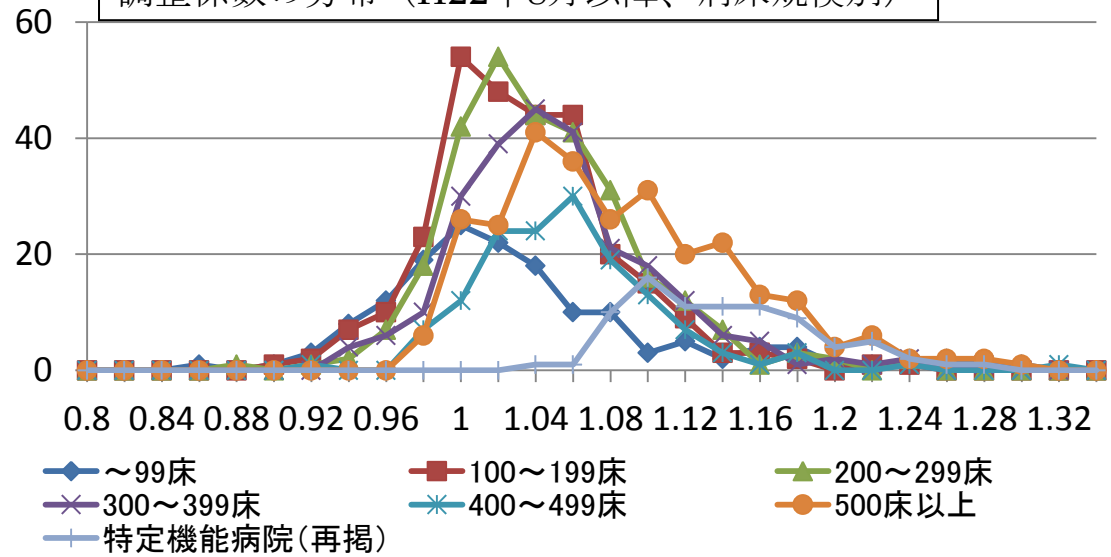
## 施設特性の反映

○ 診療内容のバラつきが、施設の規模や施設の持つ診療特性との間で、一定の関連のあることが示唆されている。

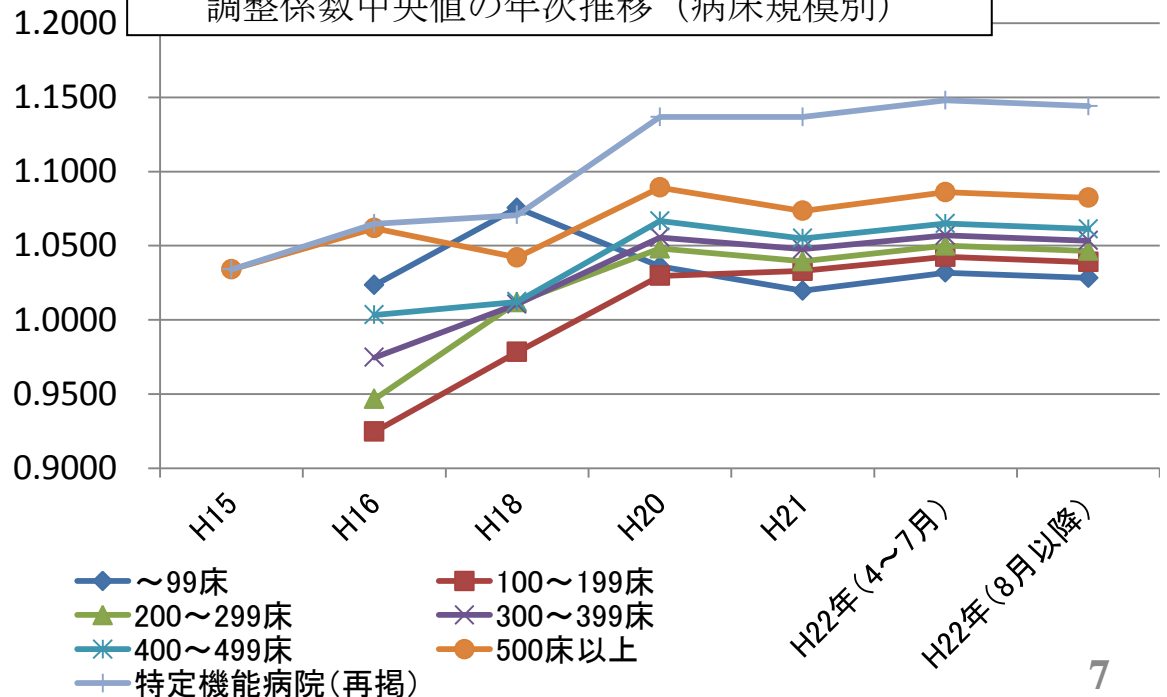
例えば、特定機能病院は他の病院との比較で施設ごと調整係数が高い傾向にあり、これは概ね、平均的な診療密度（＝包括範囲に該当する出来高相当の平均診療報酬点数）の多寡に相当すると考えられる。

○ 同様に、施設の病床規模に応じて調整係数の大きさが影響を受けていることから、施設のもつ体制や診療特性がこれらに何らかの形で反映されていることが示唆されている。

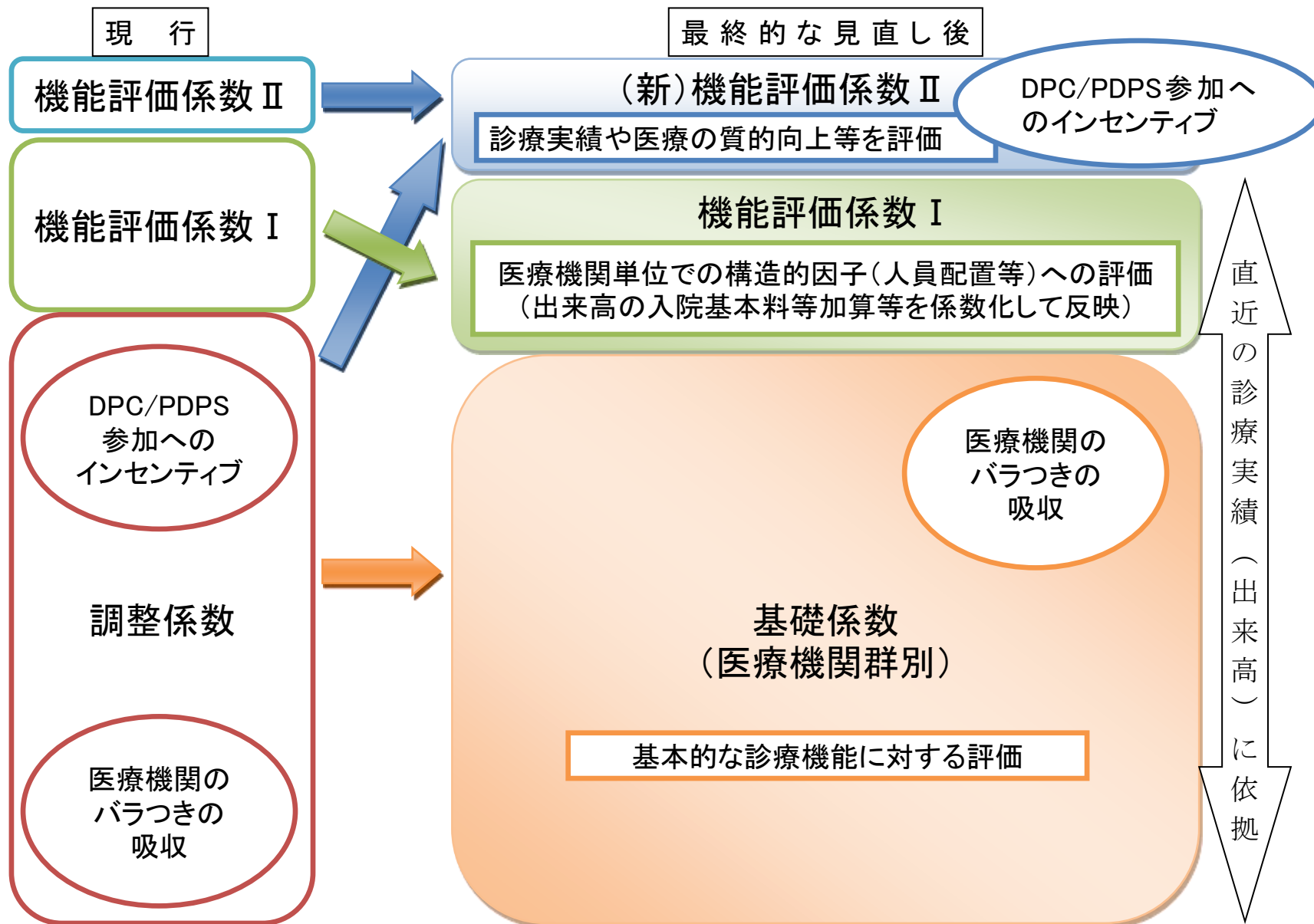
調整係数の分布（H22年8月以降、病床規模別）



調整係数中央値の年次推移（病床規模別）



【イメージ図】DPC/PDPS調整係数見直し後の医療機関係数のあり方

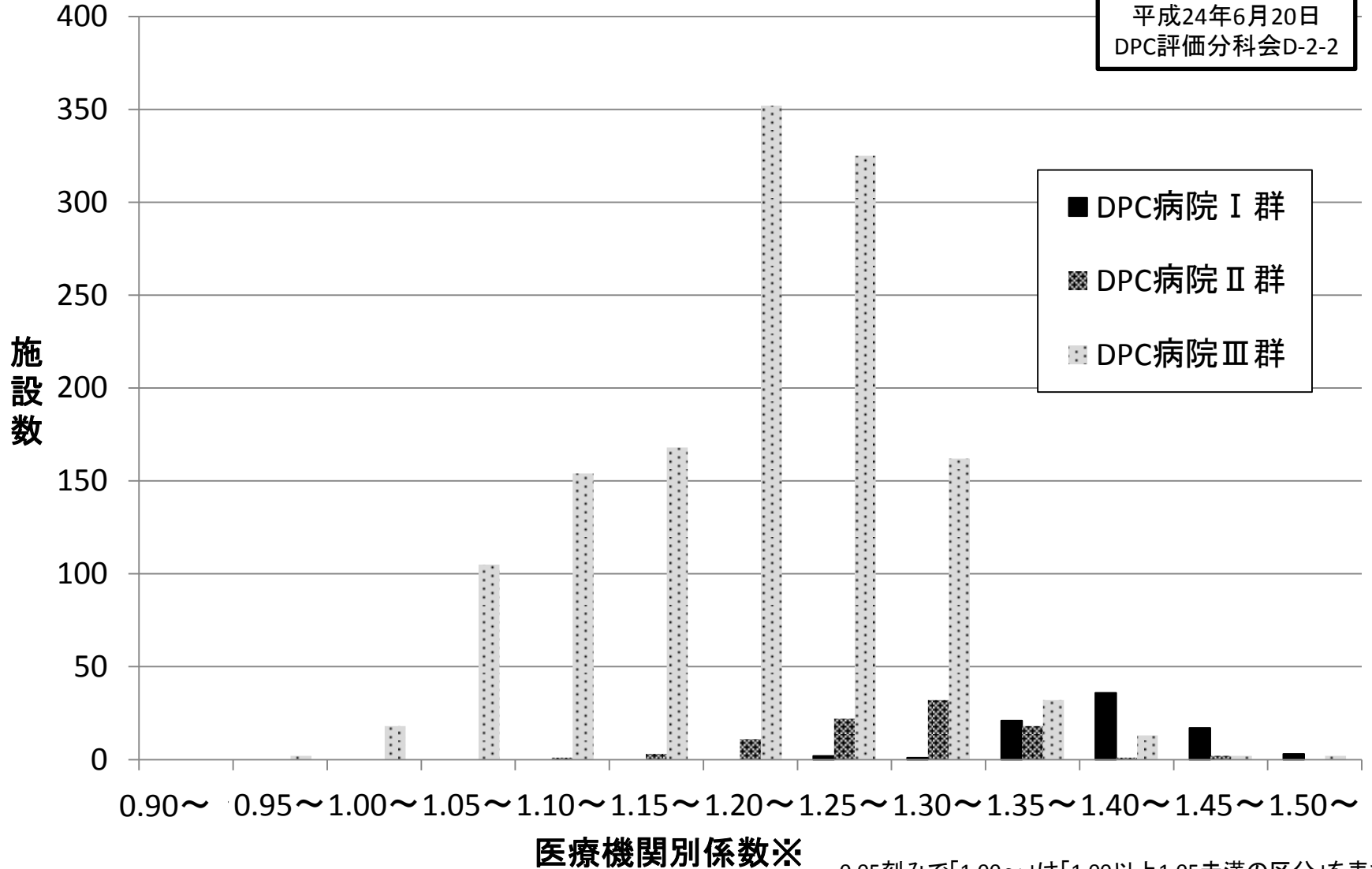


# 【資料B】

医療機関別係数の分布等に関する資料

# 平成24年改定時の医療機関別係数の分布(医療機関群別)

平成24年6月20日  
DPC評価分科会D-2-2

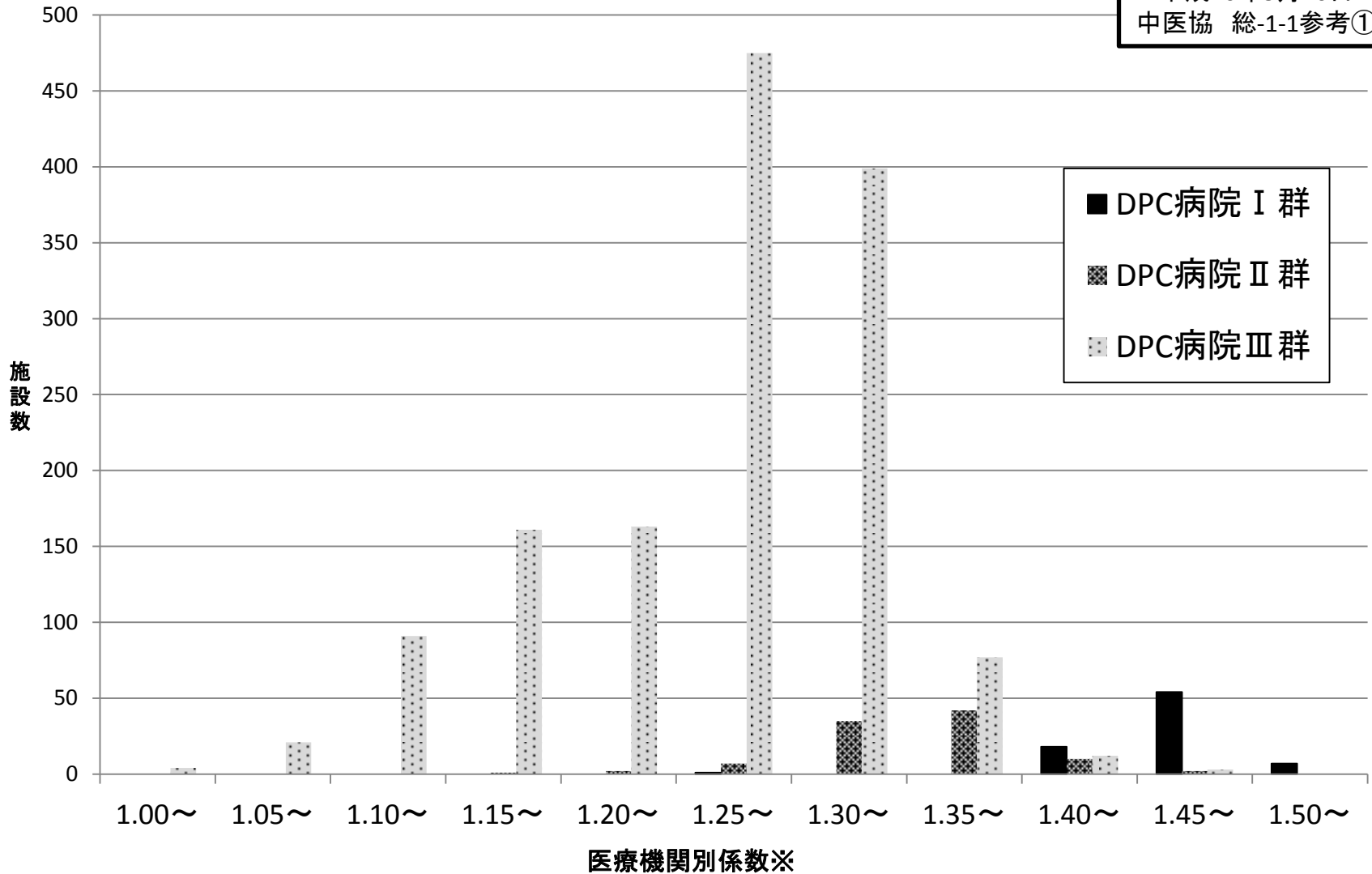


0.05刻みで「1.00~」は「1.00以上1.05未満の区分」を表す

※医療機関別係数 = 平成24年度基礎係数 + 平成24年度暫定調整係数 + 機能評価係数Ⅰ※※ + 平成24年度機能評価係数Ⅱ  
 ※※機能評価係数Ⅰ = 暫定調整係数設定時の項目にH24年度診療報酬改定後の機能評価係数Ⅰの値を適用。

# 平成26年改定時の医療機関別係数の分布(医療機関群別)

平成26年3月26日  
 中医協 総-1-1参考①



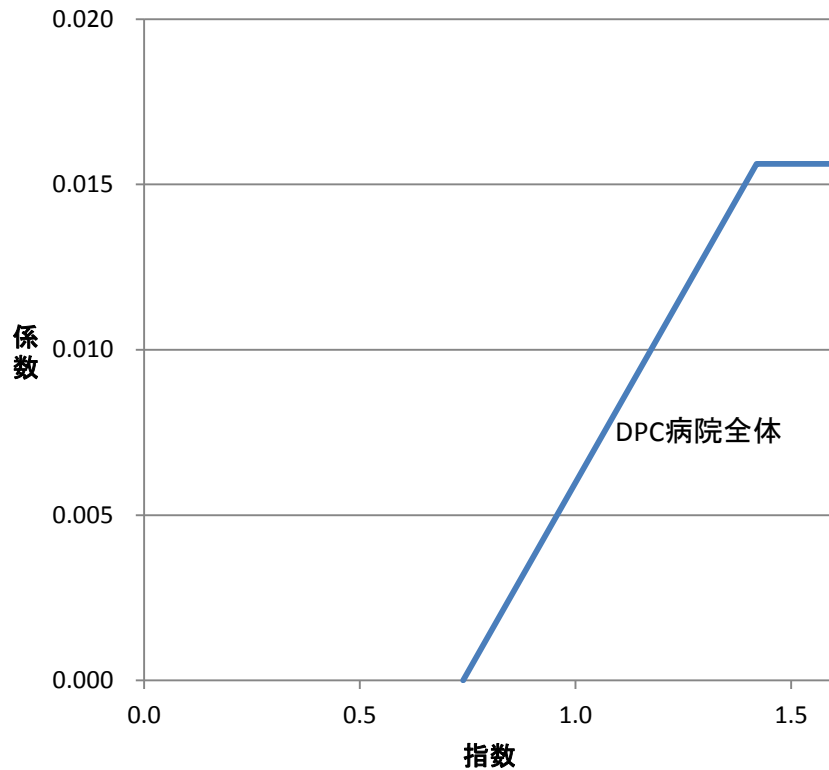
0.05刻みで「1.00～」は「1.00以上1.05未満の区分」を表す



# 機能評価係数Ⅱの各係数の分布

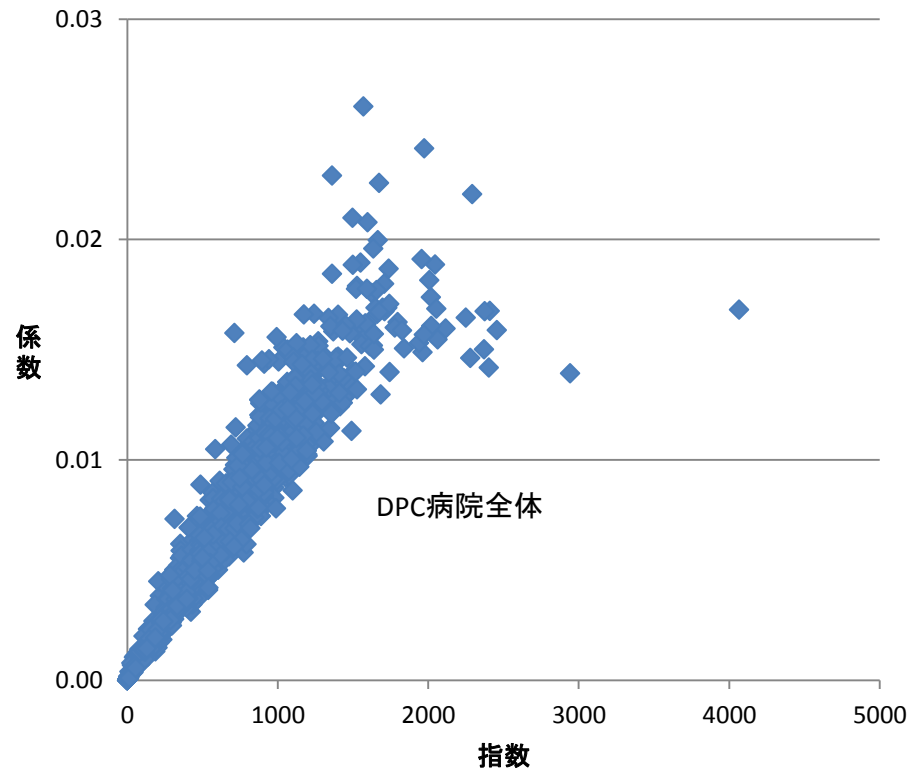
## 【②効率性係数】

下限値(指数) (2.5%tile値)	下限値 (係数)	上限値(指数) (97.5%tile値)	上限値 (係数)
0.73960	0.00000	1.41987	0.01563



## 【⑤救急医療係数】

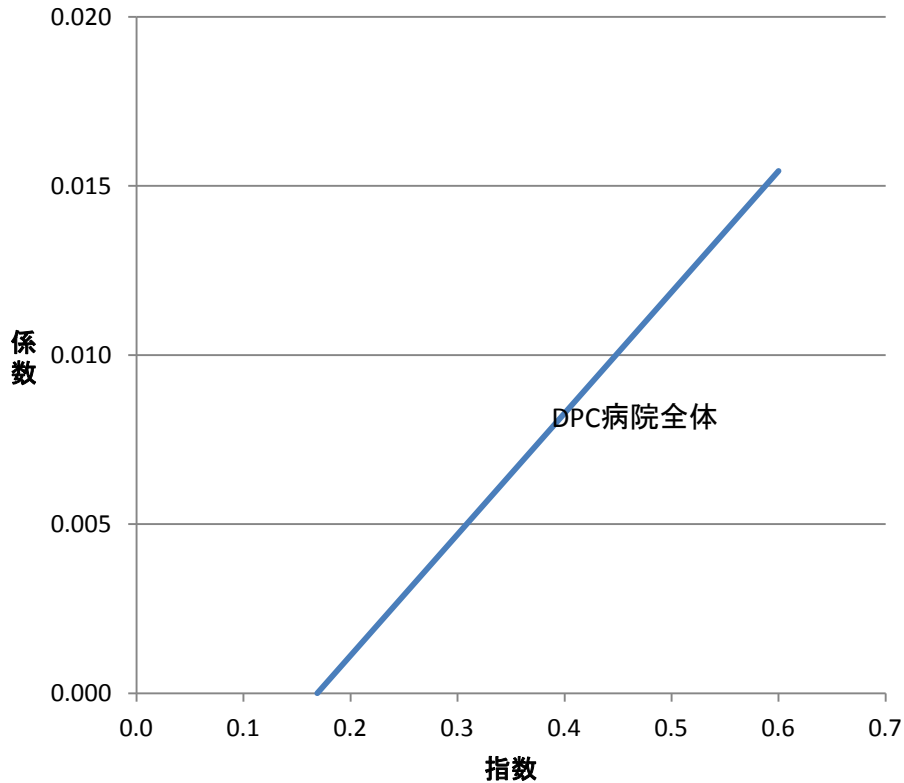
最小値(指数)	下限値 (係数)	上限値(指数) (97.5%tile値)	上限値 (係数)
0.00000	0.00000	1652-	-



# 機能評価係数Ⅱの各係数の分布

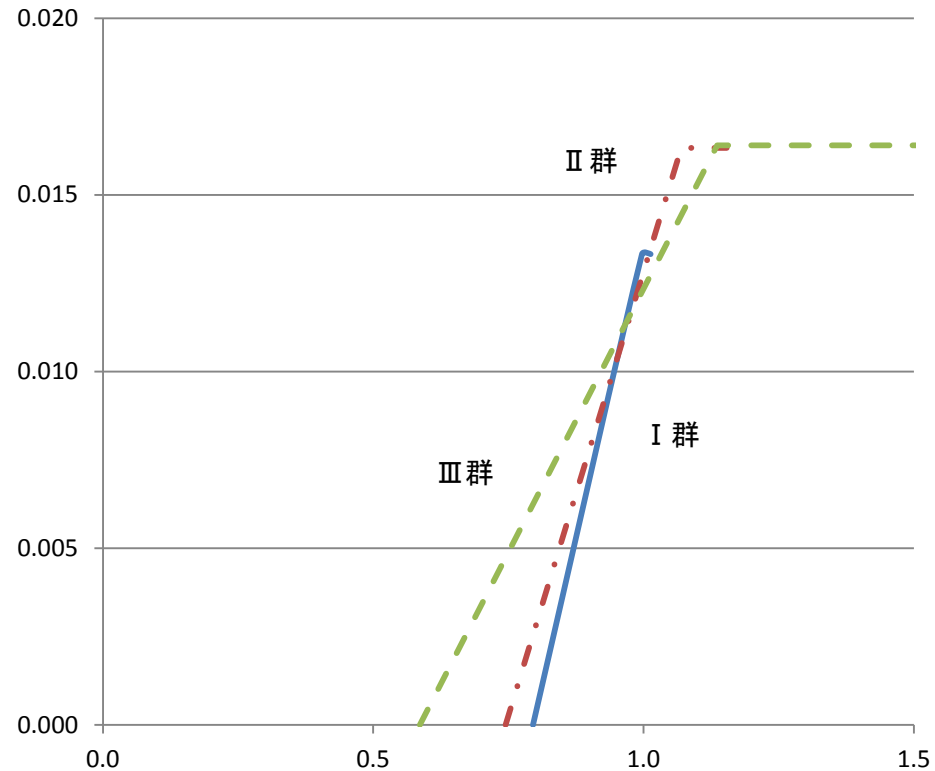
## 【⑦後発医薬品係数】

下限値(指数) (2.5%tile値)	下限値(係数)	上限値(指数) (60%)	上限値(係数)
0.16886	0.00000	0.60000	0.01544



## 【③複雑性係数】

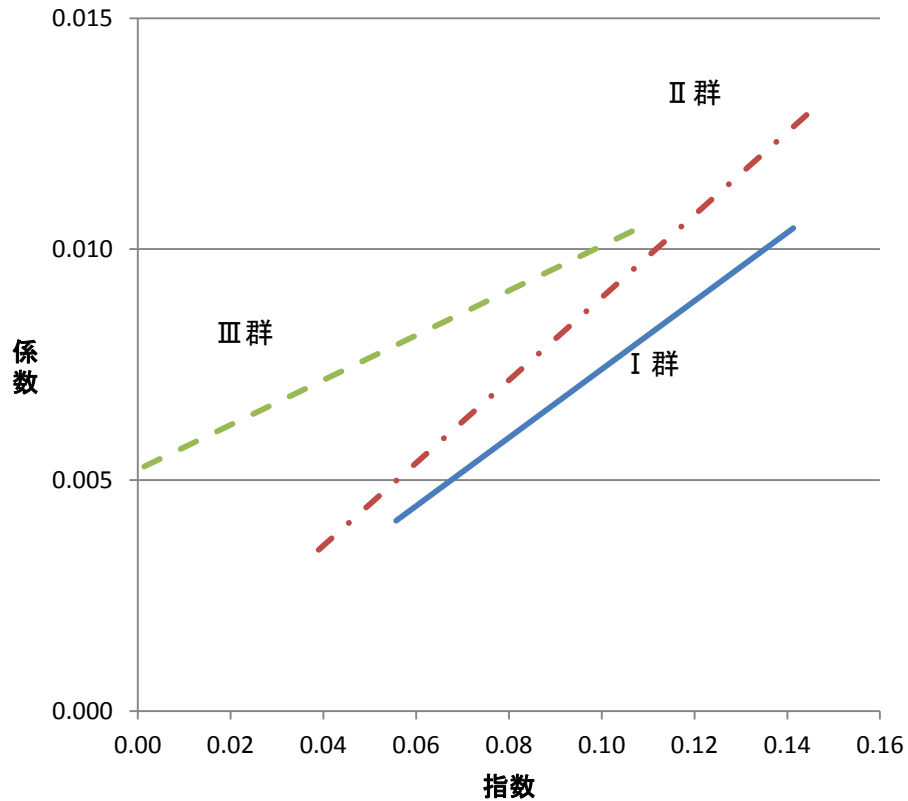
	下限値(指数) (2.5%tile値)	下限値(係数)	上限値(指数) (97.5%tile値)	上限値(係数)
I群	0.79561	0.00000	0.99723	0.01332
II群	0.74478	0.00000	1.07019	0.01633
III群	0.58613	0.00000	1.13648	0.01640



# 機能評価係数Ⅱの各係数の分布

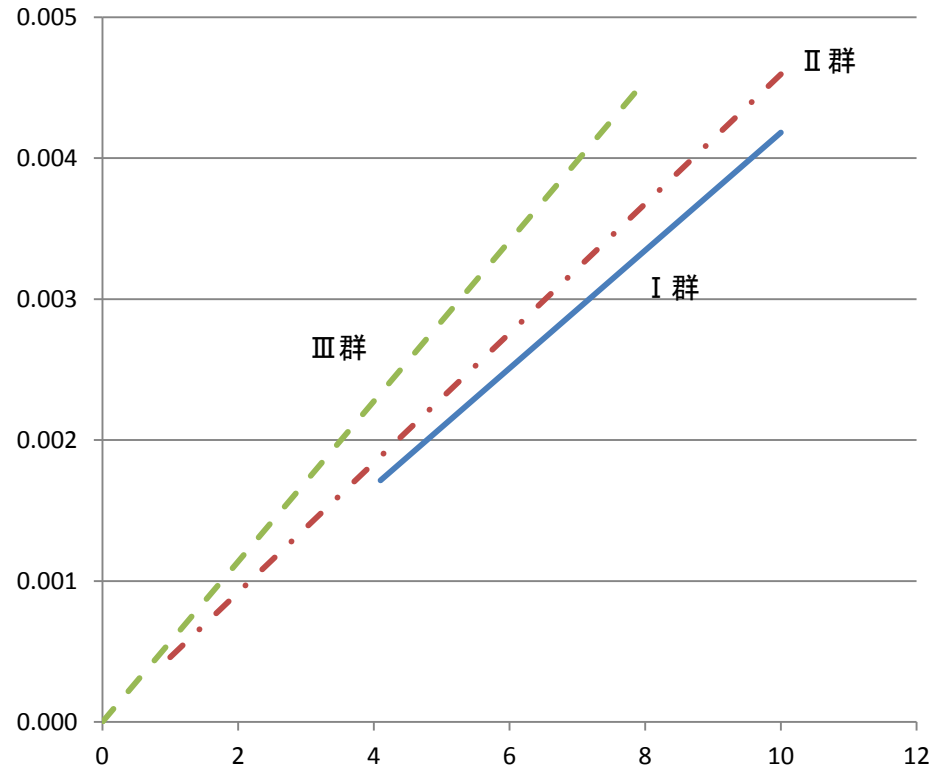
## 【④カバー率係数】

	最小値（指数）	最小値（係数）	最大値（指数）	最大値（係数）
I 群	0.05569	0.00412	0.14132	0.01045
II 群	0.03898	0.00349	0.14480	0.01296
III 群	0.00139	0.00529	0.10790	0.01045



## 【⑥地域医療係数・体制評価係数】

	最小値（指数）	最小値（係数）	最大値（指数）	最大値（係数）
I 群	4.1	0.00171	10.0	0.00418
II 群	1.0	0.00046	10.0	0.00459
III 群	0.0	0.00000	8.0	0.00455



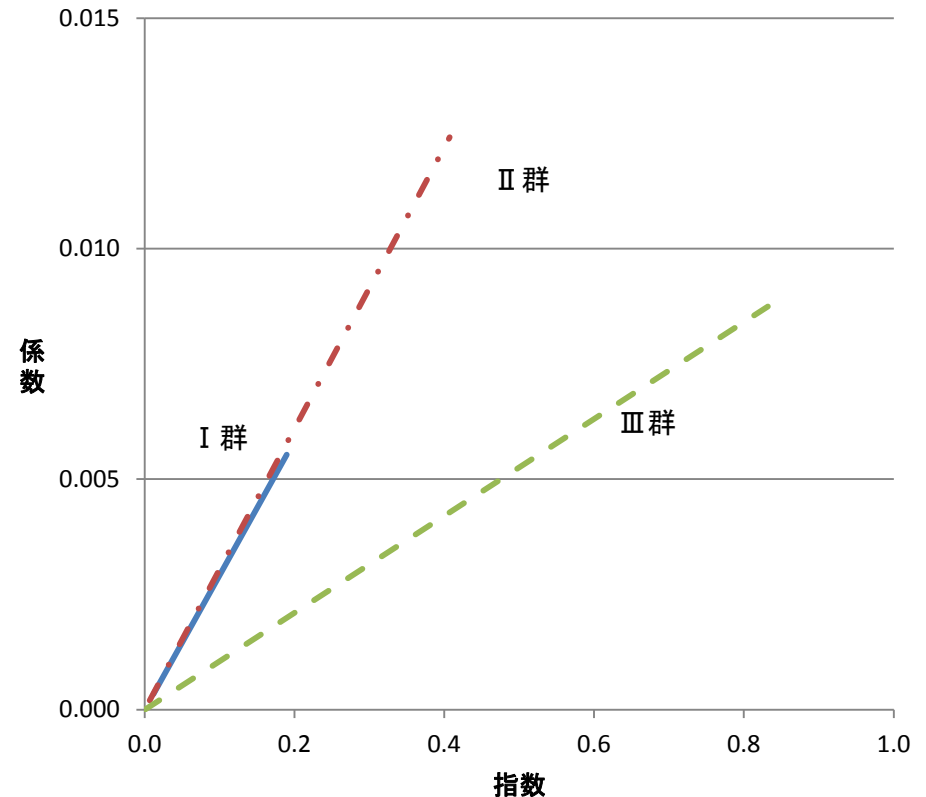
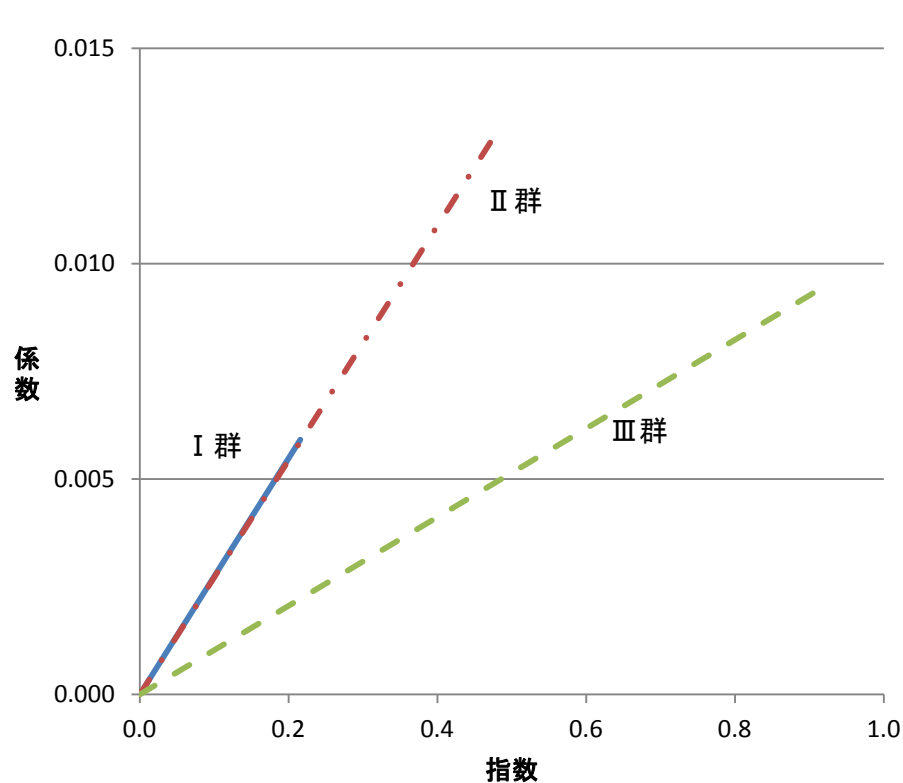
# 機能評価係数Ⅱの各係数の分布

## 【⑥地域医療係数・定量評価係数(小児)】

	最小値(指数)	最小値(係数)	最大値(指数)	最大値(係数)
I群	0.00592	0.00016	0.21570	0.00591
II群	0.00011	0.00000	0.47818	0.01301
III群	0.00000	0.00000	0.90659	0.00933

## 【⑥地域医療係数・定量評価係数(小児以外)】

	最小値(指数)	最小値(係数)	最大値(指数)	最大値(係数)
I群	0.01166	0.00034	0.18959	0.00553
II群	0.00661	0.00020	0.40713	0.01242
III群	0.00005	0.00000	0.83203	0.00875



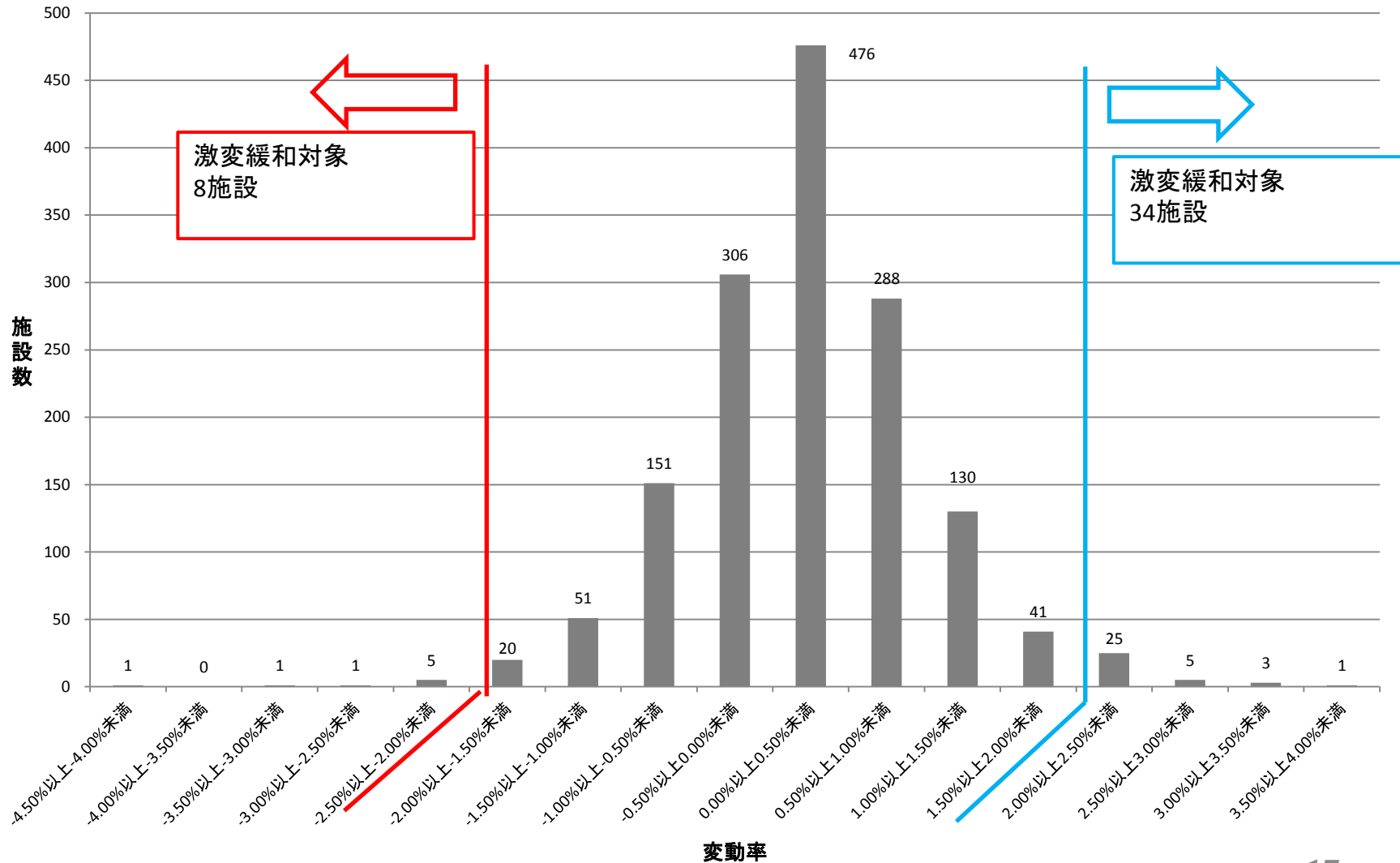
※ I群・II群は3次医療圏のシェア、III群は2次医療圏のシェアで評価。

# 【資料C】

激変緩和措置に関する資料

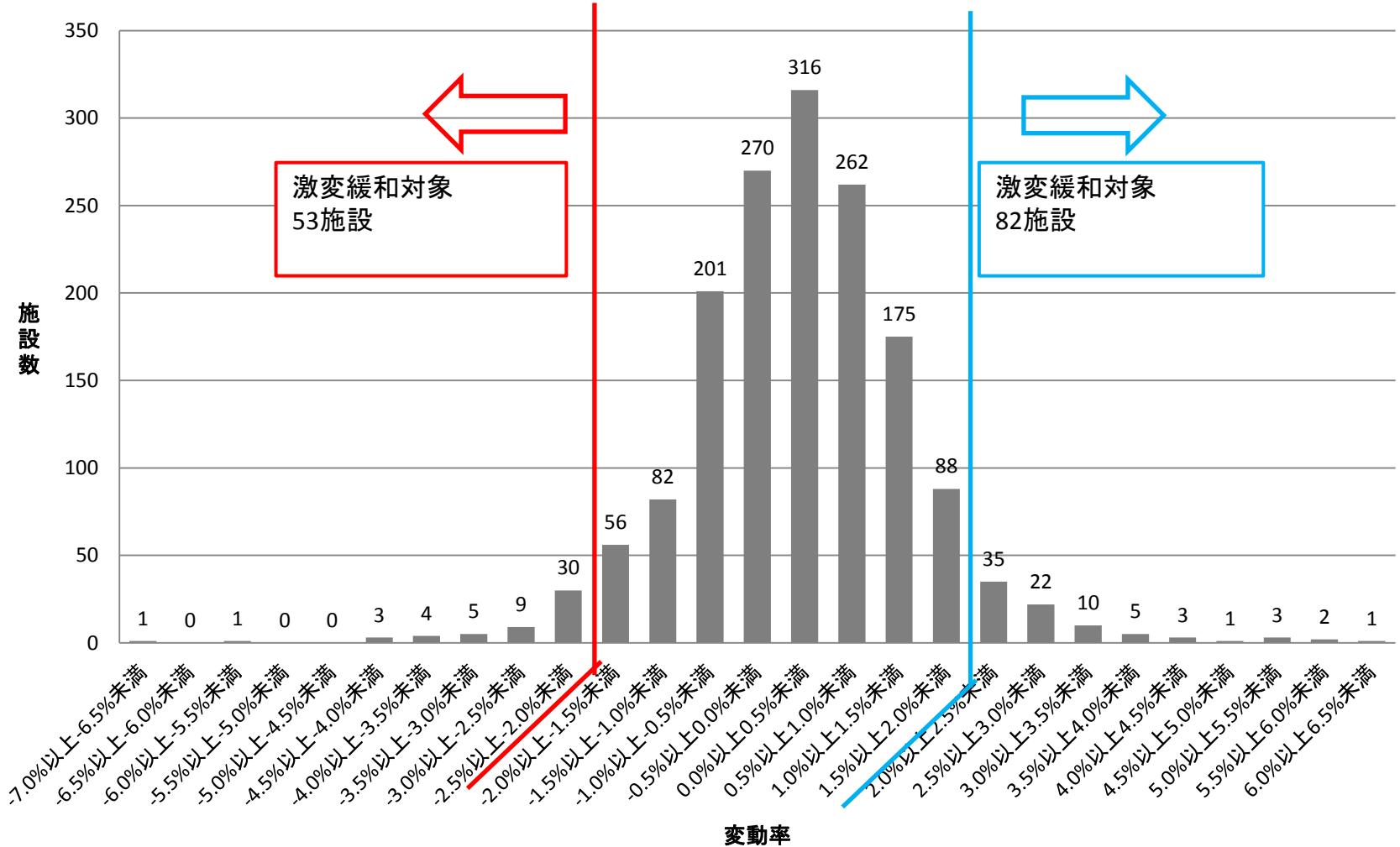
# 平成24年改定における激変緩和措置

平成24年度改定での推計変動率の分布

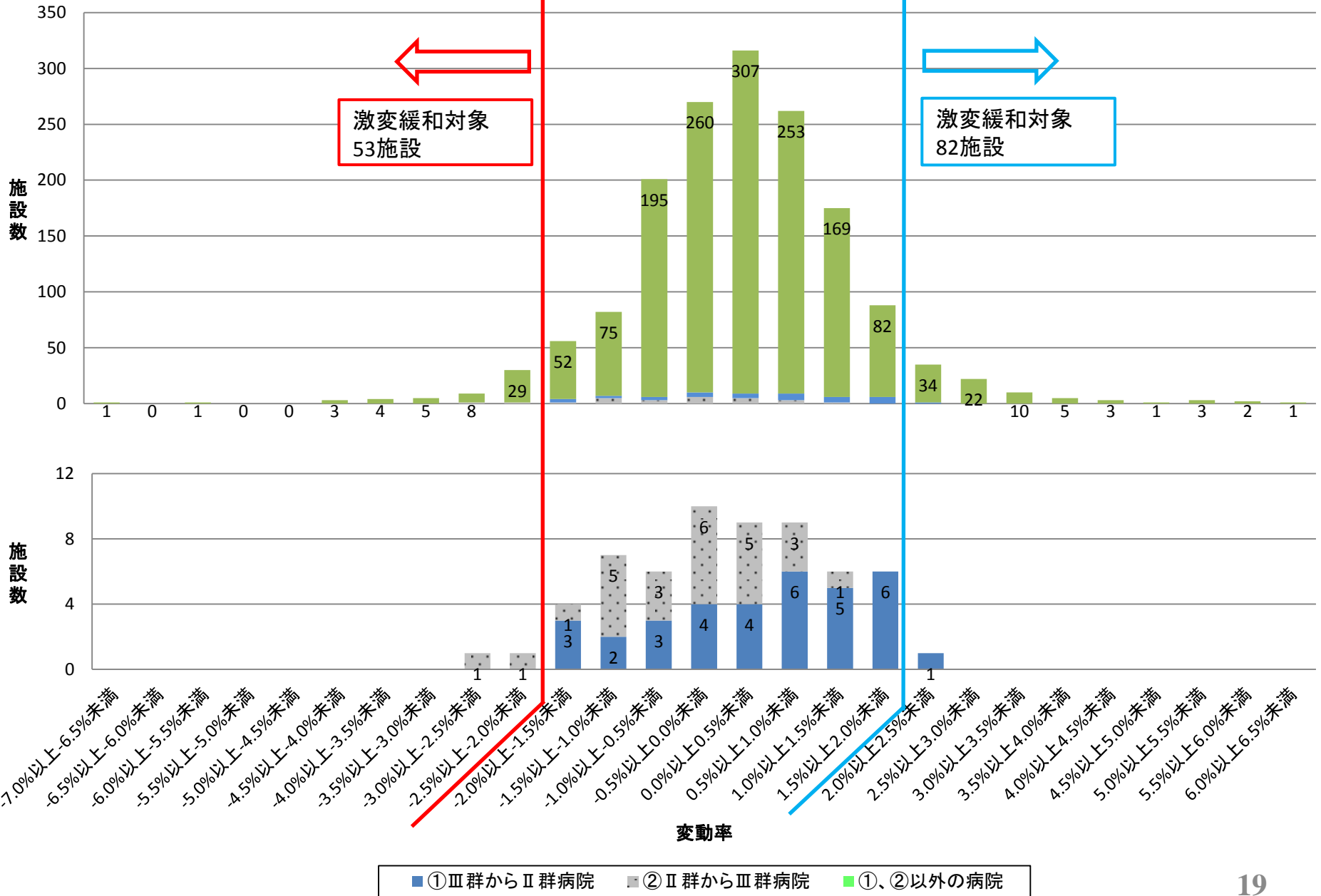


# 平成26年改定における激変緩和措置

平成26年度改定での推計変動率の分布

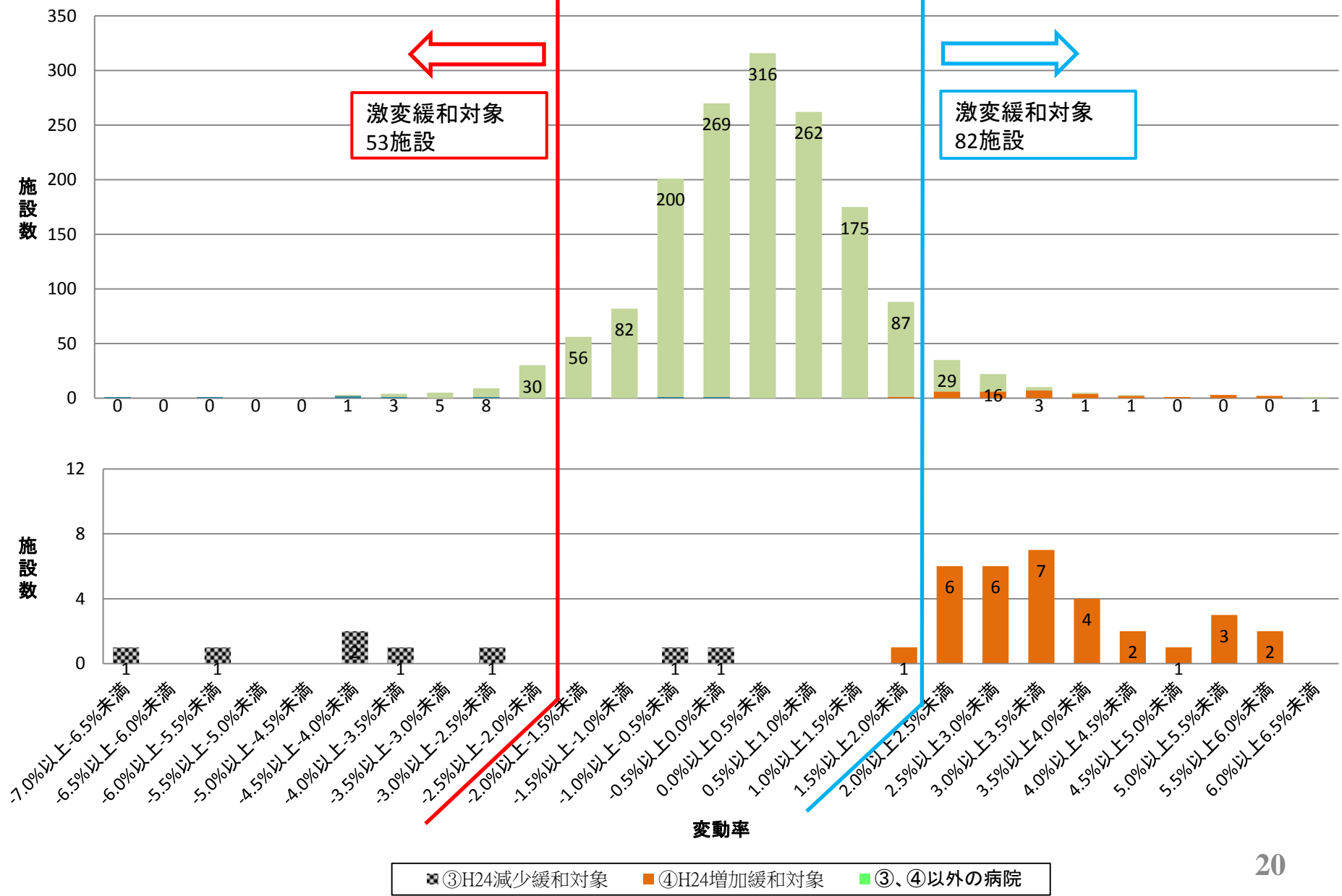


# 平成26年度改定での推計変動率の分布 (医療機関群に変更があった医療機関)



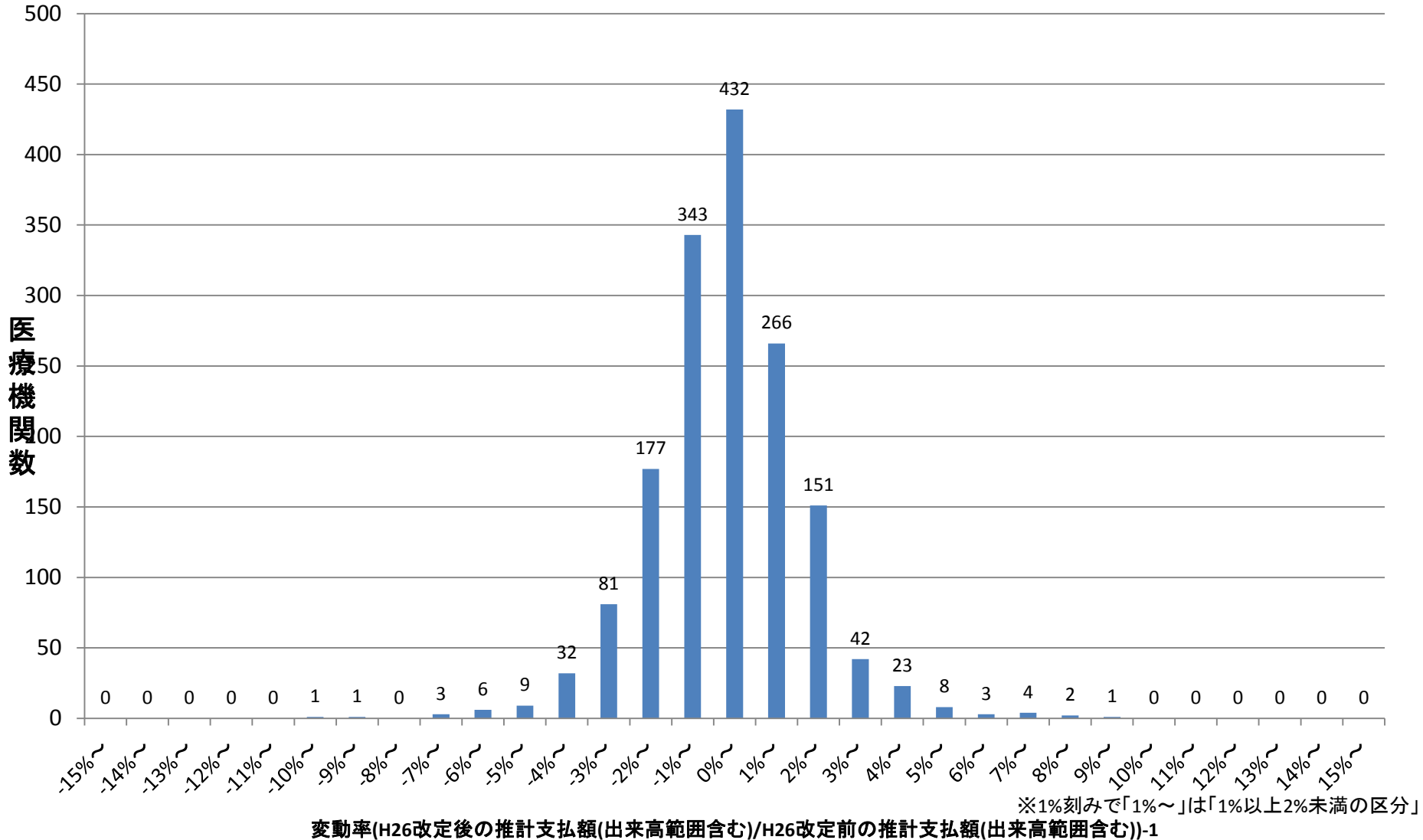


# 平成26年度改定での推計変動率の分布 (H24激変緩和対象医療機関)



# 推計収入変動率のシミュレーション 平成28年(想定)

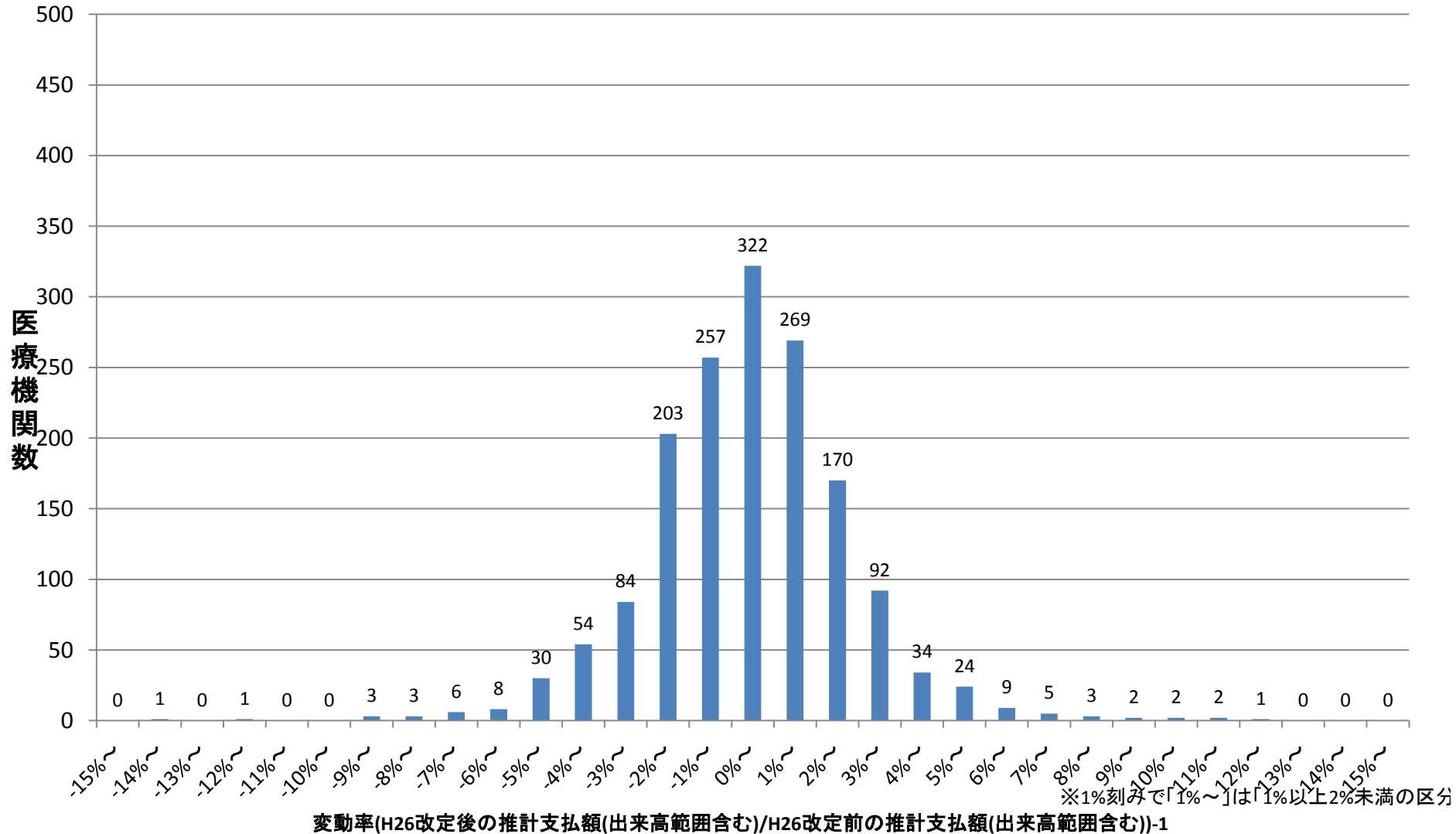
## 暫定調整係数25%と現行医療機関別係数の変動率における医療機関数



※ 機能評価係数Ⅱの指数等に変動がないと仮定して集計。

# 推計収入変動率のシミュレーション 平成30年(想定)

## 暫定調整係数0%と現行医療機関別係数の変動率における医療機関数



変動率(H26改定後の推計支払額(出来高範囲含む)/H26改定前の推計支払額(出来高範囲含む))-1

※ 機能評価係数Ⅱの指数等に変動がないと仮定して集計。

# 【資料D】

その他の参考資料

# 医療機関別係数について

各医療機関の医療機関別係数は、以下の4つを合算したものとする。

## 基礎係数（医療機関群別）

医療機関群別に、医療機関の基本的な診療機能を評価したもの。

## 機能評価係数Ⅰ

出来高報酬体系における、「入院基本料の差額」、「入院基本料等加算」等を係数化したもの。

## 機能評価係数Ⅱ

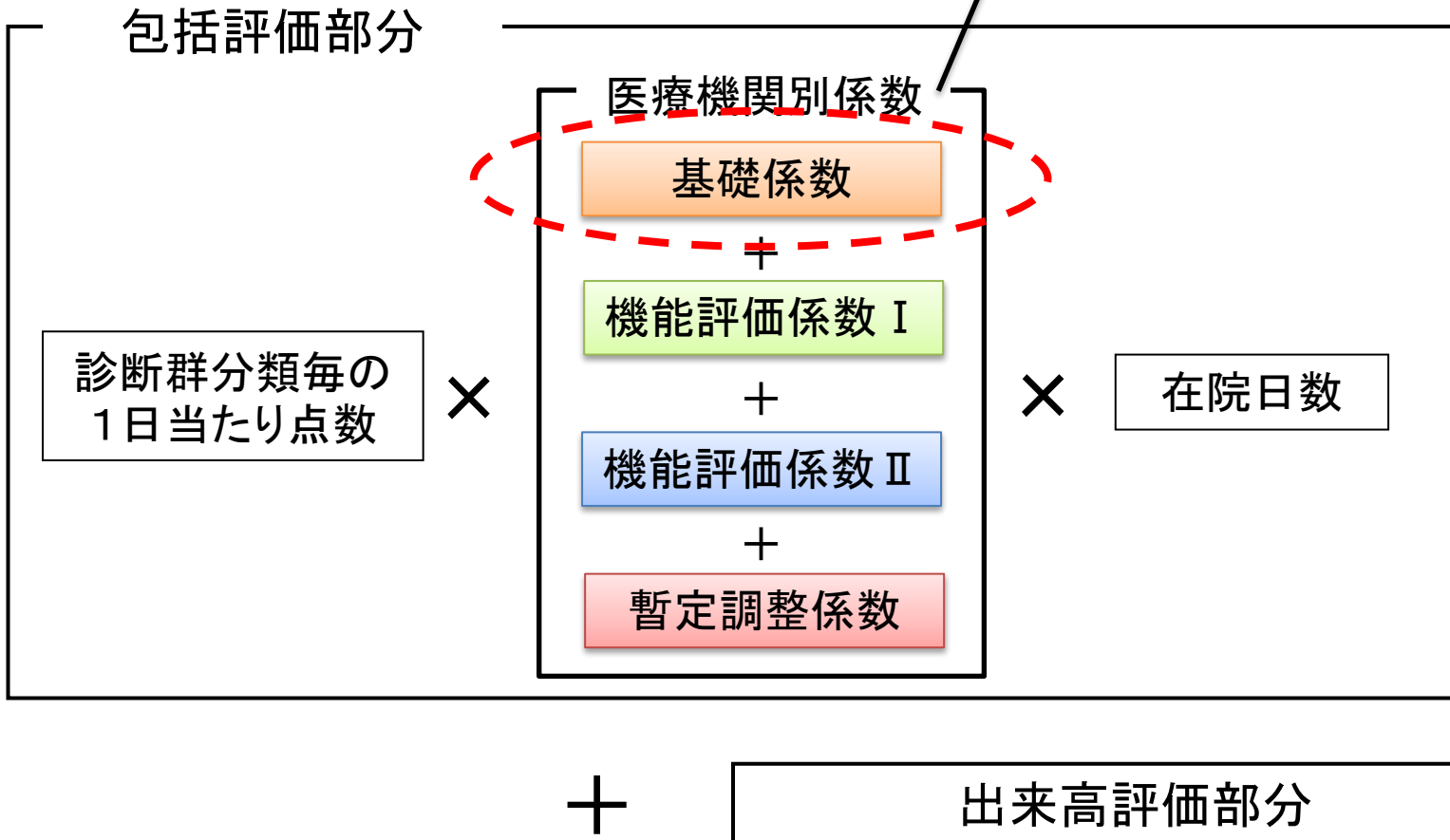
DPC/PDPS参加による医療提供体制全体としての効率改善等へのインセンティブ及び地域において医療機関が担うべき役割や機能等を評価したもの。

## 暫定調整係数

従来の調整係数の段階的廃止過程において暫定的に設定される係数。

# DPC制度における「基礎係数」

各医療機関の医療機関別係数は、4つの係数を合算したものである



# 基礎係数の基本的考え方

- DPC/PDPSの包括報酬のうち、機能評価係数Ⅰ及び機能評価係数Ⅱ（移行期間の暫定調整係数を含む）に係る評価部分を除いた、直近の包括範囲出来高点数の平均に相当する部分を算出する係数。
- 具体的には、包括評価対象患者（集計対象病院の全患者）に係るDPC点数表に基づく包括評価点数の平均値と、包括範囲出来高点数（但し、改定前点数に基づく直近実績値）の平均値との比であり、基本的な診療機能や役割に応じて設定された病院群毎（Ⅰ群、Ⅱ群、Ⅲ群）に算出。
- 平成15年度のDPC/PDPS創設時、制度の円滑導入のために設定された各DPC病院単位での定額報酬の調整（調整係数による調整）から、平成24年度以降、病院群単位での定額報酬の調整（基礎係数と機能評価係数Ⅱによる調整）への段階的移行に伴い設定された。

# 基礎係数の具体的な算出方法

$$\begin{aligned} & \text{[各病院群の基礎係数(平成26年度)]} \\ & = \{ \text{[各病院群の包括範囲出来高点数}^{*1} \text{の平均値}^{*2}] \times \text{[改定率}^{*3}] \\ & \quad + \text{[消費税増税にかかる対応分]} \} / \text{[各病院群のDPC点数表}^{*4} \text{に基づく} \\ & \quad \text{包括点数}^{*5} \text{の平均値}^{*2}] \end{aligned}$$

\*1 改定前の出来高点数表に基づく実績値(退院患者調査)。但し、改定での入院基本料や包括範囲の見直しは補正して反映。

\*2 当該病院群の全病院・全包括対象患者(改定後)の1入院あたりの平均値。

\*3 平成26年度改定では(1-0.0126)となる。

\*4 DPC点数表は例外的な症例(アウトライヤー)を除外して集計・点数設定される。更に基礎係数には改定率も反映されるため、基礎係数の全病院群・加重平均値は1.0を上回る。

\*5 医療機関別係数を乗じる前のDPC点数表に基づく1入院あたりの包括点数。

医療機関群	施設数	基礎係数
DPC病院Ⅰ群(大学病院本院)	80	1.1351
DPC病院Ⅱ群(Ⅰ群に準ずる病院)	99	1.0629
DPC病院Ⅲ群	1406	1.0276
合計	1585	1.0464



# 基礎係数(医療機関群 I 群～III群)について

- 医療機関の基本的な診療機能を評価する係数であり、診療機能(施設特性)を反映させるため、医療機関群(I群～III群)に分類して評価している。

I 群 (大学病院 院本院)  80病院	II 群 (大学病院 本院に準 じる病院)  99病院	III 群 (I 群・II 群以外)  1, 406病院
----------------------------------	--	---------------------------------------



**II 群病院の選定にかかる実績要件**(大学病院本院に準じた診療密度と一定の機能を有する病院)  
・以下の4つの実績要件について、「**I 群の最低値(外れ値を除く)**」をすべて満たす病院をII群とする。

【実績要件1】 診療密度

【実績要件2】 医師研修の実施

【実績要件3】 高度な医療技術の実施

【実績要件4】 重症患者に対する診療の実施

# 基礎係数（Ⅱ群の選定に係る実績要件）

## 【実績要件1】：診療密度

診療密度 = [ 1日当たり包括範囲出来高平均点数（全病院患者構成で補正；外的要因補正） ]

当該医療機関において症例数が一定以上の（1症例/月；極端な個別事例を除外するため）診断群分類に該当する患者について、当該医療機関が全DPC対象病院の平均的な患者構成と同様な患者群に対して診療を行ったと仮定した場合の1日当たり包括範囲出来高実績点数を算出する。

## 【実績要件2】：医師研修の実施

医師研修の実施 = [ 届出病床1床あたりの臨床研修医師の採用数（**基幹型臨床研修病院における免許取得後2年目まで**） ]

- 各医療機関が厚生労働省に報告している初期臨床研修医の採用数と、地方厚生（支）局へ届け出ている届出病床総数（許可病床数）により算出する。
- 特定機能病院は当該実績要件を満たしたものとして取り扱う。

## 【実績要件3】：高度な医療技術の実施

高度な医療技術の実施 = [ 次の3つ（3a～3c）がそれぞれ一定の基準を満たす ]

- (3a)：手術実施**症例**1件あたりの外保連手術指数（外科医師数及び手術時間補正後）
- (3b)：DPC算定病床当たりの同指数（外科医師数及び手術時間補正後）
- (3c)：手術実施**症例**件数（全国平均値）

「(3a)：手術実施**症例**1件あたりの外保連手術指数（外科医師数及び手術時間補正後）」は、当該医療機関の全患者総計の外保連手術指数（※）を「(3c)：手術実施**症例**件数」で除して算出する。

「(3b)：DPC算定病床当たりの同指数（外科医師数及び手術時間補正後）」は、当該医療機関の全患者総計の外保連手術指数をDPC算定病床数で除して算出する。

「(3c)：手術実施**症例**件数」については、**外保連試案（第8.2版）**において技術難易度が設定されている手術が**実施された症例を対象**とする。ただし、点数設定から同等の技術と考えられるものも集計対象とする。

# 基礎係数（Ⅱ群の選定に係る実績要件）

## （続き）【実績要件3】：高度な医療技術の実施

（※）外保連手術指数の算出方法

- 外保連手術指数の集計においては、様式1に記載された手術のうち、複数の記載がある場合については、最も外保連手術指数が高い手術の指数に基づき評価する。
- 外保連手術指数は、外保連試案（第8.2版）に記載されている、外科医師数を含めた時間あたりの人件費の相対値（下表参照。難易度B、外科医師数1人を1としてそれぞれ相対化）に手術時間数を加味して各手術に重み付けし、集計対象手術それぞれについて合算し、算出する。

【例】難易度D、外科医師数3、手術時間数3の手術は $7.01 \times 3 = 21.03$

難易度、外科医師数、手術時間数はいずれも外保連試案の規定を採用。

外科医師数	1	2	3	4	5	6	7
B	<u>1.00</u>	<u>1.27</u>	<u>1.54</u>	<u>1.81</u>			
C	<u>2.25</u>	<u>3.25</u>	<u>3.52</u>	<u>3.79</u>	<u>4.06</u>		
D	<u>3.76</u>	<u>6.01</u>	<u>7.01</u>	<u>7.28</u>	<u>7.55</u>	<u>7.82</u>	
E	<u>5.64</u>	<u>9.41</u>	<u>11.66</u>	<u>12.66</u>	<u>12.93</u>	<u>13.20</u>	<u>13.46</u>

- 外保連試案と結びつけられなかったKコード（医科点数表の手術コード）の手術については、医科点数表の点数設定を参考に、類似する手術が存在する場合に同じ難易度を付与する。それ以外のものについては集計の対象外とする。
- 1つのKコードに複数の外保連試案コードが対応する場合は、外科医師数を最も重視する形で外保連手術指数を算出する。具体的には次の順で対応する手術を1つに絞り混んで対応関係を作成する（外科医師数を最優先）。

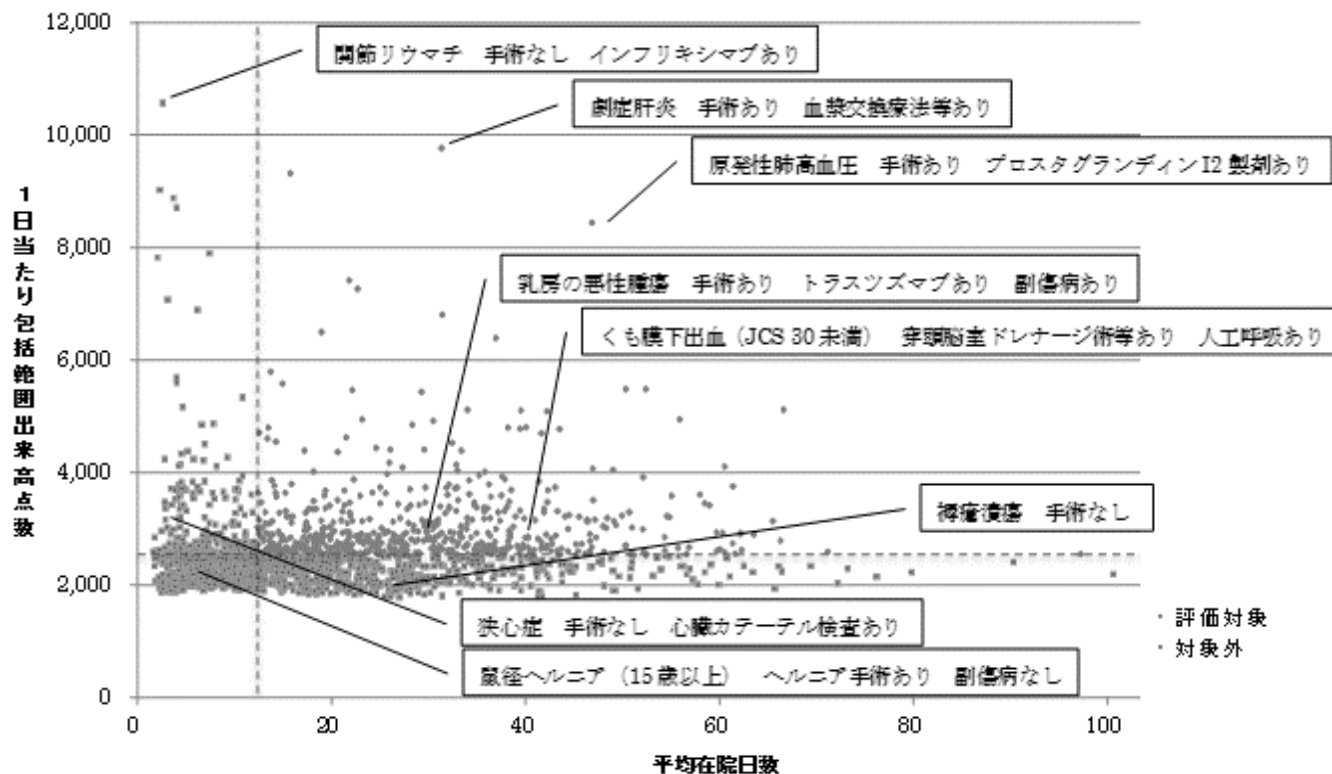
# 基礎係数（Ⅱ群の選定に係る実績要件）

## 【実績要件4】：重症患者に対する診療の実施

重症患者に対する診療の実施＝〔複雑性指数(重症DPC補正後)〕

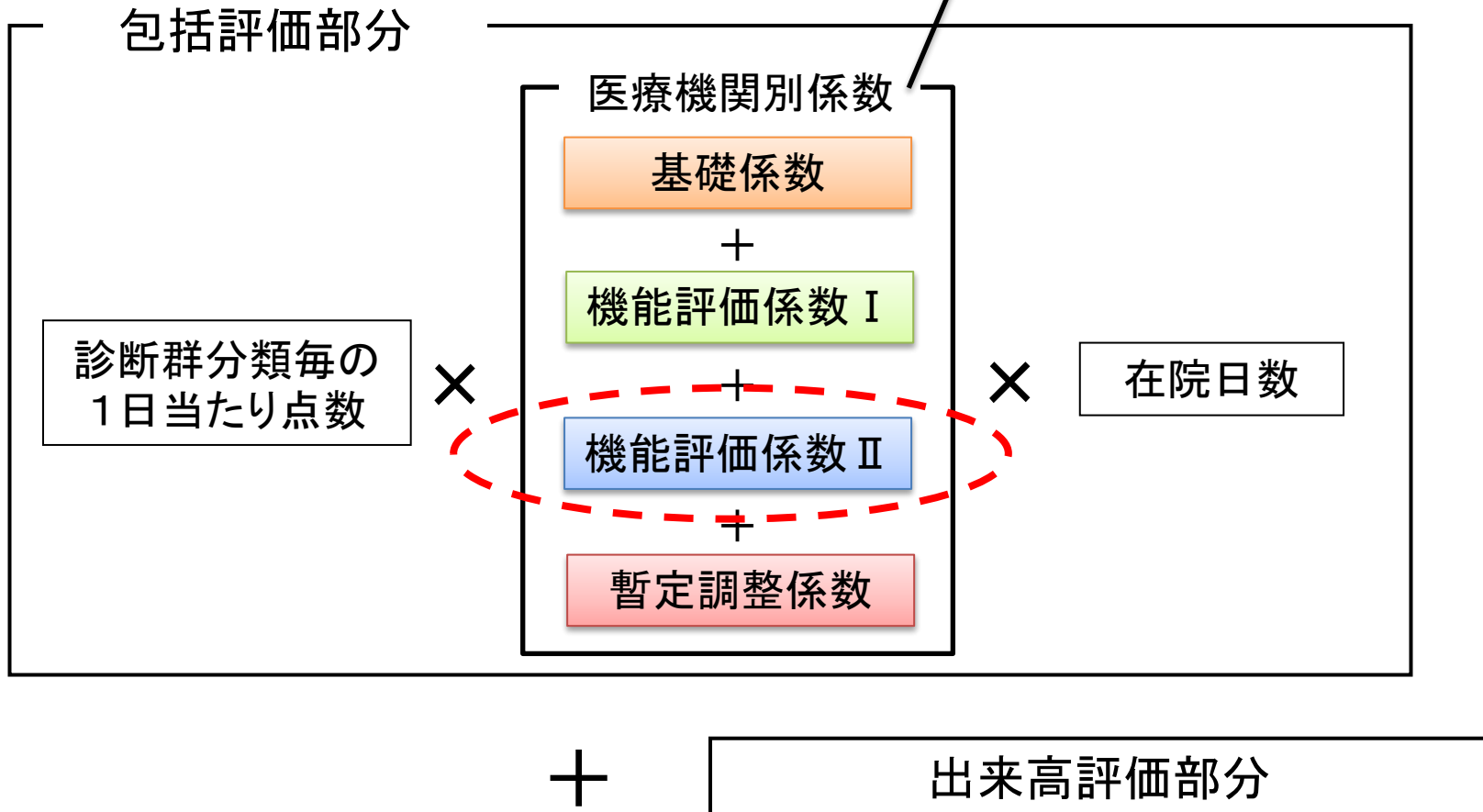
- 全DPC参加病院データの平均在院日数より長い平均在院日数を持つDPCで、かつ、1日当たり包括範囲出来高実績点数が平均値より高いDPCを抽出。これらのDPCについて複雑性指数を算出する。

重症補正対象DPC



# DPC制度における機能評価係数Ⅱ

各医療機関の医療機関別係数は、4つの係数を合算したものである



# 機能評価係数Ⅱ

- 機能評価係数Ⅱは、DPC/PDPS参加による医療提供体制全体としての効率改善等へのインセンティブ(医療機関が担うべき役割や機能に対するインセンティブ)を評価したものであり、具体的には7つの係数として評価している。
- 機能評価係数Ⅱのうち、保険診療係数、複雑性係数、カバー率係数、地域医療係数については、各医療機関群毎に評価設定されている。

名称	評価の考え方
1) 保険診療係数	質が遵守されたDPCデータの提出を含めた適切な保険診療実施・取組を評価
2) 効率性係数	各医療機関における在院日数短縮の努力を評価
3) 複雑性係数	各医療機関における患者構成の差を1入院あたり点数で評価
4) カバー率係数	様々な疾患に対応できる総合的な体制について評価
5) 救急医療係数	救急医療(緊急入院)の対象となる患者治療に要する資源投入量の乖離を評価
6) 地域医療係数	地域医療への貢献を評価 (中山間地域や僻地において、必要な医療提供の機能を果たしている施設を主として評価)
7) 後発医薬品係数	入院医療における後発医薬品の使用を評価。

# 機能評価係数Ⅱにおける指数・係数の考え方

各医療機関ごとに「指数」を算出し、変換処理を行って「係数」を算出する。

「〇〇**指数**」

各指標に応じた、各医療機関のDPC制度参加病院と比較した**相対評価**を決める数値

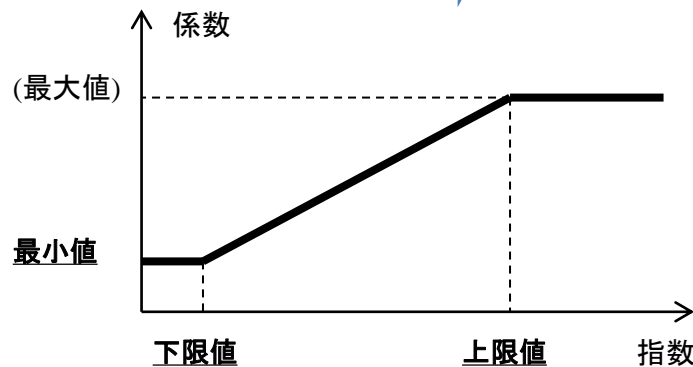
「〇〇**係数**」

包括範囲の報酬を規定する数値

変換処理

(例: 後発医薬品 <b>指数</b> )	
医療機関A	0.62
医療機関B	0.15
医療機関C	0.41
医療機関D	0.34
医療機関E	0.28

↑  
後発医薬品の使用割合(%)



(例: 後発医薬品 <b>係数</b> )	
医療機関A	0.0142
医療機関B	0.0032
医療機関C	0.0114
医療機関D	0.0089
医療機関E	0.0062

# 機能評価係数Ⅱ

## 機能評価係数Ⅱ（7項目）

<項目>	評価の考え方	評価指標(指数)
1) 保険診療指数	DPC対象病院における、質が遵守されたDPCデータの提出を含めた適切な保険診療実施・取組を評価	<p>原則として1点だが、以下の基準に該当した場合はそれぞれ加算又は減算する。</p> <p>①適切なDPCデータの提出（「部位不明・詳細不明コード」の使用割合による評価） 「部位不明・詳細不明のコード」の使用割合が「20%以上」の場合、当該評価を0.05点減算する。</p> <p>② 適切なDPCデータの提出（様式間の記載矛盾による評価） 当該医療機関において、以下のいずれかに該当するDPCデータの件数の全体の件数に占める割合が「1%以上」の場合、当該評価を0.05点減算する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>i 様式1の親様式・子様式 データ属性等（郵便番号、性別、生年月日等）の矛盾</li> <li>ii 様式1とEFファイル 様式1上の入院日数とEFファイルに出現する入院料の回数の矛盾</li> <li>iii 様式4とEFファイル 様式4の医科保険情報とEFファイルに出現する先進医療等の矛盾</li> <li>iv DファイルとEFファイル 記入されている入院料等の矛盾</li> </ul> <p>③ 適切な傷病名コードによるレセプトの請求 当該医療機関における入院医療分のレセプトに記載されている傷病名数のうち、未コード化傷病名である傷病名の割合が「20%以上」の場合、当該評価を0.05点減算する。</p> <p>④ 適切な保険診療の普及のための教育に向けた取組の評価（I群のみ） 毎年10月1日時点において、当該医療機関において下記を満たす場合、当該評価を0.05点加算する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・規定の手順により、当該医療機関から出向して以降6か月以上指導医療官として勤務している者がいる場合（ただし、1年以上在籍しない場合は実績と見なさない）</li> <li>・規定の手順により指導医療官として勤務後、大学病院に復帰した日から1年以内の者がいる場合（ただし、復帰後に当該医療機関において保険診療の教育に携わっていない場合は実績と見なさない）</li> </ul> <p>（※平成27年度は、募集開始の際に応募し採用された者がいる医療機関を評価対象とする）</p>
2) 効率性指数	各医療機関における在院日数短縮の努力を評価	<p>[全DPC/PDPS対象病院の平均在院日数] / [当該医療機関の患者構成が、全DPC/PDPS対象病院と同じと仮定した場合の平均在院日数]</p> <p>※ 当該医療機関において、12症例（1症例/月）以上ある診断群分類のみを計算対象とする。 ※ 包括評価の対象となっている診断群分類のみを計算対象とする。</p>



# 機能評価係数Ⅱの見直し

## 機能評価係数Ⅱ（7項目）

<項目>	評価の考え方	評価指標(指数)
3) 複雑性指数	各医療機関における患者構成の差を1入院あたり点数で評価	<p>[当該医療機関の包括範囲出来高点数(一入院あたり)を、DPC(診断群分類)ごとに全病院の平均包括範囲出来高点数に置換えた点数] / [全病院の平均一入院あたり包括点数]</p> <p>※ 当該医療機関において、12症例(1症例/月)以上ある診断群分類のみを計算対象とする。</p> <p>※ 包括評価の対象となっている診断群分類のみを計算対象とする。</p>
4) カバー率指数	様々な疾患に対応できる総合的な体制について評価	<p>[当該医療機関で一定症例数以上算定しているDPC数] / [全DPC数]</p> <p>※ 当該医療機関において、12症例(1症例/月)以上ある診断群分類のみを計算対象とする。</p> <p>※ すべて(包括評価の対象・対象外の両方を含む)の診断群分類を計算対象とする。</p>
5) 救急医療指数	救急医療(緊急入院)の対象となる患者治療に要する資源投入量の乖離を評価	<p>1症例あたり[以下の患者について、入院後二日間までの包括範囲出来高点数(出来高診療実績)と診断群分類点数表の設定点数との差額の総和]</p> <p>救急医療管理加算2に相当する症例は、加算1に相当する症例の半分の比重によって評価</p> <p>【「A205救急医療管理加算」の施設基準を取得している施設】</p> <p>「救急医療入院」かつ以下のいずれかを入院初日から算定している患者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「A205救急医療管理加算」</li> <li>・「A300救命救急入院料」</li> <li>・「A301特定集中治療室管理料」</li> <li>・「A301-2ハイケアユニット入院医療管理料」</li> <li>・「A301-3脳卒中ケアユニット入院医療管理料」</li> <li>・「A301-4小児特定集中治療室管理料」</li> <li>・「A302新生児特定集中治療室管理料」</li> <li>・「A303総合周産期特定集中治療室管理料」</li> </ul> <p>【「A205救急医療管理加算」の施設基準を取得していない施設】</p> <p>「救急医療入院」の患者</p>

# 機能評価係数Ⅱ

## 機能評価係数Ⅱ（7項目）

<項目>	評価の考え方	評価指標(指数)												
6) 地域医療指数	<p>地域医療への貢献を評価            (中山間地域や僻地において、必要な医療提供の機能を果たしている施設を主として評価)</p>	<p>以下の指数で構成する。</p> <p>① 体制評価指数(評価に占めるシェアは1/2)            地域医療計画等における一定の役割をポイント制で評価(計12項目、詳細は次ページの別表2参照)。</p> <table border="1" data-bbox="691 415 1850 729"> <thead> <tr> <th colspan="2" data-bbox="691 415 1541 458">地域医療指数(内訳)</th> <th data-bbox="1541 415 1850 458">評価に占めるシェア</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="691 458 1541 639">           ① 体制評価指数            計12項目(各1ポイント)            I・II群は評価上限10ポイント            III群は評価上限8ポイント         </td> <td colspan="2" data-bbox="1541 458 1850 639" style="text-align: center;">1/2</td> </tr> <tr> <td data-bbox="691 639 1541 729">           ② 定量評価指数         </td> <td data-bbox="1116 639 1541 682">1) 小児(15歳未満)</td> <td data-bbox="1541 639 1850 682">1/4</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="1116 682 1541 729">1) 上記以外(15歳以上)</td> <td data-bbox="1541 682 1850 729">1/4</td> </tr> </tbody> </table> <p>一部の項目において実績評価を加味する。また、評価上限値を7ポイントとする。</p> <p>② 定量評価指数(評価に占めるシェアは1/2)それぞれ1/4ずつ            [当該医療機関の所属地域における担当患者数] / [当該医療機関の所属地域における発生患者数]            を1)小児(15歳未満)と2)それ以外(15歳以上)に分けてそれぞれ評価。  <b>【評価対象地域の考え方】</b>            DPC病院I群及びDPC病院II群については、診療圏の広域性を踏まえ、3次医療圏とし、DPC病院III群については2次医療圏とする。  <b>【集計対象とする患者数の考え方】</b>            DPC対象病院に入院した患者とする。</p>	地域医療指数(内訳)		評価に占めるシェア	① 体制評価指数 計12項目(各1ポイント) I・II群は評価上限10ポイント III群は評価上限8ポイント	1/2		② 定量評価指数	1) 小児(15歳未満)	1/4		1) 上記以外(15歳以上)	1/4
地域医療指数(内訳)		評価に占めるシェア												
① 体制評価指数 計12項目(各1ポイント) I・II群は評価上限10ポイント III群は評価上限8ポイント	1/2													
② 定量評価指数	1) 小児(15歳未満)	1/4												
	1) 上記以外(15歳以上)	1/4												
7) 後発医薬品指数	<p>各医療機関における入院医療に用いる後発医薬品の使用を評価</p>	<p>当該医療機関における入院医療で用いられる薬剤について、後発医薬品の数量シェア(=[後発医薬品の数量] / [後発医薬品のある先発医薬品の数量] + [後発医薬品の数量])により評価。            (※数量とは、薬価基準告示上の規格単位ごとに数えた数量をいう。)            ※数量ベースで60%を評価上限とする。</p>												